



NTTFAX L-72

取扱説明書

このたびは、NTTFAX L-72をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手元に置いてお使いください。



技術基準適合認定品






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口等でお買い求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本装置の外付け電話機接続端子は、一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては正常に動作しないことがあります。

本装置と一般電話回線の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、本装置が正常に動作しないことがあります。

本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本装置の設置や配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本装置は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本装置の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、NTT窓口等へご相談ください。

NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。

操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減化に優れ、かつ、効率的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。

⚠ 警告

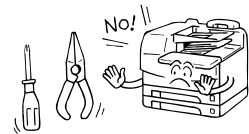
万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落としたり、キャビネットを破損した場合、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

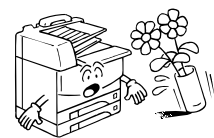
万一、内部に水などが入った場合は、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。



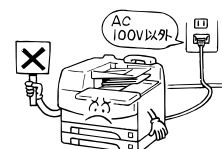
本装置のキャビネットは外さないでください。感電や故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグは、AC100 V 10 A専用コンセントに差し込んでください。やむをえず同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

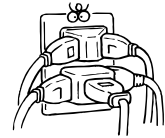
電源コードは、必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれた手で本装置を操作しないでください。故障や感電の原因となることがあります。



電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

- アース線が取り付けられるところは以下の部分です。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
 - 接地工事（第3種）が行われている接地端子
- 以下のようなところには、絶対にアース線を取り付けしないでください。
 - ガス管
 - 電話専用アース線
 - 避雷針
 - 水道管や蛇口

本装置を構内交換機（PBX）等に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

本装置は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

トナーが目に入らないように注意してください。トナーが目に入ったときは、すぐに水で洗眼し、医師の診察を受けてください。

トナーカートリッジやドラムカートリッジは火の中に絶対に投じないでください。破裂したり、激しく燃えて、火災ややけどの原因となります。使用後のトナーカートリッジやドラムカートリッジはビニール袋などに入れて燃えないゴミとして処理してください。

⚠ 注意

お使いになる前に

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



本装置底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されている場合は、本装置または外付け電話機がご使用になれない場合があります。この場合は、他の電話機等はずしてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

お使いのとき

近くに雷が発生したときは、本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源を切り、電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

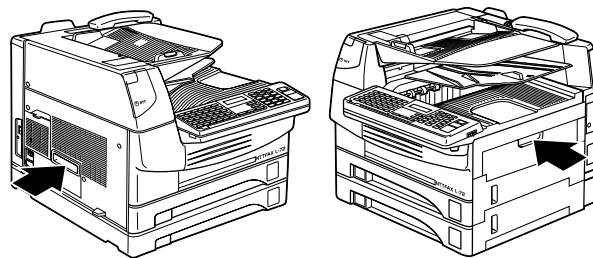
本装置の左側面部には通風孔がありますので、必ず壁から 2 cm 以上離してください。通風孔をふさぐと本装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

トナーカートリッジ/ドラムカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に引っ掛けたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。

熱定着器とその周辺は高温になっていますので、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

持ち運ぶ場合は、必ず図の場所を持ってください。他の場所を持つと、故障の原因や思わぬけがの原因となることがあります。



STOP

お願い

設置場所について

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。



温度が急激に変化する場所には置かないでください。冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本装置の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

高温、多湿、低温の場所には置かないでください。
いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は以下のとおりです。

温度 10～31
湿度 35～80 %

- 温度が35 のときは湿度65 %以下、湿度85 %のときは温度30 以下で使用してください。

以下のようなところには置かないでください。

- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- 床が丈夫でない場所

本装置の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。

このような現象が本装置の影響によると思われる場合は、本装置の電源をいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下のような方法を試みてください。

- 本装置をテレビなどから遠ざける。
- 本装置またはテレビなどの向きを変える。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。



硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本装置の寿命が短くなる場合があります。

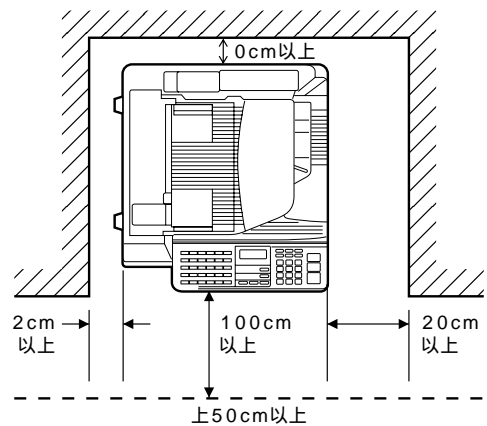
安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP

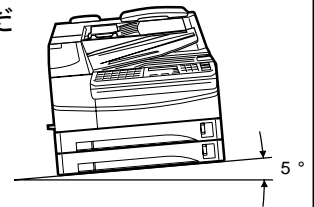
お願い

設置場所について

本装置の操作、消耗品類の交換、日常点検など、本装置を正しく使用し性能を維持する作業を行うために、図のような設置スペースを確保してください。



本装置は、図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しない場合があります。



本装置を移転、移動するときは、NTT窓口にご相談ください。

STOP

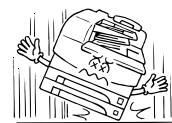
お願い

取り扱いについて

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませて、かたく絞ってからふいてください。



落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



通信やコピーなどの動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、本装置の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。

電源スイッチをOFFにしてから、再度ONにする場合は、3秒以上の間隔をおいてください。

STOP

お願い

取り扱いについて

記録紙はNTT推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。推奨品につきましては、NTT窓口等へお問い合わせください。

自動的に冷却ファンが回ることがありますが異常ではありません。

感光体に手を触れないでください。感光体の表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。

紙づまりのとき、記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずにすべて取り除いてください。

STOP

お願い

その他

停電がおきた場合や電源を切った場合は、ファクシミリの機能・動作が停止すると同時に、メモリに蓄積されている原稿（順次同報送信、メモリ送信、メモリ代行受信、掲示板送信、タイマ送信など）が消えてしまう場合があります（内蔵のバッテリーにより、約30分間はバックアップ機能が働きます）。

キャッチホンサービスをご契約になる場合には、以下の点にご注意ください。

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承ください。
- なお、キャッチホン サービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

目次

G4 : G4通信ユニット(オプション)を増設しているときのみ使用できる機能です。

G3 : G3モードでのみ使用できる機能です。(G4モードでは使用できません。)

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・ 2
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

基本編

操作説明のページの構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

並行して行える動作(デュアルアクセス)
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

1 お使いになる前に



商品の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
機器を設置、接続します・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
原稿スタッカ、原稿セット台、
操作ガイドを取り付ける・・・・・・・・・・・・・・ 24
受話器、電源、電話回線を接続する・・・・・・・・ 24
電話回線の種別を設定する・・・・・・・・・・・・・・ 26
外付け電話機を接続する・・・・・・・・・・・・・・ 28
注意ラベルを貼り付ける・・・・・・・・・・・・・・ 29
ワンタッチ宛先記入ラベルを貼り付ける・・・・ 29
ワンタッチ宛先記入シートを取り付ける・・・・ 29
トナーカートリッジ/ドラムカートリッジ
をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
記録紙をセットします・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
記録紙をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
記録紙サイズを変更する・・・・・・・・・・・・・・ 33
日付/時刻を合わせます・・・・・・・・・・・・・・ 34
自分の名前とファクス番号を登録します
(発信元名称/発信元番号)・・・・・・・・・・・・・・ 36
発信元名称(発信元データ)を登録する・・・・ 36
発信元番号を登録する・・・・・・・・・・・・・・ 38
G4モード(オプション)用のファクス番号と略称を
登録します(G4発信元番号/G4発信元略称) **G4**・・・ 40
G4発信元番号を登録する・・・・・・・・・・・・・・ 40
G4発信元略称を登録する・・・・・・・・・・・・・・ 42
文字を入力するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
文字を入力する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
文字を訂正する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

2 ファクスを送る



原稿をセットするには・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
原稿について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
キャリアシートについて・・・・・・・・・・・・・・ 50
原稿をセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
原稿に合わせて画質を選ぶ・・・・・・・・・・・・ 52
原稿に合わせて読取濃度を選ぶ・・・・・・・・・・ 53
ファクスを送るには(メモリ送信)・・・・・・・・ 54
ダイヤル入力(フルダイヤル)で送る・・・・・・ 54
ワンタッチダイヤルで送る・・・・・・・・・・・・ 56
短縮ダイヤルで送る・・・・・・・・・・・・・・ 57
電子電話帳で送る・・・・・・・・・・・・・・ 58
メモリに蓄積せずにファクスを送るには
(ダイレクト送信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
ダイレクト送信をする・・・・・・・・・・・・・・ 60
送信の途中で画質モードを変更する・・・・・・ 62
電話で話しをしてからファクスを送るには
(手動送信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
同じ相手先に送り直すには(再ダイヤル送信)・・・ 66
送信を中断するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
動作中に中断する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
内容を確認して中断する・・・・・・・・・・・・・・ 68
送信文書の通信結果を表示させるには
(通信結果表示)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
送信文書の通信結果を表示させる・・・・・・・・ 70
送信文書の予約(送信待ち)を解除する・・・・ 72

3 ファクスを受ける



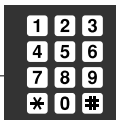
- 受信モードを選ぶには…………… 74
- 自動的にファクスを受けるには (自動受信) …… 76
 - 自動受信のモードを設定する…………… 76
- 電話で話しをしてからファクスを受けるには (手動受信) **G3** …………… 78
- 留守番電話機を接続してファクスを受けるには (留守受信) **G3** …………… 79
- 外付け電話機からの操作でファクスを受けるには (リモート受信) **G3** …………… 80
 - リモート受信を設定する…………… 80
 - リモート受信をする…………… 81
- 受信を中断するには…………… 82
 - 動作中に中断する…………… 82
 - 内容を確認して中断する…………… 83
- 受信文書の通信結果を表示させるには (通信結果表示) …………… 84

4 コピーする



- コピーするには…………… 86
 - コピーする…………… 86
 - 倍率や記録紙サイズを指定してコピーする …… 88
 - ページ合成読取コピーをする…………… 89

5 電話をかける / 受ける



- 電話をかけるには (発信) …………… 90
 - 受話器を取りあげてかける…………… 90
 - 受話器を置いたままかける (オンフックダイヤル) …………… 91
- 同じ相手にかかけ直すには (再ダイヤル) …………… 92
- 電話がかかってきたときは (着信) …………… 93
 - プッシュホンサービスを利用するには (DP PB切替) …………… 94

応 用 編

- 操作説明のページの構成…………… 95
- こんな使い方ができます…………… 96

1 ファクスをより便利に使う



- 同じ原稿を複数の相手先に送信するには (順次同報送信) …………… 102
 - 複数の相手先を指定するには…………… 103
- ワンタッチダイヤルで送信するには…………… 104
 - ワンタッチダイヤルを登録する…………… 104
 - ワンタッチダイヤルで送信する…………… 107
- 短縮ダイヤルで送信するには…………… 108
 - 短縮ダイヤルを登録する…………… 108

- 短縮ダイヤルで送信する…………… 111
- グループダイヤルで送信するには…………… 112
 - グループダイヤルを登録する…………… 112
 - グループダイヤルで送信する…………… 114
- 同じ相手先に同じ設定で送信するには (ワンタッチプログラム送信) …………… 115
 - ワンタッチプログラムダイヤルを登録する …… 115
 - ワンタッチプログラムダイヤルで送信する …… 117
- 他の送信に割り込んで送信するには (優先送信) …… 118
- 時刻を指定して送信するには (タイマ通信) …… 119
- 中継機を経由して送信するには (中継同報送信) **G3** …… 121
 - 中継パスワードを登録する…………… 123
 - 中継指示ダイヤルを登録する…………… 124
 - 中継指示送信をする…………… 128
 - 本装置を中継機として使用できるようにする …… 129

目次

G4 : G4通信ユニット(オプション)を増設しているときのみ使用できる機能です。

G3 : G3モードでのみ使用できる機能です。(G4モードでは使用できません。)

部数を指定して送信/受信するには	
(リモートマルチコピー通信) G3	130
リモートマルチコピー送信をする.....	131
リモートマルチコピー受信を設定する.....	132
2枚の原稿を1枚にして送信するには	
(ページ合成読取送信).....	134
海外へ送信するには(海外通信).....	136
海外へ送信する G3	136
G4モードで海外へ送信する(オプション) G4	138
受信側の操作で通信を行うには	
(ポーリング通信).....	140
ポーリングパスワードを登録する.....	142
ポーリング送信をセットする.....	143
掲示板送信をセットする.....	145
ポーリング受信をする.....	147
タイマポーリング受信をセットする.....	148
ポーリング受信を解除する	
(通信結果表示).....	149
親展で送信/受信するには(親展通信) G3	151
親展ボックスを開設する.....	152
親展で送信する.....	155
親展受信文書をプリントする.....	156
サブアドレスを指定して通信を行うには	
(ルーティング通信) G3	158
ルーティング通信を設定する.....	160
ルーティング情報ボックスを登録する.....	161
サブアドレスを指定して送信する.....	164
原稿を暗号化して送信/受信するには	
(サイファ通信) G3	166
サイファキー登録用の暗証番号を登録する.....	168
サイファキーを登録する.....	169
サイファ送信をする.....	171
受信する相手を限定するには(セレクト受信).....	173
セレクト受信を設定する.....	173
2枚の原稿を1枚の記録紙にプリントするには	
(ページ合成受信).....	174
ページ合成受信を設定する.....	175

受信モードを設定した時刻に切り替えるには	
(受信モードタイマ切替).....	176
受信モードタイマ切替を設定する.....	176
ファクス番号と電話番号を使い分けるには	
(ダイヤルイン).....	179
ダイヤルインを設定する.....	180
Fネット(ファクシミリ通信網)を利用するには	
(Fネットアクセス).....	182
Fネットサービスの主な内容.....	182
Fネット一般送信をする.....	184
同じ原稿を一齐に送信する	
(Fネット同報送信).....	186
夜間にまとめて送信する	
(Fネット夜間配送).....	189
Fネット夜間配送を取り消す.....	191
Fネット親展送信をする.....	192
Fネット親展受信をする.....	194

2 各種レポート/リストを出力する

レポート



各種の通信結果を確認するには(レポート出力).....	196
通信管理レポート出力を設定する.....	197
通信管理レポートを手動で出力する.....	199
通信結果レポート出力を設定する.....	200
親展受信レポート出力を設定する.....	203
各種レポートの出力例.....	204
登録/設定した内容を確認するには	
(リスト出力).....	209
ダイヤルリストを出力する.....	210
パラメータリストを出力する.....	212
サイファキーリストを出力する.....	213
各種リストの出力例.....	215

3 ビジネスホンに通知する



通信結果を内線電話機に通知するには

- (送受信通知) 219
- 送信通知を設定する 222
- 受信通知を設定する 223
- 通知先を指定して送信する 224
- 通知先を指定してポーリング送信 /
掲示板送信をする 226
- 通知先を指定してポーリング受信する 227

ファクスの状態を内線電話機に通知するには

- (状態通知) 228
- 転送エラー通知を設定する 229
- 消耗品通知を設定する 230
- 管理者用の内線番号を登録する 231

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う



- PCプリンタ/PCスキャナとして使うには 232
- PC接続を設定する 234
- プリントするには 235
- スキャンするには 236

5 いろいろな機能を登録/設定する



- 記録紙選択の設定をするには 237
- 長尺記録(自動縮小/切り捨て)の設定
をする 239
- 優先記録(記録紙優先/カセット優先)
の設定をする 240
- 分割重ね書きの設定をする 241
- 回転記録の設定をする 242

- 節電モードの設定を変更するには 243
- 節電モードの設定を変更する 243
- 時間帯を指定して節電モードを設定する
(節電モードタイマ切替) 245
- ベル回数を設定するには 247
- 自動再ダイヤルの回数と間隔を設定するには 248
- よく使うモードをホームポジションとして
設定するには 249
- ホームポジションを設定する 250
- メニューの流れ(ファンクション構造) 253
- 登録/設定操作一覧 254

6 こんなときには



- 原稿が詰まったら 268
- 記録紙が詰まったら 269
- 記録紙を補給するには 272
- トナーカートリッジを交換するには 273
- ドラムカートリッジを交換するには 275
- お手入れするには 277
- 消耗品の購入について/停電になったときは 279
- 故障かな?と思ったら 280
- 主なエラー番号/エラーメッセージ 282

7 ご参考に



- 各種オプション機能について 285
- 済スタンプを利用する 285
- G4通信ユニットを利用する **G4** 287
- 主な仕様 288
- 保守サービスのご案内 289
- リモートメンテナンスの設定を変更する 290
- 索引 292

特 長

普通紙記録だから直接書き込み、捺印ができます

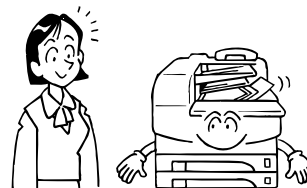
受信した原稿は、そのまま文書として保管したり、書き込みをすることができます。使用できる記録紙は、A5からA3までとサイズも豊富です。



1回の操作で最大99枚までコピーできます

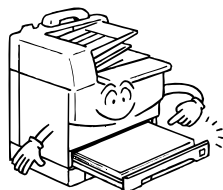
倍率や記録紙のサイズを指定して、コピーすることができます。また、たとえばA4横の記録紙しかセットされていない場合でも、A4縦の原稿がコピーできる回転記録機能付きです。

(●P86)



用紙の補充も簡単な、250枚×2のダブルカセットです

大量の受信にも安心な、大容量のダブルカセットです。また、記録紙サイズに合わせて調節できるユニバーサルタイプのカセットなので、A5からA3まで、どのサイズにも対応します。



さまざまなメモリ機能で、送受信を効率的にします

原稿を読み込みながらすばやく送るメモリ送信や、受信中に記録紙が切れても自動的に受信内容がメモリに蓄えられるメモリ代行受信機能を備えています。



トナーは、交換が簡単なカートリッジ方式です

カートリッジ方式ですから、スピーディーにトナー交換ができます。(●P273)



同じ原稿を複数の相手先に送信できます 順次同報送信

何度も送信操作を繰り返さなくても、順次同報送信なら1回の操作で最大170件の相手先に同じ原稿を送ることができます。(●P102)



指定した時刻にファクスを自動送信することができます タイマ通信

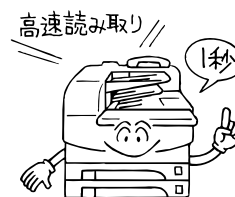
タイマ通信なら、料金の安い深夜などを指定して大量の原稿を送ったり、外出中に自動的に原稿が送れるように設定することができます。

(●P119)



高速1秒読み取り

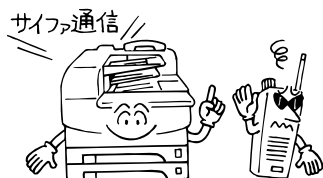
A4原稿1枚を原稿の内容にかかわらず1秒で読み取ります(標準およびファインのとき)。



ファクス通信による情報漏れを防ぎます サイファ通信

サイファ通信は、NTT独自の暗号化方式で原稿を暗号化して通信する機能です。万一盗聴されても、解読される心配はありません。

(●P166)



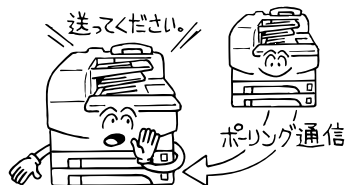
プリントランプ

離れていても受信文書などのプリント動作が確認できる大型ランプを備えています。(●P23)



送信側でセットした原稿を、受信側の操作で送信させることができます ポーリング通信

受信側が通信料を負担して情報を入手する形の通信方法、ポーリング通信が行えます。受信側の操作で原稿を取り出します。(●P140)



通信結果をディスプレイ上で見ることができます 通信結果表示

通信結果をボタン操作で簡単にディスプレイ上に表示させることができます。

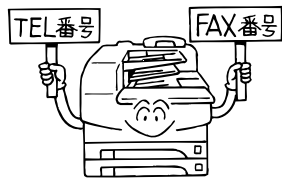
(●P70、84、149)



特 長

1本の電話回線で電話専用番号とファクス専用番号を登録できます **ダイヤルイン**

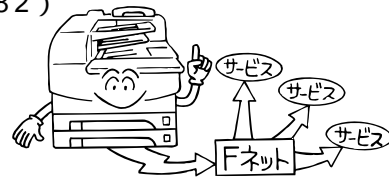
NTTのダイヤルインサービスをご契約になると、1本の電話回線に2つの番号を登録して、電話とファクスをスムーズに使い分けることができます。(●P179)



Fネット(ファクシミリ通信網)サービスをご利用になれます **Fネットアクセス**

NTTのFネットサービスをご契約になると、さまざまなサービスが、**Fネット** ボタンを使った簡単な操作でご利用になれます。通信の手間やコストが削減でき、通信エラーも減らせます。

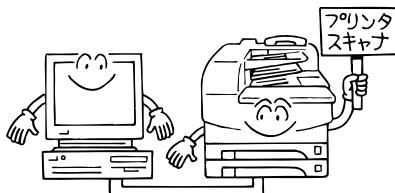
(●P182)



パソコン用のプリンタまたはスキャナとして使うことができます

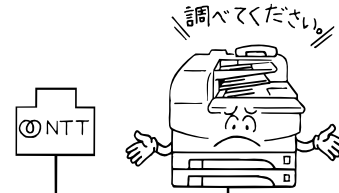
PCプリンタ/PCスキャナ

ファクスモデム搭載のパソコンや電子手帳などと接続して、プリンタまたはスキャナとして使うことができます。(●P232)



NTTのサービス取扱所から、遠隔操作でメンテナンスできます。 **リモートメンテナンス**

故障などでお客様の装置を保守する際に、通信状況の確認や、登録/設定内容の確認/変更を行うことができます。(●P290)



基本編

この取扱説明書は、基本編と応用編から構成されています。基本編はファクスの基本的な使用方法について、応用編はより便利なファクスの機能について説明しています

1 お使いになる前に

本装置をお使いになる前に知っておいていただきたいことや、お使いになるための準備、本装置の設置 / 接続方法などについてまとめています。

2 ファクスを送る

ファクス送信の基本操作について説明しています。

3 ファクスを受ける

ファクス受信の基本操作について説明しています。

4 コピーする

本装置をコピー機として使う方法について説明しています。

5 電話をかける / 受ける

電話をかけたり、受けたりする基本操作について説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル

この章のタイトルです。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作パネル図

操作で使うボタンなどの位置を示します。

ワンポイント

本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

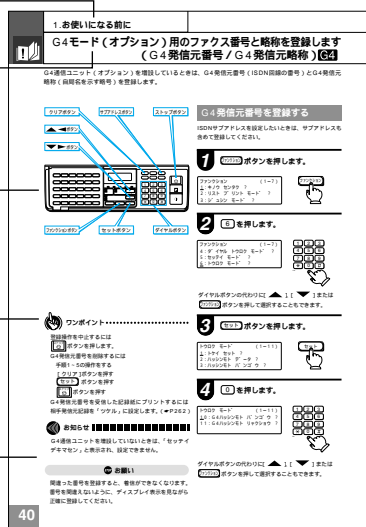
お願いまたはお知らせ お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示します。

お知らせ

この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示します。

文中で操作パネルのボタンを表記する場合、イラスト、または [] で囲んで示します。
(例：[7] ボタン、[クリア] ボタン)



操作手順説明
順番に操作を説明して
います。

マークの見方

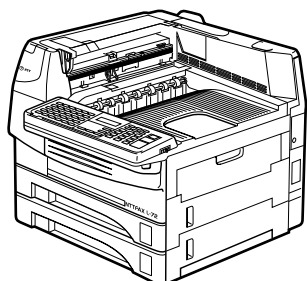
G4 : G4通信ユニット
(オプション)
を増設しているとき
のみ利用できる機
能です。

G3 : G3モードでのみ
利用できる機能で
す。(G4モードで
は利用できません。)

商品の構成

以下のものがそろっているか確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、NTT窓口等へお問い合わせください。

本体（一式）



本装置 1台



原稿セット台 1個



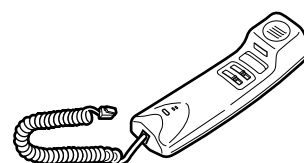
原稿スタッカ 1個



電源コード 1本

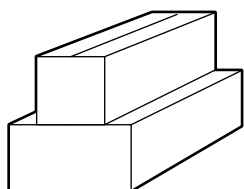


電話機コード 1本

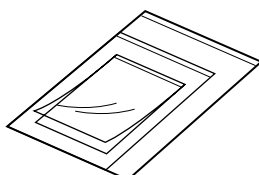


受話器 1個

付属品



トナーカートリッジ/
ドラムカートリッジ
各1個



キャリアシート
(A3、B4、A4) 各1枚



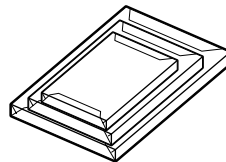
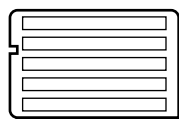
記録紙サイズ表示板
(A3□、B4□、A4□、
A4□、B5□、A5□) 各2枚



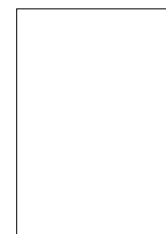
注意ラベル 1枚
(●P29)



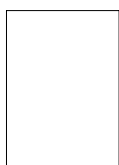
ワンタッチ宛先記入ラベル 1枚
ワンタッチ宛先記入シート 1枚
(●P29)



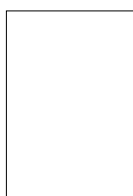
記録紙 (A3、B4、A4)
各100枚



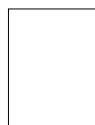
取扱説明書 (本書) 1冊



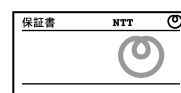
操作ガイド 1冊



工事説明書 1枚



商品アンケート
はがき 1枚



保証書 1枚

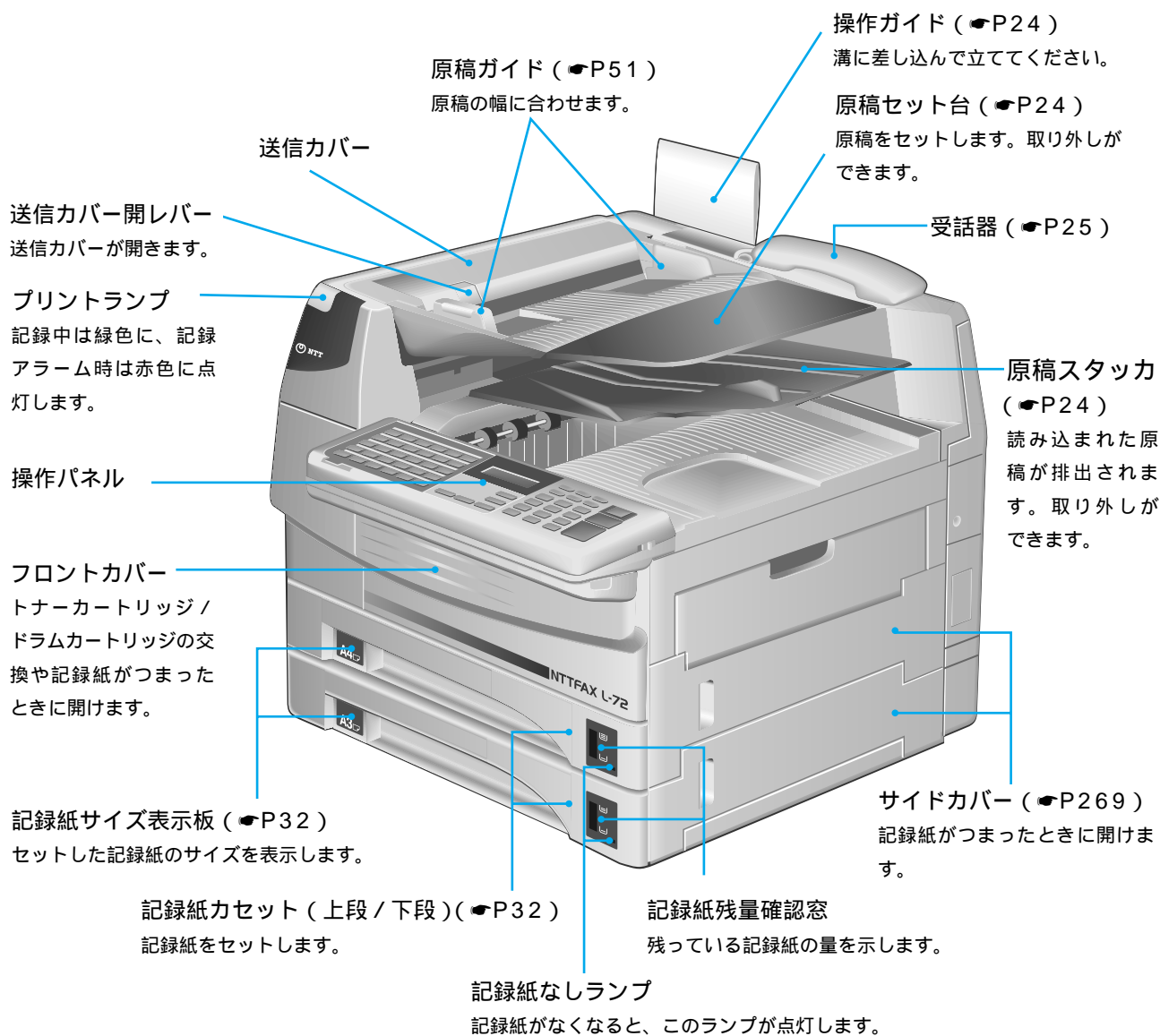


お客様問い合わせ
ラベル 1枚

各部の名称とはたらき



【装置全体】



各部の名称とはたらき

【左側面】

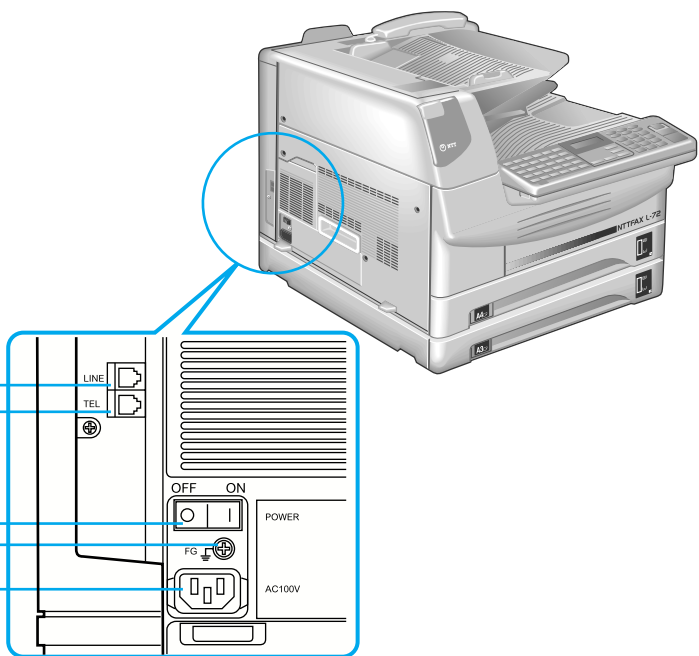
回線接続端子 (●P25)
電話機コードを接続します。

外付け電話機接続端子
(●P28)
外付け電話機を接続します。

電源スイッチ

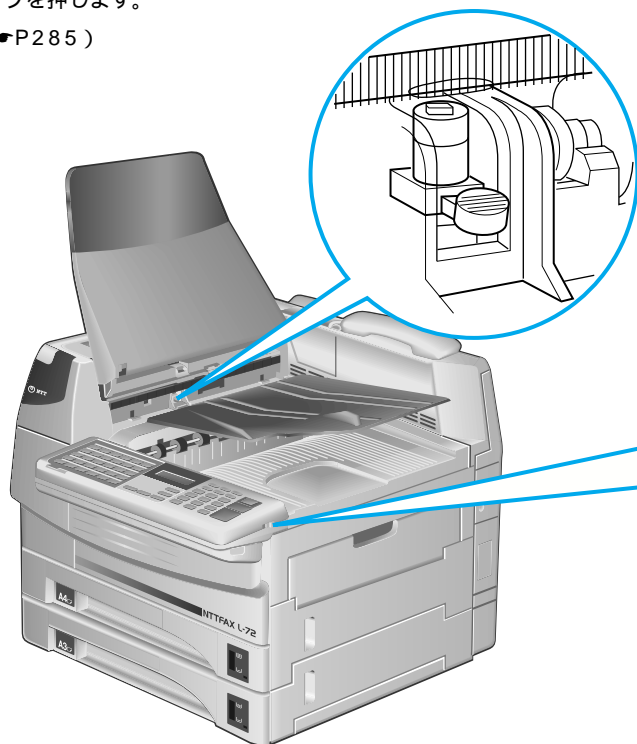
アース端子
アース線を接続します。

電源接続端子 (●P25)
電源コードを接続します。



【装置各部】

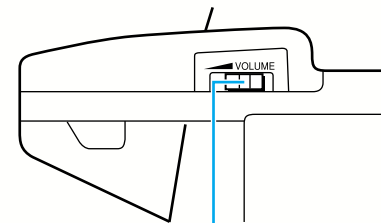
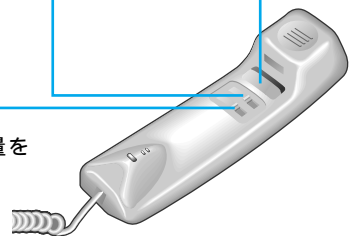
済スタンプ (オプション)
読取 / 送信済みを確認するためにスタ
ンプを押します。
(●P285)



呼出音量スイッチ
呼出音 (ベル) の音量を調節
します。(小、中、大)

フックスイッチ

受話音量スイッチ
受話器から聞こえる音量を
調節します。(小、大)



スピーカ音量スイッチ
モニタスピーカ、キータッチ音、および完了 / アラ
ーム音の音量を調節します。奥へ動かすと音が大きくな
ります。

(モニタスピーカ音量 : 切、小、中、大)
(キータッチ、完了 / アラーム音量 : 小、小、中、大)

お知らせ

モニタスピーカ音量は「切」にできませんが、キータ
ッチ、完了 / アラーム音量は「切」にできません。

【操作パネル】

【Fネット】 / 【クリア】 ボタン

Fネットアクセス機能を利用して ファクシミリ通信網と通信するときに押します。(●P182)

操作の途中で入力し直すときに押します。

【ポーズ】 ボタン

ダイヤル時に押すと、約3秒の待ち時間が入ります。内線から外線への発信や、情報サービスを受けるときのダイヤルの待ち時間の設定に使います。ワンタッチボタンや短縮ダイヤルに登録するときにも使用できます。

【受信モード】 / 【サブアドレス】 ボタン

受信モード(自動受信/手動受信/留守受信)を切り替えるときに押します。(●P74)

G4通信ユニット(オプション)を増設している場合には、ISDN サブアドレスを指定するときに押します。

【短縮】 / 【ハイフン】 ボタン

短縮ダイヤルを使うときに押します。(●P57、111)
ダイヤルまたは名称に「- (ハイフン)」を入力するときに押します。

【再ダイヤル】 / 【スペース】 ボタン

最後にダイヤルした番号にかけ直すときに押します。

(●P66、92)

ダイヤルまたは名称にスペースを入力するときに押します。

【オンフック】 / 【通信モード】 ボタン

受話器を置いたままダイヤルするときに押します。

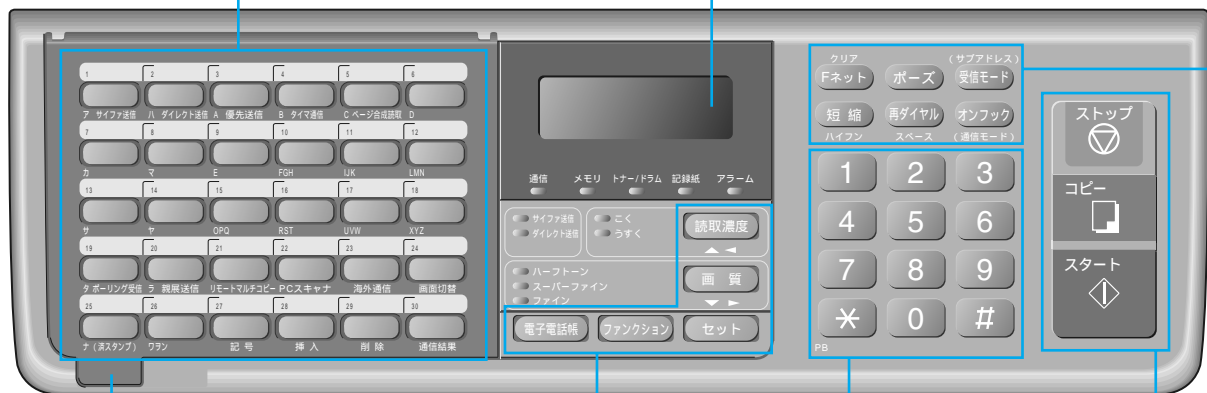
G4通信ユニット(オプション)を増設している場合に、通信モード(G4モード/G3モード)を切り替えるときに押します。(●P287)

ワンタッチボタン

ワンタッチダイヤル、グループダイヤル、ワンタッチプログラムダイヤル、中継指示ダイヤルを使うときに押します。

ディスプレイ

年月日、時刻、メモリ使用量、相手先、電話番号、各種動作の状態を表示します。



ワンタッチパネル

ワンタッチボタン01~30を使うとき、または機能ボタンとして使うときは、ワンタッチパネルを開けておきます。ワンタッチボタン31~60を使うときは、ワンタッチパネルを開けません。

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、各種の登録をするときに押します。[*]、[#] ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスを利用するときに使用します。

【PB】 ボタン

ダイヤル回線をご利用の場合に、PB信号(ピッポッパ)を送出するときに押します。(●P94)

【画質】 / 【▼】 / 【▶】 ボタン

画質モードを選択するときに押します。(●P52)
ディスプレイのカーソルを下または右に移動させるときに押します。

【読取濃度】 / 【▲】 / 【◀】 ボタン

原稿の読取濃度を選択するときに押します。(●P53)
ディスプレイのカーソルを上または左に移動させるときに押します。

【電子電話帳】 ボタン

電子電話帳を使うときに押します。(●P58)

【ファンクション】 ボタン

機能を選択するときや、各種登録/設定を行うときに押します。

【セット】 ボタン

入力内容を確定するときに押します。

【ストップ】 ボタン

通信や登録などの操作を中止するとき、またはアラーム音を止めるときに押します。

【コピー】 ボタン

コピーをとるときに押します。(●P86)

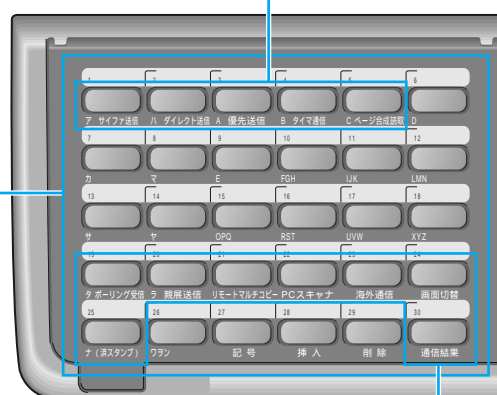
【スタート】 ボタン

通信を開始するときや、コピーを開始するときに押します。

各部の名称とはたらき

[ア] ~ [ワラン] [A] ~ [XYZ]
[記号] ボタン
文字の入力をするときに押します。(●P44)
[挿入] ボタン
1文字挿入するときに押します。(●P47)
[削除] ボタン
1文字削除するときに押します。(●P47)

[サイファ送信] ボタン
サイファ送信を行うときに押します。(●P171)
[ダイレクト送信] ボタン
ダイレクト送信を行うときに押します。(●P60)
[優先送信] ボタン
優先送信を行うときに押します。(●P118)
[タイマ通信] ボタン
タイマ通信を行うときに押します。(●P119)
[ページ合成読取] ボタン
ページ合成読取送信またはページ合成読取コピーを行うときに押します。(●P89、134)



[ポーリング受信] ボタン
ポーリング受信を行うときに押します。(●P147)
[親展送信] ボタン
親展送信を行うときに押します。(●P155)
[リモートマルチコピー] ボタン
リモートマルチコピー送信を行うときに押します。(●P131)
[PCスキャナ] ボタン
PCスキャナを使うときに押します。(●P236)
[海外通信] ボタン
海外送信を行うときに押します。(●P136、138)

[画面切替] ボタン
ディスプレイの表示内容を、動作表示に切り替えるときに押します。(●P68、83)
[済スタンプ] ボタン
済スタンプ (オプション) を使うときに押します。(●P285)
[通信結果] ボタン
送受信の状態や、通信結果を表示させるときに押します。(●P70、84、149)

【ランプ表示】

「サイファ送信」ランプ (●P171)
サイファ送信を設定しているときに点灯 (緑色) します。
「ダイレクト送信」ランプ (●P60)
ダイレクト送信を設定しているときに点灯 (緑色) します。

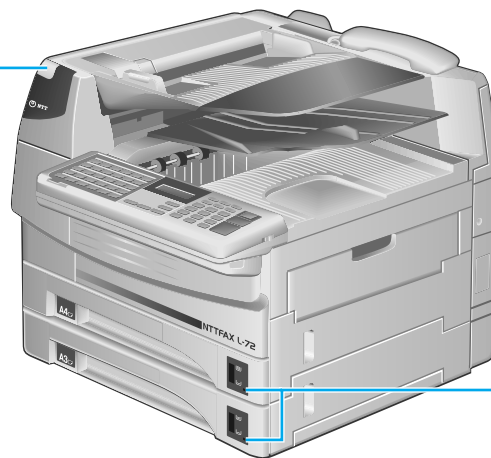
「画質」ランプ (●P52)
選択した画質モード (ハーフトーン、スーパーファイン、ファイン) のランプが点灯 (緑色) します。「標準」を選択したときは、すべての画質ランプが消えます。

「読取濃度」ランプ (●P53)
選択した読取濃度 (こく、うすく) のランプが点灯 (緑色) します。「普通」を選択したときは、すべての読取濃度ランプが消えます。



「通信」ランプ
送信中や受信中に点灯または点滅 (緑色) します。
「メモリ」ランプ
メモリに文書が蓄積されているときに点灯 (緑色) します。
「トナー/ドラム」ランプ
トナーがなくなったとき、またはトナーカートリッジが正しくセットされていないとき、ドラムの交換が必要になったときに点灯 (赤色) します。(●P273、275)
「記録紙」ランプ
記録紙がなくなったとき、または記録紙カセットが正しくセットされていないときに点灯 (赤色) します。(●P272)
「アラーム」ランプ
本装置に異常が発生したときに点灯 (赤色) します。

プリントランプ
記録中は緑色に、記録アラーム時は赤色に点灯します。



記録紙なしランプ
記録紙がなくなると、このランプが点灯 (赤色) します。

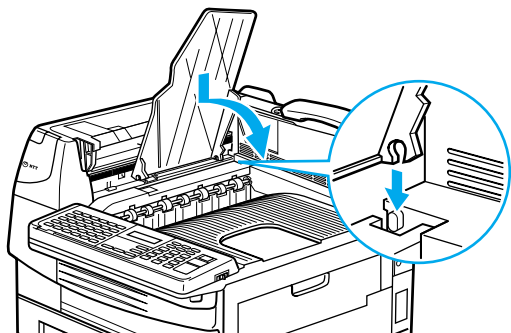
機器を設置、接続します

設置工事は担当者（工事担任者資格を有する者）におまかせください。

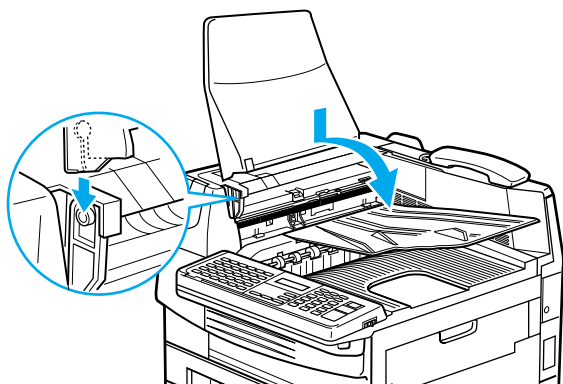
本装置をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ「機器使用料金」は不要となります。

原稿スタッカ、原稿セット台、操作ガイドを取り付ける

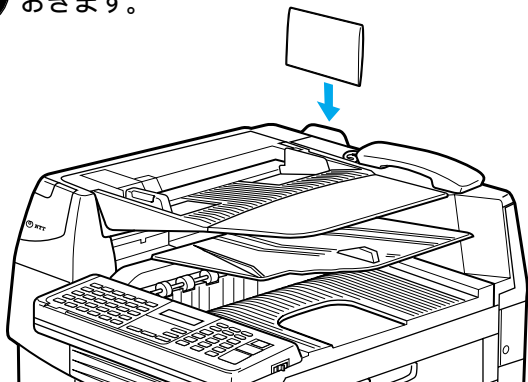
- ① 原稿スタッカを取り付けます。



- ② 原稿セット台を「カチッ」と音がするまで差し込みます。



- ③ 操作ガイドを本体の溝に差し込んで立てておきます。



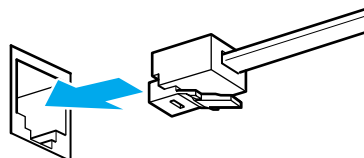
⚠️ 注意

本装置底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

受話器、電源、電話回線を接続する

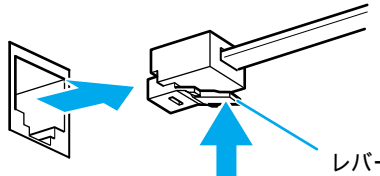
右図の接続を行います。

受話器コードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

受話器コードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

STOP お願い

電話回線がモジュラジャック式でないときは、NTT窓口等へお問い合わせください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されていた場合には、本装置あるいは外付け電話機をご使用になれないことがあります。この場合には、他の電話機をはずして接続してください。

⚠️ 警告

電源コードは必ず付属のものをお使いください。それ以外のもをお使いになると、火災・感電の原因となることがあります。万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

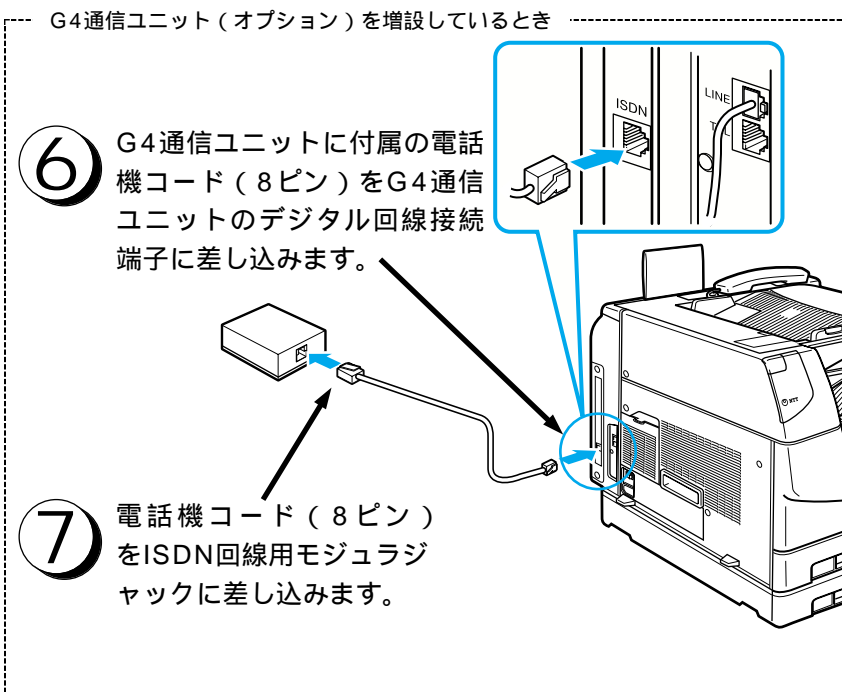
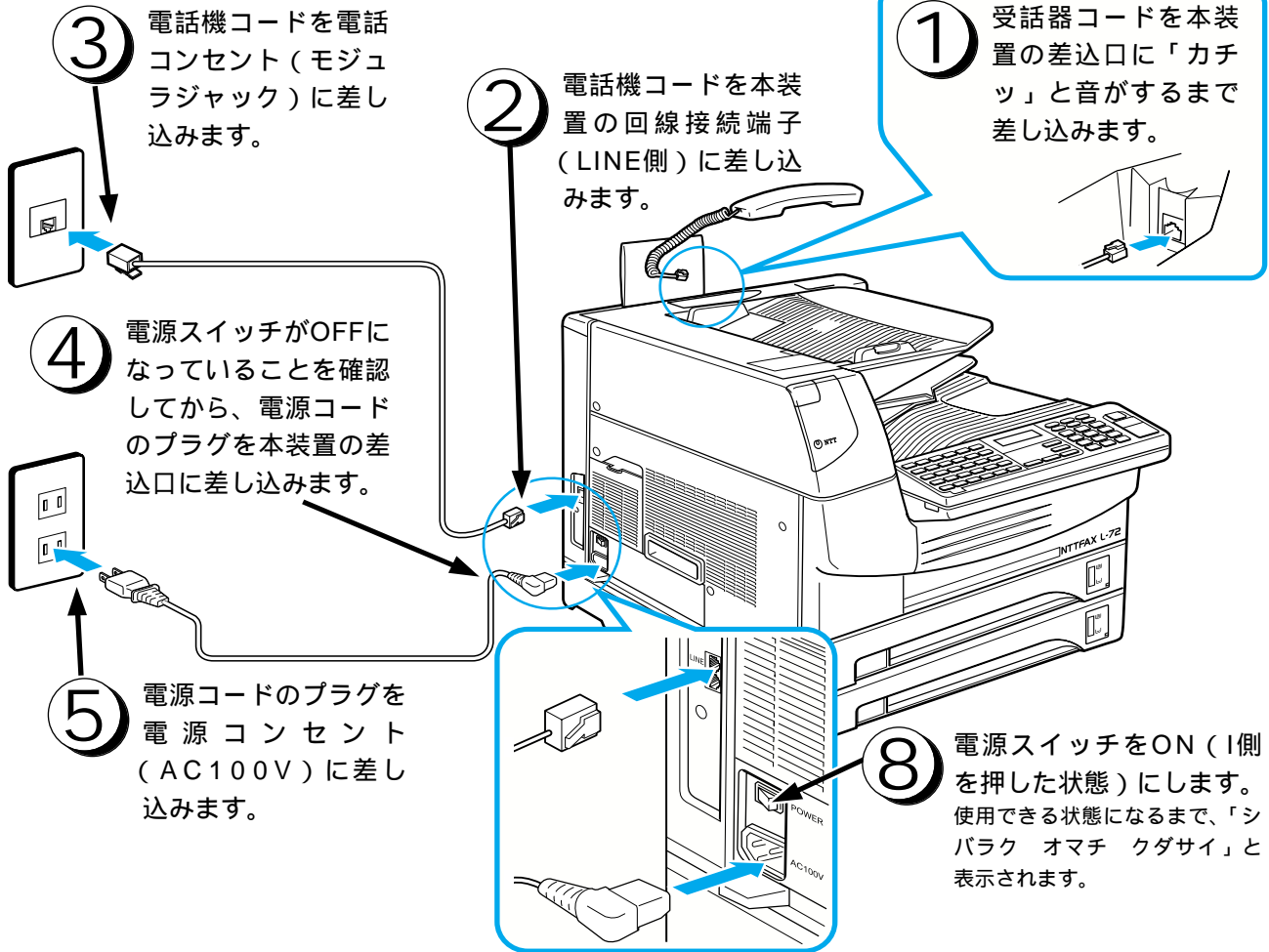
1 お使いになる前に

2 ファクスを送る

3 ファクスを受ける

4 コピーする

5 電話をかける／
受ける



お知らせ

電源スイッチは、トナーカートリッジとドラムカートリッジ、記録紙をセットしたあとでONにしてください。（P30、32）

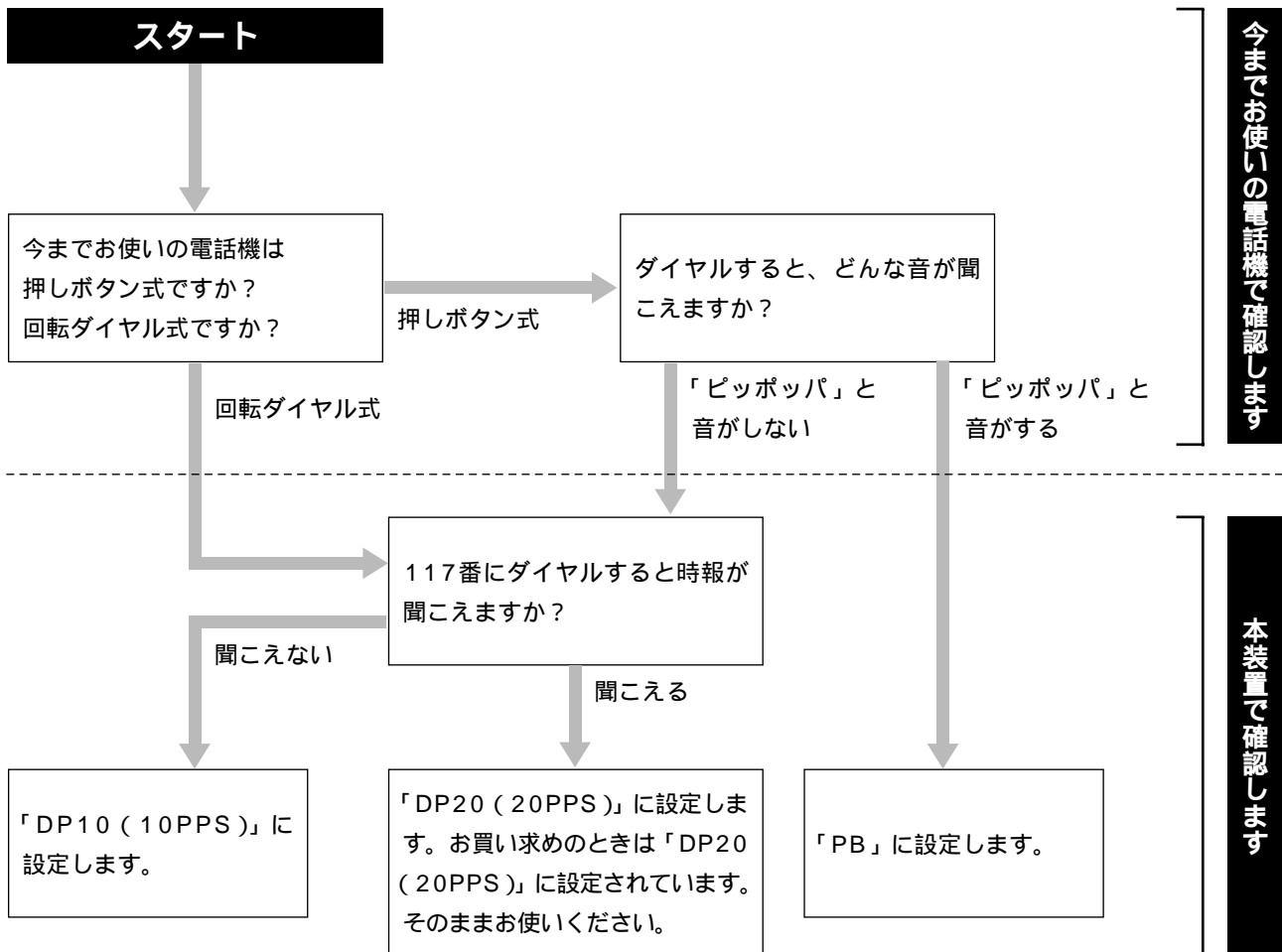
機器を設置、接続します

電話回線の種別を設定する

電話回線にはダイヤル回線（DP）とプッシュ回線（PB）の2つの種類があります。また、ダイヤル回線には10PPSと20PPSの2つのダイヤルスピードがあります。

現在お使いの電話機で、電話回線の種類を確認して回線種別を設定します。

回線種別を見分ける



今までお使いの電話機で確認します

本装置で確認します



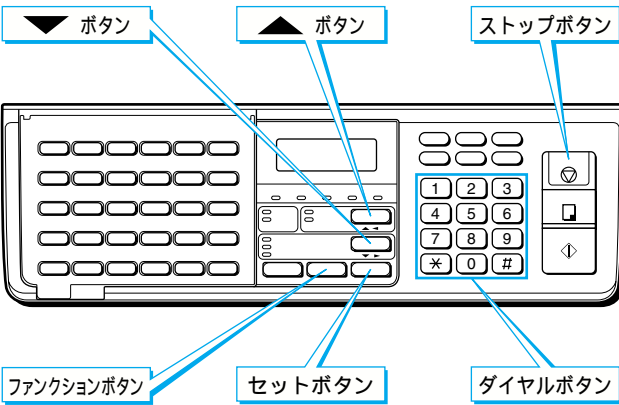
お知らせ

117番（時報）、177番（天気予報）にダイヤルすると、通話料金がかかります。

お願い

回線の種別がわからないときは、NTT窓口等へお問い合わせください。

回線種別は正しく設定してください。正しく設定していないと、電話がかからなかったり、違う相手先にかかったりします。



回線種別を設定する

1

ファンクション ボタン、**5**、**セット** ボタン、**3**、**セット** ボタン、**2** を押します。

ソウチ セッテイ (1-5)
 1: ハッシンモト キロク ?
 2: カイセン シュベ ッ ?
 3: ホーム ポ ジ ション ?

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

2

セット ボタンを押します。

カイセン シュベ ッ
 1. DP 20
 2. DP 10
 3. PB



3

1 ~ **3** のいずれかを押して、回線種別を選択します。

- 1** : DP20 (20PPS)
- 2** : DP10 (10PPS)
- 3** : PB



例: **1** を押した場合

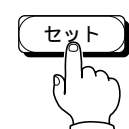
カイセン シュベ ッ
 1. DP 20
 2. DP 10
 3. PB

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

4

セット ボタンを押します。

ソウチ セッテイ (1-5)
 1: ハッシンモト キロク ?
 2: カイセン シュベ ッ ?
 3: ホーム ポ ジ ション ?

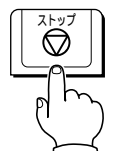


5

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45
 0%



ワンポイント.....

設定操作を中止するには **ストップ** ボタンを押します。

待機画面の表示は 日付 / 時刻と、蓄積した原稿のメモリ使用量 (%)、通信状況 (「ソウシンチュウ」など) が表示されます。

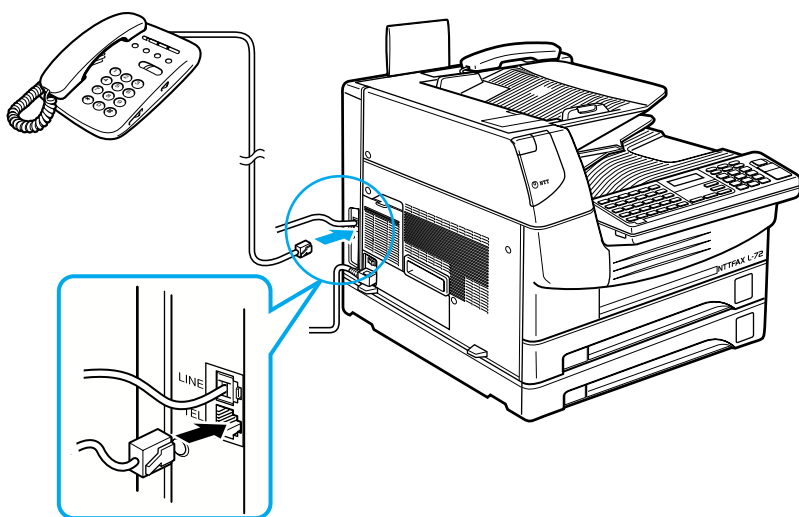
お知らせ

回線種別の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

機器を設置、接続します

外付け電話機を接続する

お手持ちの電話機（留守番電話機など）を外付け電話機として接続するときは、外付け電話機の電話機コードを本装置（左側面）の外付け電話機接続端子（TEL側）に差し込んでください。外付け電話機は1台のみ接続でき、電話回線への発信／着信ができます。



お知らせ

外付け電話機を使用しているときは、通信とコピーはできません。

外付け電話機で通話しているときに本装置の受話器を取りあげると、外付け電話機と相手先との三者通話になってしまいますので、ご注意ください。

お願い

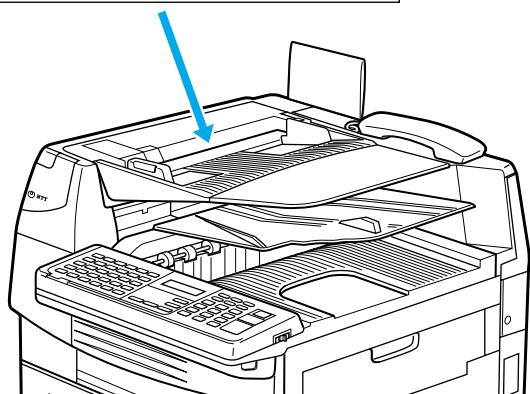
外付け電話機は、電話回線の種類に合ったものをお使いください。外付け電話機の種類によってはご使用になれない場合があります。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

外付け電話機の電話機コードがモジュラプラグ式でないときは、NTT窓口等へお問い合わせください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

注意ラベルを貼り付ける

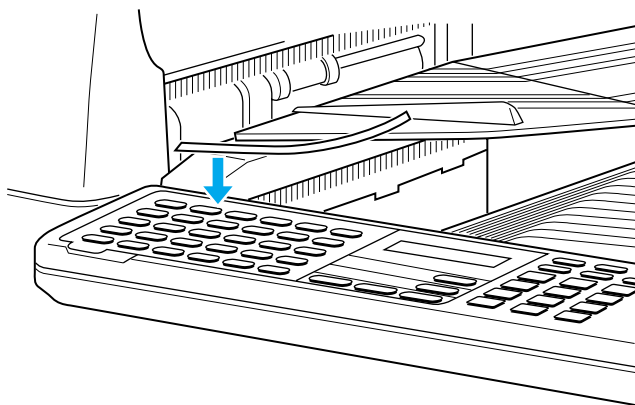
注意ラベルを原稿セット台の周辺に貼り付けます。

送る面を上にしてセットしてください。



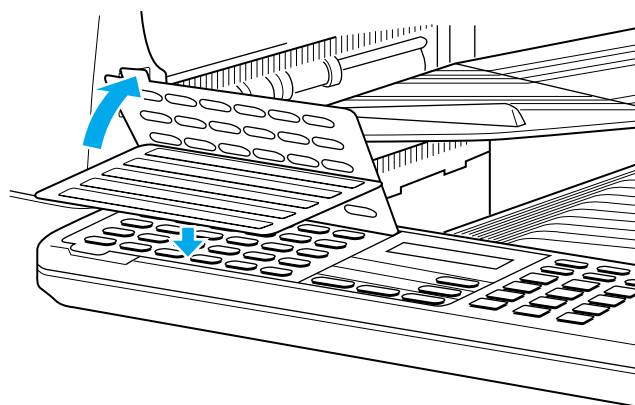
ワンタッチ宛先記入ラベルを貼り付ける

ワンタッチボタン01～30に登録した相手先の名前を記入して貼り付けます。



ワンタッチ宛先記入シートを取り付ける

ワンタッチボタン31～60に登録した相手先の名前を記入して、ワンタッチパネルを開けてから取り付けます。



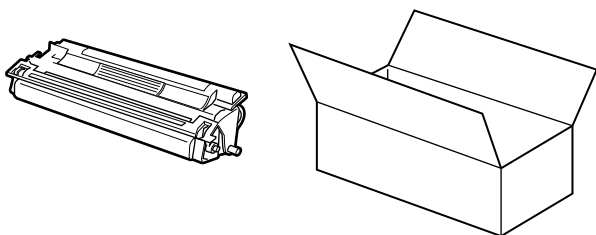
STOP お願い

注意ラベルは原稿のセットに関するラベルです。記録紙カセットの周辺には貼り付けないでください。

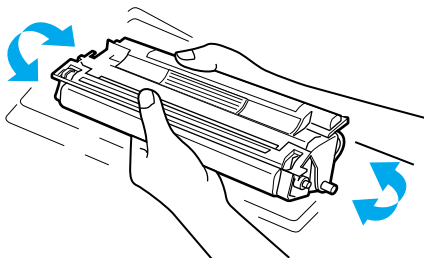
機器を設置、接続します

トナーカートリッジ/ドラムカートリッジをセットする

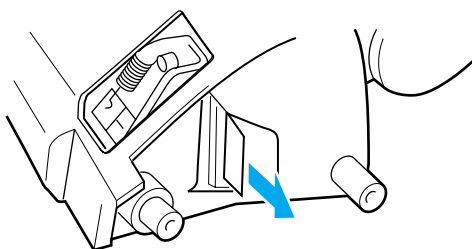
- ① トナーカートリッジを箱から取り出します。



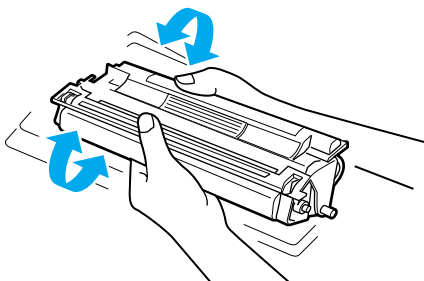
- ② トナーカートリッジを矢印の方向に4~5回振ります。



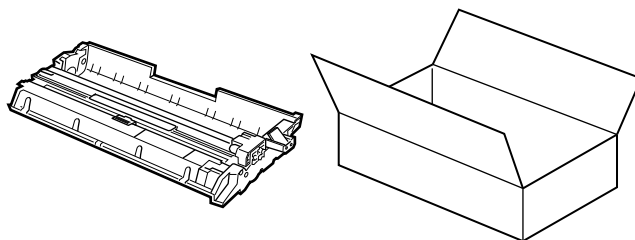
- ③ 切れないように、フィルムをゆっくりと引き抜きます。



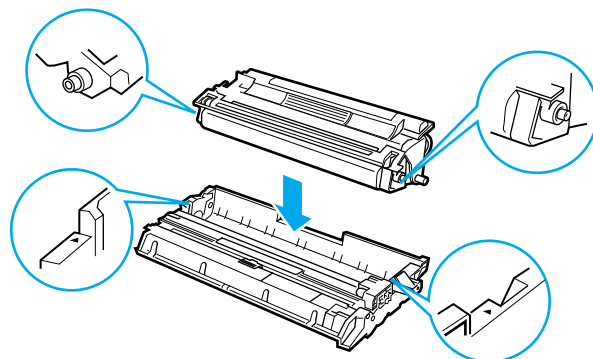
- ④ トナーカートリッジを矢印の方向に4~5回振ります。



- ⑤ ドラムカートリッジを箱から取り出します。

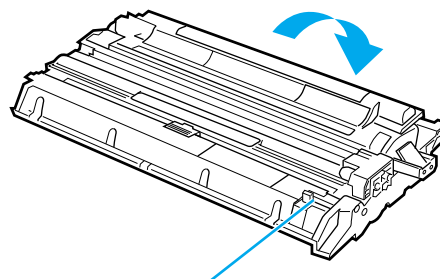


- ⑥ トナーカートリッジをドラムカートリッジにセットします。



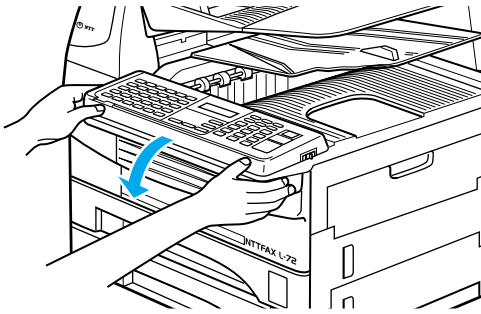
トナーカートリッジのピンとドラムカートリッジの溝を合わせてセットします。

- ⑦ トナーカートリッジを矢印の方向に倒してロックします。

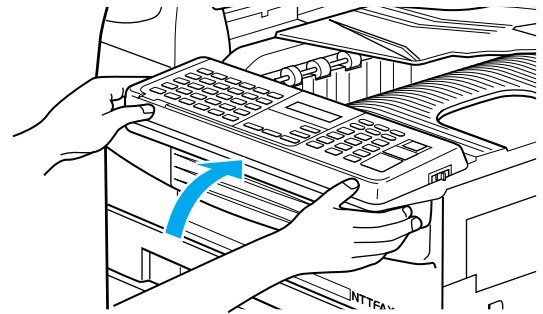


廃トナーフル検出レバーに触れないように注意してください。

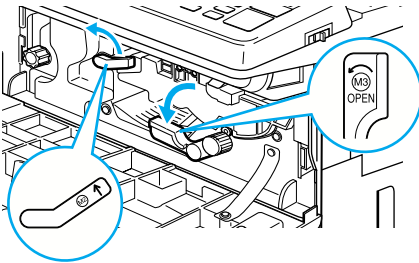
8 フロントカバーを開けます。



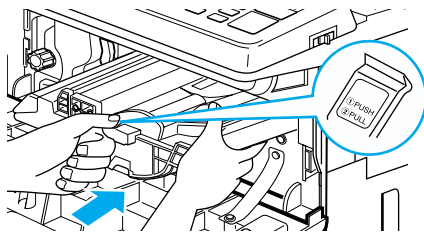
12 フロントカバーを閉めます。



9 レバー（M2）とレバー（M3）を矢印の方向へ回して、ロックを解除します。

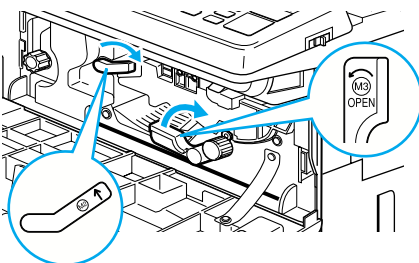


10 本体のレール（先端が緑色）に合わせて、ドラムカートリッジを静かに差し込みます。



「カチッ」と音がするまで、しっかり押し込みます。

11 レバー（M2）とレバー（M3）を戻します。



STOP お願い

トナーカートリッジ/ドラムカートリッジは正しくセットしてください。正しくセットされていないと、ディスプレイに「トナーカートリッジ イレテクダサイ」と表示され、アラームランプ（赤）とトナー/ドラムランプ（赤）、プリントランプ（赤）が点灯します。このとき、受信文書はメモリに蓄積されます。

ドラムカートリッジを取り扱うときは、廃トナーフル検出レバー（●P30、手順7）に触れないように注意してください。

感光体に手を触れないでください。感光体の表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。

⚠ 注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジは絶対に火の中に投げ込まないでください。破裂して火災ややけどの原因となります。

使用後のトナーカートリッジやドラムカートリッジはビニール袋などに入れて、燃えないゴミとして処理してください。

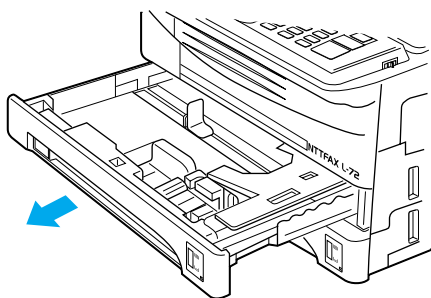
記録紙をセットします

記録紙カセットには、A3、B4、A4、A4横、B5横、A5横の記録紙がセットできます。

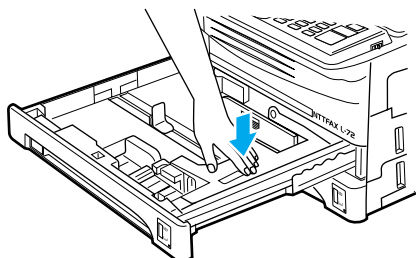
B5、A5の記録紙は横向き（記録紙の長尺方向が本装置の前後方向になる向き）にセットします（B5横、A5横）。また、A4の記録紙は横向きにセットすることもできます（A4横）。

記録紙をセットする

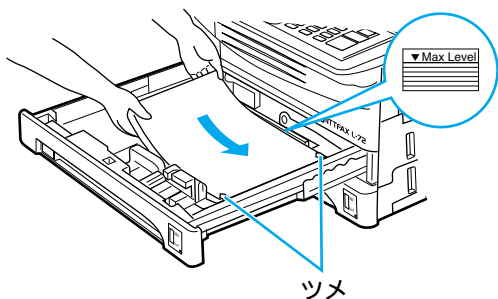
① 記録紙カセットを止まるまで引き出します。



② 記録紙底板を「カチッ」と音がするまで押し下げます。

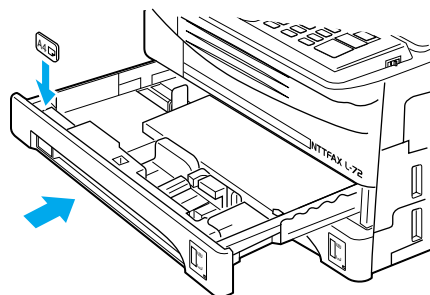


③ 記録紙の端をきちんとそろえてセットします。記録紙のかどが両側のツメからはずれないようにします。



記録紙は「Max. Level」の線を超えないようにセットしてください。

④ 記録紙サイズ表示板を入れて、記録紙カセットをゆっくりと最後まで、確実に押し込みます。



ワンポイント.....

記録紙の残量を確認するには記録紙残量確認窓で確認できます。（●P19）
記録紙がなくなるとディスプレイに「キロクシヲ セット シテクダサイ」と表示され、操作パネルの記録紙ランプ（赤）と、記録紙がなくなった記録紙カセットの記録紙なしランプ（赤）が点灯します。上段 / 下段とも記録紙がなくなると、「ピー」という音が鳴ります。
記録紙を補給するには（●P272）

STOP お願い

セットする記録紙の量は、カセットに表示されている「Max. Level」の線より上にならないようにしてください。「Max. Level」の線を超える量をセットすると、紙づまりの原因となります。

新しい記録紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。記録紙カセットには、適応サイズ以外の記録紙はセットしないでください。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度使用した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

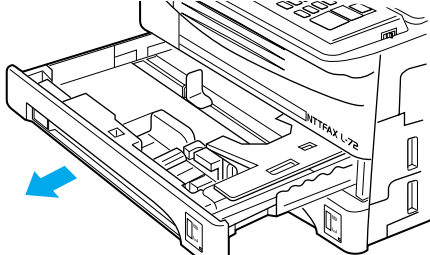
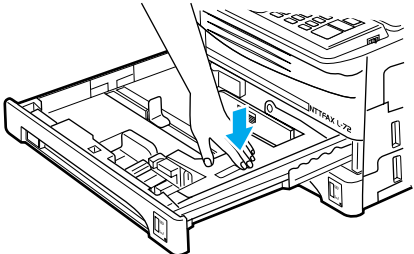
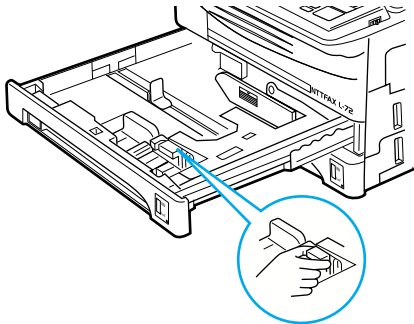
記録紙カセットを戻すときは、ゆっくりと確実に最後まで戻してください。記録紙カセットが正しくセットされていないと、紙づまりの原因となります。

プリント中には、記録紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。

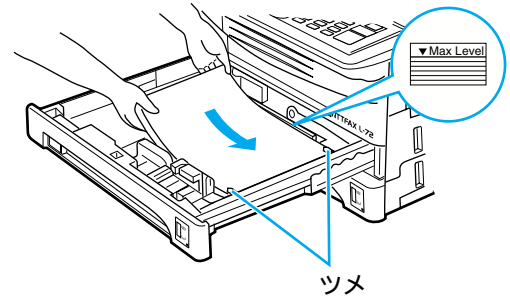
記録紙はNTT推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。記録紙カセットは、上段 / 下段とも必ず本体にセットしてください。

記録紙サイズを変更する

本装置の記録紙カセットは、A3からA5までの各サイズに共用できるユニバーサルタイプです。お使いになる記録紙のサイズに合わせて調整してから、記録紙をセットしてください。

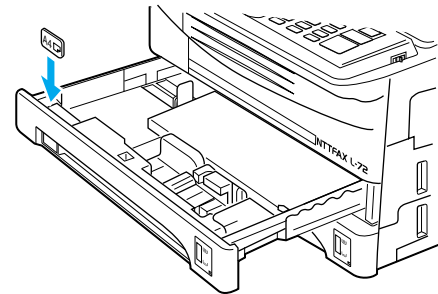
- ① 記録紙カセットを引き出します。

- ② 記録紙底板を「カチッ」と音がするまで押し下げます。

- ③ 記録紙ガイド(横)を図のように指で押さえながら、記録紙の幅に合わせて移動します。

- ④ 記録紙エンドガイド(後)を、図のように指で押さえながら、記録紙の長さに合わせて移動します。


- ⑤ 記録紙の端をきちんとそろえてセットします。記録紙のかどが両側のツメからはずれないようにします。

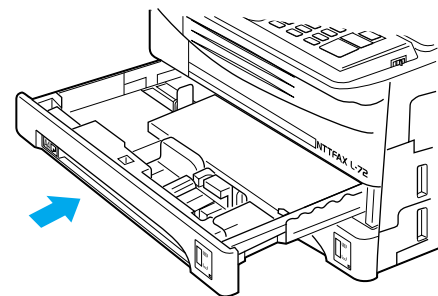


記録紙は「Max. Level」の線を超えないようにセットしてください。

- ⑥ セットした記録紙サイズに合わせて、記録紙サイズ表示板を交換します。



- ⑦ 記録紙カセットを、ゆっくりと最後まで、確実に押し込みます。

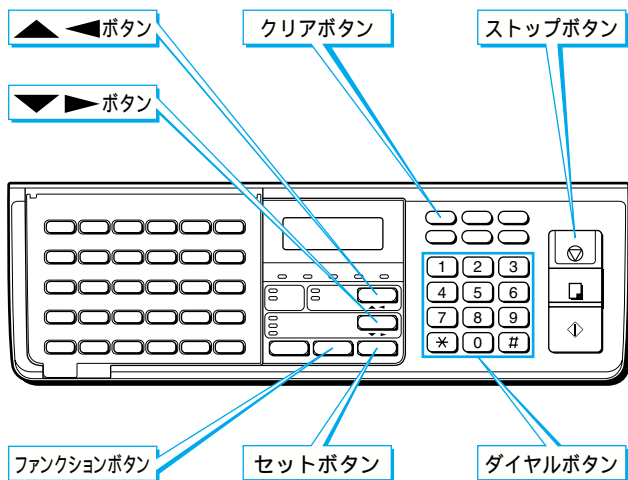


-  **ワンポイント**.....

記録紙カセットにセットできる記録紙サイズはA3、B4、A4、A4横、B5横、A5横サイズの記録紙がセットできます。

日付 / 時刻を合わせます

本装置をお使いになる前に、現在の日付と時刻を登録してください。
時刻を指定して送信するときや、レポートなどに正確な通信時刻を記録するために必要です。



1 (ファンクション) ボタンを押します。

ファンクション (1-7)
1: キノウ センタク ?
2: リスト プリント モード ?
3: シュシン モード ?



2 6 を押します。

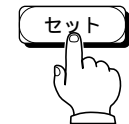
ファンクション (1-7)
4: ダイアル トウロク モード ?
5: セッテイ モード ?
6: トウロク モード ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または (ファンクション) ボタンを押して選択することもできます。

3 (セット) ボタンを押します。

トウロク モード (1-11)
1: トケイ セット ?
2: ハッシンモト データ ?
3: ハッシンモト バンゴウ ?



4 1 を押します。

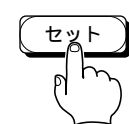
トウロク モード (1-11)
1: トケイ セット ?
2: ハッシンモト データ ?
3: ハッシンモト バンゴウ ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または (ファンクション) ボタンを押して選択することもできます。

5 (セット) ボタンを押します。

トケイ セット
1997.01.01 00:00



ワンポイント.....

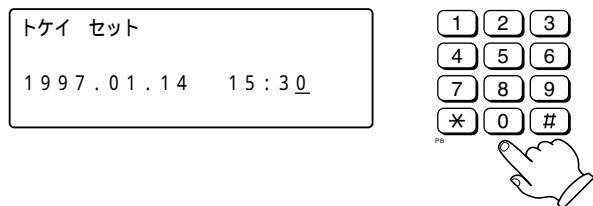
登録操作を中止するには (ストップ) ボタンを押します。

STOP お願い

時刻表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は、登録をやり直してください。(時間精度: 平均月差 ± 30秒以内)
長期間電源が切れていると、日時がずれることがあります。その場合は、登録をやり直してください。

6 現在の日付と時刻を入力します。

例：1997年1月14日午後3時30分
（「199701141530」と入力）

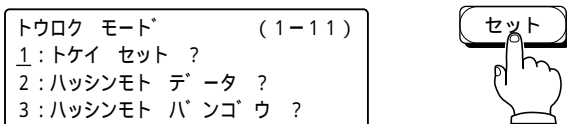


日付 / 時刻は次の形式で入力します。

- 年号：西暦年号4桁
- 月：2桁
- 日：2桁
- 時刻：24時間制

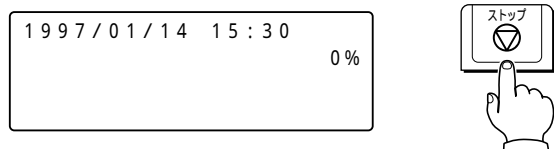
入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

7 [セット] ボタンを押します。



8 [ストップ] ボタンを押します。

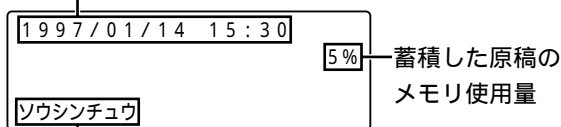
待機画面に戻り、登録した日付 / 時刻が表示されます。



ワンポイント.....

待機画面の表示は以下の内容が表示されます。

現在の日付 / 時刻

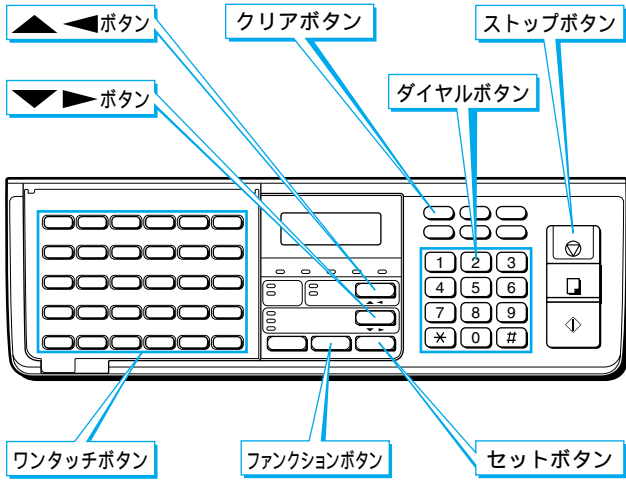


現在の通信状況など

自分の名前とファクス番号を登録します

(発信元名称 / 発信元番号)

発信元名称（会社名など）と発信元番号（ファクス番号）を登録します。ファクスを送信したとき、相手先の記録紙の先端に、送信時刻などといっしょにこちらの名前やファクス番号がプリントされます（発信元記録）。



発信元名称（発信元データ）を登録する

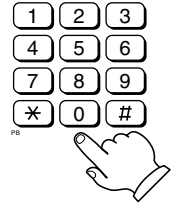
1 **ファクション** ボタンを押します。

ファクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プリント モード ?
 3: シュジン モード ?



2 **6** を押します。

ファクション (1-7)
 4: ダイヤル トウロク モード ?
 5: セツテイ モード ?
 6: トウロク モード ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファクション** ボタンを押して選択することもできます。

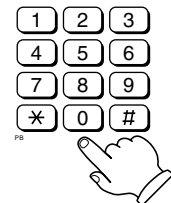
3 **セット** ボタンを押します。

トウロク モード (1-11)
 1: トケイ セット ?
 2: ハッシンモト データ ?
 3: ハッシンモト パンゴウ ?



4 **2** を押します。

トウロク モード (1-11)
 1: トケイ セット ?
 2: ハッシンモト データ ?
 3: ハッシンモト パンゴウ ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファクション** ボタンを押して選択することもできます。

5 **セット** ボタンを押します。

ハッシンモト データ
 —



ワンポイント.....

登録操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。

発信元名称を削除するには
 手順1~5の操作をする

[クリア] ボタンを押す

[セット] ボタンを押す

[ストップ] ボタンを押す

発信元名称を相手の記録紙にプリントされないようにするには

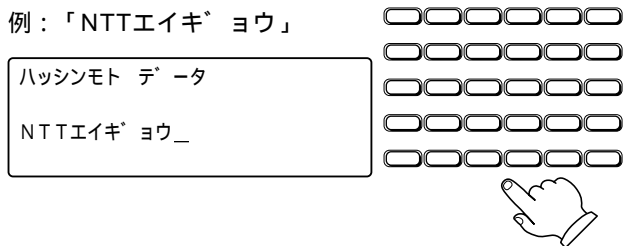
発信元記録を「ツケナイ」に設定します。(P260)

G4通信ユニット（オプション）を増設しているときは

G4専用の発信元略称を登録することができます。

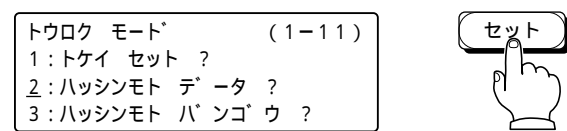
(P42)

6 自分の名前（最大40文字）を入力します。

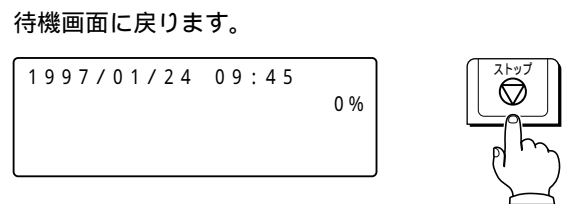


文字を入力するには（●P44）
 入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。
 [クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

7 [セット] ボタンを押します。

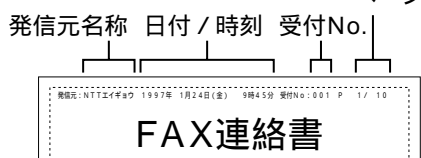


8 [ストップ] ボタンを押します。



ワンポイント.....

発信元記録の設定は
 発信元名称などを相手の記録紙にプリントするかどうか、また、プリントする場合には、画像の内側にプリントするか外側にプリントするかを設定します。
 設定のしかたについては「登録 / 設定操作一覧」（●P260）をご覧ください。
 発信元記録のプリントされる位置は
 お買い求めのときは画像の内側にプリントされるように設定されています。発信元記録の設定により画像の外側にプリントされるようにすることもできます。
 発信元記録の位置設定が「ナカ」のとき
 ページ番号 / 枚数



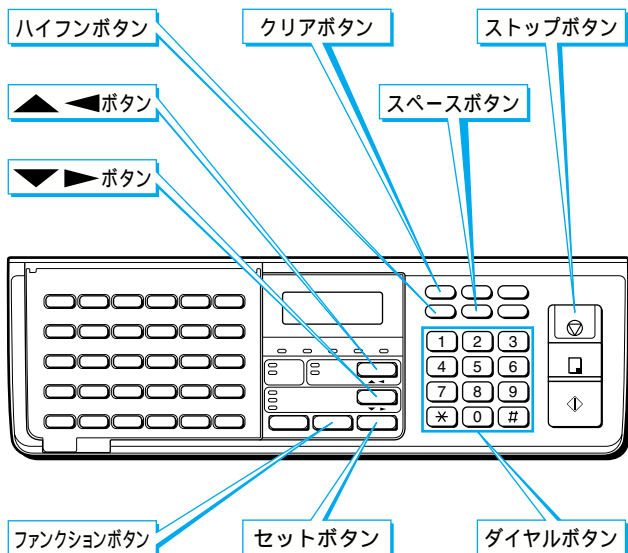
発信元記録により、送信する原稿の上部が消えることがあります。

発信元記録の位置設定が「ソト」のとき



自分の名前とファクス番号を登録します

(発信元名称 / 発信元番号)



発信元番号を登録する

1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プリント モード ?
 3: シ ユシン モード ?



2 **6** を押します。

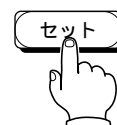
ファンクション (1-7)
 4: ダ イヤル トウロク モード ?
 5: セッテイ モード ?
 6: トウロク モード ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

3 **セット** ボタンを押します。

トウロク モード (1-11)
 1: トケイ セット ?
 2: ハッシンモト デ ータ ?
 3: ハッシンモト バ ンゴ ウ ?



4 **3** を押します。

トウロク モード (1-11)
 1: トケイ セット ?
 2: ハッシンモト デ ータ ?
 3: ハッシンモト バ ンゴ ウ ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

5 **セット** ボタンを押します。

ハッシンモト バ ンゴ ウ
 —



ワンポイント.....

登録操作を中止するには **ストップ** ボタンを押します。

発信元番号を削除するには
 手順1~5の操作をする

[クリア] ボタンを押す

セット ボタンを押す

ストップ ボタンを押す

G4通信ユニット (オプション) を増設しているときは
 G4専用の発信元番号を登録します。(P40)

6 自分のファクス番号（最大20桁）を入力します。

例：「03-3509-5538」

ハッシンモト パンゴウ
03-3509-5538_



入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた番号に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して、最初から入力し直すこともできます。

入力には、ダイヤルボタンのほか、[ハイフン] ボタン、[スペース] ボタンが使用できます。

ただし、ハイフンを入力した場合でも、相手先のレポートやディスプレイにはスペースが表示されます。

7 [セット] ボタンを押します。

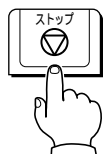
トウロク モード (1-11)
1: トケイ セット ?
2: ハッシンモト データ ?
3: ハッシンモト パンゴウ ?



8 [ストップ] ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45 0%



お知らせ

受信側のファクスによっては、相手先のレポートやディスプレイに発信元番号が表示されないことがあります。発信元番号にハイフンを入力した場合でも、相手先のレポートやディスプレイには、スペースとして表示されます。

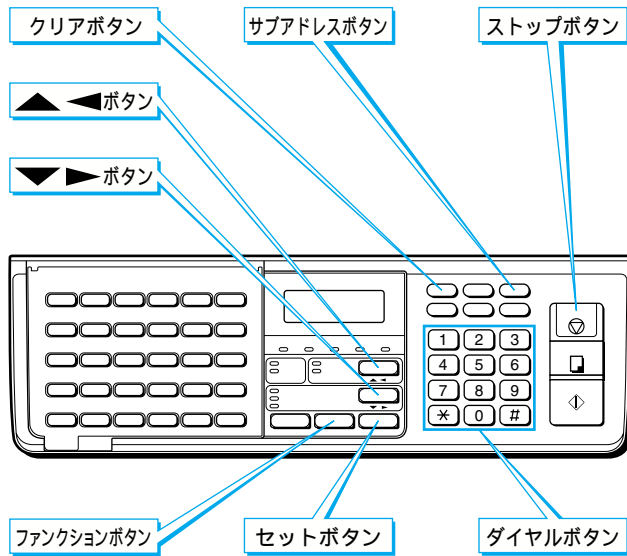
発信元番号は、サイファ送信などを行う際に使用しますので、必ず正確に登録してください。

発信元名称を登録せずに発信元記録を「ツケル」に設定すると、発信元名称の代わりに発信元番号がプリントされます。

1. お使いになる前に

G4モード(オプション)用のファクス番号と略称を登録します (G4発信元番号 / G4発信元略称) **G4**

G4通信ユニット(オプション)を増設しているときは、G4発信元番号(ISDN回線の番号)とG4発信元略称(自局名を示す略号)を登録します。



G4 発信元番号を登録する

ISDNサブアドレスを設定したいときは、サブアドレスも含めて登録してください。

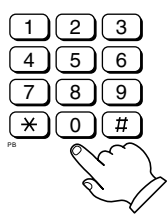
1 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プリント モード ?
 3: シュシン モード ?



2 6 を押します。

ファンクション (1-7)
 4: ダイヤル トウロク モード ?
 5: セツテイ モード ?
 6: トウロク モード ?



ダイヤルボタンの代わりに[▲] [▼] または [ファンクション] ボタンを押して選択することもできます。

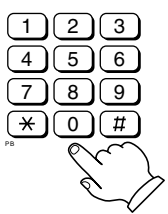
3 セット ボタンを押します。

トウロク モード (1-11)
 1: トケイ セット ?
 2: ハッシンモト データ ?
 3: ハッシンモト バンゴウ ?



4 0 を押します。

トウロク モード (1-11)
 10: G4ハッシンモト バンゴウ ?
 11: G4ハッシンモト リャクショウ ?



ダイヤルボタンの代わりに[▲] [▼] または [ファンクション] ボタンを押して選択することもできます。

ワンポイント.....

- 登録操作を中止するには [ストップ] ボタンを押します。
- G4発信元番号を削除するには 手順1~5の操作をする [クリア] ボタンを押す [セット] ボタンを押す [ストップ] ボタンを押す
- G4発信元番号を受信した記録紙にプリントするには 相手発信元記録を「ツケル」に設定します。(P262)

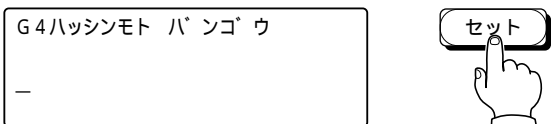
お知らせ

G4通信ユニットを増設していないときは、「セツテイデキマセン」と表示され、設定できません。

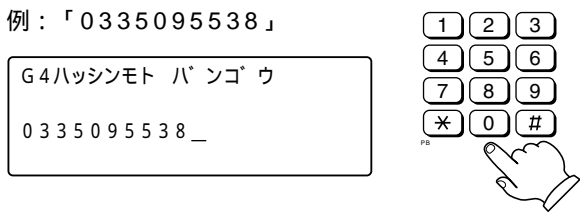
STOP お願い

間違った番号を登録すると、着信ができなくなります。番号を間違えないように、ディスプレイ表示を見ながら正確に登録してください。

5 [セット] ボタンを押します。



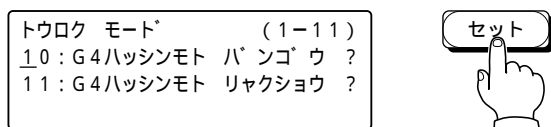
6 ISDN回線のファクス番号（最大32桁）を入力します。



番号を間違えたときは、[◀]または[▶]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。
[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

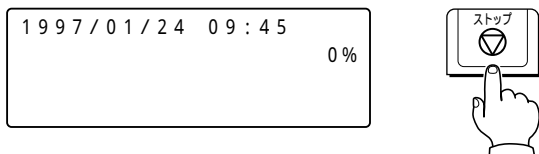
ISDNサブアドレスを入力するときは、電話番号とサブアドレスの間に[サブアドレス]ボタンを押します。

7 [セット] ボタンを押します。



8 [ストップ] ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

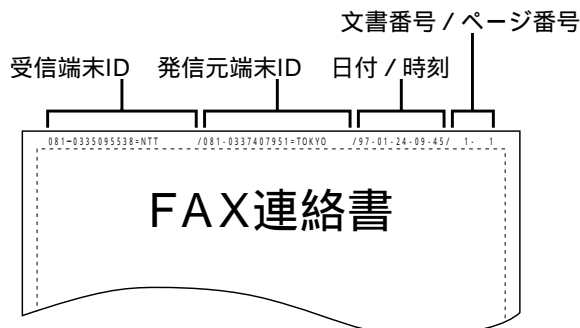


ワンポイント.....

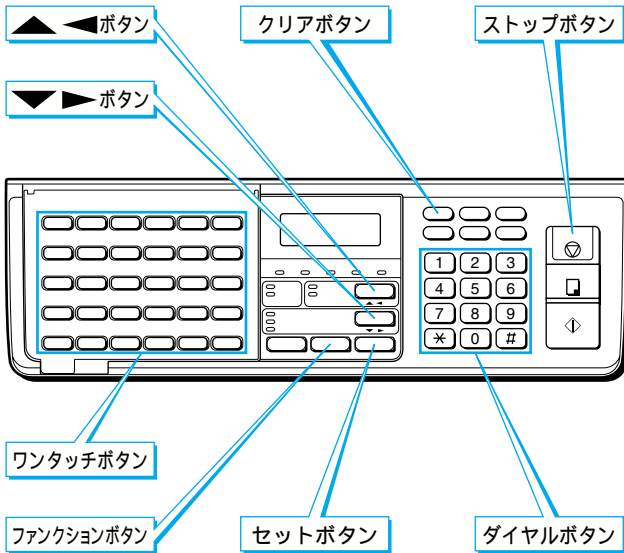
相手発信元記録の設定は
相手先のG4発信元番号やG4発信元略称などを、受信した記録紙にプリントするかどうかを設定します。お買い求めのときは、プリントされないように設定されています。

設定のしかたについては「登録 / 設定操作一覧」(P262)をご覧ください。

相手発信元記録のプリントされる位置は



G4モード (オプション) 用のファクス番号と略称を登録します (G4発信元番号 / G4発信元略称) **G4**



G4 発信元略称を登録する

G4発信元略称は、英字 (A ~ Z, a ~ z) で登録します。

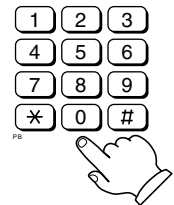
1 **ファクション** ボタンを押します。

ファクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プ リント モード ?
 3: ジ ュ シン モード ?



2 **6** を押します。

ファクション (1-7)
 4: タ イ ヤ ル トウロク モード ?
 5: セ ッ テ イ モード ?
 6: トウロク モード ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファクション** ボタンを押して選択することもできます。

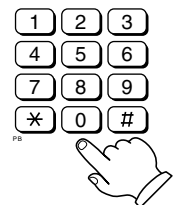
3 **セット** ボタンを押します。

トウロク モード (1-11)
 1: トケイ セット ?
 2: ハ ッ シ ン モ ト デ ー タ ?
 3: ハ ッ シ ン モ ト バ ン ゴ ウ ?



4 **0** を押します。

トウロク モード (1-11)
 10: G4ハッシンモト バ ン ゴ ウ ?
 11: G4ハッシンモト リヤクショウ ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファクション** ボタンを押して選択することもできます。

5 [▼] ボタンを押します。

トウロク モード (1-11)
 10: G4ハッシンモト バ ン ゴ ウ ?
 11: G4ハッシンモト リヤクショウ ?



ワンポイント.....

登録操作を中止するには **ストップ** ボタンを押します。

G4発信元略称を削除するには
 手順1 ~ 6の操作をする
 [クリア] ボタンを押す
セット ボタンを押す
ストップ ボタンを押す

G4発信元略称を受信した記録紙にプリントするには
 相手発信元記録を「ツケル」に設定します。
 (P262)

お知らせ

G4通信ユニットを増設していないときは、「セッテイデキマセン」と表示され、設定できません。
 G4発信元略称は、22文字まで登録できますが、端末IDとして実際にプリントされる長さは、G4発信元番号の桁数によって変わります (最小3文字)

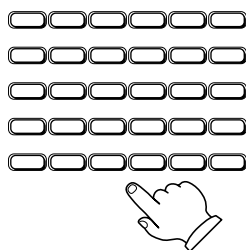
6  ボタンを押します。

G4ハッシンモト リヤクショウ
—

**7** 自分の略称（最大22文字）を英字で入力します。

例：「NTT」

G4ハッシンモト リヤクショウ
NTT_



文字を入力するには（●P44）

入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

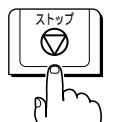
8  ボタンを押します。

トウロク モード* (1-11)
10 : G4ハッシンモト バ`ンゴ`ウ ?
11 : G4ハッシンモト リヤクショウ ?

**9**  ボタンを押します。

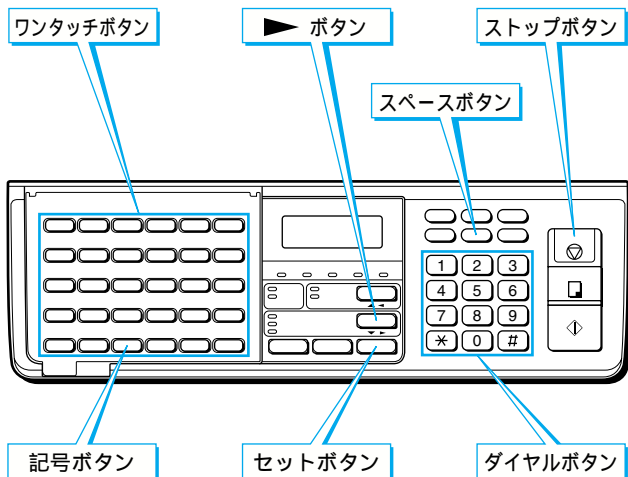
待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45
0%



文字を入力するには

発信元名称やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどの相手先名称の登録には、文字の入力が必要です。本装置では、カタカナ、英字（大文字／小文字）、記号を入力するときはワンタッチボタンを、数字を入力するときはダイヤルボタンを使います。



ワンタッチボタンと入力文字の対応表
対応するワンタッチボタンを繰り返し押し続けると、文字が以下の順序で表示されます。

ワンタッチボタン	押す回数と入力文字
1 (ア)	アイウエオアイウエオ
7 (カ)	カキクケコ
13 (サ)	サシスセソ
19 (タ)	タチツテト
25 (ナ)	ナニヌネノ
2 (ハ)	ハヒフヘホ
8 (マ)	マミムメモ
14 (ヤ)	ヤユヨヤユヨ
20 (ラ)	ラリルレロ
26 (ワ)	ワラン
3 (A)	A a
4 (B)	B b
5 (C)	C c
6 (D)	D d
9 (E)	E e
10 (FGH)	F G H f g h
11 (IJK)	I J K i j k
12 (LMN)	L M N l m n
15 (OPQ)	O P Q o p q
16 (RST)	R S T r s t
17 (UVW)	U V W u v w
18 (XYZ)	X Y Z x y z
27 (記号)	* ° ・ * # & ' () , . 。 - (SP)

(SP)はスペースです

ワンポイント.....

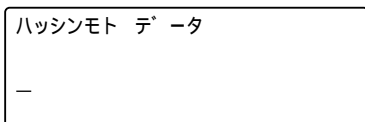
登録操作を中止するには
 ボタンを押します。

文字を入力する

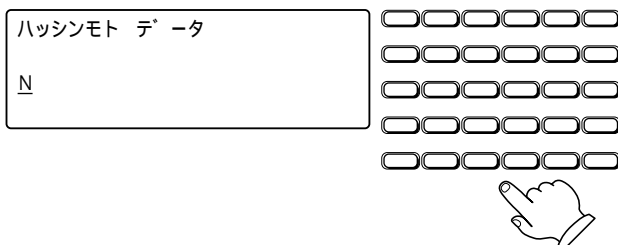
押すボタンと入力される文字との対応については「ワンタッチボタンと入力文字の対応表」をご覧ください。また、ボタンの配列については「操作パネル」(P21)をご覧ください。

例：発信元名称に「NTT エイキョウ」と入力する場合

1 発信元名称の文字入力画面を表示させます。(P36、手順1~5)



2 [LMN] ボタン (ワンタッチボタン 12) を3回押します。

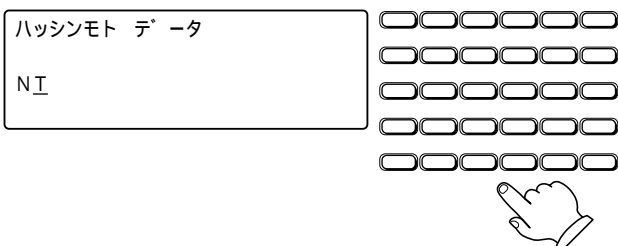


3 [▶] ボタンを押します。

表示されている文字(「N」)が確定されて、カーソルが次の文字に移動します。



4 [RST] ボタン (ワンタッチボタン 16) を3回押します。

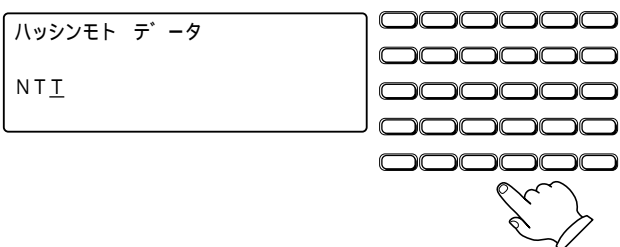


5 [▶] ボタンを押します。

表示されている文字(「T」)が確定され、カーソルが移動します。

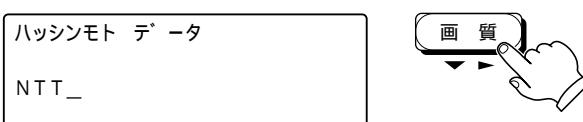


6 同様にして「T」を表示させます。



7 [▶] ボタンを押します。

表示されている文字(「T」)が確定され、カーソルが移動します。

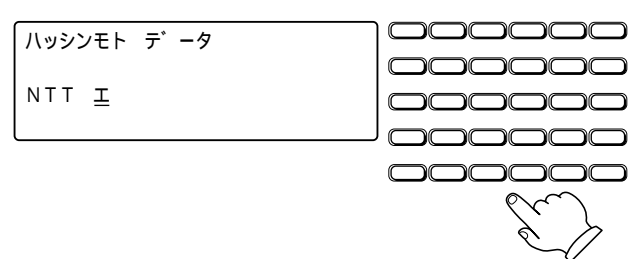


8 [スペース] ボタンを押します。

スペースが入力され、カーソルが移動します。

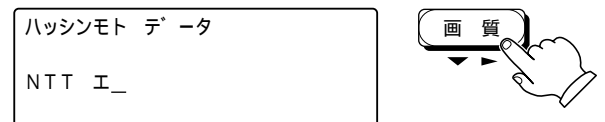


9 [ア] ボタン (ワンタッチボタン01) を4回押します。

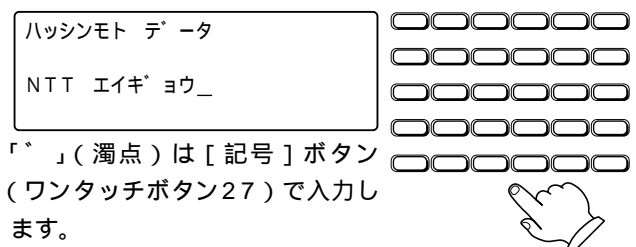


10 [▶] ボタンを押します。

「ㄱ」が確定され、カーソルが移動します。

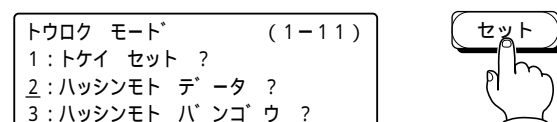


11 同様にして「イキョウ」を入力します。

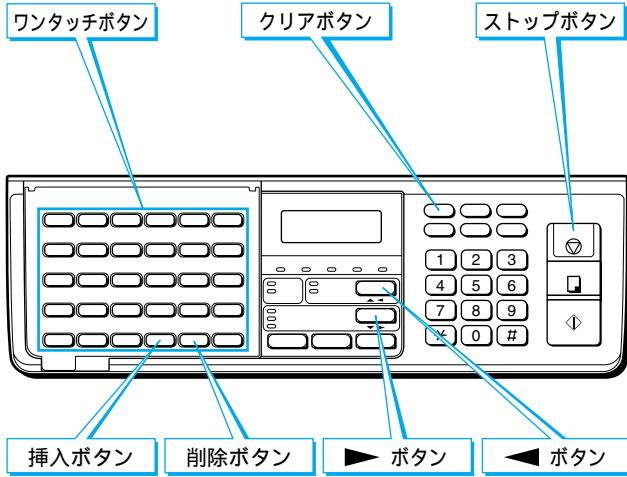


12 [セット] ボタンを押します。

「NTT エイキョウ」が登録されます。



文字を入力するには




ワンタッチボタンと入力文字の対応表

対応するワンタッチボタンを繰り返し押しすと、文字が以下の順序で表示されます。

ワンタッチボタン	押す回数と入力文字
1 (ア)	アイウエオアイウエオ
7 (カ)	カキクケコ
13 (サ)	サシスセソ
19 (タ)	タチツテト
25 (ナ)	ナニヌネノ
2 (ハ)	ハヒフヘホ
8 (マ)	マミムメモ
14 (ヤ)	ヤユヨヤユヨ
20 (ラ)	ラリルレロ
26 (ワ)	ワヲン
3 (A)	A a
4 (B)	B b
5 (C)	C c
6 (D)	D d
9 (E)	E e
10 (FGH)	F G H f g h
11 (IJK)	I J K i j k
12 (LMN)	L M N l m n
15 (OPQ)	O P Q o p q
16 (RST)	R S T r s t
17 (UVW)	U V W u v w
18 (XYZ)	X Y Z x y z
27 (記号)	` ° ` * # & ' () , . 。 - (SP)

(SP)はスペースです

ワンポイント.....

登録操作を中止するには
 ボタンを押します。

文字を訂正する

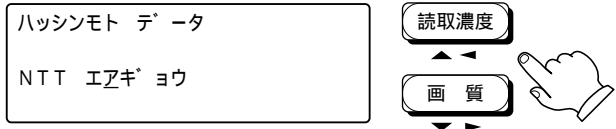
入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタン、[挿入] ボタン、[削除] ボタン、[クリア] ボタンを使って訂正します。

1 文字訂正する

例：「NTT エアキ` ヨウ」を訂正する場合

1

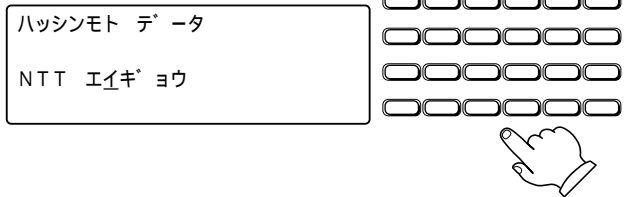
[◀] または [▶] ボタンを繰り返し押し、**「ア」**の位置にカーソルを移動させます。



2

[ア] ボタン (ワンタッチボタン01) を2回押します。

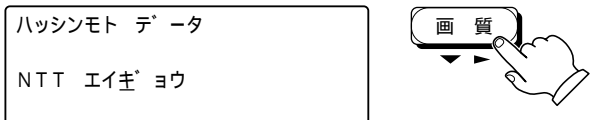
「イ」が上書きされます。



3

[▶] ボタンを押します。

「イ」が確定されます。

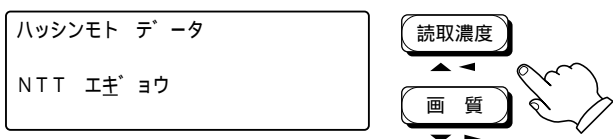


1 文字挿入する

例：「NTT エキ` ヨウ」を訂正する場合

1

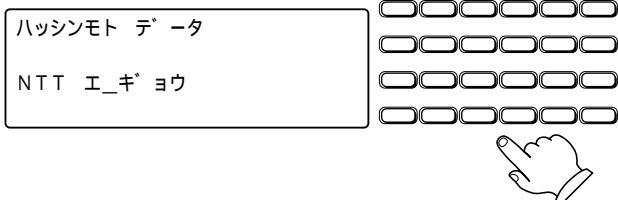
[◀] または [▶] ボタンを繰り返し押し、**「キ」**の位置にカーソルを移動させます。



2

[挿入] ボタン (ワンタッチボタン 28) を押します。

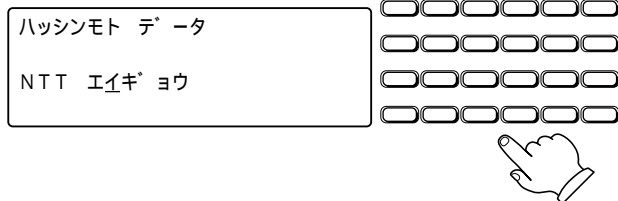
スペースが挿入されます。



3

[ア] ボタン (ワンタッチボタン 01) を2回押します。

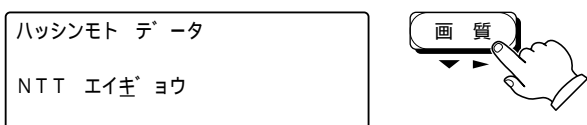
「イ」が入力されます。



4

[▶] ボタンを押します。

「イ」が確定されます。

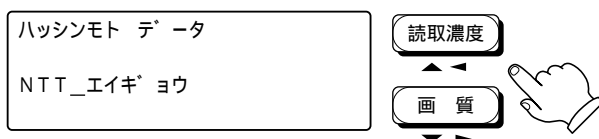


1 文字削除する

例：スペースを削除する場合

1

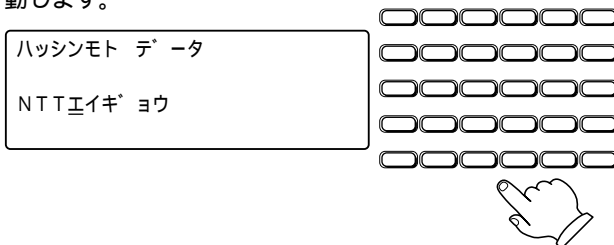
[◀] または [▶] ボタンを押して、削除したい文字 (スペース) の位置にカーソルを移動させます。



2

[削除] ボタン (ワンタッチボタン 29) を押します。

スペースが削除され、「エイキ` ヨウ」が1文字ずつ左に移動します。



入力した文字をすべて削除して入力し直す

1

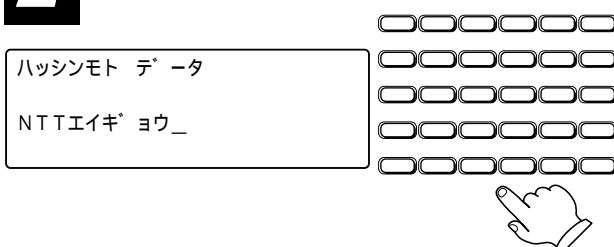
[クリア] ボタンを押します。

入力した文字がすべて削除されます。



2

最初の文字から入力し直します。



並行して行える動作（デュアルアクセス）について

本装置はデュアルアクセス動作ができます。原稿の読み込みや通信、記録の動作を同時に処理することが可能です。たとえば、メモリ送信中に次の送信予約をしたり、コピーを取ったりすることもできます。なお、G4通信ユニット（オプション）を増設して電話回線とISDN回線の両方の回線を接続してお使いの場合、G4モードとG3モードの通信ができますが、同時に通信することはできません。

印・・・動作可能
 印・・・条件付きで動作可能
 ×印・・・動作不可

		同 時 に 行 え る 動 作									
		原稿読み込み (送信予約)	ダイレクト送信	メモリ送信	受信	メモリプリント ¹	レポート出力	コピー	電話	PCスキャナ	PCプリンタ
現 在 の 動 作	原稿読み込み		×					×		×	
	ダイレクト送信	×		×	×			×	×	×	×
	メモリ送信		×		×				×	×	×
	受信		×	×			×	²	×	×	×
	メモリプリント ¹					³		⁴	²		
	レポート出力				×	×					×
	コピー	⁵	⁵		³	×	×			⁵	
	電話	×	×	×	×	×		×		×	×
	PCスキャナ	⁵	×	×	×			⁵	×		×
	PCプリンタ		×	×	×		×	²	×	×	

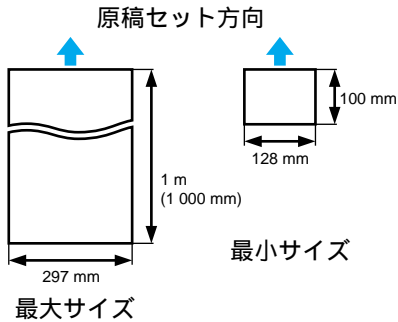
- 1 メモリに受信した文書のプリント動作。
- 2 メモリプリントを一時中断し、コピーの出力を行う。
- 3 メモリ受信。
- 4 メモリプリント中でもレポートの編集を行う。レポート出力はメモリプリントの終了後。
- 5 読み取り終了後に、動作可能。

原稿をセットするには

原稿について

セットできる原稿のサイズについて

セットできるのは、次の範囲の原稿に限られます。それ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大または縮小コピーをしてから送信してください。



	1枚だけ送る場合	2枚以上送る場合
最大サイズ	幅297 mm ×長さ1 000 mm	幅297 mm ×長さ420 mm (JIS A3判)
最小サイズ	幅128 mm ×長さ100 mm	幅128 mm ×長さ100 mm
一度にセットできる枚数	-	最大70枚(同一サイズ、同質のものに限る)
原稿の紙厚	0.05 mm ~ 0.15 mm	0.06 mm ~ 0.10 mm
原稿の紙質	上質紙相当 (表、裏ともコーティングのないもの)	

ワンポイント.....

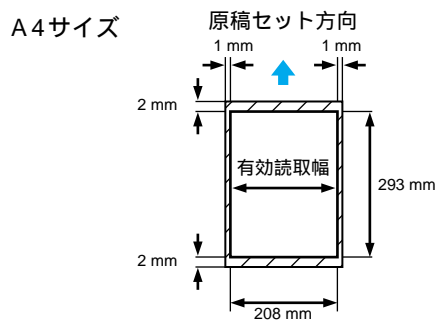
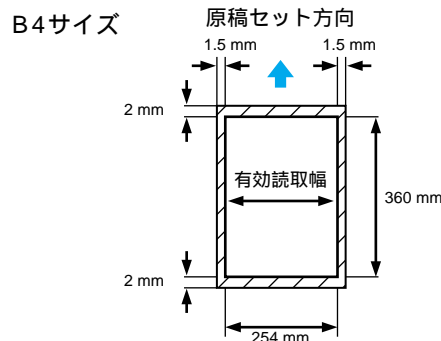
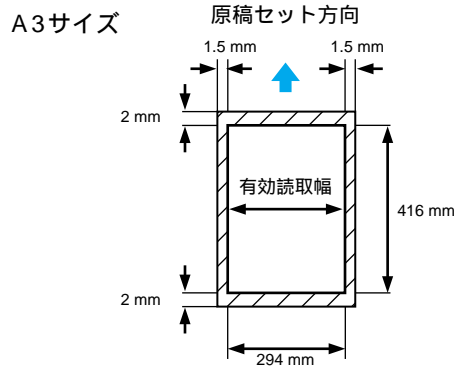
大きな原稿(A3サイズまたはB4サイズ)を送信すると

A3サイズ(原稿幅273 mm以上)またはB4サイズ(原稿幅236 mm以上)の原稿は、相手機の記録紙のサイズに合わせて自動的に縮小して送信されます。相手機によって原稿の左右両端が欠ける場合があります。

相手先	送信原稿のサイズ		
	A3	B4	A4
A3機	等倍	等倍	等倍
B4機	B4に縮小	等倍	等倍
A4機	A4に縮小	A4に縮小	等倍

原稿の標準読取範囲について

斜線で示す部分は読み取れないので、ご注意ください。



お知らせ

異なったサイズや異なった紙質の原稿は、いっしょにセットしないでください。

原稿のサイズやセットのしかたによっては、上下4 mm、左右10 mmの範囲は読み取れない場合があります。長さ420 mm以上の原稿は、手で支えながら送信してください。

長さ1 000 mm以上の原稿を送りたいときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。ただし、この場合は原稿づまりを検出しなくなりますので、ご注意ください。



原稿をセットするには

こんな原稿のときは

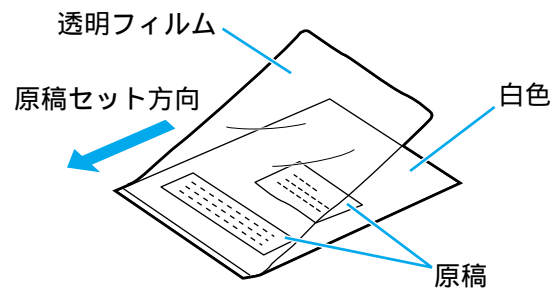
次のような原稿をセットすると、原稿がつかったり、相手先で受信した内容が乱れたりすることがあります。複写機でコピーをとったものを原稿とするか、付属のキャリアシートをご使用ください。

○ : 送信可 × : 送信不可

原稿の種類	キャリアシートを使う	コピーをとって原稿にする
感熱紙や裏カーボン紙などの化学処理をした原稿		
破れている原稿、しわや曲がりのはげしい原稿		
裏または表がコーティングされている原稿		
紙厚が薄すぎる原稿 (0.05 mm未満)		
紙厚が厚すぎる原稿 (布地、金属板、印画紙など)	×	
小さすぎる原稿 (128 mm × 100 mm未満)		
穴のあいた原稿		
つなぎ合わせや貼り合わせのある原稿	×	

キャリアシートについて

キャリアシートは、原稿の表が透明フィルム側に向くようにしてはさみ、透明フィルム側を上に向けて、閉じしるの部分から原稿セット台にセットします。



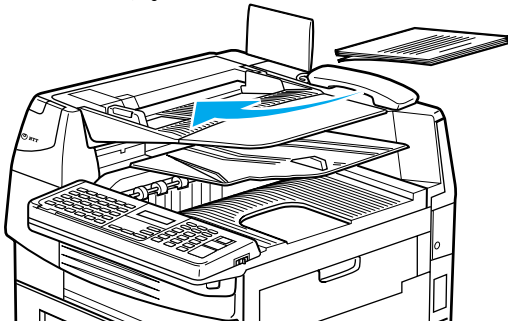
お知らせ

キャリアシートは当社指定のものをお使いください。キャリアシートは1枚ずつ送信してください。(同時に複数枚セットしないでください。)

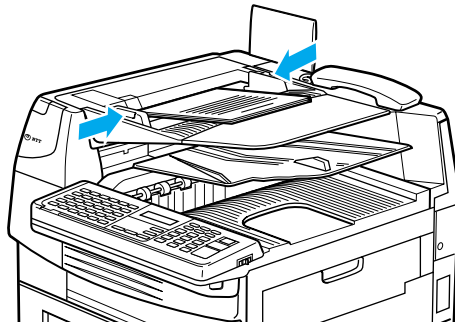
原稿をセットする

原稿をセットするとき、原稿の内容（文字の大きさ、図面、写真など）に応じて適切な画質や読取濃度を選ぶことができます（●P52、53）。また、原稿のサイズや種類にも注意してください（●P49）。

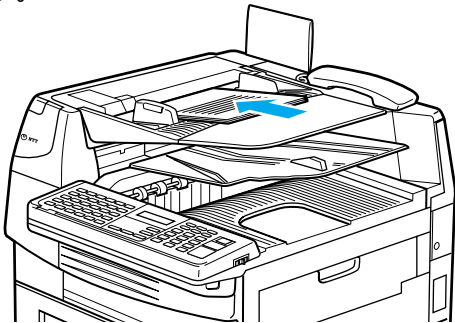
- ① 原稿の先端をそろえ、送る面を上に向けてセットします。



- ② 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。

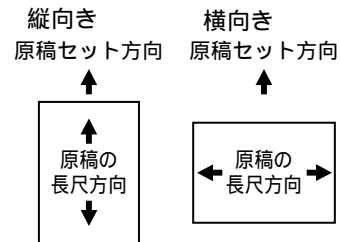


- ③ 原稿の先が突き当たるまで軽く差し込みます。



ワンポイント.....

セットできる原稿の向きは
原稿の長尺方向の長さが297mm以下（A4サイズ以下）
のときは、原稿を縦向きにも横向きにもセットできま
す。（●P49）



一度にセットできる枚数は
原稿は、一度に70枚までセットできます。（●P49）
セットした原稿は
一番上の原稿から順番に読み込まれます。

STOP お願い

原稿ガイドは、原稿の幅に合わせてください。紙づまりの原因となります。

幅の異なる原稿を同時にセットしないでください。

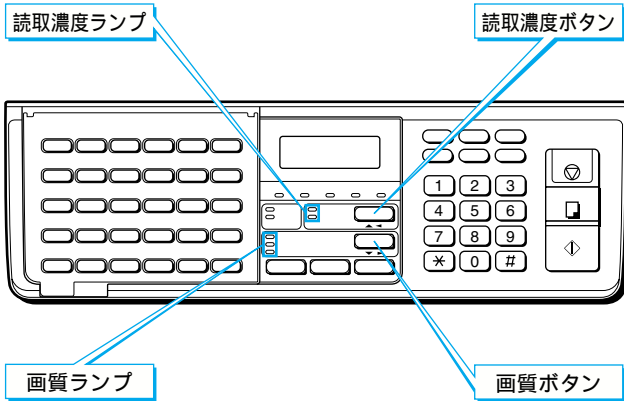
クリップやホッチキスの針は、取り除いてからセットしてください。

朱肉や修正液が付いているときは、よく乾かしてからセットしてください。

ぬれた原稿はセットしないでください。

原稿を強く押し込みすぎないようにしてください。

原稿をセットするには



原稿に合わせて画質を選ぶ

原稿の内容（細かい文字が多い原稿、精密な図面、写真など）に応じて、適切な画質を選んで送信することができます。

1 **画質** ボタンを繰り返し押し、設定したい画質モードを選びます。



選んだ画質のランプが点灯します。「標準」を選んだときはランプが消えます。

- 「ハーフトーン」 : 写真やカラー原稿など
- 「スーパーファイン」 : 精密図など
(新聞活字より小さな文字)
- 「ファイン」 : 細かい文字
(新聞活字程度の文字)
- 「標準」 : 普通の文字
(新聞活字より大きな文字)

ワンポイント.....

よく使う画質は
あらかじめホームポジションに設定しておく、送信やコピーのたびに指定する手間が省けます。(●P249)
お買い求めのときの設定は
送信は「標準」に、コピーは「スーパーファイン」に設定されています。
G4通信ユニット(オプション)を増設したときは、送信は「ファイン」に設定されています。
読み取り中の画質モードの変更は
ダイレクト送信および手動送信では、原稿のページごとに画質モードの設定を変更することができます(●P62)。メモリ送信では、原稿の読み込みを開始したら画質モードの変更はできません。

お知らせ

画質ランプは、原稿の読み込みを開始すると、ホームポジションで設定した画質モードの表示に戻ります。(●P249)
相手機種によっては、「スーパーファイン」または「ファイン」での送信ができないことがあります。その場合には自動的に「ファイン」または「標準」で送信されます。
受信のときは、画質モードは変更できません。

原稿に合わせて読取濃度を選ぶ

原稿の文字や用紙の色の濃さに合わせて、適切な読取濃度を選んで送信することができます。

1

(読取濃度) ボタンを繰り返し押し、設定したい読取濃度を選びます。



選んだ読取濃度のランプが点灯します。「普通」を選んだときはランプが消えます。

- 「こく」 : 文字のうすい原稿
(鉛筆書きやキャリアシート利用時など)
- 「うすく」 : 用紙の色が濃い原稿 (新聞や青焼きなど)
- 「普通」 : 通常の前稿 (コピーや黒ペン書きの前稿)



ワンポイント.....

よく使う読取濃度は
あらかじめホームポジションに設定しておく、送信
やコピーのたびに指定する手間が省けます。(P249)

送信する原稿の読み取り状態を確認するには
読取濃度を設定してコピーをとります。



お知らせ

原稿の読み込みが開始されたら、読取濃度の変更はできません。
読取濃度ランプは、原稿の読み込みを開始すると、ホームポジションで設定した読取濃度の表示に戻ります。
(P249)

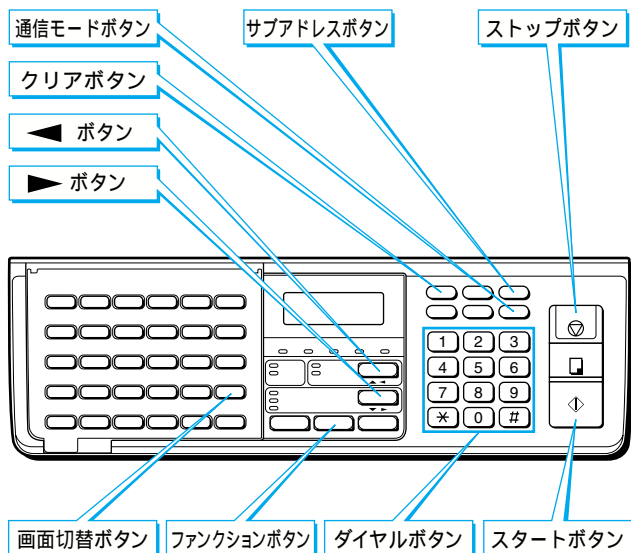
受信のときは、原稿の濃度は変更できません。



ファクスを送るには


(メモリ送信)

本装置は、読み込んだ原稿をメモリに蓄積しながら送信します。高速に読み込むことができるので、送信が完了するのを待たずに原稿を持ち帰ることができます。また、送信/受信を行っているときでも、別の原稿の送信操作を次々に行うことができます(送信予約)。送信予約は最大32文書まで行えます。



ワンポイント.....

送信操作を中止するには

 ボタンを押します。

送信を中断するには (●P67)

送信予約を解除するには (●P72)

通信予約数は


相手先の数に関係なく、最大32文書まで予約できます。

メモリに蓄積できる枚数は

メモリ使用量が0%の状態、A4標準原稿を「標準」の画質モードで約100枚まで蓄積できます。

送信結果を確認するには (●P70)

ディスプレイに表示される「ウケツケNo.」とは

 ボタンを押すと、送信文書の受付No. (通信ごとに付けられる一連番号)が表示されます。受付No.は、

001から順に002.....999と付けられ、000に戻ります。通信の中断や予約の解除は、この番号を確認して行います。

待機画面の表示は

蓄積した原稿のメモリ使用量(%)と、通信状況(「チクセキチュウ」「ソウシンチュウ」など)が表示されます。

原稿がしまったときは (●P268)

同じ原稿を複数の相手先に送信するには

フルダイヤル、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電子電話帳を使って、同じ原稿を最大170件の相手先に送信することができます。(順次同報送信、●P102)

ダイヤル入力(フルダイヤル)で送る

ダイヤル入力のほかに、ワンタッチダイヤル(●P56)、短縮ダイヤル(●P57)、電子電話帳(●P58)で相手先を指定することができます。

1 原稿をセットします。(●P51)

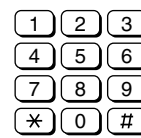
ゲ ンコウカ アリマス 0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(●P52、53)

2 相手先の電話番号を入力します。

例: 「0335095538」

ソウシン 1 アテサキ
アイテ= [フルダ イヤル]
0335095538_

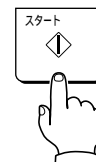


番号を間違えたときは、[←]または[→]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

3 ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. = <001>
1997/01/24 09:30
アイテ=0335095538



待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:30 5%
チクセキチュウ

送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。



ワンポイント.....

ワンタッチダイヤルでファクスを送るには(●P56)
短縮ダイヤルでファクスを送るには(●P57)
電子電話帳でファクスを送るには(●P58)
ダイヤルと送信の開始について

通常は、1枚目の原稿の読み込みを開始した時点で相手先へダイヤルし、送信を開始します。別の原稿を送受信中のときは、すべての原稿をメモリに蓄積し、別の原稿の送信 / 受信が終わってから相手先へダイヤルして、送信を開始します。


相手先が話し中のときは

約3分間隔で2回まで自動的に再ダイヤルされます(自動再ダイヤル)。自動再ダイヤルの回数と間隔は変更することができます。(●P248)

送信が自動再ダイヤル待ちになったときに他の予約中の通信がある場合には、それらの通信が行われ、そのあとで再ダイヤルされます。ただし、優先送信が自動再ダイヤル待ちとなった場合には、他の予約中の通信があっても、優先送信が終了するまでは予約中の通信は行われません。


すべての原稿がメモリに読み込まれたかどうかを確認するには

通信結果表示(●P70)で原稿枚数を確認することができます。

また、読み取り中や送信中のときに  ボタンにつづけて [画面切替] ボタン(ワンタッチボタン24)を押せば、動作内容が表示されますので原稿枚数を確認することができます。

済スタンプ(オプション)を設定しておく、メモリに読み込まれた原稿にスタンプが押されます。(●P285)

G4通信ユニット(オプション)を増設しているときは(●P287)

自動的にG4モードが選択されます(手順2の画面に「G4」と表示)。電話回線とISDN回線の両方の回線を接続してお使いの場合にG3モードで送信したいときは、 ボタンを押す前に [通信モード] ボタンを押して「G3」を表示させます。ホームポジションでG3モードに設定しておくこともできます。(●P249)

ISDNサブアドレスを指定するには

相手先の電話番号とサブアドレスの間に [サブアドレス] ボタンを押すと、サブアドレスを指定できます。



お知らせ

相手先が話し中で、自動再ダイヤルを行っても送信できなかった場合には、メモリに蓄積された原稿は削除されますので、もう一度はじめてから送り直してください。

原稿の読み込み中にメモリがいっぱいになりかけたときは「メモリフル」と表示されて読み込みが終了したページまでを送信し、1度回線を切ったあとで、残りの原稿を自動的に読み込んで送信します。

また、原稿の読み込み中にメモリがいっぱいになったときは、「メモリフル」と表示されて読み込みが終了したページまでを送信し、残りの原稿は排出されます。送信できなかった原稿がある場合には、通信レポートが出力されます。もう一度送信し直してください。通信ごとに通信レポートが出力されるように、またはまったく出力されないように設定を変更することもできます。(●P200)

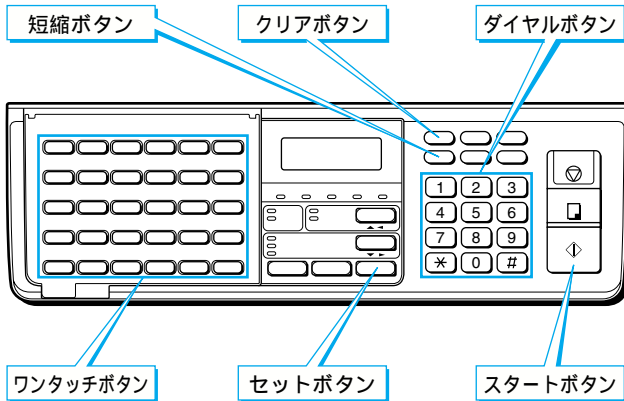
原稿の読み込みが開始されたら、画質や読取濃度は変更できません。

受付No.は、通信管理レポート(●P204)の「通番」とは異なります。



ファクスを送るには

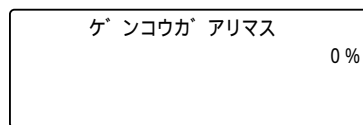
(メモリ送信)



ワンタッチダイヤルで送る

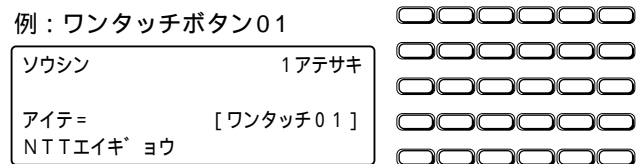
あらかじめ相手先をワンタッチダイヤルに登録しておきます (P104)。ワンタッチボタンを1回押すだけで、相手先にダイヤルすることができます。

1 原稿をセットします。(P51)



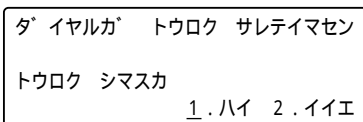
必要に応じて画質と読取濃度を設定します。
(P52、53)

2 ワンタッチボタンを押します。



ワンポイント.....

- 送信を中断するには (P67)
- 送信予約を解除するには (P72)
- 送信結果を確認するには (P70)
- ワンタッチボタンを押し間違えたときは5秒以内に [クリア] ボタン押し、ワンタッチボタンを押し直します。
- 登録していないワンタッチボタンを押したときは次の画面が表示され、その場でワンタッチダイヤルの登録ができます。

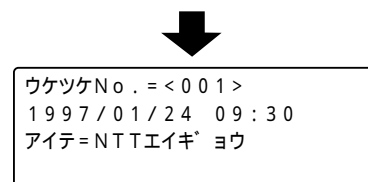


- 1 または 2 を押して、登録をするかどうかを選択する
- セット ボタンを押す

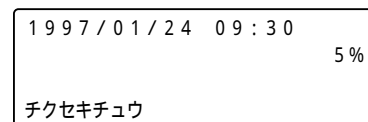
(ワンタッチダイヤルの登録のしかたは、P104)
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには受話器を取りあげてから、手順2の操作をします。

約5秒後に原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

スタート ボタンを押すと、すぐに原稿の読み込みが開始されます。



待機画面に戻ります。

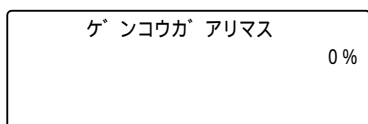


送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

短縮ダイヤルで送る

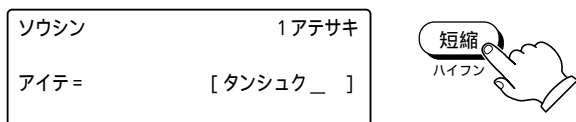
あらかじめ相手先を短縮ダイヤルに登録しておきます (●P108)。**短縮** ボタンを押して2桁の短縮番号を入力するだけで、相手先にダイヤルすることができます。

1 原稿をセットします。(●P51)



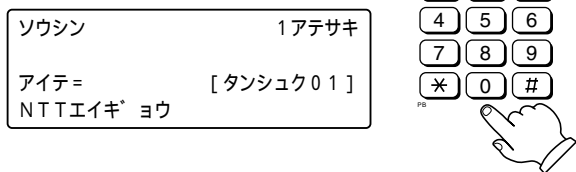
必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(●P52、53)

2 **短縮** ボタンを押します。



3 短縮番号(00~99)を入力します。

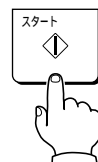
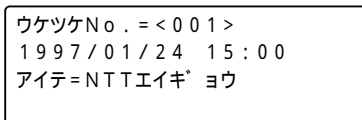
例: 「01」



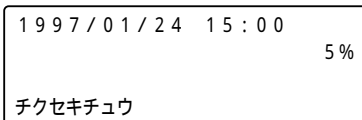
番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4 **スタート** ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。



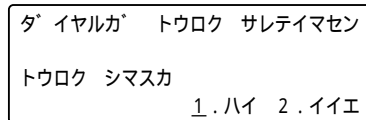
待機画面に戻ります。



送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

ワンポイント.....

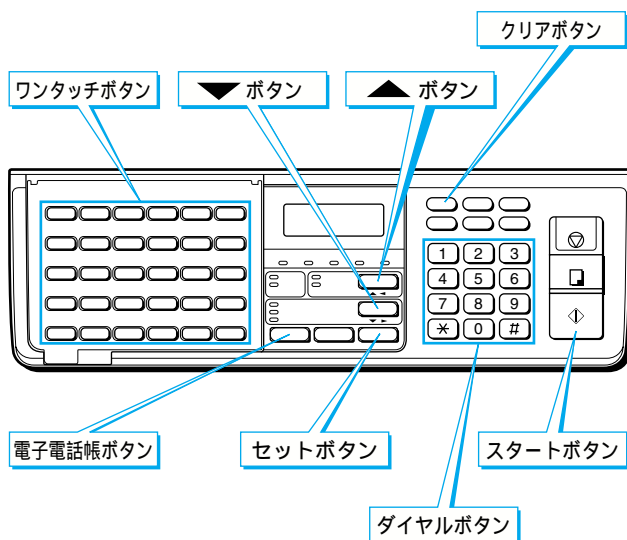
- 送信を中断するには (●P67)
- 送信予約を解除するには (●P72)
- 送信結果を確認するには (●P70)
- 登録していない短縮番号を押したときは次の画面が表示され、その場で短縮ダイヤルの登録ができます。



- 1 または 2 を押して、登録をするかどうかを選択する
- セット** ボタンを押す (短縮ダイヤルの登録のしかたは、●P108)
- 短縮番号が00~09のときは手順3で2桁の短縮番号を入力するかわりに、次の操作で短縮番号を指定することもできます。
- 短縮番号の下1桁を入力する
- セット** ボタンを押す
- 短縮ダイヤルで電話をかけるには受話器を取りあげてから、手順2~3の操作をします。



ファクスを送るには（メモリ送信）



電子電話帳で送る

あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている相手先の名前を検索し、簡単な操作でファクスを送ることができます。

1 原稿をセットします。（☛P51）

ゲ ンコウガ アリマス 0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。
（☛P52、53）

2 電子電話帳 ボタンを押します。

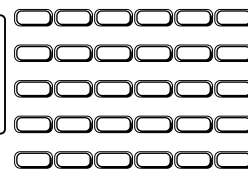
デ ンワ チョウ
ケンサクモジ ヲ エランデ クダ サイ



3 相手先名の最初の1文字（カタカナ / アルファベット / 数字 / 記号）を入力します。

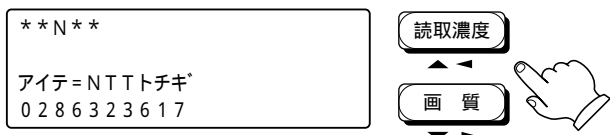
例：相手先名が「NTTトチギ」のダイヤルを検索する場合
（「N」を入力）

N
アイテ=NTTエイキ ヨウ
0335095538



文字を入力するには（☛P44）
入力を間違えたときは、そのままもう一度入力し直します。

4 [▲] または [▼] ボタンを繰り返し押し、相手先名を表示させます。

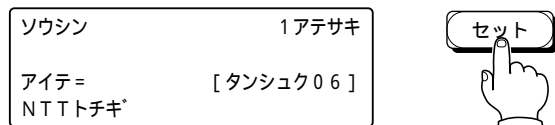


[▲] または [▼] ボタンを押すごとに、該当する相手先名が短縮ダイヤル/ワンタッチダイヤルの番号順に表示されます。

送信したい相手先が見つからないときに、電子電話帳の検索をやめるには、[クリア]ボタンまたは[電子電話帳]ボタンを押します。

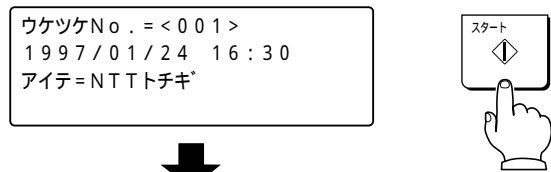
5 [セット] ボタンを押します。

ダイヤルをする相手先が確定されます。

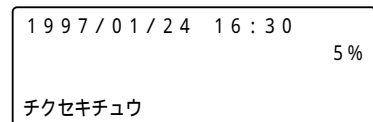


6 [スタート] ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。



待機画面に戻ります。



送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

ワンポイント.....

- 送信を中断するには (P67)
- 送信予約を解除するには (P72)
- 送信結果を確認するには (P70)
- 入力した文字で始まるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルが登録されていないときは「アテサキ ミトウロク」とディスプレイに表示され、送信できません。
- 電子電話帳で電話をかけるには受話器を取りあげてから、手順2～5の操作をします。

お知らせ

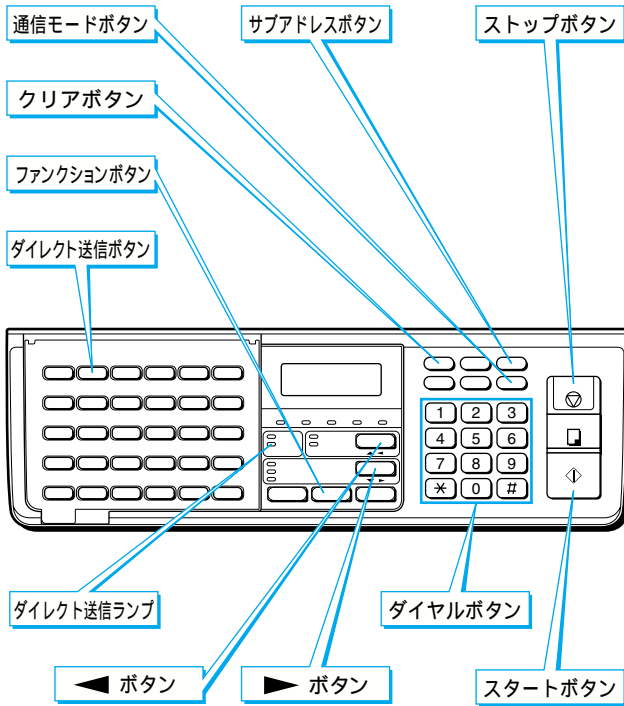
電子電話帳を利用するには、あらかじめ相手先をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。(P104、108)

グループダイヤル、ワンタッチプログラムダイヤル、中継指示ダイヤルは、電子電話帳では検索できません。

メモリに蓄積せずにファクスを送るには

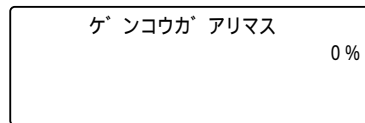
(ダイレクト送信)

原稿をメモリに蓄積せずに、読み取りながら直接送信することができます。メモリがいっぱいするときなどに利用します。



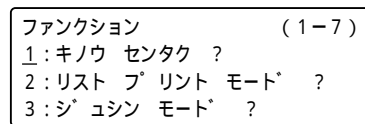
ダイレクト送信をする

1 原稿をセットします。(P51)



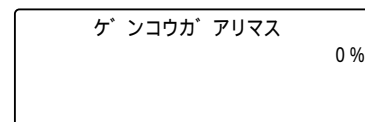
必要に応じて画質と読取濃度を設定します。
(P52、53)

2 [ファンクション] ボタンを押します。



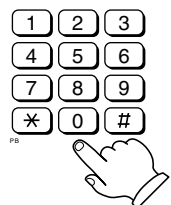
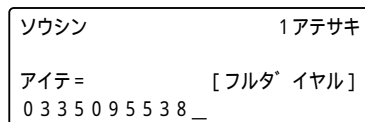
3 [ダイレクト送信] ボタン (ワンタッチボタン02) を押します。

ダイレクト送信ランプが点灯します。



4 相手先の電話番号を入力します。

例: 「0335095538」



番号を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

相手先は、ワンタッチダイヤル (P56) / 短縮ダイヤル (P57) / 電子電話帳 (P58) で指定することもできます。

ワンポイント.....

送信操作を中止するには

[ストップ] ボタンを押します。

送信を中断するには (P67)

送信や受信で回線が使用中のときはダイレクト送信が予約されます。

送信結果を確認するには (P70)

ディスプレイに表示される「ウケツケNo.」とは

[スタート] ボタンを押すと、送信文書の受付No. (通信ごとに付けられる一連番号) が表示されます。受付No.は、001から順に002.....999と付けられ、000に戻ります。通信の中断や予約の解除は、この番号を確認して行います。

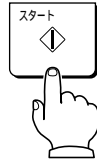
原稿がしまったときは (P268)

5

スタートボタンを押します。

指定した相手先にダイヤルされます。

ウケツケNo. = <001>
1997/01/24 09:45
アイテ=0335095538
ダ イレクト ソウシン



原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ダ イレクト ソウシン ショリチュウ
ダ イヤルチュウ

ダ イレクト ソウシン ショリチュウ
ソウシンチュウ

送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴り、待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45 0%



お知らせ

相手先を2件以上指定すると、ダイレクト送信の操作を行ってもメモリ送信になります。

相手先が話し中で、自動再ダイヤルを行っても送信できなかった場合には、しばらくしてからもう一度はじめから送り直してください。

送信時にエラーが起きたときは、エラー以降の原稿を自動的に排出し、通信レポートが出力されます。もう一度送信し直してください。通信ごとに通信レポートを出力させるように、またはまったく出力されないように設定を変更することもできます。(P200)

ダイレクト送信は、優先送信またはタイマ通信と組み合わせで設定することはできません。組み合わせで設定すると、最後に設定した機能で送信されます。

ダイレクト送信は、ポーリング送信または掲示板送信と組み合わせで設定することはできません。

受付No.は通信管理レポート(P204)の「通番」とは異なります。



ワンポイント.....

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル、電子電話帳でファクスを送るときは

あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録しておきます。(P104、108)

送信の途中で画質モードを変更したいときは(P62)

いつもダイレクト送信を使うときはホームポジションに設定をしておくと、送信のたびに指定する手間が省けます。(P249)

相手先が話し中のときは

約3分間隔で2回まで自動的に再ダイヤルされます(自動再ダイヤル)。自動再ダイヤルの回数と間隔は変更することができます。(P248)

送信が自動再ダイヤル待ちになったときに他の予約中の通信がある場合には、それらの通信が行われ、そのあとで再ダイヤルされます。ただし、優先送信が自動再ダイヤル待ちとなった場合には、他の予約中の通信があっても、優先送信が終了するまでは予約中の通信は行われません。

原稿が送信されたかどうかを確認するには済スタンプ(オプション)を設定しておくとし、送信された原稿にスタンプが押されます。(P285)

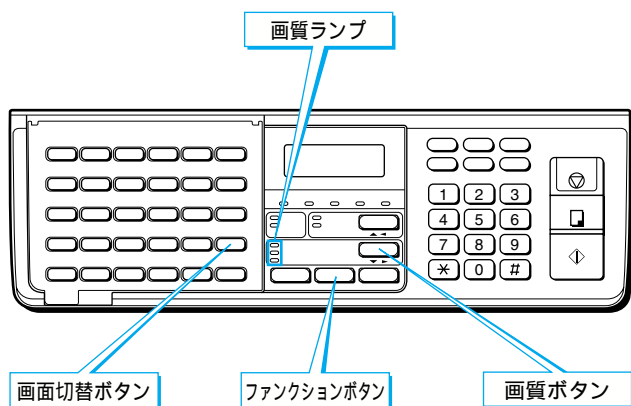
G4通信ユニット(オプション)を増設しているときは(P287)

自動的にG4モードが選択されます(手順4の画面に「G4」と表示)。電話回線とISDN回線の両方の回線を接続してお使いの場合にG3モードで送信したいときは、スタートボタンを押す前に[通信モード]ボタンを押して「G3」を表示させます。ホームポジションでG3モードに設定しておくこともできます。(P249)

ISDNサブアドレスを指定するには相手先の電話番号とサブアドレスの間に[サブアドレス]ボタンを押すと、サブアドレスを指定できます。

メモリに蓄積せずにファクスを送るには

(ダイレクト送信)



送信の途中で画質モードを変更する

ダイレクト送信で複数枚の原稿を送るときは、1ページごとに画質モードの設定を変更することができます。

1 ダイレクト送信の操作をします。(P60、手順1~5)

ダイレクト ソウシン ショリチュウ

ソウシンチュウ

2 [ファンクション] ボタンを押します。

ファンクション (1-7)

- 1: キノウ センタク ?
- 2: リスト プリント モード ?
- 3: ジュシン モード ?



3 [画面切替] ボタン (ワンタッチボタン24) を押します。

ソウシンチュウ P.02
ウケツケ<001>01/24 09:45
アイテ=0335095538



デュアルアクセス動作中のときは、「ソウシンチュウ」が表示されるまで [画面切替] ボタン (ワンタッチボタン24) を繰り返し押してください。

4

画質モードを変更したいページの前のページの読み込み中に、**画質** ボタンを押して、設定したい画質モードを選択します。

ソウシンチュウ P.02
ウケツケ<001>01/24 09:45
アイテ=0335095538



選んだ画質のランプが点灯します。「標準」を選んだときはランプが消えます。

- 「ハーフトーン」 : 写真やカラー原稿など
- 「スーパーファイン」 : 精密図など
(新聞活字より小さな文字)
- 「ファイン」 : 細かい文字
(新聞活字程度の文字)
- 「標準」 : 普通の文字
(新聞活字より大きな文字)

次のページから、変更した画質モードで送信されます。



お知らせ

「ピッピッピッ」という音が鳴ったときは、画質モードの変更はできません。

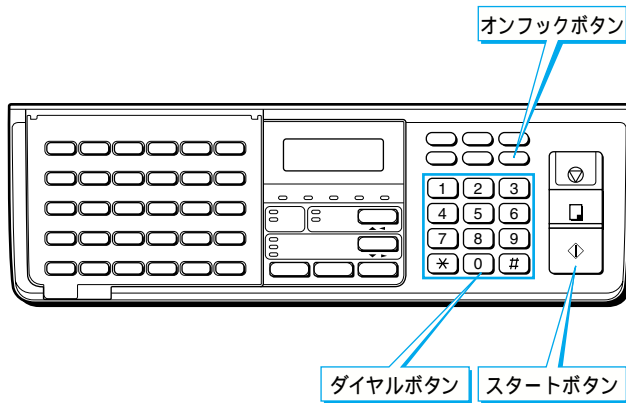
相手機種によっては、「スーパーファイン」または「ファイン」での送信ができないことがあります。その場合には自動的に「ファイン」または「標準」で送信されます。

電話で話しをしてからファクスを送るには

(手動送信)

相手の方と電話で話したあとで原稿を送ることができます。

G4通信ユニット(オプション)を増設した場合でも電話回線への発信になります。

**1** 原稿をセットします。(☛P51)

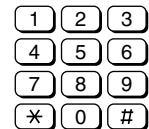
ゲ ンコウカ アリマス 0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。
(☛P52、53)**2** 受話器を取りあげます。

発信音が聞こえます。

ダ イヤル ツウワチュウ
アイテ=
—**3** 相手先の電話番号を入力します。

例: 「0335095538」

ダ イヤル ツウワチュウ
アイテ=
0335095538_


相手先は、ワンタッチダイヤル(☛P56) / 短縮ダイヤル(☛P57) / 電子電話帳(☛P58)で指定することもできます。

4 相手の方と話しをしたあと、ファクスを送ることを伝え、ファクス受信に切り替えてもらいます。

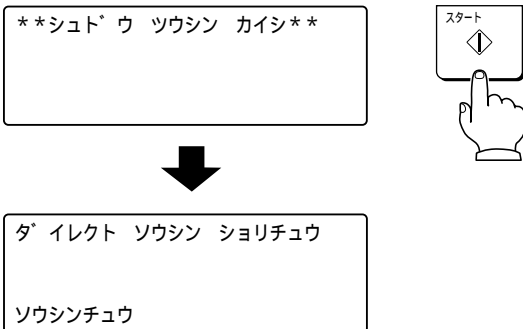
相手先がファクスに切り替わると、「ピー」という音が聞こえます。

ダ イヤル ツウワチュウ
アイテ=
0335095538_

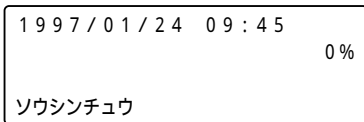
5

 ボタンを押して、受話器を置きます。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。




待機画面に戻ります。




送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

ワンポイント.....

送信を中断するには (☛P67)
 原稿がつまったときは (☛P268)
 ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル、電子電話帳でファクスを送るときは
 あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録しておきます。(☛P104、108)
 送信の途中で画質モードを変更したいときは (☛P62)
 受話器を取らずに手動送信をするときは
 受話器を取る代わりに(オンフック) ボタンを押すと、受話器を置いたまま電話番号を入力することができます。
 相手先のファクスが自動受信になっているときは
 電話がつながるとすぐに「ピー」という音がします。
 ボタンを押して受話器を置いてください。
 このときは相手の方と話しはできません。
 相手の方から電話がかかってきたときは
 次の操作でファクスを送ることができます。

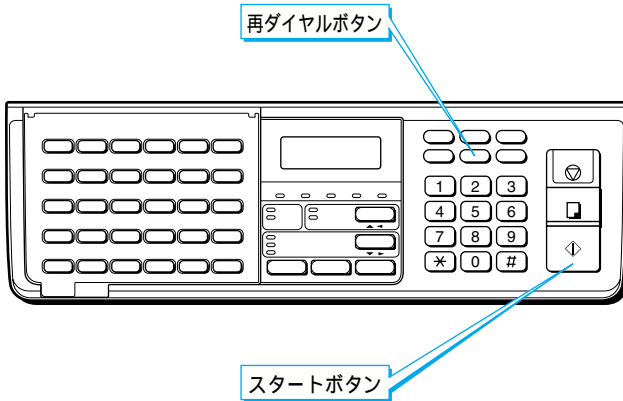
- 原稿をセットする
- 受話器を取りあげる
- 手順4～5の操作をする
- こちらと相手側の両方で受話器を取ったままにしておく
- 送信が終わったあとで、もう一度相手の方と話しをすることができます。

お知らせ

「ピー」という音が聞こえないうちに  ボタンを押すと、送信できないことがあります。
 手動送信では、ポーリング受信、親展送信、リモートマルチコピー送信、中継指示送信、優先送信、タイマ送信、ダイレクト送信、海外送信および順次同報送信はできません。
 外付け電話機で電話をかけたときは、手動送信をすることはできません。

同じ相手先に送り直すには（再ダイヤル送信）

最後にダイヤルした相手先に、**再ダイヤル** ボタンを使ってファクスを送ることができます。



ワンポイント.....

- 送信を中断するには（P67）
- 送信予約を解除するには（P72）
- 原稿がつまったときは（P268）
- 相手先が話し中のときは
 - 約3分間隔で2回まで自動的に再ダイヤルされます（自動再ダイヤル）。自動再ダイヤルの回数と間隔は変更することができます。（P248）
 - 送信が自動再ダイヤル待ちになったときに他の予約中の通信がある場合には、それらの通信が行われ、そのあとで再ダイヤルされます。ただし、優先送信が自動再ダイヤル待ちとなった場合には、他の予約中の通信があっても、優先送信が終了するまでは予約中の通信は行われません。
- 受話器を取りあげてから **再ダイヤル** ボタンを押すと最後にダイヤルした相手先に、電話をかけることができます。
- G4通信ユニット（オプション）を増設しているときは（P287）
- 再ダイヤルは相手先の電話番号だけを記憶していますので、必要に応じて通信モードを選択してください。

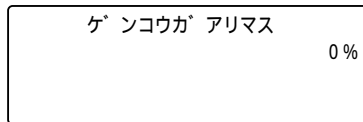
お知らせ

相手先が話し中で、自動再ダイヤルを行っても送信できなかった場合には、メモリに蓄積された原稿は削除されますので、もう一度はじめてから送り直してください。

最後にかけた電話番号が38桁を超えると、再ダイヤルの番号がクリアされます。

最後にダイヤルした相手先には、タイマ送信などで自動的にダイヤルした相手先も含まれます。

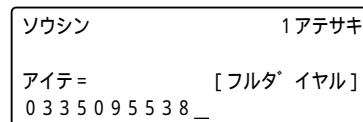
1 原稿をセットします。（P51）



必要に応じて画質と読取濃度を設定します。（P52、53）

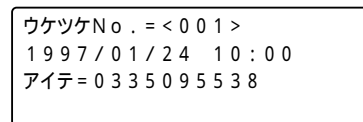
2 **再ダイヤル** ボタンを押します。

最後にダイヤルした相手先の電話番号が表示されます。

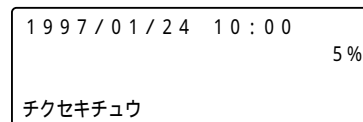


3 **スタート** ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。



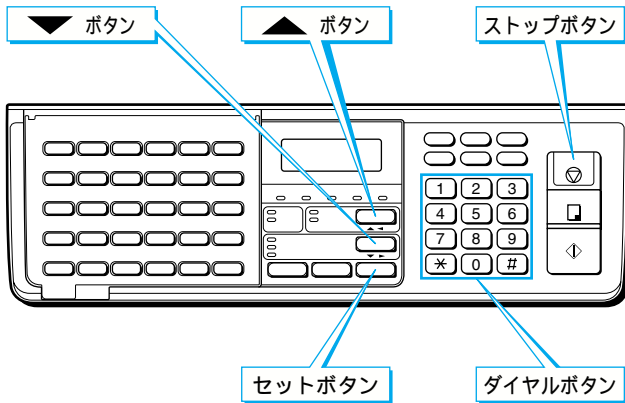
待機画面に戻ります。



送信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

送信を中断するには

原稿の読み込み中やダイヤル中、送信中に **ストップ** ボタンを押すと、送信を中断させることができます。送信内容を確認してから中断することもできます。



動作中に中断する

1 原稿の読み込み中やダイヤル中、送信中に、 **ストップ** ボタンを押します。

ナノヲ チュウダ* シマスカ
1:チクセキ
2:ソウシン

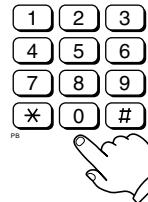


2 ダイヤルボタンを押して、中断する動作を選択します。

中断できる動作は、状態によって変わります。

例：蓄積動作と送信動作を中断できるときに、蓄積動作を中断する場合 (**1**) を押す)

ナノヲ チュウダ* シマスカ
1:チクセキ
2:ソウシン



ダイヤルボタンの代わりに [**▲**] または [**▼**] ボタンを押して選択することもできます。

ワンポイント.....

ディスプレイ表示と中断できる送信の種類は

ディスプレイ表示	送信の種類
チクセキ	メモリ送信
ダイヤル	メモリ送信 ダイレクト送信
ソウシン	メモリ送信 ダイレクト送信 手動送信

すでに原稿が読み込まれたあとで中断したいときは「送信文書の予約を解除する」(P72) の操作を行います。

3 **セット** ボタンを押します。

1997/01/24 10:15 10%
ソウシンチュウ ゲンコウハイシ



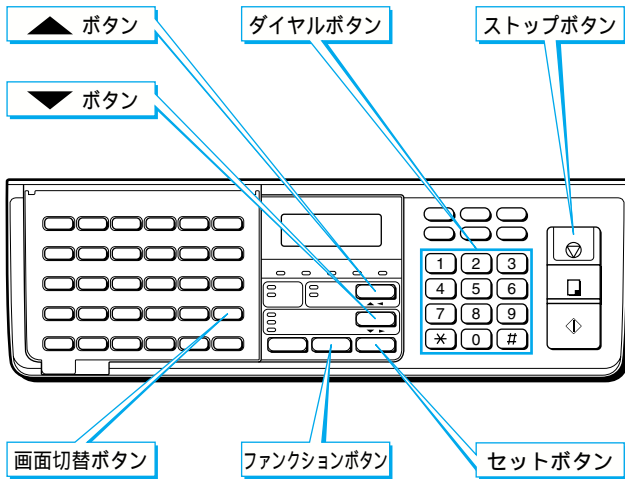
指定した動作が中断されます。

1997/01/24 10:15 10%
ソウシンチュウ

お知らせ

中断するまで時間がかかることがあります。

送信を中断するには



内容を確認して中断する

1 **[ファンクション]** ボタンを押します。

ファンクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プ リント モード ?
 3: ジ ュシ ャン モード ?



2 **[画面切替]** ボタン (ワンタッチボタン24) を押します。

動作中の内容が表示されます。

ソウシンチュウ P. 08
 ウケツケ<002>01/24 10:12
 アイテ=0335095538



他の動作中の内容を表示させたいときは、さらに [画面切替] ボタンを押します。

3 内容を確認して、**[ストップ]** ボタンを押します。

ソウシンヲ
 チュウダ ャン シマスカ?
 1. ハイ
 2. イイエ

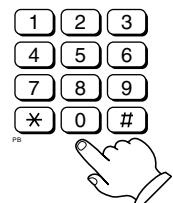


4 **1** または **2** を押して、動作を中断するかどうかを選択します。

- 1** : 中断する
- 2** : 中断しない

例: **1** を押した場合

ソウシンヲ
 チュウダ ャン シマスカ?
 1. ハイ
 2. イイエ



ダイヤルボタンの代わりに [▲] または [▼] ボタンを押して選択することもできます。

1
お使いになる前に

2
ファクスを送る

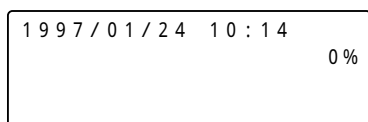
3
ファクスを受ける

4
コピーする

5
電話をかける／
受ける

5 **セット** ボタンを押します。

手順4で **1** を押したときは、指定した動作が中断され、待機画面に戻ります。



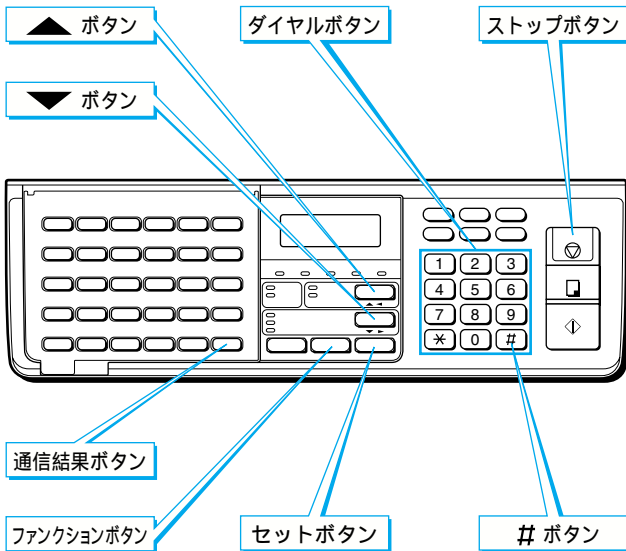
 ワンポイント.....

中断操作を中止するには
手順4で **2** を押します。

送信文書の通信結果を表示させるには

(通信結果表示)

送信待ち、送信終了などの送信状況を知りたいときは、ディスプレイに表示させて確認することができます。また、ダイヤル待ち、送信待ちの予約原稿を解除することもできます。



送信文書の通信結果を表示させる

1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プ リント モード ?
 3: シ ュ シン モード ?



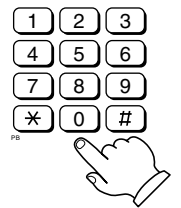
2 **[通信結果]** ボタン (ワンタッチボタン30) を押します。

* ツウシンケッカ / ヨヤクサクジ ョ *
 1: ソウシンブ ンシヨ
 2: シ ュ シンブ ンシヨ



3 **1** を押します。

* ツウシンケッカ / ヨヤクサクジ ョ *
 1: ソウシンブ ンシヨ
 2: シ ュ シンブ ンシヨ



ワンポイント.....

送信文書の通信結果表示の内容はディスプレイに表示される内容は以下のとおりです。
 「ウケツケNo.」: 通信の予約時に付けられた番号が表示されます。
 「ケッカ」: 現在の通信状況が表示されます。
 「#」: トチュウケイカ」と表示されているときは **#** ボタンを押すと、途中経過レポート (P206) が出力されます。
 通信結果が表示される順番は予約文書、送信済み文書の順に表示されます。また、過去の履歴も表示させることができます。

お知らせ

受付No.は発信元記録として相手先の記録紙の上端にも記録されます。(P37)
 受付No.は通信管理レポート (P204) の「通番」とは異なります。

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

4 **セット** ボタンを押します。

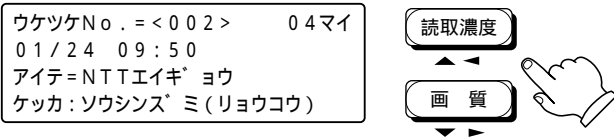
送信文書の通信結果が表示されます。

ウケツケNo. =<003> 16マイ
 01/24 10:30#: トチュウケイカ
 アイテ=002/005カシヨ
 ケッカ: ダ イヤルマチ

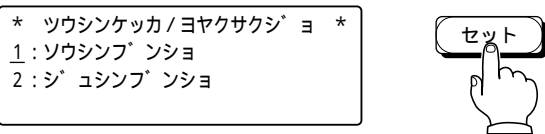


5 [▲] または [▼] ボタンを押して、通信結果を確認したい文書を検索します。

- [▲] : 1つ前の文書を表示させる
- [▼] : 次の文書を表示させる

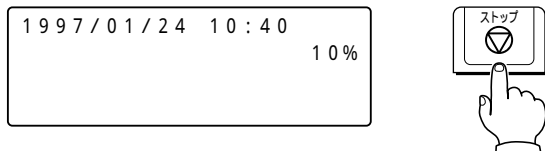


6 通信結果を確認して、[セット] ボタンを押します。



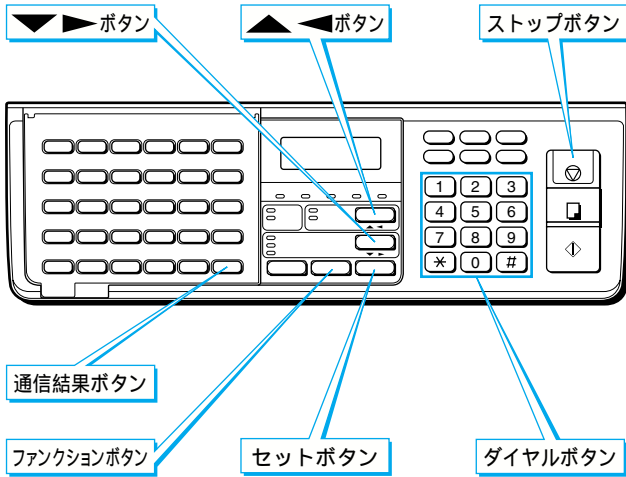
7 [ストップ] ボタンを押します。

待機画面に戻ります。



送信文書の通信結果を表示させるには

(通信結果表示)



送信文書の予約 (送信待ち) を解除する

1 **ファンクション** ボタンを押します。

ファンクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プリント モード ?
 3: シュシン モード ?



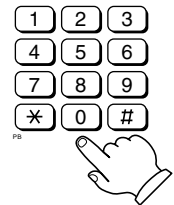
2 **[通信結果]** ボタン (ワンタッチボタン30) を押します。

* ツウシンケッカ / ヨヤクサクジ ョ *
 1: ソウシンブ ンシヨ
 2: シ ュシンブ ンシヨ



3 **1** を押します。

* ツウシンケッカ / ヨヤクサクジ ョ *
 1: ソウシンブ ンシヨ
 2: シ ュシンブ ンシヨ



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

4 **セット** ボタンを押します。

送信文書の通信結果が表示されます。

ウケツケNo. = <006> 16マイ
 01/24 10:30#: トチュウケイカ
 アイテ=002/005カシヨ
 ケッカ: ソウシンチュウ



5 **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して、予約を解除したい文書を検索します。

[▲] : 1つ前の文書を表示させる

[▼] : 次の文書を表示させる

ウケツケNo. = <005> 05マイ
 01/24 10:35
 アイテ=NTTエイキ ョウ
 ケッカ: ソウシンマチ (チクセキス ミ)



ワンポイント.....

予約を解除できるのは
 ディスプレイに「ダイヤルマチ」または「ソウシンマチ」と表示されている送信文書のみです。

6 ボタンを押します。

ウケツケNo. = <005> 05マイ
01/24 10:35
アイテ=NTTエイキ* ヨウ
サクジ* ヨシマスカ 1.ハイ 2.イイエ



10 ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 10:40
10%
ソウシンチュウ



7 ① または ② を押して、予約を解除するかどうかを選択します。

- ① : 予約を解除する
- ② : 予約を解除しない

例: ① を押した場合

ウケツケNo. = <005> 05マイ
01/24 10:35
アイテ=NTTエイキ* ヨウ
サクジ* ヨシマスカ 1.ハイ 2.イイエ



ダイヤルボタンの代わりに [◀] または [▶] ボタンを押して選択することもできます。

8 ボタンを押します。

手順7で ① を押したときは、指定した予約が解除されます。

ウケツケNo. = <005> 05マイ
01/24 10:35
アイテ=NTTエイキ* ヨウ
サクジ* ヨシマシタ



ウケツケNo. = <006> 16マイ
01/24 10:30# : トチュウケイカ
アイテ=002/005カシヨ
ケッカ: ソウシンチュウ

続けて予約の解除をするときは、手順5の操作から繰り返します。

9 ボタンを押します。

* ツウシンケッカ/ヨヤクサクジ* ヨ *
1: ソウシンブ* ンシヨ
2: シ* ユシンブ* ンシヨ





受信モードを選ぶには

ファクスの受信のしかたには、以下の種類があります。ご利用に合わせて適切な受信モードを選ぶことができます。お買い求めのときは自動受信モードに設定されています。

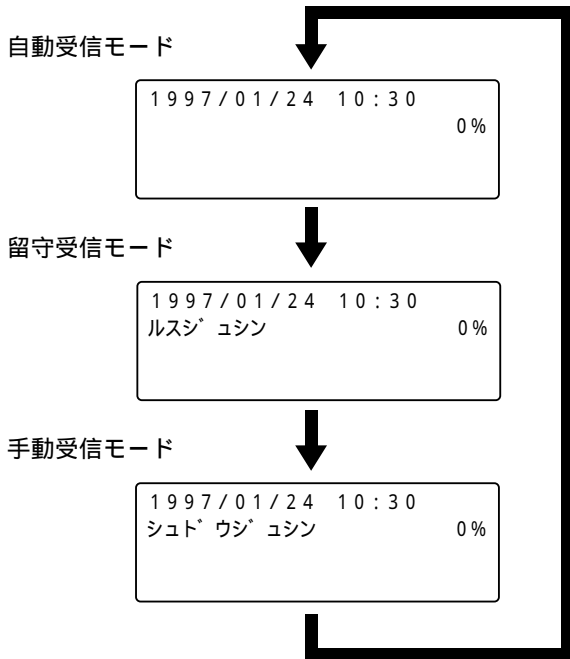
G4通信ユニット（オプション）を増設した場合、G4モードの受信は常に自動受信となります。

受信モードの種類

受信モード		ご利用の目安	ディスプレイ表示
自動受信 (●P76)	ファクス専用モード	ファクスだけを受けたいとき	表示なし
	電話優先モード	電話もファクスも受けたいとき	
手動受信 (●P78)	電話モード	ファクスより電話の方が多いとき	「シュドウジュシン」
留守受信 (●P79)	留守番電話機接続モード	留守中に、用件もファクスも受けたいとき	「ルスジュシン」

受信モードを切り替えるには

受信モード ボタンを繰り返し押しすと、受信モードが次の順序で切り替わります。



ワンポイント.....

呼出音の回数（ベル回数）を設定するには
ファクスが自動着信するまでに鳴る呼出音の回数は、ご利用に合わせて0（鳴らない）～10回に変更することができます（●P247）。お買い求めのときは「0回」に設定されています。

毎日の指定した時刻に受信モードを切り替えるには
（●P176）

受信した原稿は
原稿を受信すると、最適なサイズの記録紙が自動的に選択されます。記録紙の選択のしかたは、ご利用に合わせて設定することができます。（●P237）



お知らせ

ダイヤルイン（●P179）が設定されているときは自動受信モードのみとなり、切り替えることはできません。

「ユウセンソウシン」または「タイマ」の表示が出ているときに **受信モード** ボタンを押すと、優先送信またはタイマ通信の設定が解除されて受信モードが切り替わります。

本装置には、音声応答機能はありません。

1 お使いになる前に

2 ファックスを送る

3 ファックスを受ける

4 コピーする

5 電話をかける / 受ける

自動受信 (ファクス専用モード)

呼出音が鳴る 1

ファクスが着信する


相手先がファクスのとき自動的にファクスを受信します。

相手先が電話のとき相手の方には「ピー」という音が聞こえ、ファクスだけを受信します。相手の方には、この番号がファクス専用であることをあらかじめ知らせておいてください。

手動受信 (電話モード)

呼出音が鳴る

受話器を取りあげる

相手先がファクスのとき「ポー・ポー・ポー」という音が聞こえます。 ボタンを押すと、ファクスを受信できます。

相手先が電話のとき相手の方と話しができます。話しをしたあと、ファクスを受信することもできます。

自動受信 (電話優先モード)

呼出音が鳴る 1

呼出音がいったん止まる(ファクスを識別する) 2

相手先がファクスのときファクスの信号を識別すると、自動的にファクスを受信します。

相手先が電話のとき再び呼出音が約30秒間鳴ります。その間に受話器を取ると、相手の方と話しができます。

留守受信 (留守番電話機接続モード)

あらかじめ留守番電話機を本装置に接続しておきます。

呼出音が鳴る

留守番電話機が応答する

相手先がファクスのとき留守番電話機の応答メッセージを流し、ファクスの信号を識別すると、自動的にファクスを受信します。

相手先が電話のとき留守番電話機の応答メッセージを流し、用件を録音する。(P79)

1

ベル回数 (P247) を1~10回に設定しておく、ファクスが着信する前に呼出音を鳴らすことができます。0回に設定しておく、呼出音は鳴りません。

2

電話優先モードでは、設定したベル回数分の呼出音が鳴ったあと、ファクスの信号を識別するためにいったん回線をつないでから、約30秒間呼出音を鳴らします。このため、再び呼出音が鳴り出したときには、受話器を取りあげなくても相手に通話料金がかかります。



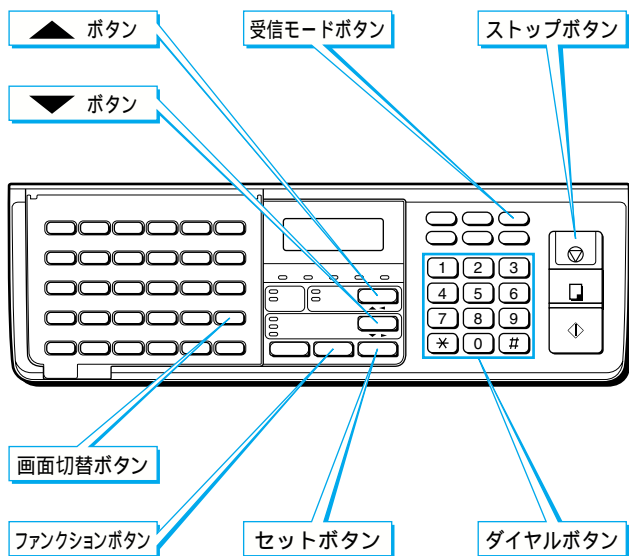
お知らせ

本装置には、音声応答機能はありません。



自動的にファクスを受けるには (自動受信)

受信モード ボタンを繰り返し押し、自動受信モードを選択しておけば、ファクスが送られてきたとき、自動的に受信します。



自動受信のモードを設定する

自動受信モードには、ファクス専用モードと電話優先モードとがあります。あらかじめ、どちらのモードで自動受信するかを設定しておきます。お買い求めのときは、ファクス専用モードに設定されています。ダイヤルイン (☎P179) が設定されているときは設定できません。

1 **ファンクション** ボタン、**3** を押します。

- ファンクション (1-7)
- 1: キノウ センタク ?
 - 2: リスト プ リント モード ?
 - 3: ジ ユシン モード ?

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

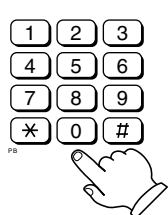
2 **セット** ボタンを押します。

- ジ ユシン モード (1-3)
- 1: ジ ド ウ ジ ユシン セッテイ ?
 - 2: タイマキリカエ セッテイ ?
 - 3: ダ イヤルイン セッテイ ?



3 **1** を押します。

- ジ ユシン モード (1-3)
- 1: ジ ド ウ ジ ユシン セッテイ ?
 - 2: タイマキリカエ セッテイ ?
 - 3: ダ イヤルイン セッテイ ?



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

4 **セット** ボタンを押します。

- ジ ド ウジ ユシン (1-2)
- 1. ファクス センヨウ
 - 2. テ ンワ ユウセン



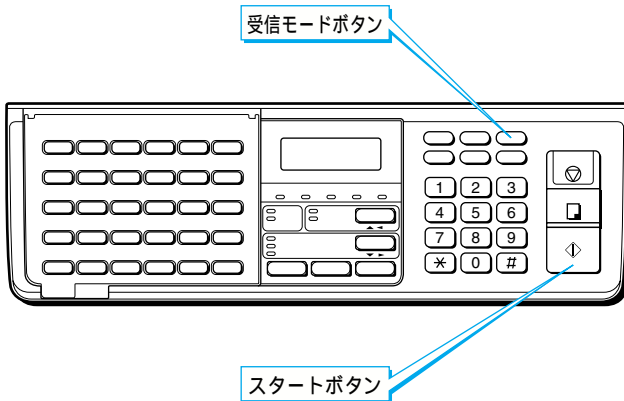
3. ファクスを受ける

電話で話しをしてからファクスを受けるには

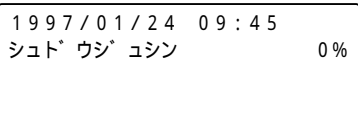
(手動受信) **G3**



受信モード ボタンを繰り返し押し、ディスプレイに「シドウジュシン」を表示させます。相手の方と電話で話したあとで原稿を受信することができます。



1 呼出音が鳴ります。



2 受話器を取りあげて相手の方と話しをします。

相手の方がファクスを送ってきた場合には「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえます。



ワンポイント.....

受信を中断するには (●P82)

相手の方がファクスのときは

受話器を取りあげると「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえます。スタートボタンを押すと、ファクスを受信することができます。何も音が聞こえないときは、呼びかけても返事がないことを確認してからスタートボタンを押します。

記録紙が詰まったときは (●P269)

外付け電話機で電話を受けたときは

リモート受信 (●P81) の操作をしてください。

お知らせ

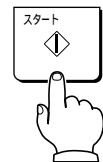
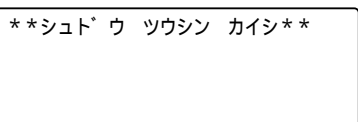
相手の方が手動送信 (●P64) でファクスを送ろうとしている場合は、受話器を取りあげても無音の場合があります。呼びかけても返事がないことを再度確認してから、スタートボタンを押してください。

手順3でスタートボタンを押すときに原稿がセットされている場合は、ファクスの送信になります。受信するときは、原稿を取り除いてからスタートボタンを押してください。

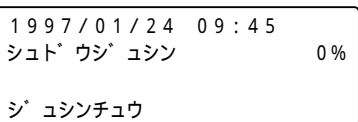
手順1でこちらから電話をかけたときもファクスを受けることができます。

3 ファクスを受信するときは、話しが終わってからスタートボタンを押して、受話器を置きます。

受信が開始されます。



待機画面に戻ります。



受信が終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

3. ファクスを受ける

留守番電話機を接続してファクスを受けるには (留守受信) G3

1 お使いになる前に

2 ファクスを送る

3 ファクスを受ける

4 コピーする

5 電話をかける / 受ける

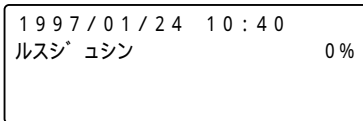
留守番電話機を接続して、ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは留守番電話機に用件を録音することができます。

準備をする

留守番電話機を本装置に接続します。(P28)
留守番電話機に応答メッセージを入れます。(留守番電話機の取扱説明書を参照してください。)

外出する前に

受信モード ボタンを繰り返し押し、ディスプレイに「ルスジュシン」を表示させます。



接続した留守番電話機を「留守」にセットします。(留守番電話機の取扱説明書を参照してください。)

外出中には

呼出音が鳴る

留守番電話機の応答メッセージが流れる

相手先がファクスのとき
自動的にファクスを受信する

相手先が電話のとき
留守番電話機に用件を録音する
ファクスが送られてきたら、自動的にファクスを受信する

帰宅したら

接続した留守番電話機の「留守」セットを解除します。(留守番電話機の取扱説明書を参照してください。)

受信モード ボタンを押して、留守受信モードを解除します。

受信したファクスを受け取ります。
留守番電話機に録音された用件を聞きます。(留守番電話機の取扱説明書を参照してください。)



ワンポイント.....

留守番電話無音検出とは
用件の録音中に無音状態が約7秒続くと、自動的にファクスの受信に切り替わります。相手の録音する用件の声が小さい場合には、無音状態として検出され、自動的にファクスの受信に切り替わる場合があります。この場合には、「留守番電話無音検出」の設定を「シナイ」に変更してファクスの受信への切り替えをできないようにすることもできます。(P262)
使用する環境によっては、本機能が正しく動作しない場合があります。この場合には、本装置のアース線が正しく取り付けられていることをご確認ください。



お知らせ

次のような場合は、ファクスを受信できないことがあります。

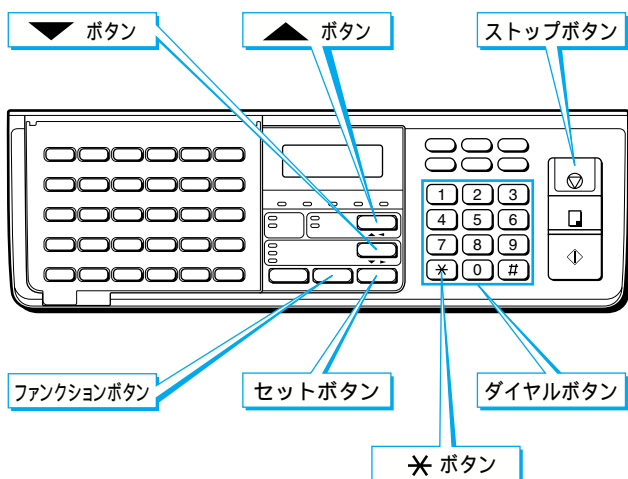
- 留守番電話機の応答メッセージが長い
 - 留守番電話機に設定されている呼出音の回数が多い
 - 相手が手動送信のとき
 - 留守番電話機の用件録音がいっぱいになっているとき
- 留守受信モードに設定しているときは、リモート受信はできません。

留守受信モードで留守番電話機が応答しているときに、本装置の受話器を取りあげた場合は、使用する留守番電話機によってファクスの受信に切り替わることがありますのでご注意ください。

外出先から留守番電話機をリモート操作して用件の録音内容を聞くときなどで、3個以上のPB信号を受けると、留守番電話機の応答メッセージが終わるまではファクス受信への切り替えは行われなくなります。

外付け電話機からの操作でファクスを受けるには (リモート受信) **G3**

本装置に接続した外付け電話機で受話器を取りあげ、電話機からの操作でファクスを受信することができます。外付け電話機で相手の方と話しをしてからファクスを受信するときには、この操作を行います。G3モードで着信し、外付け電話機で応答したときのみ利用できます。



リモート受信を設定する

お買い求めのときは、リモート受信ができないように設定されています。リモート受信を行うときは、あらかじめリモート受信を「スル」に設定しておきます。

1 **ファンクション** ボタン、**5**、**セット** ボタン、**2**、**セット** ボタン、**1** を押します。

キノウ セッテイ (1-8)
 1: リモート ジ ユシン ?
 2: セレクト ジ ユシン ?
 3: チュウケイ ト ウホウ ?

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

2 **セット** ボタンを押します。

リモート ジ ユシン
 1. シナイ
 2. スル

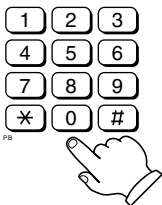


3 **1** または **2** を押して、リモート受信をするかどうかを選択します。

- 1** : リモート受信をしない
- 2** : リモート受信をする

例: **2** を押した場合

リモート ジ ユシン
 1. シナイ
 2. スル



1 を押したときは、手順6へ進みます。

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または **ファンクション** ボタンを押して選択することもできます。

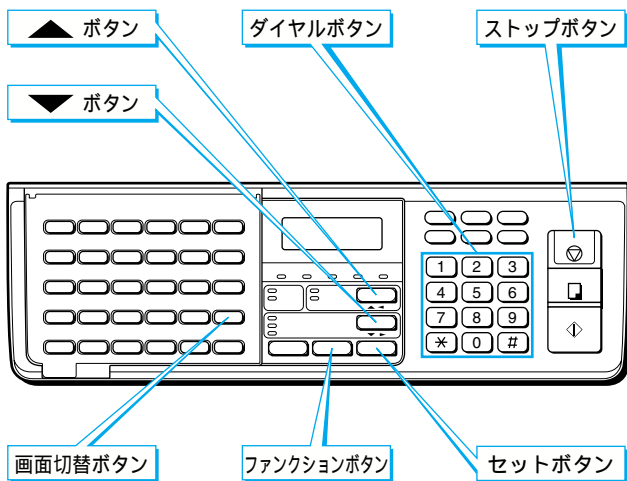
ワンポイント.....

設定操作を中止するには

ボタンを押します。



受信を中断するには



動作中に中断する


1 受信中に  ボタンを押します。

ナニヲ チュウダ' シマスカ
1:ジ ュシン

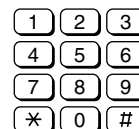


2 ダイヤルボタンを押して、中断する動作を選択します。

中断できる動作は、状態によって変わります。

例：受信動作を中断する場合 ( を押す)

ナニヲ チュウダ' シマスカ
1:ジ ュシン



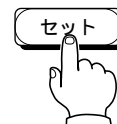
ダイヤルボタンの代わりに [▲] または [▼] ボタンを押して選択することもできます。

3  ボタンを押します。

受信が中断され、待機画面に戻ります。

1997/01/24 11:00

0%



お知らせ

中断するまで時間がかかることがあります。

1 お使いになる前に

2 ファックスを送る

3 ファックスを受ける

4 コピーする

5 電話をかける / 受ける

内容を確認して中断する

1 受信中に「ファンクション」ボタンを押します。

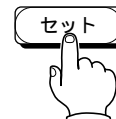
ファンクション (1-7)
 1: キノウ センタク ?
 2: リスト プ リント モード ?
 3: ジ ユシン モード ?



5 「セット」ボタンを押します。

手順4で「1」を押したときは、指定した動作が中断され、待機画面に戻ります。

1997/01/24 11:12
0%



2 「画面切替」ボタン（ワンタッチボタン24）を押します。

動作中の内容が表示されます。

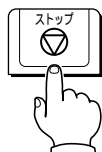
ジ ユシンチュウ P.04
 ウケツケ 01/24 11:10
 アイテ=NTTエイキ ヨウ



他の動作中の内容を表示させたいときは、さらに「画面切替」ボタンを押します。

3 内容を確認して、「ストップ」ボタンを押します。

ジ ユシンヲ
 チュウダ'ン シマスカ?
 1. ハイ
 2. イイエ



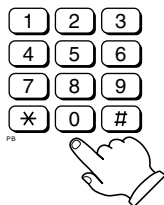
4 「1」または「2」を押して、動作を中断するかどうかを選択します。

「1」: 中断する

「2」: 中断しない

例: 「1」を押した場合

ジ ユシンヲ
 チュウダ'ン シマスカ?
 1. ハイ
 2. イイエ



ダイヤルボタンの代わりに [▲] または [▼] ボタンを押して選択することもできます。

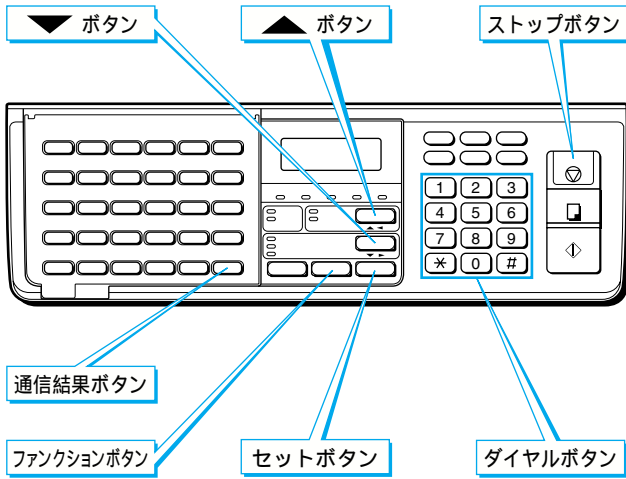
ワンポイント.....

中断操作を中止するには
 手順4で「2」を押します。

受信文書の通信結果を表示させるには

(通信結果表示)

プリント待ち、受信終了などの受信状況を知りたいときは、ディスプレイに表示させて確認することができます。



1 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション (1-7)

- 1: キノウ センタク ?
- 2: リスト プ リント モード ?
- 3: シ ュシン モード ?

2 [通信結果] ボタン (ワンタッチボタン30) を押します。

* ツウシンケッカ / ヨヤクサクジ ョ *

- 1: ソウシンブ ンシヨ
- 2: シ ュシンブ ンシヨ

3 [2] を押します。

* ツウシンケッカ / ヨヤクサクジ ョ *

- 1: ソウシンブ ンシヨ
- 2: シ ュシンブ ンシヨ

ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] または [ファンクション] ボタンを押して選択することもできます。

4 [セット] を押します。

受信文書の通信結果が表示されます。

ウケツケ 20マイ

01/24 09:20

アイテ=0335095538

ケッカ: プ リントマチ (シンテン02)

5 [▲] または [▼] ボタンを押して、通信結果を確認したい文書を検索します。

[▲] : 1つ前の文書を表示させる

[▼] : 次の文書を表示させる

ウケツケ 05マイ

01/24 09:15

アイテ=0335095538

ケッカ: シ ュシンス ミ (リョウコウ)

読取濃度

画質

ワンポイント.....

受信文書の通信結果表示の内容はディスプレイに表示される内容は次の通りです。
 「ウケツケNo.」: 受信時 (ポーリング受信のみ) に付けられた番号が表示されます。
 「ケッカ」: 現在の通信状況が表示されます。
 通信結果が表示される順番はポーリング受信予約、プリント待ち文書、プリント済み文書の順に表示されます。また、過去の履歴も表示させることができます。
 ポーリング受信を解除するには (P149)

お知らせ

受付No.は、通信管理レポート (P204) の「通番」とは異なります。

6 通信結果を確認して、**セット** ボタンを押します。

* ツウシンケッカ/ヨヤクサクジ ヨ *

1 : ソウシンブ^ン ショ

2 : シ^ユ シンブ^ン ショ



7 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

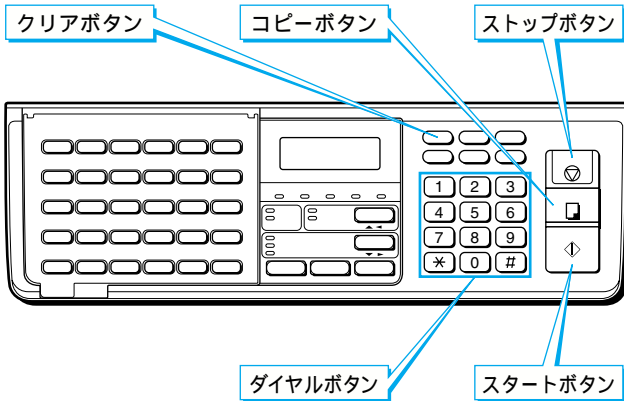
1997/01/24 09:45

0%




コピーするには

部数や倍率、記録紙のサイズなどを指定して、原稿のコピーをとることができます（最大99部）。また、2枚の原稿を1枚の記録紙にコピーすることもできます（ページ合成読取コピー）。



ワンポイント.....

コピーを中断するには

 ボタンを押して、「コピー」の中断を選択します。
（☛P67）

原稿が詰まったときは（☛P268）

記録紙が詰まったときは（☛P269）

ソートとは

たとえば3枚の原稿ABCを2部コピーする場合、1部ずつの記録紙をまとめて、ABCABCの順にプリントされます。

STOP お願い

法律によりコピーが禁じられているものもあります。次のようなもののコピーには注意してください。

- 法律で禁止されているもの
（絶対にコピーしないでください）
貨幣、紙幣、公債証券、政府発行の有価証券、郵便切手、官製はがき、印紙など（これらは外国で発行されたものも含まれます）
- 著作権のあるもの
書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、写真など
- その他注意を要するもの
民間発行の有価証券、パスポート、免許証、身分証明書、食券など

コピーする

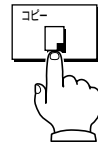
記録紙のサイズや倍率を自動的に選択してコピーします。部数を指定すると、ソートしてプリントされます。

1 原稿をセットします。（☛P51）

ゲ ンコウガ アリマス 0%

2 ボタンを押します。

フ スウ ラ シテイ シテクダ サイ
コピ -フ スウ = 01

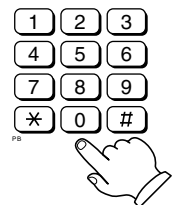


必要に応じて画質と読取濃度を設定します。（☛P52、53）
コピー時の画質モードでは、「標準」を設定できません。

3 コピーする部数（1～99）を入力します。

例：2部

フ スウ ラ シテイ シテクダ サイ
コピ -フ スウ = 02

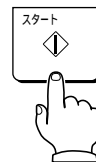


入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4 ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、コピーが開始されます。



コピ -カイシ
コピ -チュウ



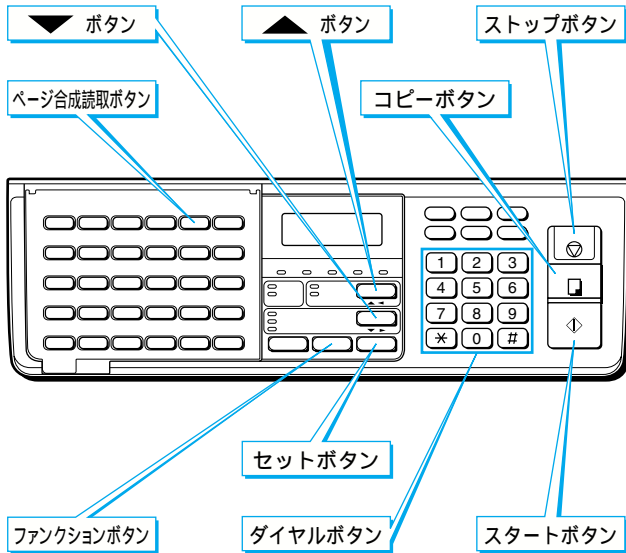
待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45 5%
コピ -チュウ

コピーが終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。

 ボタンの代わりに  ボタンを押してコピーを開始することもできます。

コピーするには



ワンポイント.....

コピーを中断するには



ボタンを押して、「コピー」の中断を選択します。
(●P67)

回転記録をするには

A4の記録紙が横向き(A4横)にセットされているときは「A4ヨコ」および「A4ヨコR」が表示され、「A4ヨコR」を選択すれば、A4の縦向き原稿(●P51)をコピーできます。

倍率や記録紙サイズを指定してコピーすると記録紙には次のよう出力されます。

読取原稿幅	倍率指定	記録紙サイズ指定			
		自動(例:A4、B4サイズの記録紙をセットしている場合)	A4/A5横/A4横R	B4/B5横	A3/A4横
A4	自動	等倍でA4記録紙に出力	等倍	122% 拡大	141% 拡大
	等倍	等倍でA4記録紙に出力	等倍		
B4	自動	等倍でB4記録紙に出力	81% 縮小	等倍	115% 拡大
	等倍	等倍でB4記録紙に出力	等倍		
A3	自動	最適なサイズに縮小してB4記録紙に出力	70% 縮小	86% 縮小	等倍
	等倍	等倍でB4記録紙に出力	等倍		



お知らせ

原稿の幅が、セットされている記録紙の幅より大きい場合に等倍を指定すると、原稿の右側の記録紙より大きい部分はコピーされません。

A4横の記録紙がセットされているときや、増設記録紙ユニットを増設している場合には、手順5の画面に最大6項目まで表示されますので、4項目以降の表示を確認して選択してください。

倍率や記録紙サイズを指定してコピーする

1 原稿をセットして、コピー部数を入力します。(●P86、手順1~3)

例: 4部

フ スウ ヲ シテイ シテクダ サイ
コピ -フ スウ = 04

2 [セット] ボタンを押します。

パ イリツ ヲ セッテイ シテクダ サイ
1.ジトウ
2.トウバ イ



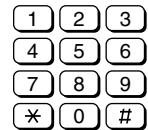
3 ① または ② を押して、倍率を選択します。

① : 自動(記録紙に合わせて等倍/縮小/拡大)

② : 等倍

例: ② を押した場合

パ イリツ ヲ セッテイ シテクダ サイ
1.ジトウ
2.トウバ イ



ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] ボタンを押して選択することもできます。

4 [セット] ボタンを押します。

キロクシヲ センタク シテクダ サイ
1.ジトウ
2.A4
3.B4



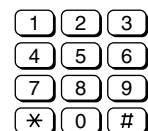
5 ダイヤルボタンを押して、記録紙サイズを選択します。

① : 自動(原稿に合わせて最適な記録紙を選択)

② ~ ⑥ : 各サイズ(選択できる記録紙サイズのみ表示)

例: ② を押した場合

キロクシヲ センタク シテクダ サイ
1.ジトウ
2.A4
3.B4

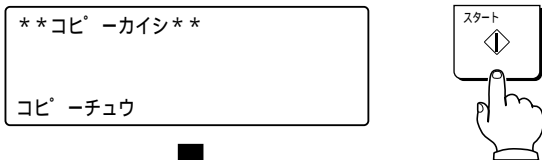


ダイヤルボタンの代わりに [▲] [▼] ボタンを押して選択することもできます。

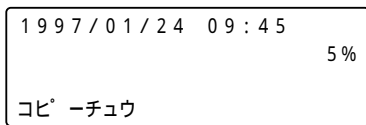
6

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、コピーが開始されます。



待機画面に戻ります。



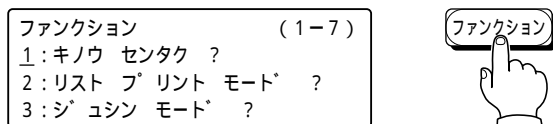
コピーが終了すると「ピーッ」という音が鳴ります。
スタート ボタンの代わりに **コピー** ボタンを押してコピーを開始することもできます。

ページ合成読取コピーをする

小さいサイズの前稿をコピーするときには、2枚の前稿を1枚の記録紙にコピーすることもできます。

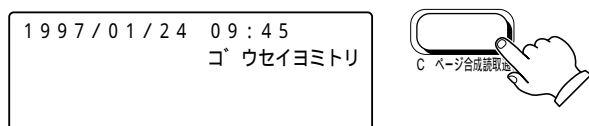
1

ファンクション ボタンを押します。



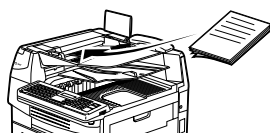
2

[ページ合成読取] ボタン (ワンタッチボタン05) を押します。



3

原稿を横向きにセットして、コピーの操作をします。
 (P86、手順1~4)



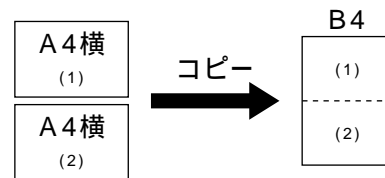
ワンポイント.....

コピーを中断するには

ストップ ボタンを押して、「コピー」の中断を選択します。
 (P67)

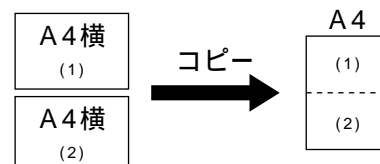
ページ合成読取コピーの例

例1: A4、B4の記録紙がセットされていて、倍率と記録紙選択を「自動」に設定した場合



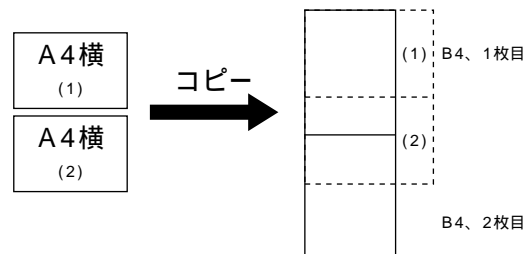
• B4記録紙1枚に適切な縮小率で縮小してコピーされます。

例2: A4、B4の記録紙がセットされていて、倍率を「自動」、記録紙選択を「A4」に設定した場合



• A4記録紙1枚に70%に縮小してコピーされます。このとき、(2)の前稿の下端部分が若干切り捨てられて記録されます。

例3: A4、B4の記録紙がセットされていて、倍率を「等倍」、記録紙選択を「自動」に設定した場合



• B4記録紙2枚に分割してコピーされます。このとき、記録紙の幅からはみ出す部分は記録されません。



お知らせ

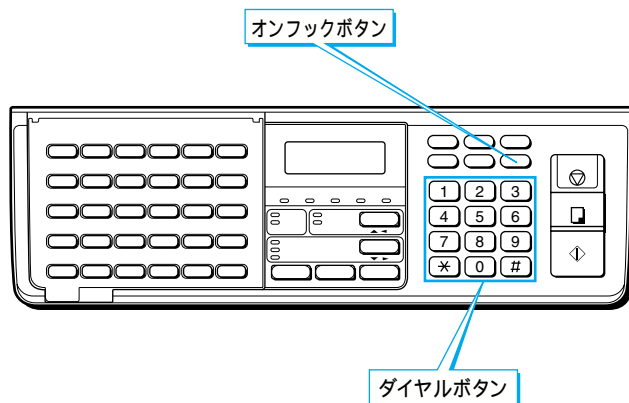
サイズの異なる原稿をページ合成読取コピーすることはできません。

電話をかけるには

(発信)

電話のかけかたには、受話器を取りあげてかける方法と、受話器を置いたままかける方法（オンフックダイヤル）とがあります。

G4通信ユニット（オプション）を増設している場合でも電話回線への発信になります。



受話器を取りあげてかける

1 受話器を取りあげます。

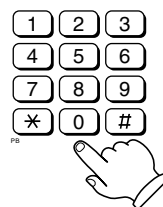
発信音が聞こえます。

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
—	

2 相手先の電話番号を入力します。

例：「0335098571」

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
0335098571_	



相手先は、ワンタッチダイヤル（●P56）／短縮ダイヤル（●P57）／電子電話帳（●P58）で指定することもできます。

3 相手の方が出たら、お話しください。

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
0335098571_	

4 話しが終わったら、受話器を置きます。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45	0%
------------------	----

ワンポイント.....

番号を間違えたときは

受話器を置いて、最初からやり直します。

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル、電子電話帳で電話をかけるときは

あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録しておきます。（●P104、108）

相手の方の声が聞こえにくいときは

受話音量スイッチ（●P20）を動かして調節します。

お知らせ

受話器で通話中にスピーカからモニタ音を聞く（オンフック）ボタンを押すことはできません。

G4通信ユニット（オプション）を増設してISDN回線のみで接続してお使いの場合には、電話をかけることはできません。

通話中に停電になったときは、停電から復旧したときに電話が切れてしまいます。もう一度かけ直すか、停電中に電源スイッチをOFFにしてください。

受話器を置いたままかける (オンフックダイヤル)

1 **オンフック** ボタンを押します。

発信音がスピーカから聞こえます。

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
—	



2 相手先の電話番号を入力します。

例：「0335098571」

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
0335098571_	



相手先は、ワンタッチダイヤル (●P56) / 短縮ダイヤル (●P57) / 電子電話帳 (●P58) で指定することもできます。

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器を取りあげてお話しください。

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
0335098571_	

4 話しが終わったら、受話器を置きます。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 09:45	0%
------------------	----

ワンポイント.....

番号を間違えたときは

オンフック ボタンを押して、最初からやり直します。

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル、電子電話帳で電話をかけるときは

あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録しておきます。(●P104、108)

スピーカからのモニタ音が聞こえにくいときは

スピーカ音量スイッチ (●P20) を動かして調節します。

お知らせ

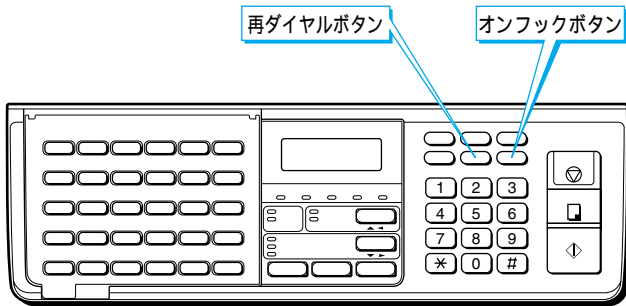
相手の方が出たあと、受話器を取りあげないと話しをすることができませんので、ご注意ください。

一度受話器を取りあげたあとで、再度スピーカからモニタ音を聞く (**オンフック** ボタンを押す) ことはできません。外付け電話機を使用しているときは、**オンフック** ボタンは使用できません。



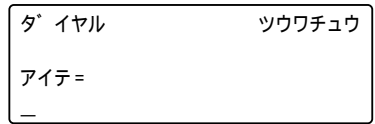
同じ相手にかけ直すには (再ダイヤル)

最後にダイヤルした相手先に、もう一度電話をかけ直すことができます。



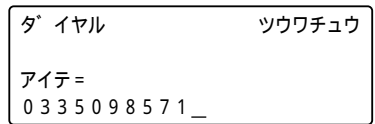
1 受話器を取りあげます。

発信音が聞こえます。

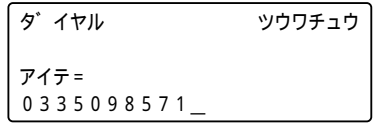


2 (再ダイヤル) ボタンを押します。

最後にダイヤルをした相手先の電話番号が表示されます。

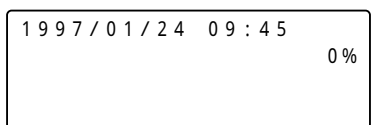


3 相手の方が出たら、お話しください。



4 話しが終わったら、受話器を置きます。

待機画面に戻ります。



ワンポイント.....

再ダイヤルを中止するには受話器を置きます。受話器を置いたまま再ダイヤルをするには手順1で受話器を取り上げる代わりに、(オンフック) ボタンを押します。相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器を取りあげてお話しください。

お知らせ

最後にダイヤルをした相手先には、電話をかけた相手先だけでなく、ファクスを送信した相手先、タイマ通信などで自動的にダイヤルした相手先も含まれます。最後にかけた電話番号が38桁を超えるときは、再ダイヤルの番号がクリアされます。



電話がかかってきたときは

(着信)

1 お使いになる前に

2 ファックスを送る

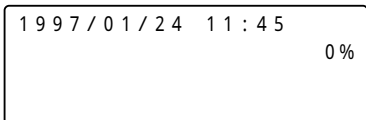
3 ファックスを受ける

4 コピーする

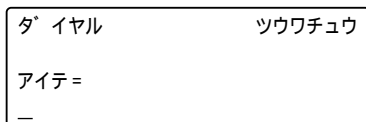
5 電話をかける / 受ける

電話がかかってきたときは、本装置の受話器で電話を受けることができます。

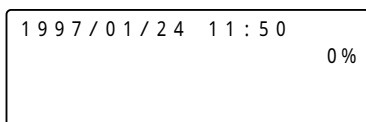
1 呼出音が鳴ります。



2 受話器を取りあげて、相手の方とお話してください。



3 話しが終わったら、受話器を置きます。



ワンポイント.....

呼出音が聞こえにくいときは
呼出音量スイッチ (P20) を動かして調節します。
相手の方の声が聞こえにくいときは
受話音量スイッチ (P20) を動かして調節します。



お知らせ

受信モードを自動受信モード (ファクス専用) にしているとき、ベル回数の設定 (P247) が「0回」に設定されていると、電話がかかってきても呼出音は鳴りません。

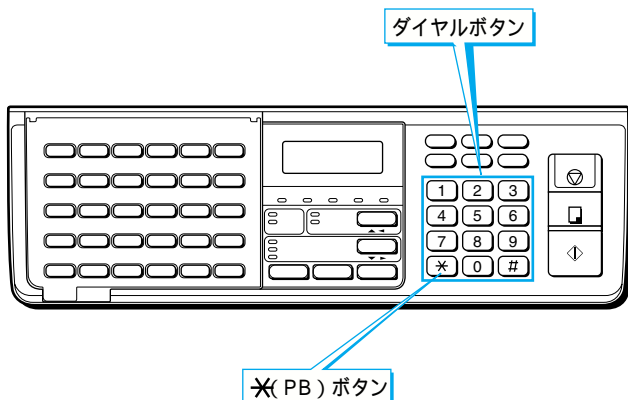
相手の方が手動送信でファクスを送ろうとしている場合は、受話器を取りあげても無音の場合があります。呼びかけても返事がないことを再度ご確認ください。G4通信ユニット (オプション) を増設している場合でも、電話を受けられるのは電話回線にかかってきた電話のみです。

通話中に停電になったときは、停電から復旧したときに電話が切れてしまいます。もう一度かけ直すか、停電中に電源スイッチをOFFにしてください。

プッシュホンサービスを利用するには

(DP PB切替)

電話回線がダイヤル回線の場合でも、PB信号によるプッシュホンサービスを利用することができます。具体的なご利用方法については、各サービス提供元へお問い合わせください。



1 受話器を取りあげます。

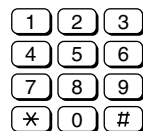
発信音が聞こえます。

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
—	

2 サービス提供元の電話番号を入力します。

例：「0335098571」

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
0335098571_	



相手先は、ワンタッチダイヤル (●P56) / 短縮ダイヤル (●P57) / 電子電話帳 (●P58) で指定することもできます。

ワンポイント.....

番号を間違えたときは
受話器を置いて、最初からやり直します。
ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル、電子電話帳で電話をかけるときは
あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録しておきます。(●P104、108)
利用できるプッシュホンサービスは
銀行ANSERサービス、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンのテレコントロール、留守番電話のリモート操作などがご利用になれます。

お知らせ

*(PB) ボタンを使ってもサービスを受けられない場合があります。詳しくは、各サービス提供元へお問い合わせください。

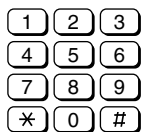
プッシュ回線をご使用の場合、またはダイヤル回線でプッシュ信号に切り替えたあとに *(PB) ボタンを押すと、* がダイヤルされます。

一度 *(PB) ボタンを押すと、その通話が終わるまでPB信号になります。受話器を置くと、ダイヤル信号に戻ります。

3 ダイヤル回線をご利用のときは、電話がつながったら、*(PB) ボタンを押します。

ディスプレイに「T」と表示されます。

ダイヤル	ツウワチュウ
アイテ=	
0335098571T_	



プッシュ回線をご使用のときは、*(PB) ボタンを押す必要はありません。

4 音声ガイダンスにしたがって、ダイヤルボタンを押します。

PB信号(「ピッポッパ」という音)で送出されます。

5 用件がすんだら、受話器を置きます。

応用編

この取扱説明書は、基本編と応用編から構成されています。基本編はファクスの基本的な使用方法について、応用編はより便利なファクスの機能について説明しています。

こんな使い方ができます。

応用編で取りあげる各機能を、利用目的ごとに分けて紹介しています。

1 ファクスをより便利に使う

ファクスのさまざまな機能について、その使い方や登録・設定方法について説明しています。

2 各種レポート/リストを出力する

通信に関するレポートや、登録内容を確認するためのリストについて説明しています。

3 ビジネスホンを通知する

本装置をビジネスホンと連動させる、便利な使い方について説明しています。

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

本装置をパソコンと接続して、プリンタあるいはスキャナとして使う方法について説明しています。

5 いろいろな機能を登録/設定する

本装置をより機能的にお使いいただくための設定変更や各種登録の手順を、まとめて紹介しています。

6 こんなときには

トラブルへの対処方法や、消耗品などについて説明しています。

7 ご参考に

各種のオプション機能、主な仕様、保守サービスのご案内などについて説明しています。

1
ファクスをより便利に
使う

2
各種レポート/リスト
を出力する

3
ビジネスホンを
通知する

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
いろいろな機能を
登録/設定する

6
こんなときには

7
ご参考に

操作説明のページの構成

章タイトル

この章のタイトルです。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

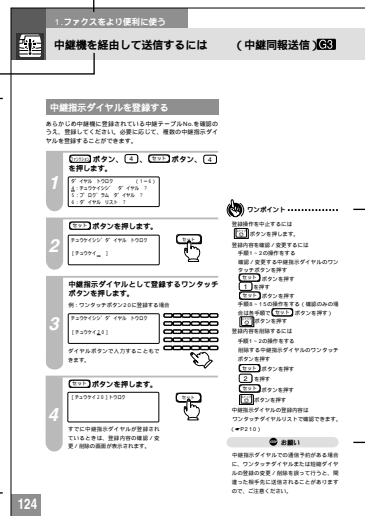
操作手順説明

順番に操作を説明しています。

マークの見方

G4 : G4通信ユニット (オプション) を増設しているときのみ利用できる機能です。

G3 : G3モードでのみ利用できる機能です。(G4モードでは利用できません。)



ワンポイント

本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

お読みまたはお知らせ

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します

お知らせ

この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示します。

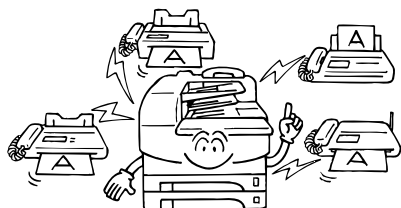
文中で操作パネルのボタンを表記する場合、イラスト、または [] で囲んで示します。(例: **[ファンクション]** ボタン、**[クリア]** ボタン)

こんな使い方ができます

送信操作の手間を省く

順次同報送信

同じ原稿なら、1回の送信操作で最大170件の相手先に送信できます。(●P102)
相手先ごとに送信操作を繰り返す必要はありません。



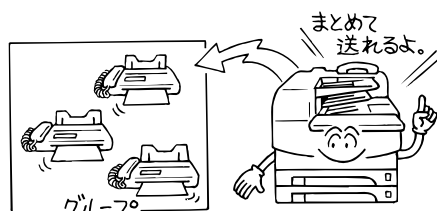
ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル

よく原稿を送る相手先を登録しておく、簡単な操作で送信できます。(●P104、108)
相手先の電話番号や名前などを登録しておきます。



グループダイヤル

複数の相手先をワンタッチボタンにグループ登録し、ワンタッチで順次に送信できます。(●P112)
送信の相手先を、目的ごとにグループ化して登録しておきます。



ワンタッチプログラムダイヤル

いつも同じ機能を設定して通信を行うときは、機能設定をプログラムしておく、ワンタッチで送信できます。(●P115)
画質モードや読取濃度のほか、通信時に使用する機能の設定ができます。



送信時の無駄な待ち時間をなくす

優先送信

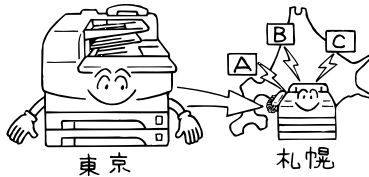
複数の相手先へ送信しているときでも、緊急の原稿を割り込ませて送信できます。(●P118)
送信待ちの原稿がメモリに蓄積されているとき、送信待ちの原稿がなくなるまで待つ必要はありません。



通信コストを下げる

中継同報送信

遠方にある同じ地域内の複数の相手先に同報送信するとき、相手先の近くにあるファックスを中継して送信させることができます。(●P121)
いったん中継機に送信して、中継機から各相手先に送信されるので、直接それぞれの相手先に送信するよりも、通信費が節約できます。



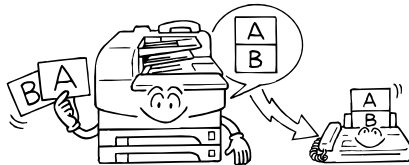
タイマ通信

深夜などの、料金の安い時間帯をタイマで指定して自動的に送信できます。(●P119)
大量の原稿を送信する場合などに便利です。



ページ合成読取送信

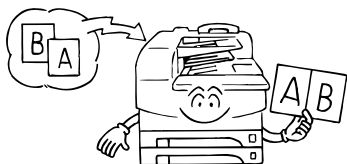
2枚の原稿を縮小し、1枚に合成して送信できます。(●P134)
原稿の送信枚数が半分で済みます。



記録紙の無駄をなくす

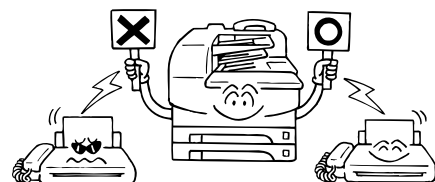
ページ合成受信

小さいサイズ of 原稿を続けて受信したときは、2枚の原稿を1枚の記録紙にプリントできます。(●P174)
例えば、B5サイズの2枚の原稿は、B4サイズ1枚に合成してプリントされます。



セレクト受信

迷惑なダイレクトメールなど、知らない相手先からの原稿は受信しないようにできます。(●P173)
あらかじめダイヤル登録してある相手先以外からの送信は受け付けません。



こんな使い方ができます

通信エラーに対処する

各種の結果レポート

通信の結果をレポートに記録できます。

(●P196)

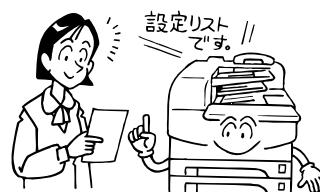
通信エラーがあったときだけ結果レポートを自動的に出力させたり、送受信の記録を定期的に出力させたりできます。



各種の登録リスト

各種の登録内容をリスト出力させて確認できます。(●P209)

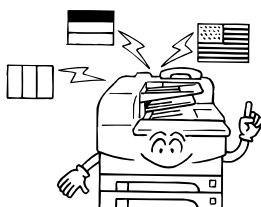
ダイヤル登録の内容や、本装置の登録/設定内容のリストを出力させ、登録内容を確認したり、記録として保存したりできます。



海外通信

海外へ送信するときの通信エラーを防止できます。(●P136)

海外通信を指定して送信すると、自動的に適切な通信設定が選択されます。



設定の手間を省く

受信モードタイマ切替

受信モードを、毎日の決まった時刻に自動的に切り替わるように設定できます。(●P176)

就業時間に合わせて昼夜で受信モードを切り替えたいときなどには、タイマをセットしておけば、毎日自動的に切り替えが行われます。



ホームポジション

原稿の画質や読取濃度などの設定を使い勝手に合わせて登録しておけば、一時的に設定を変えても、自動的に元の設定に戻ります。(●P249)

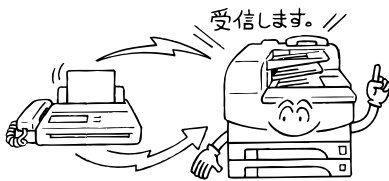
送信やコピーのたびに、設定を確認する手間が省けます。



情報の提供 / 収集をする

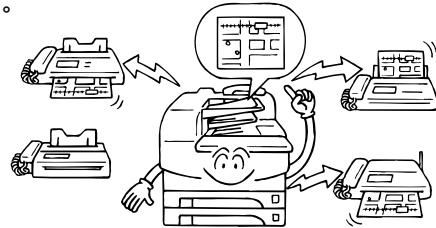
ポーリング送信

送信側がセットした原稿を、受信側の操作で送信させることができます。(●P140)
受信側の都合に合わせて原稿を取り出すことができます。通信料金は受信側の負担となります。



掲示板送信

送信側がセットした原稿を、受信側が必要なときに何度でも取り出せます。(●P140)
ポーリング送信の応用機能です。送信原稿は、送信側の操作で削除しない限り、何度でも取り出すことができます。



タイマポーリング受信

ポーリング受信を行う時刻をタイマにセットして、自動的に受信できます。(●P148)
深夜などの、料金の安い時間帯に受信すれば、受信側の負担が軽減できます。



機密性の高い通信をする

親展送信

メモリ内に受信箱（親展ボックス）を作り、暗証番号を入力しなければプリントできないようにします。(●P151)
特定の人以外に見られたくない文書は、あらかじめ開設した親展ボックス宛に送信してもらうと、暗証番号を知っている人しか受信文書を取り出せません。



サイファ送信

文書を暗号化して送受信できます。(●P166)
送信画像を復元するには16桁のサイファキーが必要です。万一盗聴されても、画像の復元が困難です。

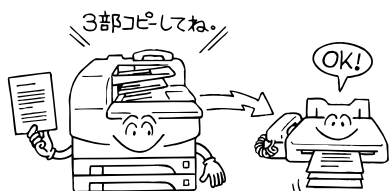


こんな使い方ができます

ビジネスの能率を上げる

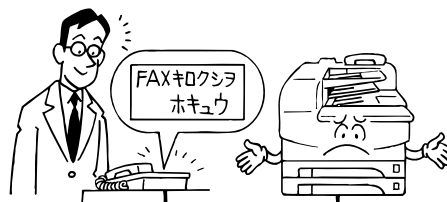
リモートマルチコピー通信

コピー部数を指定して送信できます。(●P130)
会議などで使う配付資料を送信するときは、送信先でコピーを取り直す必要がありません。



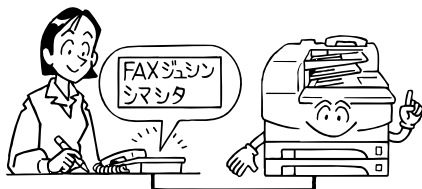
状態通知

「転送エラー」「記録紙補給」「消耗品交換」などのファクスの状態を、デスクに座ったままで知ることができます。(●P228)
ファクス管理者の内線電話機に表示され、メンテナンスが素早く行えます(ビジネスホンなどに接続時)。



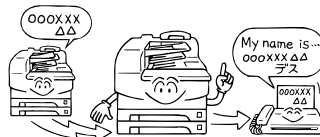
送受信通知

ファクスの送受信結果を、デスクに座ったままで知ることができます。(●P219)
本装置をビジネスホンなどの内線電話機に接続しておけば、送受信の結果を、内線電話機に表示することができます。



ルーティング通信

サブアドレスを付けて送信された文書を親展ボックスで受信したり、他のファクスへ転送したりすることができます。(●P158)
本装置をビジネスホンなどの内線電話機に接続している場合は、通信結果を表示させることもできます。

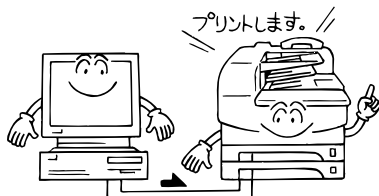


ISDNのサブアドレスとは異なります。

パソコンと接続して利用する

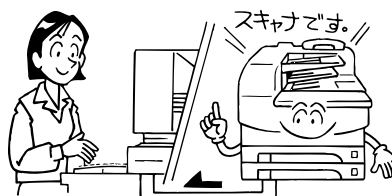
PCプリンタ

市販のファクスモデムを介してパソコンと接続し、パソコン用プリンタとして使用できます。(●P232)
パソコンからファクス通信ソフトで原稿を送信し、ファクスでプリントします。



PCスキャナ

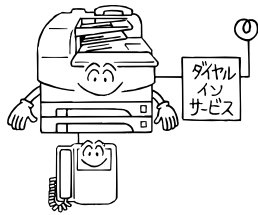
市販のファクスモデムを介してパソコンと接続し、パソコン用スキャナとして使用できます。(●P232)
ファクスで原稿を読み取り、ファクス通信ソフトを利用してパソコンに取り込みます。



NTTのさまざまなサービスを利用する

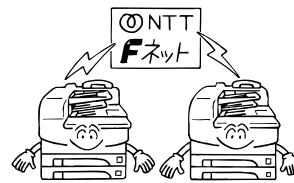
ダイヤルイン

1本の電話回線でご利用の場合でも、電話とファックスのそれぞれに電話番号を割り当てることができます。(●P179)
NTTのダイヤルインサービスを利用すれば、2つの電話番号を電話とファックスで使い分けることができます。



Fネットアクセス

送信の手間、通信エラー、通信コストが削減できます。(●P182)
NTTのファクシミリ専用ネットサービス(Fネット)に加入すると、原稿の送受信をよりスムーズにするさまざまなサービスや、いろいろな情報案内サービスなどを利用することができます。



1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキヤナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

複数の相手先を指定するには

順次同報送信などを行う場合には、下記の操作を繰り返して複数の相手先を指定します。

ダイヤルの種類	操 作
ダイヤル入力 (フルダイヤル)	<p>(電話番号を入力) →</p>
ワンタッチダイヤル	<p>(相手先を登録したワンタッチボタンを押す)</p>
短縮ダイヤル	<p>(短縮番号2桁を入力)</p>
グループダイヤル	<p>(グループダイヤルを登録したワンタッチボタンを押す)</p>
電子電話帳	<p>(相手先の名称の最初の1文字を入力)</p> <p>(相手先を表示)</p>

相手先の指定を間違えたときは、[クリア]ボタンを押します。

ワンタッチダイヤルで送信するには

よくかける相手先（最大60件）をワンタッチダイヤルに登録し、ワンタッチボタンを押すだけでダイヤルすることができます。また、サイファキーNo.（●P166）や送受信結果の通知先（●P219）を登録しておけば、これらの機能を簡単に使うことができます。

ワンタッチダイヤルに登録する

1

ワンタッチ ボタン、 **4**、 **セット** ボタン、 **1** を押します。

ダイヤル トウロク (1-6)
 1: ワンタッチ ダ イヤル ?
 2: タンシュク ダ イヤル ?
 3: グ ループ ダ イヤル ?

2

セット ボタンを押します。

ワンタッチダ イヤル トウロク
 [ワンタッチ_]

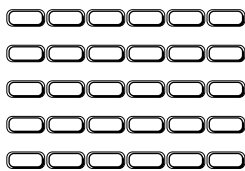


3

登録するワンタッチボタン（01～60）を押します。

例：ワンタッチボタン01

ワンタッチダ イヤル トウロク
 [ワンタッチ01]



ダイヤルボタンで入力することもできます。

4

セット ボタンを押します。

[ワンタッチ01]
 アイテ=
 _

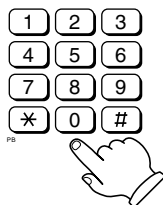


5

相手先の電話番号（最大38桁）を入力します。

例：「0335095538」

[ワンタッチ01]
 アイテ=
 0335095538_



番号を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

ワンポイント.....

登録操作を中止するには

ストップ ボタンを押します。

登録内容を確認/変更するには

手順1～2の操作をする

確認/変更するワンタッチボタンを押す

セット ボタンを押す

1 を押す

セット ボタンを押す

手順5～12の操作をする（確認の場合は各入力手順で **セット** ボタンのみを押す。）

ストップ ボタンを押す

登録内容を削除するには

手順1～2の操作をする

削除するワンタッチボタンを押す

セット ボタンを押す

2 を押す

セット ボタンを押す

ストップ ボタンを押す

お知らせ

すでにグループダイヤルやワンタッチプログラムダイヤル、中継指示ダイヤルとして登録してあるワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録することはできません。

STOP お願い

誤送信や間違い電話を防ぐため、ワンタッチダイヤルを登録する際は、番号間違いのないようディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後はダイヤルリスト（●P210、215）で正しく登録されていることを確認してください。

一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

通信予約がある場合に、ワンタッチダイヤルの変更/削除を誤って行うと、間違った相手先に送信されることがありますので、ご注意ください。

6

「セット」ボタンを押します。

[ワンタッチ01]

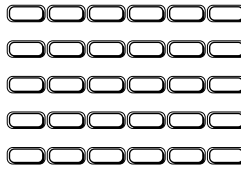
アイテサキ メイショウ=
「_」

7

相手先の名前（最大16文字）を入力します。

例：「NTTエイギョウ」

[ワンタッチ01]

アイテサキ メイショウ=
「NTTエイギョウ_」

文字を入力するには（☛P44）

入力を間違えたときは、[◀]または[▶]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

G4通信ユニット（オプション）を増設してG4モードでワンタッチダイヤルを登録しているときは、手順10へ進みます。

8

「セット」ボタンを押します。

サイファ キー シテイ

サイファキーNo. = _



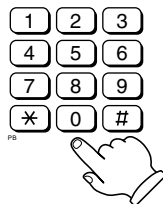
9

サイファキーNo.（2桁の数字）を入力します。

例：「01」

サイファ キー シテイ

サイファキーNo. = 01



サイファキーNo.を指定しないときは、何も入力せずに手順10へ進みます。

サイファキーNo.を指定すると、相手先への送信は自動的にサイファ送信（オートサイファ）となります。

次ページに続きます。

ワンポイント.....

電話番号の間にハイフン「-」を入れて見やすくするには

[ハイフン]ボタンを押します。

電話番号の間にスペースを入れて見やすくするには

[スペース]ボタンを押します。

電話番号の間にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには

ポーズを入れたいところで**「ポーズ」**ボタンを押します。ディスプレイには「P」が表示されます。**「ポーズ」**ボタンを1回押すごとに約3秒間のポーズが入ります。

ワンタッチダイヤルの登録内容をリストで確認するには

ワンタッチダイヤルに登録した相手先の名前や電話番号などは、ダイヤルリストを出力して確認することもできます。（☛P210、215）

G4通信ユニット（オプション）を増設しているときは（☛P287）

自動的にG4モードが選択されます（手順4の画面に「G4」と表示）。電話回線とISDN回線の両方の回線を接続してお使いの場合にG3モードを選択したいときは、[通信モード]ボタンを押します。ホームポジションでG3モードに設定しておくこともできます。（☛P249）

ISDNサブアドレスを指定するには

（G4通信ユニット増設時、☛P287）

相手先の電話番号とサブアドレスの間に[サブアドレス]ボタンを押すと、サブアドレスを指定できます。

サイファキーNo.とは

文書を暗号化して送受信するサイファ通信（☛P166）を行うときに使います。

入力するサイファキーNo.には、あらかじめサイファキーを登録しておいてください。（☛P169）

ワンタッチダイヤルで送信するには



10

セット ボタンを押します。

ソウシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ = _



ワンポイント

送信結果の通知先とは
本装置をビジネスホンなどに接続してお使いの場合に、送信結果を表示させる内線電話機の番号のことです。

海外の相手先をワンタッチダイヤルに登録するときは

手順1～5の操作をする

[海外通信] ボタン (ワンタッチボタン 23) を押す

2 を押す

セット ボタンを押す

手順6～13の操作をする

< G4モードの場合 >

手順1～5の操作をする

[海外通信] ボタン (ワンタッチボタン 23) を押す

1 または **2** を押して速度を選ぶ

セット ボタンを押す

1 または **2** を押してプロトコルを選ぶ

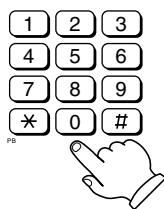
セット ボタンを押す

手順6～13の操作をする

送信結果の通知先の内線番号 (最大4桁) を入力します。

例: 「1111」

ソウシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ = 1111



送信結果の通知先を指定しないときは、何も入力せずに手順12へ進みます。

番号を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

11

セット ボタンを押します。

ワンタッチダ イヤル トウロク
[ワンタッチ_]



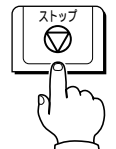
続けてワンタッチダイヤルの登録をするときは、手順3からの操作を繰り返します。

12

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



国際ダイヤル通信をご利用の場合 (KDD などをご利用になる場合)

国際電話番号 (001、0061、0041) のあとに **ポーズ** ボタンを2回押し (約6秒の休止時間が入ります)、国番号と電話番号を入力してください。

構内回線等をご利用の場合

外線発呼番号のあとに **ポーズ** ボタンを押してから、相手先の電話番号を入力してください。

NCC回線をご利用の場合

NCC回線のアクセス番号のあとに **ポーズ** ボタンを2回押し (約6秒の休止時間が入ります)、契約電話番号と相手先電話番号を入力してください。また、NCC回線接続後に、ダイヤル番号としてプッシュ (PB) 信号が必要な場合があります。ダイヤル回線をお使いの場合は、電話番号の前に ***** (PB) ボタンを押すことにより、以後のダイヤルはプッシュ信号となります。

13

短縮ダイヤルで送信するには

よくかける相手先（最大100件）を短縮ダイヤルに登録しておく、**短縮** ボタンを押してから2桁の短縮番号を入力するだけでダイヤルすることができます。また、サイファキーNo.（●P166）や送受信結果の通知先（●P219）を登録しておけば、これらの機能を簡単に使うことができます。

短縮ダイヤルを登録する

1

ファンクション ボタン、 **4**、 **セット** ボタン、 **2** を押します。

ダイヤル トウロク (1-6)
1: ワンタッチ ダイヤル ?
2: タンシュク ダイヤル ?
3: グループ ダイヤル ?

2

セット ボタンを押します。

タンシュクダイヤル トウロク
[タンシュク_]



3

登録する短縮番号(00~99)を入力します。

例: 「01」

タンシュクダイヤル トウロク
[タンシュク01]



短縮番号が00~09のときは、下1桁を入力しても指定できます。

4

セット ボタンを押します。

[タンシュク01]
アイテ=
_

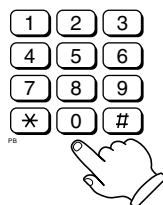


5

相手先の電話番号(最大38桁)を入力します。

例: 「0335095538」

[タンシュク01]
アイテ=
0335095538_



番号を間違えたときは、[◀]または[▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

ワンポイント.....

登録操作を中止するには

ボタンを押します。

登録内容を確認/変更するには

手順1~2の操作をする

確認/変更する短縮番号を入力する

セット ボタンを押す

1 を押す

セット ボタンを押す

手順5~12の操作をする(確認の場合は各入力手順で**セット** ボタンのみを押す)

ボタンを押す

登録内容を削除するには

手順1~2の操作をする

削除する短縮番号を押す

セット ボタンを押す

2 を押す

セット ボタンを押す

ボタンを押す

お知らせ

誤送信や間違い電話を防ぐため、短縮ダイヤルを登録する際は、番号間違いのないようディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後はダイヤルリスト(●P210、216)で正しく登録されていることを確認してください。

短縮ダイヤルにしてサイファキーNo.を登録しても、自動的にサイファ送信(オートサイファ)とはなりません。

お願い

一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

通信予約がある場合に、短縮ダイヤルの変更/削除を誤って行くと、間違えた相手先に送信されることがありますので、ご注意ください。

短縮ダイヤルで送信するには



10

セット ボタンを押します。

ソウシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ = _



ワンポイント.....

送信結果の通知先とは
本装置をビジネスホンなどに接続してお使いの場合に、送信結果を表示させる内線電話機の番号のことです。
海外の相手先を短縮ダイヤルに登録するときは

手順1~5の操作をする
[海外通信] ボタン (ワンタッチボタン23) を押す
2 を押す

セット ボタンを押す
手順6~13の操作をする

< G4モードの場合 >

手順1~5の操作をする
[海外通信] ボタン (ワンタッチボタン23) を押す
1 または **2** を押して速度を選ぶ

セット ボタンを押す

1 または **2** を押してプロトコルを選ぶ

セット ボタンを押す

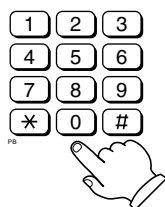
手順6~13の操作をする

11

送信結果の通知先の内線番号 (最大4桁) を入力します。

例: 「1111」

ソウシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ = 1111_



送信結果の通知先を指定しないときは、何も入力せずに手順12へ進みます。

番号を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

12

セット ボタンを押します。

タンシュクダ イヤル トウロク
[タンシュク_]



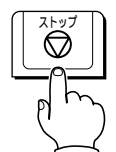
続けて短縮ダイヤルの登録をするときは、手順3の操作から繰り返します。

13

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



国際ダイヤル通信をご利用の場合 (KDDなどをご利用になる場合)

国際電話番号 (001、0061、0041) のあとに **ポーズ** ボタンを2回押し (約6秒の休止時間が入ります) 国番号と電話番号を入力してください。

構内回線等をご利用の場合

外線発呼番号のあとに **ポーズ** ボタンを押してから、相手先の電話番号を入力してください。

NCC回線をご利用の場合

NCC回線のアクセス番号のあとに **ポーズ** ボタンを2回押し (約6秒の休止時間が入ります) 契約電話番号と相手先電話番号を入力してください。また、NCC回線接続後に、ダイヤル番号としてプッシュ (PB) 信号が必要な場合があります。ダイヤル回線をお使いの場合は、電話番号の前に ***** (PB) ボタンを押すことにより、以後のダイヤルはプッシュ信号となります。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

5

グループに登録する複数の相手先（最大159件）を、ワンタッチダイヤル（☛P56）/短縮ダイヤル（☛P57）/電子電話帳（☛P58）で指定します。

例：ワンタッチダイヤル01、03、
短縮ダイヤル02、04

[グループ 12]	4アテサキ
アイテ=	[ワンタッチ01]
NTTエイギョウ	

複数の相手先を指定するには（☛P103）
[▲]または[▼]ボタンを押すと、指定した相手先が表示されます。表示されている相手先を削除したいときは、[クリア]ボタンを押します。

6

セット ボタンを押します。

[グループ 12]
アイテサキ メイショウ=
「 _ 」

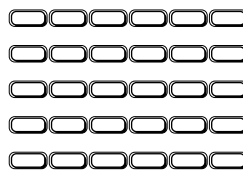


7

グループダイヤルの名称（最大16文字）を入力します。

例：「NTTグループ」

[グループ 12]
アイテサキ メイショウ=
「NTTグループ _ 」



文字を入力するには（☛P44）
入力を間違えたときは、[◀]または[▶]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

8

セット ボタンを押します。

グループダイヤル トウロク
[グループ _]



続けてグループダイヤルの登録をするときは、手順3の操作から繰り返します。

次ページに続きます。



ワンポイント.....

登録していないワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを指定したときは次の画面が表示され、その場でワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録ができます。

ダイヤルカ トウロク サレテイマセン
トウロク シマスカ
1.ハイ 2.イエ

1 または 2 を押して登録を
かどうかを選択する

セット ボタンを押す

（ワンタッチダイヤルの登録のしかたは、☛P104 / 短縮ダイヤルの登録のしかたは、☛P108）

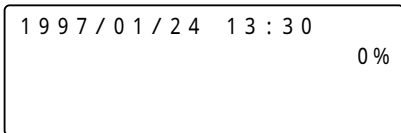
グループダイヤルで送信するには



9

 ボタンを押します。

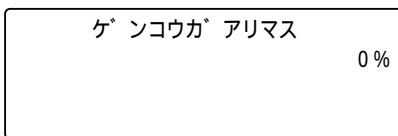
待機画面に戻ります。



グループダイヤルで送信する

1

原稿をセットします。(●P51)

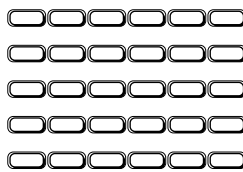
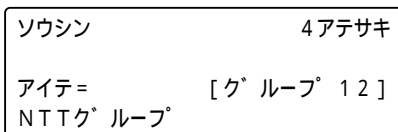


必要に応じて画質と読取濃度を設定
します。(●P52、53)


2

グループダイヤルを登録したワンタッチボタンを押します。

例：ワンタッチボタン12



約5秒後に原稿が読み込まれ、送信
が開始されます。

 ボタンを押すとすぐに原稿の
読み込みが開始されます。



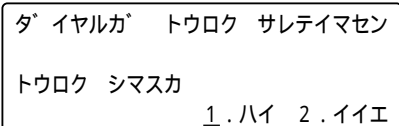
ワンポイント.....

送信を中断するには(●P67)


ワンタッチボタンを押し間違えたときは
5秒以内に[クリア]ボタンを押して、ワ
ンタッチボタンを押し直します。

登録していないワンタッチボタンを押した
ときは

次の画面が表示されます。その場でワンタ
ッチダイヤルの登録をすることもできます。



1 または 2 を押して、登録をす
るかどうかを選択する

 ボタンを押す

(ワンタッチダイヤルの登録のしかたは、
●P104)

同じ相手先に同じ設定で送信するには (ワンタッチプログラム送信)

送信時に使用するさまざまな機能(画質モード、タイマ通信など)を設定しておく、送信時にはワンタッチボタンを1回押すだけで、登録した設定内容で送信することができます。決まった相手先に同じ機能を指定して送信することが多い場合などに便利です。ワンタッチプログラムダイヤルは最大10個まで登録できます。

ワンタッチプログラムダイヤルを登録する

ワンタッチプログラム送信を行う場合は、あらかじめワンタッチボタンに相手先や通信時に使用する機能を登録しておきます。

1

ファンクション ボタン、 **4**、 **セット** ボタン、 **5** を押します。

ダイヤル トウロク (1-6)
4:チュウケイシジ ダ イヤル ?
5:プ ログ ラム ダ イヤル ?
6:ダイヤル リスト ?

2

セット ボタンを押します。

プ ログ ラム ダ イヤル トウロク
[プ ログ ラム_]

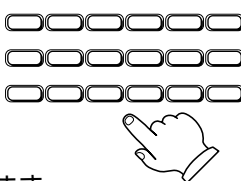


3

ワンタッチプログラムダイヤルを登録するワンタッチボタンを押します。

例: ワンタッチボタン10に登録する場合

プ ログ ラム ダ イヤル トウロク
[プ ログ ラム10]



ダイヤルボタンで入力することもできます。

4

セット ボタンを押します。

[プ ログ ラム10]トウロク



すでにワンタッチプログラムダイヤルが登録されていると、内容を確認/変更/削除する画面が表示されます。

5

必要に応じて設定する機能を指定します。

ファンクション
ワンタッチ キノウ シティ

複数の機能を続けて指定できます(ワンポイント参照)。画質と読取濃度を指定するときは、**画質** ボタン、**読取濃度** ボタンのみを押します。その他の各機能は、**ファンクション** ボタンを押してから設定する機能のボタンを押します。

次ページに続きます。



ワンポイント.....

ワンタッチプログラムダイヤルに設定できる機能は

手順5で、次の各機能を指定できます。

- 画質モード、読取濃度(●P52、53)
- 済スタンプ(オプション)(●P285)
- 優先送信(●P118)
- タイマ通信(●P119)
- ページ合成読取送信(●P134)
- リモートマルチコピー送信(●P130)
- ボーリング受信(●P140)
- 親展送信(●P151)
- サイファ送信(●P166)
- ダイレクト送信(●P60)

詳しくは各機能の解説ページを参照してください。

登録操作を中止するには

ストップ ボタンを押します。

登録内容を確認/変更するには

手順1~2の操作をする

確認/変更するワンタッチプログラムダイヤルのワンタッチボタンを押す

セット ボタンを押す

1 を押す

セット ボタンを押す

手順5~10の操作をする(確認の場合は各入力手順で **セット** ボタンのみを押す。)

ストップ ボタンを押す

登録内容を削除するには

手順1~2の操作をする

削除するワンタッチプログラムダイヤルのワンタッチボタンを押す

セット ボタンを押す

2 を押す

セット ボタンを押す

ストップ ボタンを押す

STOP お願い

ワンタッチプログラムダイヤルでの通信予約がある場合に、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの変更/削除を誤って行うと、間違った相手先に送信されることがありますので、ご注意ください。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能に登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

10

セット ボタンを押します。

フ° ロク° ラムダ° イヤル トウロク
[フ° ロク° ラム_]



続けてワンタッチプログラムダイヤルの登録をするときは、手順3の操作から繰り返します。

11

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ワンタッチプログラムダイヤルで送信する

1 原稿をセットします。(P51)

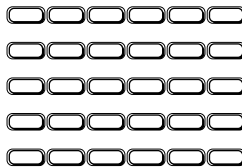
ゲ° ンコウカ° アリマス 0%

ワンタッチプログラムダイヤルに登録されているワンタッチボタンを押します。

例：ワンタッチボタン10にワンタッチプログラムダイヤルが登録している場合

2

ソウシン 1アテサキ
アイテ= [フ° ロク° ラム10]
NTTエイキ° ヨウ



約5秒後に原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

スタート ボタンを押すと、すぐに原稿の読み込みが開始されます。



ワンポイント.....

画質や読取濃度を変更したいときはワンタッチボタンを押すと、画質ランプと読取濃度ランプがワンタッチプログラムダイヤル登録時の設定に合わせて点灯または消灯します。画質、読取濃度を変更するときは、**セット** ボタンを押して、「スタートボタンヲ オシテクダサイ」が表示されているときに **画質** ボタンまたは **読取濃度** ボタンを押してください。

他の送信に割り込んで送信するには(優先送信)

送信待ちの原稿がメモリに蓄積されているとき、その原稿に優先して、急いで送信したい原稿を割り込ませ、現在送信中の原稿のすぐあとに送信させることができます。優先送信を指定できるのは1文書のみです。ダイレクト送信中は、優先送信できません。

1 原稿をセットします。(P51)

1

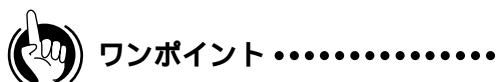
ゲ ンコウガ アリマス	30%
ソウシンチュウ	

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)

2 (ファンクショ) ボタン、[優先送信] ボタン (ワンタッチボタン03) を押します。

2

ゲ ンコウガ アリマス	30%
ユウセン ソウシン	
ソウシンチュウ	



設定操作を中止するには
[ストップ] ボタンを押します。

送信を中断するには (P67)

相手先が話し中のときは

約3分間隔で2回まで自動的に再ダイヤルされます(自動再ダイヤル)。自動再ダイヤルの回数と間隔は変更することができます。(P248)

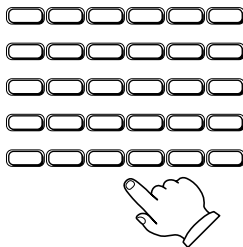
優先送信が自動再ダイヤル待ちとなった場合は、他の予約中の通信があった場合でも、優先送信が終了するまでは予約中の通信は行われません。

3 相手先を指定します。

3

例：ワンタッチボタン01

ソウシン	1アテサキ
ユウセン ソウシン	
アイテ=	[ワンタッチ01]
NTTエイキ ヨウ	



相手先は、ダイヤル入力(フルダイヤル、P54) / 短縮ダイヤル(P57) / 電子電話帳(P58)で指定することもできます。

複数の相手先(最大170件)を指定することもできます。(P103)



すでに優先送信が設定されているときに[優先送信] ボタンを押すと、「ピッピッピッ」という音が鳴り、設定できません。

相手先が話し中で、自動再ダイヤルを行っても送信できなかった場合には、メモリに蓄積された原稿は削除されますので、もう一度はじめてから送信し直してください。

優先送信は、ダイレクト送信またはタイム通信と組み合わせて設定することはできません。組み合わせて設定すると、最後に設定した機能で送信されます。

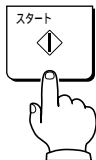
優先送信は、ポーリング通信やFネットアクセスと組み合わせて設定することはできません。

4 (スタート) ボタンを押します。

4

原稿が読み込まれます。

ウケツケNo. =<002>
1997/01/24 17:05
アイテ=NTTエイキ ヨウ
ユウセン ソウシン

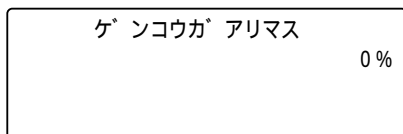


現在送信中の文書が終了したら、優先送信が開始されます。

時刻を指定して送信するには（タイマ通信）

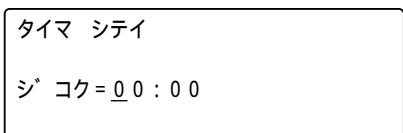
あらかじめ設定した時刻に、自動的に原稿を送信することができます。大量の原稿を、深夜の安い料金で送信したいときなどに便利です。タイマ通信は最大32文書までセットできます。

1 原稿をセットします。(P51)



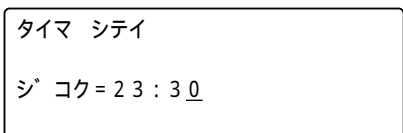
必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)

2 [ファンクション] ボタン、[タイマ通信] ボタン（ワンタッチボタン04）を押します。



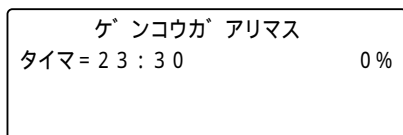
3 送信する時刻を入力します。

例：午後11時30分にセットする場合（「2330」と入力する）



時刻は24時間制で入力します。入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4 [セット] ボタンを押します。



次ページに続きます。

ワンポイント.....

設定操作を中止するには [ストップ] ボタンを押します。

設定時刻を変更するには タイマ通信を解除してから、セットし直します。

タイマ通信を解除するには (P72) タイマ通信がセットされているときに他の原稿を送信するには

そのまま他の原稿を送信します。通信レポートを出力するには通信レポート出力を設定します。(P200、205)

お知らせ

通信を、ダイレクト送信、優先送信と組み合わせで設定することはできません。

お願い

現在時刻が正確に設定されていないと、指定した時刻に送信されません。現在時刻の合わせかたについては「日付/時刻を合わせます」(P34)をご覧ください。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能に登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

時刻を指定して送信するには（タイマ通信）

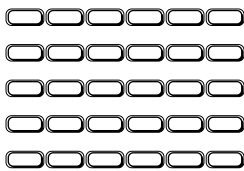


5

相手先を指定します。

例：ワンタッチボタン01

ソウシン	1アテサキ
タイム=23:30	
アイテ=	[ワンタッチ01]
NTTエイキ' ヨウ	



相手先は、ダイヤル入力（フルダイヤル、P54） / 短縮ダイヤル（P57） / 電子電話帳（P58）で指定することもできます。

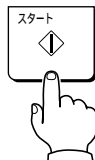
複数の相手先（最大170件）を指定することもできます。（P103）

6

ボタンを押します。

原稿が読み込まれます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/24 15:00
アイテ=NTTエイキ' ヨウ
タイム=23:30



待機画面に戻ります。

1997/01/24 15:00	5%
チクセキチュウ	

設定した時刻になると、自動的に送信が開始されます。



ワンポイント.....

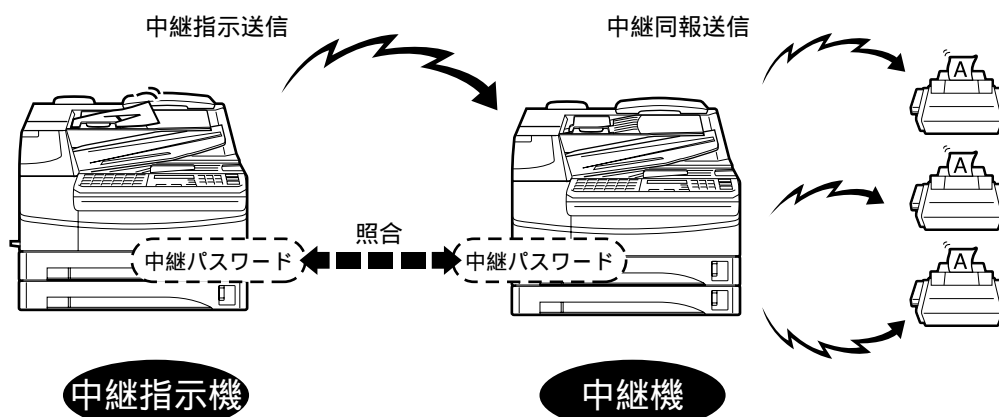
タイマ通信の結果を確認および予約解除するには（通信結果表示、P70、72）予約の確認および解除は、受付No.で文書を特定しますので、確認しておいてください。

中継機を経由して送信するには

(中継同報送信) **G3**

中継同報送信とは

複数の相手先に同じ原稿を送る場合に、直接それぞれの相手先に送信するのではなく、中継機能を持った他のファクス(中継機)にいったん送信し(中継指示送信)、その中継機から各相手先に同報送信をすることができます。遠方の同じ地域内にある複数の相手先に同報送信をする場合には、相手先と同じ地域にある中継機を経由して送信すれば、時間も通信料金も節約できます。



中継機と中継指示機とであらかじめ登録をしておくと、中継指示機で原稿をセットしてワンタッチボタンを押すだけで、中継機を経由した同報送信ができます。

ワンポイント

中継同報送信の相手先には
中継同報送信の機能を持たない相手先や、G4モードの相手先を指定することもできます。

お知らせ

中継指示送信はG3モードでのみ行えます。G4通信ユニット(オプション)を増設してISDN回線のみでお使いの場合には、中継同報送信は利用できません。
中継機として指定できる相手機種は限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

本装置を中継機として使用するときは、あらかじめ中継同報送信を「スル」に設定しておきます。(P129)
中継指示送信は、ダイレクト送信、優先送信、タイマ送信、ページ合成読取送信、サイファ送信と組み合わせて利用することができます。
中継指示送信を、親展送信、ポーリング受信、リモートマルチコピー送信と組み合わせて利用することはできません。

STOP お願い

本装置を中継指示機として使用するときには、本装置の発信元番号(電話番号)を必ず市外局番から正しく登録しておいてください(P38)。電話番号に誤りがあったり、市外局番から登録されていないと、中継機から中継結果通知を返送することができません。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

中継同報送信の準備をする

中継同報送信をするには、中継指示機と中継機とで、あらかじめ以下の登録をしておきます。

中継指示機での準備

中継機と同じ中継パスワードを登録する (●P123)
中継指示送信を行ったとき、中継機に登録されている中継パスワードと照合され、一致しないと送信することができません。

中継機をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する (●P104、108)

中継指示ダイヤルを登録する (●P124)
中継指示ダイヤルには、以下の内容を登録します。

- 中継機の登録
中継機を登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録します。中継機は1件だけ指定できます。
- 中継テーブルNo.の登録
中継機に同報送信先として登録してあるグループダイヤルの番号(中継テーブルNo.)を登録します。
- 中継指示ダイヤル名の登録
中継同報送信の相手先を示す名称を登録します。
- 中継結果通知の設定
中継同報送信の結果レポートを、中継機から返送させるかどうかを設定します。
- 中継機プリントの設定
中継機でも送信原稿をプリントさせるかどうかを設定します。

中継機での準備

中継パスワードを登録する (●P123)
中継機と中継指示機に同じパスワードが登録されていないと、中継同報送信を行うことができません。

中継機として使用できるように設定する (●P129)

同報送信の相手先を中継テーブルに登録する (●P112)
中継テーブルとは、同報送信を行う相手先をグループダイヤルとして登録したものです。中継指示機では、このグループダイヤルの番号(中継テーブルNo.)によって相手先を指定します。

中継結果レポート出力を設定する (●P200、207)
中継同報送信が行われたとき、中継機で結果レポートを出力するかどうかを設定します。

中継パスワードを登録する

中継機と中継指示機に同じ中継パスワードが登録されていないと、中継同報送信を行うことはできません。あらかじめ互いの中継パスワードを確認のうえ、登録してください。
お買い求めのときは「0000」が登録されています。

1

〔ファンクション〕 ボタン、 **〔6〕**、 **〔セット〕** ボタン、 **〔5〕** を押します。

トウロク モード* (1-11)
4:ポ-リンク* パ スワ-ド* ?
5:チュウケイ パ スワ-ド* ?
6:シンテンボ ックス ?

2

〔セット〕 ボタンを押します。

チュウケイ パ スワ-ド*
パ スワ-ド* = 0000



3

中継パスワード(4桁の数字)を入力します。

例:「1234」

チュウケイ パ スワ-ド*
パ スワ-ド* = 1234

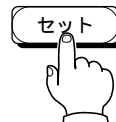


番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4

〔セット〕 ボタンを押します。

トウロク モード* (1-11)
4:ポ-リンク* パ スワ-ド* ?
5:チュウケイ パ スワ-ド* ?
6:シンテンボ ックス ?



5

〔ストップ〕 ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ワンポイント

登録操作を中止するには
〔ストップ〕 ボタンを押します。

中継指示ダイヤルを登録する

あらかじめ中継機に登録されている中継テーブルNo.を確認のうえ、登録してください。必要に応じて、複数の中継指示ダイヤルを登録することができます。

1

〔ファンクション〕 ボタン、 **〔4〕**、 **〔セット〕** ボタン、 **〔4〕** を押します。

ダイヤル トウロク (1-6)
4: チュウケイシジ ダイヤル ?
5: プロク ラム ダイヤル ?
6: ダイヤル リスト ?

2

〔セット〕 ボタンを押します。

チュウケイシジ ダイヤル トウロク
[チュウケイ_]

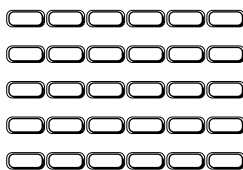


3

中継指示ダイヤルとして登録するワンタッチボタンを押します。

例: ワンタッチボタン20に登録する場合

チュウケイシジ ダイヤル トウロク
[チュウケイ20]



ダイヤルボタンで入力することもできます。

4

〔セット〕 ボタンを押します。

[チュウケイ20] トウロク



すでに中継指示ダイヤルが登録されているときは、登録内容の確認/変更/削除の画面が表示されます。



ワンポイント.....

登録操作を中止するには

〔ストップ〕 ボタンを押します。

登録内容を確認/変更するには

手順1~2の操作をする

確認/変更する中継指示ダイヤルのワンタッチボタンを押す

〔セット〕 ボタンを押す

〔1〕 を押す

手順8~15の操作をする(確認の場合は各入力手順で**〔セット〕** ボタンのみを押す。)

〔ストップ〕 ボタンを押す

登録内容を削除するには

手順1~2の操作をする

削除する中継指示ダイヤルのワンタッチボタンを押す

〔セット〕 ボタンを押す

〔2〕 を押す

〔セット〕 ボタンを押す

〔ストップ〕 ボタンを押す

中継指示ダイヤルの登録内容は

ワンタッチダイヤルリストで確認できます。

(P210)

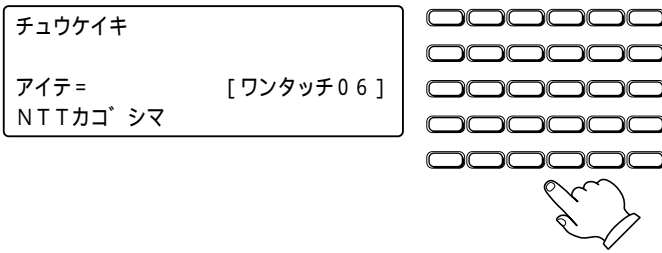
STOP お願い

中継指示ダイヤルでの通信予約がある場合に、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの登録の変更/削除を誤って行うと、間違った相手先に送信されることがありますので、ご注意ください。

5 中継機を、ワンタッチダイヤル(●P56)/短縮ダイヤル(●P57)/電子電話帳(●P58)で指定します。

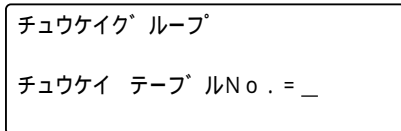
登録されている相手先名称が表示されます。

例：ワンタッチボタン06に中継機が登録してある場合



5

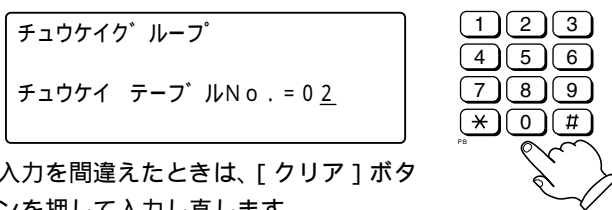
6 [セット] ボタンを押します。



6

7 中継機に登録されている同報送信先のグループダイヤルの番号(中継テーブルNo.)を入力します。

例：グループダイヤル02を指定する場合

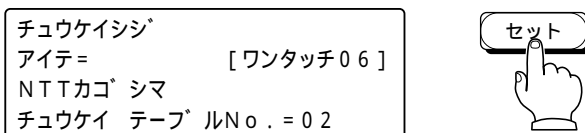


7

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

8 [セット] ボタンを押します。

中継機と中継テーブルNo.が表示されます。



8

登録内容を修正するときは、[クリア] ボタンを押して手順5の操作から登録し直します。

次ページに続きます。

ワンポイント.....

G4通信ユニット(オプション)を増設しているときは(●P287) 手順5で、G4モードの相手先を指定することはできません。

お知らせ

中継機として指定できるのは、1件のみです。すでにワンタッチダイヤルやグループダイヤル、ワンタッチプログラムダイヤルとして登録してあるワンタッチボタンに、中継指示ダイヤルを登録することはできません。

STOP お願い

あらかじめ本装置の発信元番号(電話番号)を必ず市外局番から正しく登録しておいてください(●P38)。電話番号に誤りがあったり、市外局番から登録されていなかったりすると、中継機から中継結果通知を返送することができません。

中継機を経由して送信するには

(中継同報送信) G3

登録内容を確認して **セット** ボタンを押します。

9

[チュウケイ20]
アイテサキ メイショウ=
「 _ 」

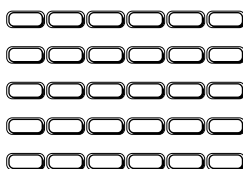


中継指示ダイヤルの名称 (最大16文字) を入力します。

10

例: 「NTT (キョウシュウ)」

[チュウケイ20]
アイテサキ メイショウ=
「NTT (キョウシュウ)」



文字を入力するには (P44)

入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

**セット** ボタンを押します。

11

チュウケイケッカ ツウチ シテイ
1. シナイ
2. スル



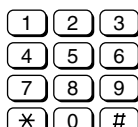
① または ② を押して、中継結果通知 (P207) を返送するかどうかを選択します。

① : 返送しない

② : 返送する

例: ② を押した場合

チュウケイケッカ ツウチ シテイ
1. シナイ
2. スル

**セット** ボタンを押します。

13

チュウケイキ プ リント シテイ
1. シナイ
2. スル



14

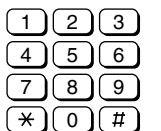
① または ② を押して、中継機でも送信原稿をプリントするかどうかを選択します。

① : プリントしない

② : プリントする

例: ② を押した場合

チュウケイキ プ リント シテイ
1. シナイ
2. スル



15

セット ボタンを押します。

チュウケイシジ^o ダ イヤル トウロク
[チュウケイ_]



続けて他の中継指示ダイヤルを登録するときは、手順3の操作から繰り返します。

16

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



中継指示送信をする

1 原稿をセットします。(P51)

ゲ ンコウガ アリマス	0%
-------------	----

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)


2 中継指示ダイヤルを登録してあるワンタッチボタンを押します。

例：ワンタッチボタン20を指定する場合


ソウシン	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
アイテ= [チュウケイ20]	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
NTT (キユウシュウ)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

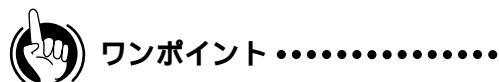
↓

ウケツケNo. =<001>
1997/01/25 13:05
アイテ=NTT (キユウシュウ)



約5秒後に原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

 ボタンを押すと、すぐに原稿の読み込みが開始されます。



送信を中断するには (P67)

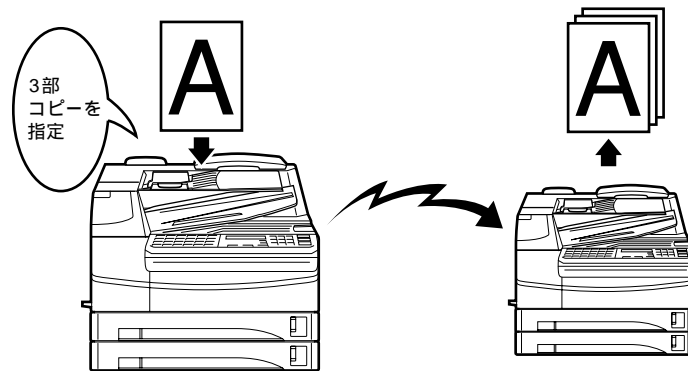
部数を指定して送信 / 受信するには (リモートマルチコピー通信) G3

リモートマルチコピー通信とは

相手先へ同じ原稿を2部以上送りたい場合に、コピー部数を指定(最大99部)して送信することができます。相手先では指定した部数が自動的にプリント出力されます(リモートマルチコピー送信)。

また、こちらがリモートマルチコピー通信を受ける場合には、コピーの部数を制限できます(リモートマルチコピー受信)。

リモートマルチコピー通信を行うと、ファクスで受けた原稿をコピーし直す必要がなく、読みやすい原稿を受け取ることができます。



お知らせ

リモートマルチコピー通信はG3モードでのみ行えます。G4通信ユニット(オプション)を増設してISDN回線のみでお使いの場合には、リモートマルチコピー通信は利用できません。

リモートマルチコピー通信を設定できる相手機種は限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

リモートマルチコピー通信は、サイファ送信、優先送信、タイマ通信と組み合わせて利用することができます。リモートマルチコピー通信を、中継指示送信、親展送信、ポーリング受信、Fネットアクセスと組み合わせて利用することはできません。

部数を指定して送信 / 受信するには (リモートマルチコピー通信) **G3**

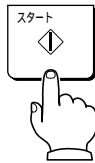


6

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/25 13:30
アイテ=NTTエイギョウ



リモートマルチコピー受信を設定する

リモートマルチコピー受信を「スル」に設定した場合には、コピーの部数を制限することができます。お買い求めのときは、リモートマルチコピー受信を「シナイ」に設定されています。

1

ファンクション ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **5** を押します。

キノウ セツテイ (1-8)
4: ページ コウセイ シュシン ?
5: リモートマルチコピー - シュシン ?
6: ビジネスホン ツウチ ?

2

セット ボタンを押します。

リモートマルチコピー - シュシン
1. シナイ
2. スル



3

1 または **2** を押して、リモートマルチコピー受信をするかどうかを選択します。

1 : リモートマルチコピー受信をしない

2 : リモートマルチコピー受信をする

例: **2** を押した場合

リモートマルチコピー - シュシン
1: シナイ
2: スル



1 を押したときは、手順6へ進みます。

ワンポイント

設定操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ / PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録 / 設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

4 **セット** ボタンを押します。

リモートマルチコピー - ジュシ
セイゲン プ スウ=99

5 **受信時の制限部数 (01~99) を入力します。**

例：7部

リモートマルチコピー - ジュシ
セイゲン プ スウ=07

入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

6 **セット** ボタンを押します。

キノウ セッテイ (1-8)
4: ページ コ ウセイ ジュシ ?
5: リモートマルチコピー - ジュシ ?
6: ビジネスホン ツウチ ?

7 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%

お知らせ

リモートマルチコピー受信をしたときは、プリント出力を中断することはできません。制限部数の設定に注意してください。

リモートマルチコピー受信の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

1 ファックスをより便利に
使う

2 各種レポート/リスト
を出力する

3 ビジネスホンに
通知する

4 PCプリンタ/
PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を
登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

1

原稿を横向きにセットします。(☛P51)

ゲ°ンコウカ°アリマス 0%



必要に応じて画質と読取濃度を設定
します。(☛P52、53)

2

【ファンクション】 ボタン、**[ページ合成読取]** ボタン
(ワンタッチボタン05) を押します。

ゲ°ンコウカ°アリマス
コ°ウセイヨミトリ

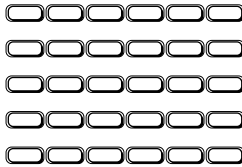


3

相手先を指定します。

例：ワンタッチダイヤル01

ソウシン 1アテサキ
ゴ°ウセイヨミトリ
アイテ= [ワンタッチ01]
NTTエイキ°ヨウ



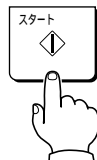
相手先は、ダイヤル入力(フルダイ
ヤル、☛P54) / 短縮ダイヤル
(☛P57) / 電子電話帳(☛P58)
で指定することもできます。
複数の相手先(最大170件)を指定
することもできます。(☛P103)


4

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/25 13:50
アイテ=NTTエイキ°ヨウ



 **ワンポイント**

送信操作を中止するには



ストップ ボタンを押します。

送信を中断するには(☛P67)

海外へ送信するには

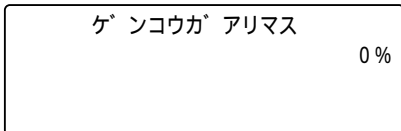
(海外通信)

海外へ送信するときは、海外送信を設定すると通信障害を軽減することができます。海外送信の設定は1回送信するごとに解除 (OFF) されます。

海外へ送信する

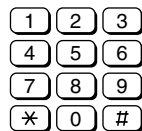
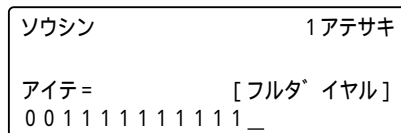
G3

1 原稿をセットします。(P51)



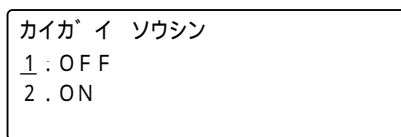
必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)

2 国際電話番号と、相手先の国番号、電話番号を入力します。

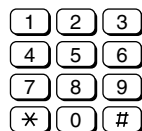
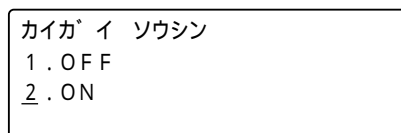


番号を間違えたときは、[◀]または[▶]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

3 [海外通信] ボタン (ワンタッチボタン23) を押します。



4 [2] を押します。



ワンポイント.....

送信操作を中止するには



ボタンを押します。

送信を中断するには (P67)

海外送信の設定をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておく

[海外通信] ボタンを押さなくても通常のファクス送信手順で海外送信を行うことができます。(ワンタッチダイヤルに登録するには、P104 / 短縮ダイヤルに登録するには、P108)

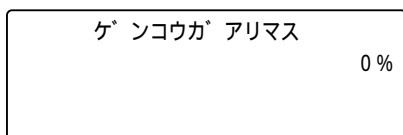
海外へ送信するには

(海外通信)

G4モードで海外へ送信する(オプション) **G4**

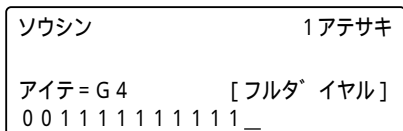
G4モードで海外通信を行う場合は、通信速度と通信手順(プロトコル)の指定が必要です。相手先に合わせて通信速度と通信手順を選んでください。

1 原稿をセットします。(☛P51)



必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(☛P52、53)

2 国際電話番号と、相手先の国番号、電話番号を入力します。



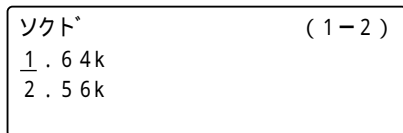
番号を間違えたときは、[◀]または[▶]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

ワンポイント.....

送信操作を中止するには
[ストップ] ボタンを押します。

送信を中断するには(☛P67)
通信速度と通信手順(プロトコル)の選び方
送信のときに相手先の番号を指定するときは、次のように通信速度と通信手順(プロトコル)を選びます。

3 [海外通信] ボタン(ワンタッチボタン23)を押します。

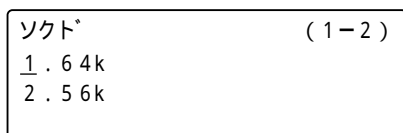


4 ① または ② を押して、通信速度を選択します。

① : 64k bit/s

② : 56k bit/s

例: ① を押した場合




相手先	通信速度		プロトコル	
	64k	56k	T.90	T.70NL
通常通信のとき				
T.70NL専用装置 ¹				
Accunet56 ² などに接続されたISDN G4装置				
Accunet56などに接続されたT.70NL専用装置 ¹				

1 初期のISDN用装置またはターミナルアダプタを接続したG4装置のことです。

2 Accunetは米国AT&Tが提供する回線サービスです。

5 **セット** ボタンを押します。

プ° プロトコル (1-2)
 1 : T.90
 2 : T.70NL

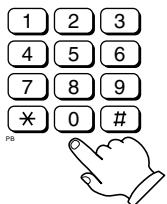


6 **1** または **2** を押して、通信手順 (プロトコル) を選択します。

1 : T.90
2 : T.70NL


例 : **1** を押した場合

プ° プロトコル (1-2)
 1 : T.90
 2 : T.70NL



7 **セット** ボタンを押します。

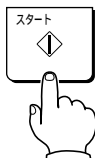
ソウシン 1アテサキ
 アイテ=G4 [フルダ° イヤル]
 0011111111111_



8 **スタート** ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
 1997/01/25 14:10
 アイテ=0011111111111

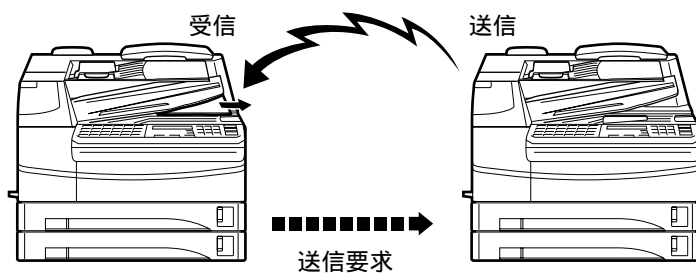


受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

ポーリング通信とは

送信側があらかじめセットしておいた原稿を受信側の操作で送信させることができます。ポーリング通信では、通信料金は受信側の負担となります。

また、機密を守るために、パスワードを使って送信先を制限することができます。

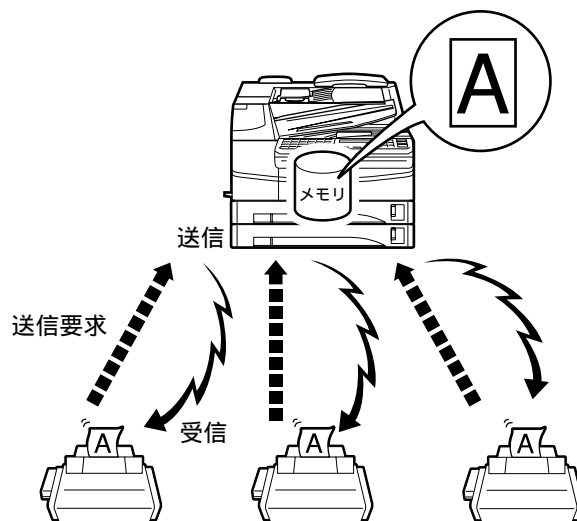


ポーリング送信 / 受信

送信側が原稿をメモリに蓄積しておき(ポーリング送信) 受信側の操作で自動的に原稿を送信させる(ポーリング受信)ことができます。このとき、通信料金は受信側の負担となります。

掲示板送信

ポーリング送信の応用機能です。掲示板送信では、ポーリング受信されてもメモリの中の原稿は消去されずに残っているので、受信側が何度でもポーリング受信できます。また、メモリの中の原稿を、本装置で記録紙にプリントすることもできます。



タイマポーリング受信

あらかじめ設定しておいた時刻に自動的にポーリング受信します。大量の原稿をポーリング受信する場合や遠くの地域からポーリング受信する場合、低料金の深夜の時間帯をセットすると料金の節約になります。

1
ファックスをより便利に
使う2
各種レポート/リスト
を出力する3
ビジネスホンに
通知する4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う5
いろいろな機能を
登録/設定する6
こんなときには7
ご参考に

ポーリング通信の準備をする

機密保持のためのポーリングパスワードを登録します（▶P142）。

登録するポーリングパスワードによって、通信できる相手先の制限のしかたが異なります。

パスワード	送信可能な相手先
4桁のスペース (お買い求めのときの設定)	ポーリングパスワードのチェックを行わず、すべての相手先に送信されます。パスワード機能のないファックスでも受信することができます。
0000	相手先のファックスがNTTの特定機種の場合には、ポーリングパスワードのチェックを行わずに、送信します。これらの機種については当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
4桁の数字	ポーリングパスワードの一致した相手にもみ送信します。G4モード（オプション）では送信できません。



お知らせ

パスワードを使用したポーリング通信は相手機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

すでにポーリング送信または掲示板送信がセットしてあるときは、さらにポーリング送信をセットすることはできません。

G4通信ユニット（オプション）を増設しているときは、パスワードが「4桁のスペース」または「0000」に設定されている場合にポーリング通信ができます。ポーリング受信およびタイマポーリング受信では、通信速度が14 400 bit/s以下となります。

受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

ポーリングパスワードを登録する

ポーリング通信で使用するポーリングパスワードを登録します。
お買い求めのときには4桁のスペースが登録されています。

1

【ファンクション】ボタン、 **6**、 **【セット】ボタン、** **4**
を押します。

トウロク モード (1-11)
4: ポーリング パスワード ?
5: チュウケイ パスワード ?
6: シンテンボックス ?

2

【セット】ボタンを押します。

ポーリング パスワード
パスワード = _



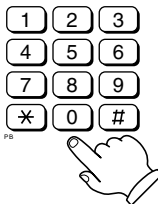
すでに登録されているときは登録内容が表示されます。

3

ポーリングパスワード(4桁の数字)を入力します。

例: 「1234」

ポーリング パスワード
パスワード = 1234



入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

ワンポイント.....

登録操作を中止するには

【ストップ】 ボタンを押します。

パスワードを変更するには

手順1~2の操作をする

[クリア] ボタンを押す

手順3~5の操作をする

パスワードとして4桁のスペースを登録すると

ポーリングパスワードのチェックを行わず、すべての相手先に送信されます。パスワード機能のないファクスでも受信することができます。

パスワードとして「0000」を登録すると相手先のファクスがNTTの特定機種の場合には、ポーリングパスワードのチェックを行わずに送信します。これらの機種については当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

お知らせ

数字とスペースを組み合わせたパスワードは登録できません。

すでにポーリング送信または掲示板送信がセットされているときに、パスワードを変更できません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う


5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

4 **セット** ボタンを押します。

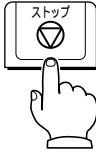
トウロクモード (1-11)
 4:ポ ーリング パ スワード ?
 5:チュウケイ パ スワード ?
 6:シンテンボ ックス ?



5 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ポーリング送信をセットする

原稿をメモリに蓄積させ、受信側の操作で自動的に送信できるようにします。

1 **原稿をセットします。(P51)**

ゲ ンコウガ アリマス 0%


必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)

2 **ファンクション** ボタン、 **1**、 **セット** ボタン、 **1** を押します。

キノウ センタク (1-3)
 1:ポ ーリング ソウシン ?
 2:ケイジ パ ン ?
 3:シンテン プ リント ?


3 **セット** ボタンを押します。



ポ ーリング ソウシン (1-2)
 1:セツテイ ?
 2:カイジ ョ ?



次ページに続きます。


ワンポイント.....

セット操作を中止するには
 ボタンを押します。

ポーリング送信を解除するには
 手順2~3の操作をする
 を押す
 ボタンを押す

送信内容を変更するには
 ポーリング送信を解除してから、セットし直します。

送信先を制限するには
 あらかじめポーリングパスワードを登録しておきます。(P142)

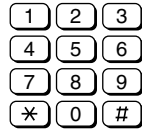
送信通知(P222)を「スル」に設定しているときは
 手順5のあと、通知先を指定する画面が表示されます。通知先を指定するときは内線番号を入力し、指定しないときはそのまま  ボタンを押します。

受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

4

1 を押します。

ポ ーリング ソウシン (1-2)
1:セッテイ ?
2:カイジ ョ ?



5

セット ボタンを押します。

スタートボ タン ヲ オシテクダ サイ



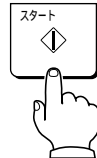
すでにポーリング送信または掲示板送信がセットされているときは、「セッテイ デキマセン」と表示され、セットできません。

6

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、ポーリング送信がセットされます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/25 14:30
アイテ=ポ ーリング ソウシン



待機画面に戻ります。

1997/01/25 14:30 5%
チクセキチュウ

1997/01/25 14:30 10%
ポ ーリング マチ

お知らせ

手動受信モードにセットされているときや、電話で受けてスタート ボタンを押したときは、ポーリング送信の要求を受け付けることができません。必ず自動受信モードに設定して、ファクスに受信させてください。送信が終了するとメモリに蓄積された原稿は消去されます。

パスワードを使用したポーリング通信は相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

当社機以外のファクスにポーリング送信をしたいときは、ポーリングパスワードに4桁のスペースを登録(●P142)してから、ポーリング送信をセットしてください。

メモリがいっぱいのときは、ポーリング送信はできません。

すでにポーリング送信または掲示板送信がセットしてあるときは、さらにポーリング送信をセットすることはできません。

ポーリング送信ができなかったときには、その結果が通信レポート(●P205)として出力されます。設定を変更して、出力されないようにすることもできます。

(●P200)

ポーリング送信は、ダイレクト送信、優先送信またはタイマ通信と組み合わせて設定することはできません。

掲示板送信をセットする

複数の相手が何度でもポーリング受信できるようにセットします。ポーリング受信をされてもメモリに蓄積された原稿は消去されません。

1 原稿をセットします。(☛P51)

ゲンコウガ アリマス 0%

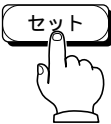
必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(☛P52、53)

2 [ファンクション] ボタン、(1)、[セット] ボタン、(2) を押します。

キノウ センタク (1-3)
 1: ポーリング ソウシン ?
 2: ケイジ パン ?
 3: シンテン プリント ?

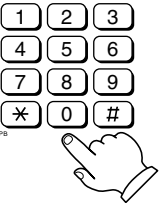
3 [セット] ボタンを押します。

ケイジ パン (1-3)
 1: セッテイ ?
 2: カイジ ヨ ?
 3: プリント ?




4 (1) を押します。

ケイジ パン (1-3)
 1: セッテイ ?
 2: カイジ ヨ ?
 3: プリント ?



5 [セット] ボタンを押します。


スタートボ タン ヲ オシテクダ サイ




すでにポーリング送信または掲示板送信がセットされているときは、「セッテイ デキマセン」と表示され、セットできません。


次ページに続きます。

ワンポイント.....

セット操作を中止するには
 ボタンを押します。


掲示板送信を解除するには
 手順2~3の操作をする
 (2) を押す
 ボタンを押す

送信内容を変更するには
 掲示板送信を解除してから、セットし直します。

掲示板の内容をプリントするには
 手順2~3の操作をする
 (3) を押す
 ボタンを押す

プリントしてもメモリの中の原稿は消去されません。また、プリントが開始されると、中断することはできません。

送信先を制限するには
 あらかじめポーリングパスワードを登録しておきます。(☛P142)

送信通知(☛P222)を「スル」に設定しているときは
 手順5のあと、通知先を指定する画面が表示されます。通知先を指定するときは内線番号を入力し、指定しないときはそのまま ボタンを押します。



受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

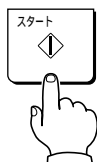
6



ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、掲示板送信がセットされます。

ウケツケNo. = < 001 >
1997/01/25 14:30
アイテ=ケイジ パン



待機画面に戻ります。

1997/01/25 14:30 5%
チクセキチュウ



1997/01/25 14:30 10%
ケイジ パン



お知らせ

手動受信モードにセットされているときや、電話で受けてスタートボタンを押したときは、掲示板送信の要求を受け付けることができません。必ず自動受信モードに設定して、ファクスに受信させてください。

パスワードを使用した掲示板送信は相手機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

当社機以外のファクスに掲示板送信をしたいときは、ポーリングパスワードに4桁のスペースを登録(●P142)してから、掲示板送信をセットしてください。

すでに掲示板送信またはポーリング送信がセットしてあるときは、さらに掲示板送信をセットすることはできません。

掲示板送信を行ったときは、通信レポートは出力されません。

掲示板送信は、ダイレクト送信、優先送信またはタイマ通信と組み合わせて設定することはできません。

メモリがいっぱいのときは、掲示板送信はできません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う


5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには


7 ご参考に

ポーリング受信をする

送信側にセットされた原稿を、本装置から操作して受信します。送信側がパスワードのチェックをしているときは、あらかじめ送信側と同じポーリングパスワードを登録しておいてください。複数の相手先を指定することもできます（マルチポーリング受信）。

1  ボタン、**[ポーリング受信]** ボタン（ワンタッチボタン19）を押します。

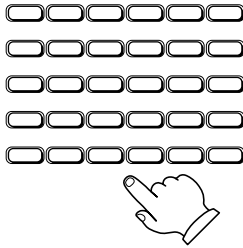
ポーリング シュシ




2 **相手先を指定します。**

例：ワンタッチボタン01

ポーリング シュシ 1アテサキ
 アイテ= [ワンタッチ01]
 NTTエイキ ヨウ

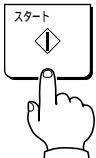


相手先は、ダイヤル入力（フルダイヤル、P54）/短縮ダイヤル（P57）/電子電話帳（P58）で指定することもできます。複数の相手先を指定することもできます。（P103）


3  ボタンを押します。

相手先にダイヤルし、ポーリングパスワードが一致すると受信を始めます。

ウケツケNo. = <001>
 1997/01/25 14:45
 アイテ=NTTエイキ ヨウ



ワンポイント.....

受信操作を中止するには  ボタンを押します。

ポーリング受信を解除するには（P149）
複数の相手先を指定するには（P103）
相手先の指定（最大170件）には、フルダイヤル、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電子電話帳が使えます。
ワンタッチプログラムダイヤル、中継指示ダイヤルが登録されているワンタッチボタンは、相手先の指定には使用できません。
複数の相手先を指定したときは、1予約しかできません。
ポーリング受信できなかったときは通信結果が通信レポート（P205）として出力されます。相手先に確認して、最初からやり直してください。通信レポートが出力されないように、設定を変更することもできます。（P200）

お知らせ

複数の相手先をワンタッチダイヤル、または、グループダイヤルで指定したときは、2件目の指定は、5秒以内に行ってください。5秒を超えると自動的にダイヤルを開始します。2件目以降は、相手先を指定してから約3分ボタンを押さずにいると、待機状態に戻ります。
パスワードを使用したポーリング通信は相手機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
ポーリング受信するときの通信料金は、受信側の負担となります。
マルチポーリング受信を行うとき、同じ相手先を複数指定することはできません。
グループダイヤルを指定したときは、グループダイヤルに登録されているワンタッチダイヤルなどの数が相手先の件数に加算されます。ただし、すでにワンタッチダイヤルなどで個別に指定した相手先と重複があった場合には、重複分が差し引かれて、1件として扱われます。
ポーリング受信は、ダイレクト送信、優先送信、Fネットアクセスと組み合わせて設定することはできません。

受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)

タイマポーリング受信をセットする

セットした時刻に、自動的にポーリング受信をすることができます。

1

ファンクション ボタン、[**ポーリング受信**] ボタン (ワンタッチボタン19) を押します。

ポ - リンク* ジ ユシン



2

ファンクション ボタン、[**タイマ通信**] ボタン (ワンタッチボタン04) を押します。

タイマ シテイ
ジ コク= 00 : 00

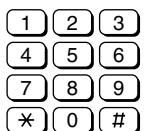


3

ポーリング受信を開始する時刻を入力します。

例：午後8時30分
「2030」と入力する

タイマ シテイ
ジ コク= 20 : 30



時刻は24時間制で入力します。
入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4

セット ボタンを押します。

ポ - リンク* ジ ユシン
タイマ= 20 : 30

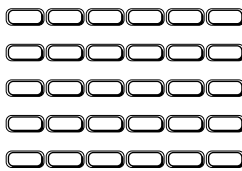


5

相手先を指定します。

例：ワンタッチボタン01

ポ - リンク* ジ ユシン 1アテサキ
タイマ= 20 : 30
アイテ= [ワンタッチ01]
NTTエイギョウ



相手先は、ダイヤル入力(フルダイヤル、P54) / 短縮ダイヤル(P57) / 電子電話帳(P58)で指定することもできます。
複数の相手先を指定することもできます。(P103)



ワンポイント.....

セット操作を中止するには
[ストップ] ボタンを押します。

セットを解除するには (P149)

複数の相手先を指定するには (P103) 相手先の指定 (最大170件) には、フルダイヤル入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電子電話帳が使えます。

ワンタッチプログラムダイヤル、中継指示ダイヤルが登録されているワンタッチボタンは、相手先の指定には使用できません。

複数の相手先を指定したときは、1予約しかできません。

タイマポーリング受信できなかったときは通信結果が通信レポート (P205) として出力されます。相手先に確認して、最初からやり直してください。通信レポートが出力されないように、設定を変更することもできます。(P200)



お知らせ

複数の相手先をワンタッチダイヤル、または、グループダイヤルで指定したときは、2件目の指定は、5秒以内に行ってください。5秒を超えると自動的にダイヤルを開始します。2件目以降は、相手先を指定してから約3分ボタンを押さずにいると、待機状態に戻ります。

パスワードを使用したポーリング通信は相手機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。ポーリング受信するときの通信料金は、受信側の負担となります。

マルチポーリング受信を行うとき、同じ相手先を複数指定することはできません。

グループダイヤルを指定したときは、グループダイヤルに登録されているワンタッチダイヤルなどの数が相手先の件数に加算されます。ただし、すでにワンタッチダイヤルなどで個別に指定した相手先と重複があった場合には、重複分が差し引かれて、1件として扱われます。

ポーリング受信は、ダイレクト送信、優先送信、Fネットアクセスと組み合わせで設定することはできません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

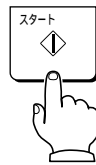
7 ご参考に

6

スタート ボタンを押します。

タイマポーリング受信がセットされます。

ウケツケNo. = <001>
1997/01/25 14:45
アイテ=NTTエイキ ヨウ
タイマ=20:30



セットした時刻になると、自動的にポーリング受信が開始されます。

ポーリング受信を解除する (通信結果表示)

1

ファンクション ボタン、**[通信結果]** ボタン (ワンタッチボタン30) を押します。

* ツウシンケッカ/ヨヤクサクジ ヨ *

1: ソウシンブ ンシヨ
2: シ ュシンブ ンシヨ



2

2 を押します。

* ツウシンケッカ/ヨヤクサクジ ヨ *

1: ソウシンブ ンシヨ
2: シ ュシンブ ンシヨ



3

セット ボタンを押します。

受信文書の通信結果が表示されます。

ウケツケNo. = <007>
01/25 11:10
アイテ=NTTエイキ ヨウ
ケッカ: ポーリング シ ュシンマチ



4

[▲] または **[▼]** ボタンを押して、解除したいポーリング受信を検索します。

[▲] : 1つ前の文書を表示させる

[▼] : 次の文書を表示させる

ウケツケNo. = <006>
01/25 11:07
アイテ=NTTシコク
ケッカ: ポーリング シ ュシンマチ



ワンポイント

ポーリング受信を解除できるのはディスプレイに「ポーリングジュシンマチ」と表示されている受信文書のみです。

次ページに続きます。

受信側の操作で通信を行うには(ポーリング通信)



5

ストップ ボタンを押します。

ウケツケNo. = <006>
01/25 11:07
アイテ=NTTシコク
サクジ ヨシマスカ 1.ハイ 2.イイエ



6

1 を押します。

ウケツケNo. = <006>
01/25 11:07
アイテ=NTTシコク
サクジ ヨシマスカ 1.ハイ 2.イイエ



7

セット ボタンを押します。

ポーリング受信が解除されます。

ウケツケNo. = <006>
01/25 11:07
アイテ=NTTシコク
サクジ ヨシマシタ



↓

ウケツケNo. = <007>
01/25 11:10
アイテ=NTTエイギ ヨウ
ケッカ:ポ -リング シ ユシンマチ

続けて受信結果を表示するときは、
手順4の操作から繰り返します。

8

セット ボタンを押します。

* ツウシンケッカ/ヨヤクサクジ ヨ *

1:ソウシンブ ンシヨ

2:ジ ユシンブ ンシヨ

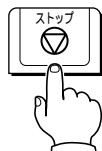


9

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

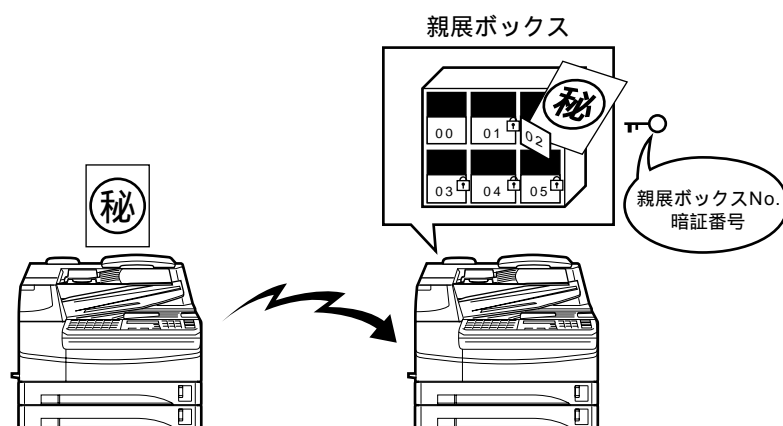
1997/01/25 13:30 0%



親展で送信 / 受信するには (親展通信) G3

親展通信とは

特定の人以外には見られたくない原稿は、親展で送信することができます。親展で送信した原稿は、相手先ファクスのメモリ内(あらかじめ送付先ごとに開設した親展ボックス)に蓄積され、親展ボックスNo.と、その親展ボックスに登録してある暗証番号を入力した場合にのみプリントできます。暗証番号を知っている人だけが親展文書を受け取ることができるので、機密性の高い通信が行えます。



親展で送信された原稿を受信すると、親展受信レポート(●P208)が出力されます。本装置がビジネスホンまたはPBX(構内電話交換システム)に接続されている場合は、指定した内線電話機のディスプレイに親展受信の結果通知を表示させることもできます。(●P219) また、親展ボックスごとにルーティング通信のサブアドレスを登録しておく、そのサブアドレスを指定して送信された文書を親展ボックスで受信することもできます。(●P158)

親展通信の準備をする

親展で受信するには

あらかじめ親展ボックスを開設し(●P152)、相手の方に親展ボックスNo.を知らせておきます。

親展ボックスには、以下の内容を登録します。

- 親展ボックスNo.(2桁の数字)の登録
- 暗証番号(4桁の数字)の登録
- 親展ボックスの名称(最大20文字)の登録
- 受信結果の通知先の内線番号(最大4桁)の登録
- ルーティング通信(●P158)のサブアドレス(最大20桁)の登録

親展送信をするときは

必ず相手先の親展ボックスNo.を確認しておいてください。



お知らせ

親展ボックスNo.「00」は暗証番号が登録できません。暗証番号を入力しなくても受信文書をプリントできるので、共用の親展ボックスとして利用できます。親展通信は、相手機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

1
ファクスをより便利に
使う

2
各種レポート/リスト
を出力する

3
ビジネスホンに
通知する

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
いろいろな機能を
登録/設定する

6
こんなときには

7
ご参考に

親展で送信 / 受信するには (親展通信) G3

親展ボックスを開設する

親展受信を行うための親展ボックス (最大10個) を登録 (開設) します。暗証番号を登録しておく必要があります。

1

ファンクション ボタン、 **6**、 **セット** ボタン、 **6** を押します。

トウロク モード (1-11)
4:ポーリング パスワード ?
5:チュウケイ パスワード ?
6:シンテンボ ックス ?

2

セット ボタンを押します。

トウロクス ミ
シンテンボ ックスNo.
00 01 14 50



親展ボックスが登録されているときはこの画面が約5秒間表示されます。



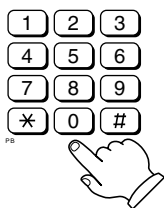
シンテンボ ックス シテイ
ボ ックスNo. = _

3

登録する親展ボックスNo. (00 ~ 99) を入力します。

例: 「02」

シンテンボ ックス シテイ
ボ ックスNo. = 02



番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4

セット ボタンを押します。

ボ ックスNo. = 02
アンショウ バンゴ ウ = _



登録済みの親展ボックスNo.を指定すると、登録内容の確認 / 変更 / 削除の手順になります。
親展ボックスNo.に「00」を指定したときは、手順7へ進みます。



ワンポイント

登録を中止するには

ストップ ボタンを押します。

登録内容を確認 / 変更するには

手順1 ~ 2の操作をする

確認 / 変更する親展ボックスNo.を入力する

セット ボタンを押す

親展ボックスに登録してある暗証番号を入力する

セット ボタンを押す

(暗証番号が違くと「ピッピッピッ」という音が鳴ります。もう一度入力し直してください。)

1 を押す

セット ボタンを押す

手順5 ~ 12の操作をする (確認の場合は各入力手順で**セット** ボタンのみを押す。)

ストップ ボタンを押す

親展ボックスNo.に「00」を指定したときは、暗証番号の入力手順はありません。

登録内容を削除するには

手順1 ~ 2の操作をする

削除する親展ボックスNo.を入力する

セット ボタンを押す

親展ボックスに登録してある暗証番号を入力する

セット ボタンを押す

(暗証番号が違くと「ピッピッピッ」という音が鳴ります。もう一度入力し直してください。)

2 を押す

セット ボタンを押す

ストップ ボタンを押す

親展ボックスNo.に「00」を指定したときは、暗証番号の入力手順はありません。

親展文書の受信結果をビジネスホンなどの内線電話機に表示させるには (P219) 手順9で、通知先の内線番号を指定します。

1
使う
ファクスをより便利に2
を出力する
各種レポート/リスト3
通知する
ビジネスホンに4
PCプリンタ /
PCスキャナとして使う5
登録 / 設定する
いろいろな機能を6
こんなときには7
ご参考に

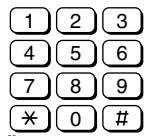
153

5 暗証番号（4桁の数字）を入力します。

例：「1234」

ボックスNo. = 02

アンショウ パンゴウ = 1234



番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

6 [セット] ボタンを押します。

シンテン ボックス メイショウ シテイ

—

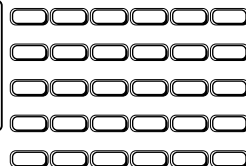


7 親展ボックスの名称（最大20文字）を入力します。

例：「NTTエイギョウ（シンテン）」

シンテン ボックス メイショウ シテイ

NTTエイギョウ（シンテン）



文字を入力するには（●P44）
入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

8 [セット] ボタンを押します。

ジ ュシン ツウチサキ シテイ

ツウチサキ =



次ページに続きます。

お知らせ

親展ボックスを削除するときは、親展ボックスの文書をプリントしておく必要があります。（●P156）

親展ボックスNo.に「00」を指定すると、暗証番号のチェックがありませんのでご注意ください。

STOP お願い

暗証番号は忘れないようご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと受信文書を取り出すことができなくなります。暗証番号を忘れた場合には、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

親展で送信 / 受信するには (親展通信) G3

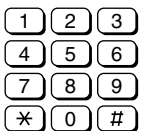


9

受信結果の通知先の内線番号 (最大4桁) を入力します。

例: 「1234」

シ ュシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ= 1 2 3 4



通知先を指定しないときは、何も入力せずに手順10へ進みます。
番号を間違えたときは [◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

10

セット ボタンを押します。

ボ ックスNo. = 0 2
サブ アド レス= _

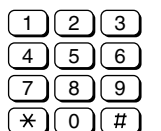


11

ルーティング通信のサブアドレス (最大20桁) を入力します。

例: 「123456」

ボ ックスNo. = 0 2
サブ アド レス= 1 2 3 4 5 6 _



サブアドレスを入力しないときは、何も入力せずに手順12へ進みます。
入力には、[*] ボタン、[#] ボタンも使用できます。
番号を間違えたときは [◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

12

セット ボタンを押します。

登録済みのすべての親展ボックスNo.が表示されます。

トウロクス ミ
シンテンボ ックスNo.
00 01 02 14 50



続けて親展ボックスの登録をするときは、手順3の操作から繰り返します。



ワンポイント.....

受信結果の通知先とは
本装置をビジネスホンなどに接続してお使いの場合に、親展文書の受信結果を通知させる内線電話機の番号のことです。(P219)
ルーティング通信のサブアドレスとは (P158)

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンター/PCスキャナとして使う

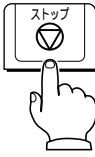
5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

13 **ストップ** ボタンを押します。
待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



親展で送信する

親展送信をするときは、あらかじめ相手先の親展ボックスNo.を確認しておいてください。

1 **原稿をセットします。(☛P51)**


ゲ ンコウガ* アリマス 0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(☛P52、53)

2 **〔ファンクション〕ボタン、[親展送信]ボタン(ワンタッチボタン20)を押します。**

シンテン ソウシン
ボ ックスNo. = _

親展送信

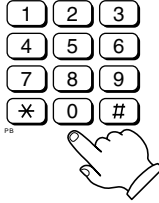


3 **相手先の親展ボックスNo.を入力します。**
例: 「02」

シンテン ソウシン
ボ ックスNo. = 0 2

1	2	3
4	5	6
7	8	9
* PB	0	#


番号を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して入力し直します。



4 **〔セット〕ボタンを押します。**

シンテン ソウシン

セット



次ページに続きます。

ワンポイント.....

送信操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。
送信を中断するには(☛P67)

お知らせ

親展送信では、指定できる相手先は1件のみです。
親展送信は、相手先の機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
親展送信は、中継指示送信、ポーリング受信またはリモートマルチコピー送信と組み合わせで設定することはできません。
Fネット(ファクシミリ通信網)を利用した通信はできません。

親展で送信 / 受信するには (親展通信) G3



5 相手先を指定します。

例: 「0335095538」

シンテン	ソウシン
アイテ=	[フルダ* イヤル]
0335095538	_



相手先は、ワンタッチダイヤル (P56) / 短縮ダイヤル (P57) / 電子電話帳 (P58) で指定することもできます。

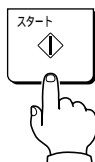
ワンポイント.....

G4通信ユニット (オプション) を増設しているときは (P287) 手順5で、G4モードの相手先を指定することはできません。

6 スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/25 15:10
アイテ=0335095538



親展受信文書をプリントする

親展で送信された文書を受信すると、ディスプレイに「シンテンジュシン」と表示されて、親展受信レポートが出力されます。(P208)

1997/01/25 15:30	10%
シンテンジュシン	

親展文書を受信したら、親展ボックスNo.を通信結果表示 (P84) または親展受信レポートで確認し、受信文書をプリントします。

ワンポイント.....

設定操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。

親展ボックスNo.が「00」のときは暗証番号を入力せずに親展受信文書を取り出すことができます。
親展受信レポートを出力しないようにするには (P203)

親展文書の受信をビジネスホンに通知するには

本装置をビジネスホンなどに接続してお使いの場合に、親展ボックスごとに受信を通知したい内線電話機の番号を登録しておく (P154)、そのビジネスホンのディスプレイに親展受信の結果を表示させることができます。(P219)

1 ファンクション ボタン、 1、 セット ボタン、 3 を押します。

キノウ センタク	(1-3)
1:ボ ーリング ソウシン ?	
2:ケイジ バン ?	
3:シンテン プ リント ?	

2 セット ボタンを押します。

シンテン ジュシン プ リント
ボ ックスNo. = _



1 ファックスをより便利に
使う2 各種レポート/リスト
を出力する3 ビジネスホンに
通知する4 PCプリンタ/
PCスキャナとして使う5 いろいろな機能を
登録/設定する

6 こんなときには

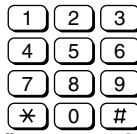
7 ご参考に

3 親展ボックスNo. (00~99) を入力します。

例: 「02」

シンテン ジュシン プリント

ボ ックスNo. = 02

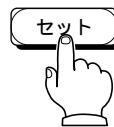


番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。親展ボックスNo.に「00」を指定したときは、手順6へ進みます。

4 [セット] ボタンを押します。

シンテン ジュシン プリント

アンショウ パンゴウ = ****



指定した親展ボックスに親展文書が受信されていないときは、「ピッピッピ」 という音が鳴ります。親展ボックスNo.を確認して、もう一度手順3からの操作を行います。

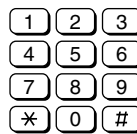
5 親展ボックスに登録されている暗証番号 (4桁の数字) を入力します。

入力した暗証番号は表示されません。

例: 「1234」

シンテン ジュシン プリント

アンショウ パンゴウ = ****

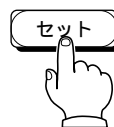


番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

6 [セット] ボタンを押します。

受信文書のプリントが開始されます。

シンテン プリント カイシ



暗証番号が違っていると、「ピッピッピ」 という音が鳴ります。暗証番号を確認して、もう一度手順5からの操作を行います。

STOP お願い

暗証番号は忘れないようご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと受信文書を取り出すことができなくなります。暗証番号を忘れた場合には、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

サブアドレスを指定して通信を行うには (ルーティング通信 G3)

ルーティング通信とは

相手先の電話番号のあとに任意の番号（サブアドレス）を指定して通信することをルーティング通信といいます。送信側が指定したサブアドレスによって、受信側は特定の親展ボックス（P151）で受信したり、他のファクスへ転送することができます。

ルーティング通信用のサブアドレスには、任意の番号を最大20桁まで登録できます。

ルーティング通信はG4モードでは行えず、G3モードのときのみ行えます。

送信側の機能

最大20桁までの任意のサブアドレスを指定して原稿を送信することができます。

ルーティング通信では順次同報送信はできません。

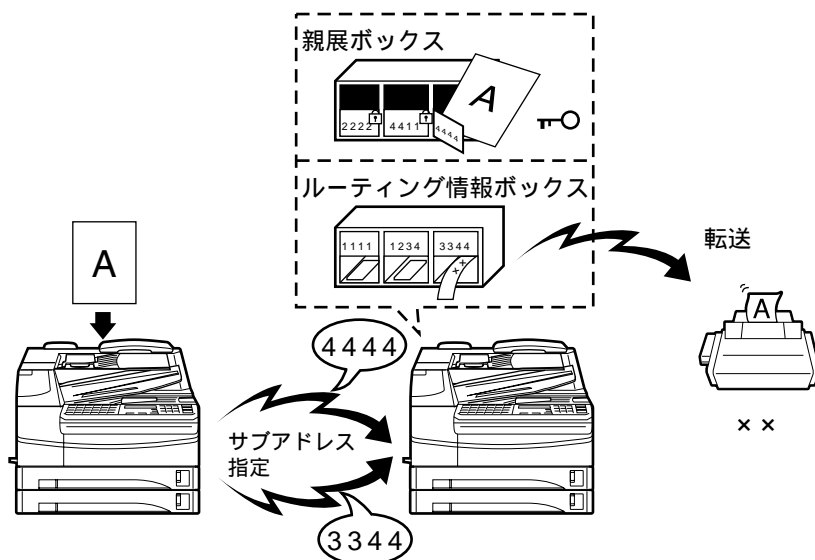
受信側の機能

親展ボックスで受信する

親展通信に使用される親展ボックスごとにサブアドレスを登録できます。送信側で指定されたサブアドレスが親展ボックスに登録されているサブアドレスと一致すると、その親展ボックスで親展受信します。

他のファクスへ転送する

ルーティング情報ボックスを開設（登録）し、サブアドレスと転送先、受信通知先などを登録しておくことができます。送信側で指定されたサブアドレスが情報ボックスに登録されているサブアドレスと一致すると、その情報ボックスに登録された転送先に受信原稿が転送されます。



ワンポイント

ルーティング通信の転送先にはルーティング通信の機能を持たない相手先や、G4モードの相手先を指定することもできます。

ルーティング通信の準備をする

お買い求めのときは、ルーティング通信は「シナイ」に設定されています。ルーティング通信をするときは、あらかじめ以下の準備をしておきます。

送信側の準備

ルーティングの設定を「スル」にする(●P160)

受信側の準備

親展ボックスで受信するとき

ルーティングの設定を「スル」にする(●P160)



親展ボックスにサブアドレスを登録する(●P154)

他のファクスへ転送するとき

ルーティングの設定を「スル」にする(●P160)



転送の相手先を、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する(●P104、108)



ルーティング情報ボックスを登録する(●P161)
情報ボックスには次の内容を登録します。

情報ボックスNo.(01~10)

サブアドレス(最大20桁)

通信結果の通知先の内線番号(4桁以内)

受信原稿の転送先(ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル)

転送原稿を本装置でプリントするかどうかの指定



ワンポイント.....

受信原稿の転送がエラーになったときは管理番号で指定した内線電話機に通知させることができます。(●P228)



お知らせ

ルーティング通信は、相手機種が限定されます。
指定したサブアドレスがどのように使用されるかは、相手側のファクスの設定によって変わります。
ルーティング通信のサブアドレスは、ISDNのサブアドレスとは異なります。

親展ボックスとルーティング情報ボックスに同じサブアドレスを登録すると、親展ボックスのサブアドレスが有効となります。

通信結果を通知できるビジネスホンまたはPBX(構内電話交換システム)は、機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。(●P219)

サブアドレスを指定して通信を行うには (ルーティング通信) G3

ルーティング通信を設定する

お買い求めのときは、ルーティング通信を「シナイ」に設定されています。ルーティング通信をご利用になるときは、あらかじめルーティング通信を「スル」に設定しておきます。

1

ファンクション ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **7** を押します。

キノウ セツテイ (1-8)
7: ルーティング ?
8: PCセツゾク ?

2

セット ボタンを押します。

ルーティング
1. シナイ
2. スル



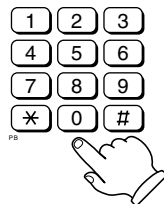
3

1 または **2** を押して、ルーティング通信
をするかどうかを選択します。

- 1** : ルーティング通信をしない
- 2** : ルーティング通信をする

例: **2** を押した場合

ルーティング
1. シナイ
2. スル



4

セット ボタンを押します。

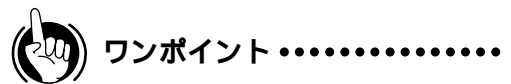
キノウ セツテイ (1-8)
7: ルーティング ?
8: PCセツゾク ?



5

ストップ ボタンを押します。

1997/01/25 15:45 0%



設定操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。



ルーティング通信の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

ルーティング情報ボックスを登録する

転送先を登録するときは、あらかじめ転送先をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておきます。

1

「ファンクション」ボタン、(6)、(セット)ボタン、(7)を押します。

トウロク モード (1-11)
 7: ルーティング ショウホウ ?
 8: ベル カイスウ ?
 9: シドゥ サイダ イアル ?

2

「セット」ボタンを押します。

登録済みの情報ボックスがあるときは情報ボックスNo.が約5秒間表示されます。

トウロク スミ ボックスNo.
 01 03 08

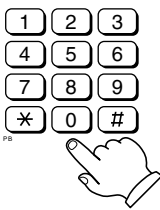


3

情報ボックスNo. (01~10)を入力します。

例: 「02」

ルーティング ショウホウ (1-10)
 ボックスNo. = 02



入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して入力し直します。

4

「セット」ボタンを押します。

ボックスNo. = 02
 サブ アドレス = _



登録済みの情報ボックスNo.を指定すると、登録内容の確認/変更/削除の画面が表示されます。

次ページに続きます。

ワンポイント.....

登録操作を中止するには
「ストップ」ボタンを押します。
 登録内容を確認/変更するには

手順1~4の操作をする

(1) を押す

「セット」ボタンを押す

手順5~12の操作をする (確認の場合は各

入力手順で**「セット」ボタン**のみを押す。)

「ストップ」ボタンを押す

登録内容を削除するには

手順1~4の操作をする

(2) を押す

「セット」ボタンを押す

「ストップ」ボタンを押す

登録できる情報ボックスの数は「01」~「10」までの10個です。

ルーティング通信の転送先はルーティング通信の機能を持たない相手先やG4モードの相手先を指定することもできます。

お知らせ

ルーティング通信を「シナイ」に設定しているときは、ルーティング情報ボックスを登録することはできません。

転送時のエラーによって転送できなかった場合は、転送元のファックスで転送エラーのレポートと受信原稿が自動的にプリントされます。



サブアドレスを指定して通信を行うには

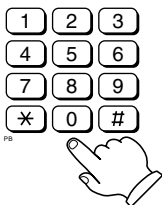
(ルーティング通信 **G3**)

5

サブアドレス (最大20桁) を入力します。

例: 「123456」

ボックスNo. = 02
サブアドレス = 123456_



入力には、**[*]** ボタン、**[#]** ボタンも使用できます。
 入力を間違えたときは、**[◀]** または **[▶]** ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。**[クリア]** ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

6

[セット] ボタンを押します。

ボックスNo. = 02
ツウチサキ = _



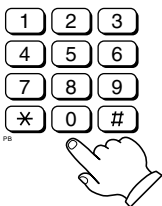
すでに通知先が登録されているときは、通知先が表示されます。

7

通信結果の通知先の内線番号 (最大4桁) を入力します。

例: 「1234」

ボックスNo. = 02
ツウチサキ = 1234_



結果通知をしないときは、何も入力せずに手順8へ進みます。
 入力を間違えたときは、**[◀]** または **[▶]** ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。**[クリア]** ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。



ワンポイント.....

通信結果の通知先とは
 本装置をビジネスホンなどに接続してお使いの場合に、転送送信の通信結果などを表示させる内線電話機のことです。(P219)



お知らせ

親展ボックスとルーティング情報ボックスに同じサブアドレスを登録すると、親展ボックスのサブアドレスが有効になります。
 受信原稿の転送先は、1件のみ指定できません。

8

[セット] ボタンを押します。

テンソウサキ
アイテ = _



1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

受信原稿の転送先(他のファクス)を、ワンタッチダイヤル(●P56)/短縮ダイヤル(●P57)/電子電話帳(●P58)で指定します。

例：ワンタッチボタン01

9

テンソウサキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイテ= [ワンタッチ01]	○	○	○	○	○	○	○	○	○
NTTエイギョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○

入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して指定し直します。



転送先を確認して、**セット** ボタンを押します。

10

テンソウゲ ノコウ シュツリョク	セット
1. シナイ	
2. スル	

1 または **2** を押して、転送原稿を本装置でプリントするかどうかを選択します。

11

1 : プリントしない
2 : プリントする

例： **2** を押した場合

テンソウゲ ノコウ シュツリョク	1	2	3
1. シナイ	4	5	6
2. スル	7	8	9
	* 0 #		

セット ボタンを押します。

12

登録済みのすべての情報ボックスNo.が表示されます。

トウロクス ミ ボ ックスNo.	セット
01 02 03 08	

ストップ ボタンを押します。

13

1997/01/25 16:00 0%	ストップ

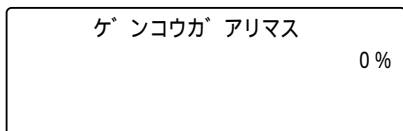


サブアドレスを指定して通信を行うには

(ルーティング通信) G3

サブアドレスを指定して送信する

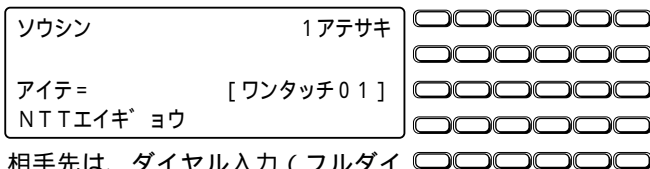
1 原稿をセットします。(P51)



必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)

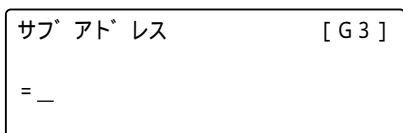
2 相手先を指定します。

例：ワンタッチボタン01



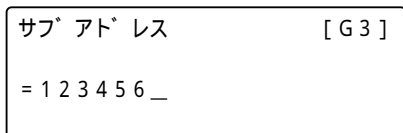
相手先は、ダイヤル入力(フルダイヤル、P54) / 短縮ダイヤル(P57) / 電子電話帳(P58)で指定することもできます。

3 セット ボタンを押します。



4 サブアドレスを入力します。

例：「123456」



入力には、* ボタン、# ボタンも使用できます。番号を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。



ワンポイント.....

送信操作を中止するには
[ストップ] ボタンを押します。

送信を中断するには (P67)

送信通知 (P222) を「スル」に設定しているときは

手順5のあと、通知先を指定する画面が表示されます。通知先を指定するときは内線番号を入力し、指定しないときはそのまま [セット] ボタンを押します。

G4通信ユニット(オプション)を増設しているときは (P287)

ルーティング通信はG4モードでは行えません。必ずG3モードの相手先を指定してください。



お知らせ

ルーティング通信を「シナイ」に設定しているときは、サブアドレスを指定することはできません。

相手先を2件以上指定しているときや、親展送信、リモートマルチコピー送信、中継指示送信、ポーリング受信では、サブアドレスを指定することはできません。

手順2で相手先をダイヤル入力(フルダイヤル)した場合は、ダイヤル入力のあと [セット] ボタンを押します。

サブアドレスを受信できない相手先に送信したときは、ディスプレイに「ヨウキュウキノウガ アリマセン」と表示され、送信できません。

指定したサブアドレスが間違っていた場合など、対応する処理が設定されていなかった場合は、ディスプレイに「ツウシン エラー」と表示され、送信できません。

1
使う
ファクスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を


6
こんなときには

7
ご参考に

5

「セット」ボタンを押します。

スタートボタンのオシテクタサイ

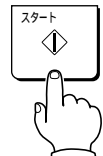


送信通知を「スル」に設定しているときは通知先を指定する画面が表示されます。

6

「スタート」ボタンを押します。

ウケツケNo. = <001>
 1997/01/25 16:15
 アイテ=NTTエイキョウ



原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

..... メモ

親展ボックス、ルーティング情報ボックスの登録内容を下の表に書き込み、忘れないようにしてください。

親展ボックス

ボックスNo.	ボックス名称	サブアドレス	用途

ルーティング情報ボックス

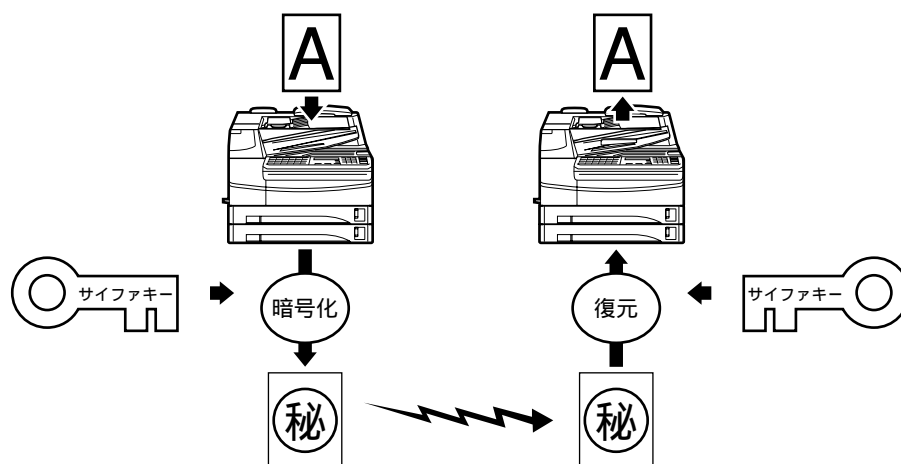
ボックスNo.	サブアドレス	用途

原稿を暗号化して送信 / 受信するには

(サイファ通信) G3

サイファ通信とは

NTT独自の暗号化方式「FEAL-8」(Fast Data Encipherment Algorithm)を使って、文書を暗号化して通信することができます。16進数16桁のサイファキー(暗号を解くためのキーワード)が送信側と受信側とで一致しないと、文書を送信することができません。また、万一通信内容を盗聴されても画像を復元することができないので、特定の人にしか見られたくない文書を送信するときも安心です。



最大40個の任意のサイファキーをサイファキーNo. (00~39)に登録しておき、通信相手ごとにサイファキーNo.によって指定します。

サイファキーNo.の指定方法にはあらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておく方法と、送信時にサイファキーNo.を入力する方法とがあります。

受信側では、送信側から送られてきた発信元番号(ファクス番号)を、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録内容と照合し、一致したダイヤルに登録されているサイファキーNo.によって、対応するサイファキーを選択します。サイファキーが一致した場合にのみサイファ受信ができます。

ワンポイント.....

サイファキーNo.「00」のサイファキーは送信時にサイファキーNo.が指定されなかった場合や、受信時に発信元番号に一致するダイヤル登録がされていない場合の「共通サイファキー」として使用されます。

お知らせ

サイファ通信はG3モードでのみ行えます。G4通信ユニット(オプション)を増設してISDN回線のみでお使いの場合には、サイファ通信は利用できません。

サイファ通信は相手機種が限定されます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

共通サイファキーを使ってサイファ送信をする場合でも、受信側に同じサイファキーが登録されている必要があります。

Fネット(ファクシミリ通信網)を利用した通信では、サイファ通信できません。

サイファ通信の準備をする

サイファ通信をするには、送信側と受信側とで、あらかじめ以下の準備をしておきます。

発信元番号（ファクス番号）を正確に登録する
(●P38)



サイファキー登録用の暗証番号（4桁の数字）に登録する (●P168)



送信側と受信側のそれぞれに、同じサイファキーに登録する (●P169)



ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにサイファ通信の相手先を登録し、相手先と同じサイファキーが登録してあるサイファキーNo.に登録する

どんなときにどんな操作でサイファ送信をするか

サイファ送信を行えるのは、以下のそれぞれの条件に当てはまる場合のみです。

G4モードの相手先とはサイファ通信できません。

— : 操作が不要

: 操作が必要

送信時に使用されるサイファキー	送信時の操作		
	相手先の指定方法	サイファ送信指定	サイファキーNo.の入力
特定のサイファキーNo.のサイファキー	サイファキーNo.を登録したワンタッチダイヤル	—	—
	サイファキーNo.を登録した短縮ダイヤル		—
	ダイヤル入力（フルダイヤル）		
共通サイファキー	サイファキーNo.を登録していないワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル		—
	ダイヤル入力（フルダイヤル）		—

ボタンを押して、[サイファ送信] ボタン（ワンタッチボタン01）を押します。

お知らせ

サイファ送信は、順次同報送信、タイマ通信、中継指示送信、リモートマルチコピー送信、ポーリング通信、親展送信、ルーティング通信と組み合わせて設定することができます。

原稿を暗号化して送信 / 受信するには

(サイファ通信) **G3**

サイファキー登録用の暗証番号を登録する

暗証番号を入力しなければ、サイファキーを登録することはできません。サイファキー登録用の暗証番号は、サイファキー登録を最初に行ったときに設定します。

1

ファンクション ボタン、 **7** を押します。

ファンクション (1-7)
 7:サイファ トウロク モード ?

2

セット ボタンを押します。

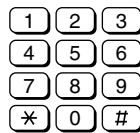
サイファ トウロク
 アンショウ バンゴ ウ= _



3

サイファキー登録用の暗証番号 (4桁の数字) を入力します。

サイファ トウロク
 アンショウ バンゴ ウ= 1 2 3 4



番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4

セット ボタンを押します。

サイファ トウロク (1-3)
 1:サイファ キー トウロク ?
 2:アンショウ バンゴ ウ ヘンゴウ ?
 3:サイファキー リスト ?



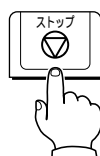
続けてサイファキーの登録をするときは、「サイファキーを登録する」(P169)の手順5からの操作を行います。

5

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ワンポイント.....

登録操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。

暗証番号を変更するには

手順1~2の操作をする

現在登録してある暗証番号を入力する

セット ボタンを押す

2 を押す

セット ボタンを押す

新しい暗証番号を入力する

セット ボタンを押す

ストップ ボタンを押す

STOP お願い

暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れてしまうと、サイファキーの登録ができなくなります。暗証番号を忘れてしまったときは、NTT窓口等へお問い合わせください。この場合には、すべてのサイファキー登録が消去されます。

サイファキーを登録する

1

ファンクション ボタン、 **7** を押します。

ファンクション (1-7)
7: サイファ トウロク モード ?

2

セット ボタンを押します。

サイファ トウロク
アンショウ バンゴ ウ = * * * *

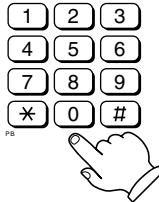


3

サイファキー登録用の暗証番号 (4桁の数字) を入力します。

暗証番号がすでに登録されているとき、入力した暗証番号は「*」で表示されます。

サイファ トウロク
アンショウ バンゴ ウ = * * * *



入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4

セット ボタンを押します。

サイファ トウロク (1-3)
1: サイファ キー トウロク ?
2: アンショウ バンゴ ウ ヘンコウ ?
3: サイファキー リスト ?

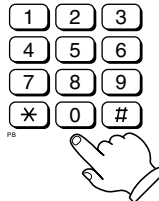


暗証番号が違うときは「ピッピッピッ」という音が鳴ります。暗証番号を確認して、もう一度手順3からの操作を行います。

5

1 を押します。

サイファ トウロク (1-3)
1: サイファ キー トウロク ?
2: アンショウ バンゴ ウ ヘンコウ ?
3: サイファキー リスト ?



次ページに続きます。



ワンポイント.....

登録操作を中止するには **ストップ** ボタンを押します。

サイファキーNo. 「00」のサイファキーはサイファキーNo.が指定されなかった場合の共通サイファキーとして使用されます。

サイファキーを削除するには

手順1~6の操作をする
削除するサイファキーNo.を押す

セット ボタンを押す

[クリア] ボタンを押す

セット ボタンを押す

ストップ ボタンを押す

サイファキーリストをプリント出力するには (P213、218)



お知らせ

ダイヤル待ちや送信待ちになっているときは、サイファキーを登録できません。

STOP お願い

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどに登録してあるサイファキーNo.のサイファキー登録を削除した場合には、必ず対応するワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルのサイファキーNo.も消去してください。

原稿を暗号化して送信 / 受信するには

(サイファ通信) **G3**



6

セット ボタンを押します。

サイファ キー シテイ
サイファキーNo. = _

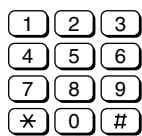


7

登録するサイファキーNo. (00 ~ 39) を入力します。

例: 「01」

サイファ キー シテイ
サイファキーNo. = 0 1



入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

8

セット ボタンを押します。

サイファ キー シテイ
サイファキー= (キーNo=01)
_

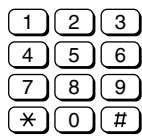


9

サイファキー (16桁の16進数) を入力します。

例: 「1234567890ABCDEF」

サイファ キー シテイ
サイファキー= (キーNo=01)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 A B C D E F



16進数は、0~9の数字とA~Fのアルファベットで表示します。右のワンポイントを参照して入力してください。

入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた桁に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

ワンポイント.....


16進数を入力するには
0 ~ 9、* を使って入力します。

入力する16進数	押すボタン
0 ~ 9	0 ~ 9
A	* 1
B	* 2
C	* 3
D	* 4
E	* 5
F	* 6

ワンタッチボタンの文字キーでも入力できます。

10 **セット** ボタンを押します。

サイファ キー シティ
 サイファキーNo. = _




続けてサイファキーを登録する場合は、手順7の操作から繰り返します。

11 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30
 0%



サイファ送信をする

1 **原稿をセットします。(P51)**


ケンコウカ アリマス
 0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(P52、53)

2 **ファンクション** ボタン、**[サイファ送信]** ボタン (ワンタッチボタン01) を押します。


サイファ送信ランプが点灯します。

ケンコウカ アリマス
 0%



次ページに続きます。

ワンポイント


送信操作を中止するには  ボタンを押します。

送信を中断するには (P67)

ワンタッチダイヤルにサイファキーNo.を登録しておく

サイファ送信を指定しなくても、ワンタッチダイヤルの通常の送信操作を行うだけで、自動的にサイファ送信 (オートサイファ) が指定されます。(P104)

短縮ダイヤルにサイファキーNo.を登録しておく

 ボタンと **[サイファ送信]** ボタン (ワンタッチボタン01) を押したあと、短縮ダイヤルの通常の送信操作を行えば、サイファ送信が指定されます。(P108) いつもサイファ送信を利用するときはサイファ送信をよくご利用になる場合は、ホームポジションのサイファ送信設定を「ON」にしておくと、つねにサイファ送信の状態にしておくことができます。(P249)



受信する相手を限定するには(セレクト受信)

ファクスが送信されてきたとき、相手先から送られてくる発信元番号(発信元のファクス番号)の下4桁と、本装置のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録された電話番号の下4桁とが一致する場合にのみ、ファクスを受信します。セレクト受信を設定すると、いたずらファクスや無用のファクスの受信を防止することができます。

セレクト受信を設定する

お買い求めのときは、セレクト受信を「シナイ」に設定されています。

1

ファンクション ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **2** を押します。

キノウ セッテイ (1-8)
1: リモート ジュシン ?
2: セレクト ジュシン ?
3: チウケイ ドウホウ ?

2

セット ボタンを押します。

セレクト ジュシン
1. シナイ
2. スル



3

1 または **2** を押して、セレクト受信を
するかどうかを選択します。

- 1** : セレクト受信をしない
- 2** : セレクト受信をする

例: **2** を押した場合

セレクト ジュシン
1. シナイ
2. スル



4

セット ボタンを押します。

キノウ セッテイ (1-8)
1: リモート ジュシン ?
2: セレクト ジュシン ?
3: チウケイ ドウホウ ?

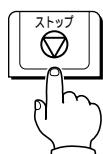


5

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30
0%



ワンポイント.....

設定操作を中止するには

ストップ ボタンを押します。



お知らせ ████████████████████

セレクト受信をしたい相手先のファクス番号は、あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておきます。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、相手先のファクス番号が正しく登録されていないと、相手先からのファクスを受信することができません。

相手先が発信元番号(発信元のファクス番号)を正しく登録していないと、ファクスを受信することができません。特定の相手からのファクスを受信できないときは、相手先の発信元番号登録を確認してください。相手先から送られた発信元番号が4桁未満のときは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルと同じ桁数で登録されていないと、受信することができません。

手動受信、ポーリング通信をしているときは、セレクト受信は行われません。

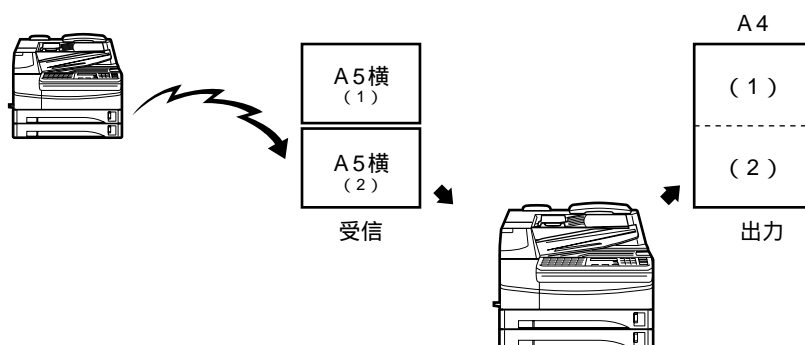
セレクト受信の設定は、一度設定したら次に変更するまで変わりません。

Fネットサービスの無鳴動自動受信(●P182)をした場合でも、Fネットから送信された発信元番号の下4桁と一致した場合にのみ受信されます。ただし、一斉受信など、セレクト受信が働かない場合があります。

2枚の原稿を1枚の記録紙にプリントするには

ページ合成受信とは

相手の方が、セットされている記録紙の2分の1のサイズの原稿を連続して送ってきた場合に、2枚の原稿を合成して1枚の記録紙にプリントすることができます。A5横、B5横サイズなど、小さいサイズの原稿を受信するときに、記録紙を節約することができます。



[例]

受信原稿サイズ	カセットにセットされている記録紙サイズ	選択される記録紙
A5横 × 2枚	B4、A4	A4 × 1枚
	A4、A5横 ()	A5横 × 2枚
B5横 × 2枚	B4、A4	B4 × 1枚
	B4、B5横 ()	B5横 × 2枚
A4横 × 2枚	A3、A4	A3 × 1枚
	A3、A4横 ()	A4横 × 2枚

() 受信原稿サイズと同じサイズの記録紙がカセットにセットされているときは、同じサイズの記録紙(2枚)にプリントされます。

1. ファクスをより便利に使う

受信モードを設定した時刻に切り替えるには (受信モードタイマ切替)



毎日の指定した時刻に、受信モードを自動的に切り替えることができます。ダイヤルイン (P179) が設定されているときは、設定できません。

受信モードタイマ切替を設定する

お買い求めのときは、受信モードタイマ切替を「シナイ」に設定されています。

1

〔ファンクション〕 ボタン、 **〔3〕**、 **〔セット〕** ボタン、 **〔2〕** を押します。

ジ ュ シ ャ ン モ ー ド (1-3)
 1:ジ ャ ヌ シ ャ ヌ セ ッ テ イ ?
 2:タ イ マ キ リ カ エ セ ッ テ イ ?
 3:ダ イ ヤ ル イ ン セ ッ テ イ ?

2

〔セット〕 ボタンを押します。

タ イ マ キ リ カ エ (1-2)
 1.シ ナ イ
 2.ス ル



3

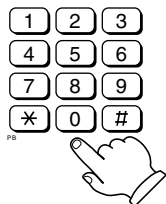
〔1〕 または **〔2〕** を押して、受信モードタイマ切替をするかどうかを選択します。

〔1〕 : 受信モードタイマ切替をしない

〔2〕 : 受信モードタイマ切替をする

例: **〔2〕** を押した場合

タ イ マ キ リ カ エ (1-2)
 1.シ ナ イ
 2.ス ル

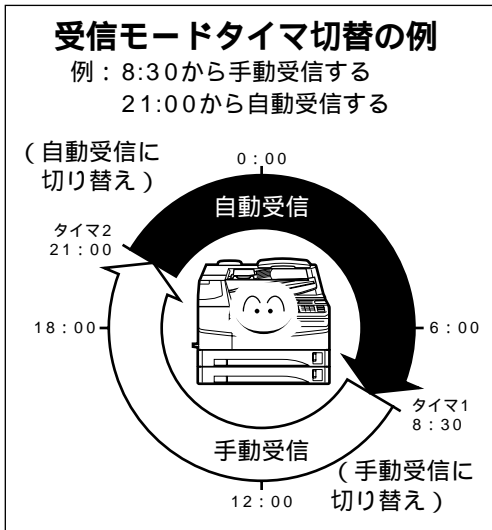


〔1〕 を押したときは手順10へ進みます。

4

〔セット〕 ボタンを押します。

タ イ マ 1 ジ ュ シ ャ ン モ ー ド
 _ : [ジ ャ ヌ シ ャ ヌ]



ワンポイント.....

設定操作を中止するには **〔ストップ〕** ボタンを押します。
 設定を変更するには 最初からやり直します。

お知らせ

受信モードタイマ切替の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

5 タイマ1の時刻を入力します。

例：午前8時30分
（「0830」と入力する）

タイマ1	ジ ユシンモード
08:30	[ジ ト ウ]



時刻は24時間制で入力します。
入力を間違えたときは、[クリア]ボタン
を押して入力し直します。

6 (受信モード) ボタンを押して、タイマ1の受信モードを選択します。

例：手動受信

タイマ1	ジ ユシンモード
08:30	[シユト ウ]



受信モードは (●P74)

7 (セット) ボタンを押します。

タイマ2	ジ ユシンモード
— :	[ジ ト ウ]



8 タイマ2の時刻を入力します。

タイマ2は省略することもできます。
例：午後9時00分
（「2100」と入力する）

タイマ2	ジ ユシンモード
21:00	[ジ ト ウ]



時刻は24時間制で入力します。
入力を間違えたときは、[クリア]
ボタンを押して入力し直します。

次ページに続きます。



受信モードを設定した時刻に切り替えるには

9

受信モード ボタンを押して、タイマ2の受信モードを選択します。

例：自動受信

タイマ2	ジ ュシンモード
21:00	[ジ ト ウ]



受信モードは (P74)

10

セット ボタンを押します。

ジ ュシン モード	(1-3)
1:ジ ト ウ ジ ュシン セッテイ ?	
2:タイマキリカエ セッテイ ?	
3:ダ イヤルイン セッテイ ?	



11

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

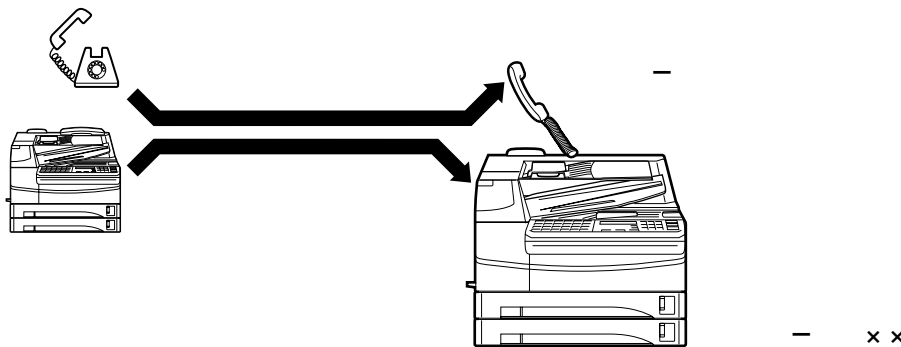
1997/01/24 13:30	0%
------------------	----



ファクス番号と電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン)

ダイヤルインとは

NTTのダイヤルインサービスをご利用になると、1本の電話回線で利用している電話とファクスに別々の電話番号を割り当てて、電話とファクスを使い分けることができます。ダイヤルインをご利用になるには、NTTのダイヤルインサービスに加入する必要があります。



ダイヤルインを利用すると 電話のとき

相手が電話用の番号を使って呼び出す

呼出音が鳴る

受話器を取りあげて話をする

電話への呼出音は、3分間だけ鳴り続けて終了します。このため、ベルが鳴り終わっても相手の方が待っている場合がありますので、続けて電話をかけるときには発信音を確認してからダイヤルしてください。

ファクスのとき

相手がファクス用の番号を使って呼び出す

自動的にファクスを受信する

ダイヤルイン利用中に停電になったときの電話の受け方

停電になると、通常の操作では電話を受けることができません。次の手順で電話を受けてください。

呼出音が鳴る

呼出音が2回鳴り終わるまでに、受話器を取りあげる

「ピッポッパッポッ」という音が聞こえる

受話器を置く

1～2秒してからもう一度受話器を取りあげて話をする

ダイヤルインサービスご契約についての注意

ダイヤルインサービスをご契約になるときは、次のことに注意してください。

ダイヤルインサービスをご契約の際は、送出番号は必ず4桁にしてください。

ダイヤルインサービスに加入すると、現在お使いになっている電話番号が変わることがあります。

地域によりダイヤルインサービスを受けられない場合があります。NTT窓口等へご確認のうえ、ダイヤルインサービスをお申し込みください。

ダイヤルインサービスをご利用になる場合、次のサービスとの同時契約はできません。

キャッチホン、トリオホン、転送でんわ、でんわ会議、トーキ案内、ピンク電話など

Fネットとの同時契約はできませんが、一部利用形態に制約があります。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。

ファクスと電話を同時に使用することはできません。

停電が起きたとき、電話とファクスは使用できません。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンを通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

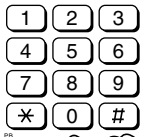
5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

5 **ファクス用の番号の下4桁を入力します。**

ダイヤルイン
FAX= 5538



番号を間違えたときは、[←]または[→]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

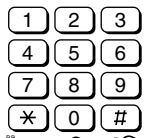
6 **[セット] ボタンを押します。**

ダイヤルイン
TEL= _



7 **電話用の番号の下4桁を入力します。**

ダイヤルイン
TEL= 8571



入力を間違えたときは、[←]または[→]ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア]ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

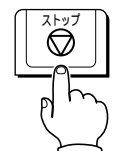
8 **[セット] ボタンを押します。**

ジュシン モード (1-3)
1: ジュ シン セッテイ ?
2: タイマキリカエ セッテイ ?
3: ダイヤルイン セッテイ ?



9 **[ストップ] ボタンを押します。**

待機画面に戻ります。
1997/01/24 13:30 0%



お知らせ

手順5と7で登録するファクスと電話の番号は、ダイヤルインサービスご加入時にNTTから連絡があった番号の下4桁を登録してください。登録を間違えるとファクスや電話が受けられなくなります。ファクス用の番号に電話がかかってきた場合は、通話できません。電話を受けたとき、相手がファクスの場合(「ポー・ポー・ポー」という音が聞こえたとき)は、[スタート] ボタンを押すと、ファクスを受けることができます。

Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

Fネットは、NTTのファクシミリ専用ネットワークです。Fネットに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。



Fネットサービスの主な内容

明確な2段階制料金

Fネットをご利用になると、送信に時間のかかる細かい文字の原稿でもB4版1ページ25円（夜間/100km以内）で日本国内どこへでも送れます（昼間でも40円）。100kmを超える遠距離の場合でも、夜間30円、昼間は50円の低価格の一定料金です。（標準モードの場合）（1996年8月現在）

Fネット月極割引

毎月定額料のお支払いで、月々のFネット通信料が割引きされるサービスです。（1996年8月現在）

サービスプラン名	サービスプラン内容（1回線ごとに）
Fネット月極割引・10	月々550円の定額料のお支払いで、Fネット通信料が10%割引
Fネット月極割引・15	月々1550円の定額料のお支払いで、Fネット通信料が15%割引

一斉同報通信（P186）

短縮ダイヤルをご契約になると、簡単な1回の操作で同じ原稿が最大10,000か所まで送れます。

一斉受信

原稿をいったんネット内に蓄積するシステムなので、多くの相手先から一斉にファクスが送られてきても、確実に受信できます。

自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

再コール・不達通知

相手先がお話し中だった場合、Fネットが2分間隔で5回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を、通知文でお知らせします。

夜間配送指定通信（P189）

昼間Fネットへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯（午後7時から翌朝8時まで）にFネットから相手先への送信をすることができます。料金が約40%の割引になります。

宛名サービス

宛名をあらかじめ登録しておけば、送られた原稿に自動的に宛名が印刷されます。人の多い職場でも、届けたい方へ確実に原稿が届きます。

無鳴動自動受信

Fネットを使った受信では、呼出音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。

Fネット親展通信（P192、194）

暗証番号を使って通信するサービスです。暗証番号を知っている人しか受信文書を取り出すことができないので、重要書類のやりとりも安心です。

閉域接続

お互いに登録した相手先とだけ通信できるシステムです。第三者からの送信やダイヤルの誤操作による情報漏れが防げます。（ ）

ファクシミリボックス

Fネットで送信された原稿を、Fネット側で一時預かりするサービスです。ファクスを長時間使用するときには、あらかじめファクシミリボックスをセットしておけば、その間に蓄積された原稿をあとで受け取ることができます。（ ）

Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）



Fネット ボタンを使うと、Fネットサービスを利用した効率的で経済的な通信が、簡単な操作で行えます。

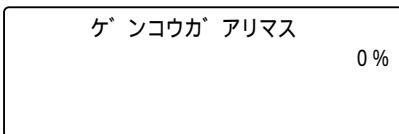
Fネット ボタンによるFネットアクセスはG4通信ユニット（オプション）を増設したときもG3モードになります。

Fネット一般送信をする

Fネットを利用した一般送信で、相手先が1件のみの場合です。相手先の指定には、ダイヤル入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルのほか、Fネット短縮ダイヤルが使えます。

原稿をセットします。（☛P51）

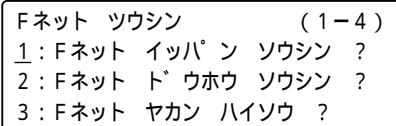
1



必要に応じて画質と読取濃度を設定します。（☛P52、53）

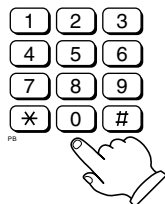
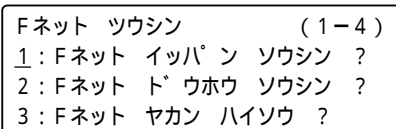
Fネット ボタンを押します。

2



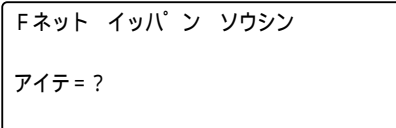
3

1 を押します。



4

セット ボタンを押します。



ワンポイント.....

設定操作を中止するには



ストップ ボタンを押します。

送信を中断するには（☛P67）

相手先の指定を間違えたときは

[クリア] ボタンを押してから入力し直します。

Fネット短縮ダイヤルで相手先を指定したときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを「*」に合わせてから [クリア] ボタンを押し、入力し直します。

Fネット短縮ダイヤル（* 0000 ~ * 9999）を指定するには

***** ボタン、Fネットに登録した短縮番号の順に押します。

例：「* 0010」を指定するとき
「* 10」を入力します。

送達通知とは

原稿が相手先に送信されたかどうかを通知するFネットからのレポートです。

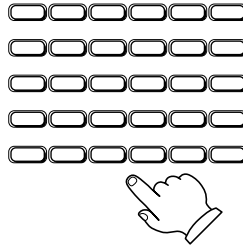
1
使う
ファクスをより便利に2
を出力する
各種レポート/リスト3
通知する
ビジネスホンに4
P C スキャナとして使う
P C プリンタ/5
登録/設定する
いろいろな機能を6
こんなときには7
ご参考に

5

相手先を指定します。

例：ワンタッチダイヤル01

Fネット イッパ ン ソウシン

アイテ= [ワンタッチ01]
NTTエイキ' ヨウ

6

セット ボタンを押します。Fネット イッパ ン ソウシン
ソウタツ ツウチ
1. ナシ
2. アリ

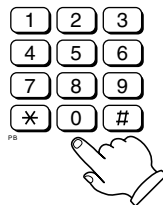
7

5秒以内に 1 または 2 を押して、送達通知を返送させるかどうかを選択します。

1 : 送達通知なし

2 : 送達通知あり

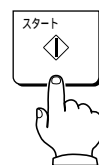
例： 2 を押した場合

Fネット イッパ ン ソウシン
ソウタツ ツウチ
1. ナシ
2. アリ5秒以内に選択しなかったときは、
「送達通知なし」の設定のまま自動的に送信が開始されます。

8

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/25 17:50
アイテ=NTTエイキ' ヨウ

● お知らせ

Fネット短縮ダイヤルは、別途に登録が必要です。また、Fネット短縮ダイヤルをお使いになるには、利用契約が必要です。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。

送達通知は別途料金がかかります。

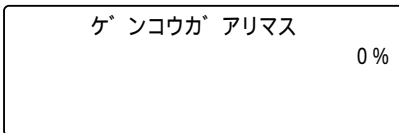
Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

同じ原稿を一齐に送信する（Fネット同報送信）

Fネットを利用して、1回の操作で同じ原稿を複数の相手先へ送信することができます。

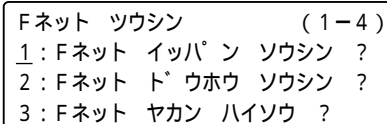
Fネット同報送信の相手先には、個別ダイヤル指定、10宛先グループ指定、100宛先グループ指定、1000宛先グループ指定、一括指定の5通りの指定方法があります。

1 原稿をセットします。（☛P51）

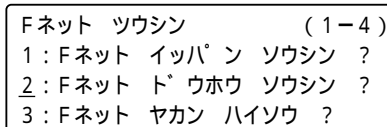


必要に応じて画質と読取濃度を設定します。（☛P52、53）

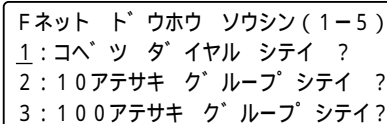
2 Fネット ボタンを押します。



3 2 を押します。



4 セット ボタンを押します。



ワンポイント.....

送信操作を中止するには

ボタンを押します。

送信を中断するには（☛P67）

相手先の指定を間違えたときは

[クリア] ボタンを押してから入力し直します。

Fネット短縮ダイヤルやグループ指定で相手先を指定したときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを「*」に合わせてから [クリア] ボタンを押し、入力し直します。

送達通知とは

原稿が相手先に送信されたかどうかを通知するFネットからのレポートです。

お知らせ

Fネット短縮ダイヤルは、別途に登録が必要です。また、Fネット短縮ダイヤルをお使いになるには、利用契約が必要です。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。

相手先の指定をするとき、Fネット短縮ダイヤルを他のダイヤルと混用することはできません。

グループ指定するとき、異なる1000番台にまたがる指定（例：*1500～*2500）はできません。

一括指定は、Fネット短縮ダイヤルのご契約が1000以下の方のみご利用になれます。

個別指定で1件目の相手先をワンタッチダイヤルで指定したときは、約5秒以内に2件目の相手先を指定してください。約5秒たつと自動的に送信が開始されてしまいます。

送達通知の指定は約5秒以内に行ってください。約5秒たつと自動的に送信が開始されてしまいます。

送達通知は別途料金がかかります。



ワンポイント.....

個別指定をするには

本装置に登録したワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで指定するときは、「複数の相手先を指定するには」(P103)を参照します。

Fネット短縮ダイヤルを指定するときは、**[*]** ボタン、Fネットに登録した短縮番号の順に押し、相手先を指定します。

- 相手先を1件指定するとき
例：「* 0010」を指定するとき
「* 10」を入力します。
- 相手先を複数指定するとき
例：「* 0010」と「* 0012」を指定するとき
「* 10 * 12」を入力します。
- 番～番までの相手先すべてを指定するとき
番と番の間に*を入れます。
例：「* 0100～* 0109」を指定するとき
「* 100 * * 109」を入力します。

1 000番台の異なるFネット短縮ダイヤル(例：* 1500と* 2500)を同時に指定することはできません。

Fネット短縮ダイヤルと他のダイヤルを同時に指定することはできません。

10宛先グループを指定するにはグループ番号* 000～* 999で指定します。

「* 000」：0000～0009の10宛先
「* 999」：9990～9999の10宛先
最大10グループまで指定できますが、異なる1 000番台のグループを同時に指定することはできません。

100宛先グループを指定するにはグループ番号* 00～* 99で指定します。

「* 00」：0000～0099の100宛先
「* 99」：9900～9999の100宛先
最大100グループまで指定できますが、異なる1 000番台のグループを同時に指定することはできません。

1 000宛先グループを指定するにはグループ番号* 0～* 9で指定します。

「* 0」：0000～0999の1 000宛先
「* 9」：9000～9999の1 000宛先
1 000宛先グループは、1グループのみ指定できます。

5 **1** ~ **5** のいずれかを押し、相手先の指定方法を選択します。

- 1** : 個別指定する
- 2** : 10宛先グループ指定する
- 3** : 100宛先グループ指定する
- 4** : 1 000宛先グループ指定する
- 5** : 一括指定する (Fネットに登録してあるすべての相手先)

例： **1** を押した場合

Fネット ドウホウ ソウシン (1-5)
1: コベツダイヤル シテイ ?
2: 10アテサキグループ シテイ ?
3: 100アテサキグループ シテイ ?



5 を押したときは手順8へ進みます。

6 **[セット]** ボタンを押します。

例：手順5で **1** を押した場合

コベツダイヤル シテイ [0]
アイテ=?



7 相手先を指定します。

ワンポイントを参照して相手先を指定します。

8 **[セット]** ボタンを押します。

Fネット ドウホウ ソウシン
ソウタツ ツウチ
1. ナシ
2. アリ



次ページに続きます。

Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）



9

5秒以内に **1** または **2** を押して、送達通知を返送させるかどうかを選択します。

1 : 送達通知なし

2 : 送達通知あり

例: **2** を押した場合

Fネット ト`ウホウ ソウシン
ソウタツ ツウチ
1. ナシ
2. アリ



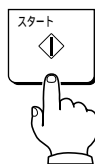
5秒以内に選択しなかったときは、「送達通知なし」の設定のまま自動的に送信が開始されます。

10

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

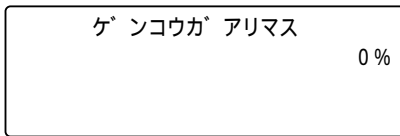
ウケツケNo. = <001>
1997/01/25 18:00
アイテ=NTTエイキ` ヨウ



夜間にまとめて送信する（Fネット夜間配送）

昼間に送信を予約しておき、夜間の割引時間帯にFネットから送信します。宛先の指定には、個別ダイヤル指定、グループ指定、一括指定の3通りの方法があります。

1 原稿をセットします。（☛P51）



必要に応じて画質と読取濃度を設定します。（☛P52、53）

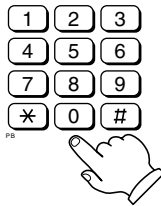
2 Fネット ボタンを押します。

Fネット ツウシン (1-4)
 1: Fネット イッパ ン ソウシン ?
 2: Fネット ト ウホウ ソウシン ?
 3: Fネット ヤカン ハイソウ ?



3 を押します。

Fネット ツウシン (1-4)
 1: Fネット イッパ ン ソウシン ?
 2: Fネット ト ウホウ ソウシン ?
 3: Fネット ヤカン ハイソウ ?



4 セット ボタンを押します。

Fネット ヤカン ハイソウ (1-4)
 1: コベ ッ ダ イヤル シテイ ?
 2: グ ルー プ シテイ ?
 3: イッカ ツ シテイ ?



次ページに続きます。

ワンポイント.....

セット操作を中止するには

ボタンを押します。

送信を中断するには（☛P67）

相手先の指定を間違えたときは
 [クリア] ボタンを押してから入力し直します。

Fネット短縮ダイヤルやグループ指定で相手先を指定したときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを「*」に合わせてから [クリア] ボタンを押し、入力し直します。

Fネット夜間配送を取り消すには（☛P191）

お知らせ

Fネット短縮ダイヤルは、別途に登録が必要です。また、Fネット短縮ダイヤルをお使いになるには、利用契約が必要です。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。相手先の指定をするとき、Fネット短縮ダイヤルを他のダイヤルと混用することはできません。

グループ指定するとき、異なる1 000番台にまたがる指定（例：* 1500 ~ * 2500）はできません。

一括指定は、Fネット短縮ダイヤルのご契約が1 000以下の方のみご利用になれます。

個別指定で1件目の相手先をワンタッチダイヤルで指定したときは、約5秒以内に2件目の相手先を指定してください。約5秒たつと自動的に送信が開始されてしまいます。送達通知の指定は約5秒以内に行ってください。約5秒たつと自動的に送信が開始されてしまいます。

夜間配送では送達通知の返送を指定することはできません。

Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）



ワンポイント.....

個別指定をするには
本装置に登録したワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで指定するときは、「複数の相手先を指定するには」(P103)を参照します。
Fネット短縮ダイヤルを指定するときは、**[*]** ボタン、Fネットに登録した短縮番号の順に押し、相手先を指定します。

- 相手先を1件指定するとき
例：「* 0010」を指定するとき
「* 10」を入力します。
- 相手先を複数指定するとき
例：「* 0010」と「* 0012」を指定するとき
「* 10 * 12」を入力します。
- 番～番までの相手先すべてを指定するとき
番と番の間に*を入れます。
例：「* 0100～* 0109」を指定するとき
「* 100 * * 109」を入力します。

1 000番台の異なるFネット短縮ダイヤル（例：* 1500と* 2500）を同時に指定することはできません。

Fネット短縮ダイヤルと他のダイヤルを、同時に指定することはできません。

グループを指定するには

- 10宛先単位で指定するとき
* 1のあとに短縮番号の「千の位」+「百の位」+「十の位」を入力します。
例：* 0010～* 0019を指定するとき
「* 1001」を入力します。
- 100宛先単位で指定するとき
* 2のあとに短縮番号の「千の位」+「百の位」を入力します。
例：* 0100～* 0019を指定するとき
「* 201」を入力します。
- 1 000宛先単位で指定するとき
「* 3」のあとに短縮番号の「千の位」を入力します。
例：* 1000～* 1999を指定するとき
「* 31」を入力します。

複数のグループを指定するには
1回の操作で、最大10グループまで指定できます。

例：100宛先グループで* 1200～* 1299と* 1500～* 1599を指定するとき
「* 212 * 215」を入力します。

異なる1 000番台のグループを、同時に指定することはできません。

1 ~ **3** のいずれかを押し、相手先の指定方法を選択します。

- 1** : 個別指定する
- 2** : グループ指定する
- 3** : 一括指定する（Fネットに登録してあるすべての相手先）

5

例： **1** を押した場合

Fネット ヤカン ハイソウ (1-4)
1: コベツダイヤル シテイ ?
2: グループ シテイ ?
3: イッカツ シテイ ?



3 を押したときは手順8へ進みます。

[セット] ボタンを押します。

6

例：手順5で **1** を押した場合

Fネット ヤカン ハイソウ [0]
アイテム= ?



7

相手先を指定します。

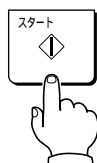
ワンポイントを参照して相手先を指定します。

スタート ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、Fネットへの送信が開始されます。

8

ウケツケNo. = <001>
1997/01/25 18:30
アイテム=NTTエイキョウ



送信が終了すると、Fネットから受付番号が送信されてきます。

Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

取り消したい夜間配送の受付番号（5桁の数字）を入力します。

例：「12345」

6

Fネット ヤカン ハイソウ
ウケツケバ ンゴ ウ=12345



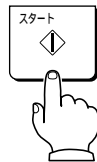
番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押してから入力し直します。

スタート ボタンを押します。

Fネットへのダイヤルが開始されます。

7

Fネット ヤカン ハイソウ
ダ イヤルチュウ



Fネットが呼び出され、結果がアナウンスされます。
スピーカ音量スイッチ（☛P20）が「切」になっていると、アナウンスは聞こえません。

Fネット親展送信をする

受信する方が暗証番号を使って原稿を取り出せるように、Fネットに原稿を預けておきます。相手先は、ダイヤル入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはFネット短縮ダイヤルで、1件のみ指定できます。

原稿をセットします。（☛P51）

1

ゲ ンコウガ アリマス 0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。（☛P52、53）

Fネット ボタンを押します。

2

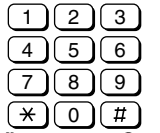
Fネット ツウシン (1-4)
1: Fネット イッパ ン ソウシン ?
2: Fネット ド ウホウ ソウシン ?
3: Fネット ヤカン ハイソウ ?



3

4 を押します。

Fネット ツウシン (1-4)
4: Fネット シンテン ツウシン ?



4

〔セット〕 ボタンを押します。

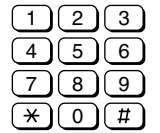
Fネット シンテン ツウシン (1-2)
1: ソウシン ?
2: ジ ユシン ?



5

1 を押します。

Fネット シンテン ツウシン (1-2)
1: ソウシン ?
2: ジ ユシン ?



6

〔セット〕 ボタンを押します。

Fネット シンテン ソウシン
アイテ=?

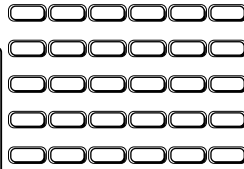


7

相手先を指定します。

例: ワンタッチダイヤル01

Fネット シンテン ソウシン
アイテ= [ワンタッチ01]
NTTエイギョウ

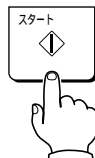


8

〔スタート〕 ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
1997/01/26 09:30
アイテ=NTTエイギョウ



ワンポイント.....

送信を中断するには(☛P67) 相手先の指定を間違えたときはクリアボタンを押してから入力し直します。

Fネット短縮ダイヤル(* 0000 ~ * 9999)を指定するには

〔*〕 ボタン、Fネットに登録した短縮番号の順に押します。

例: 「 * 0010 」を指定するとき
「 * 10 」を入力します。



お知らせ

Fネット短縮ダイヤルは、別途に登録が必要です。また、Fネット短縮ダイヤルをお使いになるには、利用契約が必要です。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。親展送信では送達通知の返送を指定することはできません。

Fネット親展送信では、相手先は1件のみ指定できます。

Fネット（ファクシミリ通信網）を利用するには （Fネットアクセス）

Fネット親展受信をする

Fネットから「親展通知」が届いたら、暗証番号を使って、親展文書を受信します。Fネット親展通信を行うには、あらかじめ、Fネットに親展通信用の暗証番号（4桁の数字）を登録しておいてください。

1 Fネット ボタンを押します。

1

Fネット ツウシン (1-4)
1: Fネット イッパ ン ソウシン ?
2: Fネット ド`ウホウ ソウシン ?
3: Fネット ヤカン ハイソウ ?



2 4 を押します。

2

Fネット ツウシン (1-4)
4: Fネット シンテン ツウシン ?



3 セット ボタンを押します。

3

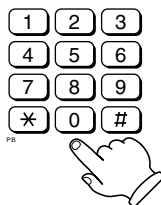
Fネット シンテン ツウシン (1-2)
1: ソウシン ?
2: ジ`ュシン ?



4 2 を押します。

4

Fネット シンテン ツウシン (1-2)
1: ソウシン ?
2: ジ`ュシン ?



5 セット ボタンを押します。

5

Fネット シンテン ジ`ュシン
アンショウバ`ンゴ`ウ=0000



ワンポイント.....

受信操作を中止するには



ボタンを押します。

受信を中断するには(●P82)

暗証番号を間違えたときは

[クリア] ボタンを押してから入力し直します。

暗証番号を登録するには

例: 「4321」を登録するとき

受話器を取りあげる

「161」を入力をする

「ブプププ」という音を確認する

「1242」を入力する

「0000」を入力する

「4321」(暗証番号)を入力する

アナウンスを確認する

受話器を置く

暗証番号を変更するには

例: 「4321」を「9876」に変更するとき

受話器を取りあげる

「161」を入力をする

「ブプププ」という音を確認する

「1242」を入力する

「4321」(変更前の暗証番号)を入力する

「9876」(新しい暗証番号)を入力する

アナウンスを確認する

受話器を置く

各種の通信結果を確認するには（レポート出力）

① ~ ③ のいずれかを押して、レポート出力の種類を選択します。

- ① : 40通信ごとに自動的に出力
- ② : 出力したいときに手動で出力
- ③ : 時刻を指定して定期的に出力

5

例：③ を押した場合

ツウシンカンリ レポ ート シュツリョク
 1. ジ° ド° ウ
 2. シュト° ウ
 3. タイマ



① または ② を押したときは手順8へ進みます。

セット ボタンを押します。

6

ツウシン カンリ レポ ート
 タイマ シュツリョク
 ジ° コク=00:00



出力したい時刻を入力します。

例：午後5時30分に出力する場合
 (「1730」と入力する)

7

ツウシン カンリ レポ ート
 タイマ シュツリョク
 ジ° コク=17:30



時刻は24時間制で入力します。
 入力を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

セット ボタンを押します。

8

レポ ート セツテイ (1-3)
 1: ツウシンケツカ レポ ート ?
 2: ツウシンカンリ レポ ート ?
 3: シンテンジ° ユシン レポ ート ?



ストップ ボタンを押します。

9

1997/01/24 13:30
 0%



1
使う
ファクスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

通信管理レポートを手動で出力する

通信管理レポートを出力したいときは、手動でレポート出力を行うことができます。

1

ファンクション ボタン、 **2**、 **セット** ボタン、 **1** を押します。

リスト プリント モード (1-3)
1: ツウシン カンリ レポ ート ?
2: ダ イヤル リスト ?
3: パ ラメータ リスト ?

2

セット ボタンを押します。

レポート出力が開始されます。

レポートシュツリョクカイシ

レポ ート



ワンポイント.....

通信管理レポートの出力例は (P204)



お知らせ

記録紙がセットされていない場合などには通信管理レポートを出力できません。通信管理レポートは、記録紙サイズに関係なく、A4サイズの幅に左づめでプリントされます。



各種の通信結果を確認するには (レポート出力)

通信結果レポート出力を設定する

お買い求めのときは、通信レポートは「エラー」(エラー時のみ出力する)、マルチ通信レポートは「スル」、中継結果レポートは「シナイ」、レポート画像は「ツケル」に設定されています。

〔ファンクション〕 ボタン、 **(5)**、 **〔セット〕** ボタン、 **(1)** を押します。

1

セット	モード	(1-4)
1:	レポ ート	セット ?
2:	キノウ	セット ?
3:	ソウチ	セット ?

2

〔セット〕 ボタンを押します。

レポ ート	セット	(1-3)
1:	ツウシンケッカ	レポ ート ?
2:	ツウシンカンリ	レポ ート ?
3:	シンテンジ ユシン	レポ ート ?



3

(1) を押します。

レポ ート	セット	(1-3)
1:	ツウシンケッカ	レポ ート ?
2:	ツウシンカンリ	レポ ート ?
3:	シンテンジ ユシン	レポ ート ?



4

〔セット〕 ボタンを押します。

ツウシン	レポ ート	シュツリョク
1:	シナイ	
2:	スル	
3:	エラー	



ワンポイント.....

設定操作を中止するには



ストップ ボタンを押します。

通信レポートの出力例は (●P205)

マルチ通信レポートの出力例は (●P206)

中継結果レポートの出力例は (●P207)



お知らせ

掲示板送信を行ったときは、通信レポートは出力されません。

送信動作 (順次同報送信を除く) およびポーリング送信 / 受信の動作を中断したときは、通信レポートは出力されません。

各通信結果レポートは、記録紙サイズに関係なく、A4サイズの幅に左づめでプリントされます。

通信結果レポート出力の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

5

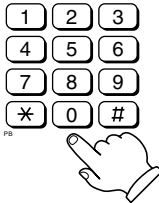
① ~ ③ のいずれかを押して、通信レポートの出力方法を選択します。

① : 出力しない
② : 通信ごとに出力する
③ : エラー時のみ出力する

例: ③ を押した場合

ツウシン レポ ート シュツリョク

1. シナイ
2. スル
3. エラー




6

セット ボタンを押します。

マルチツウシン レポ ート シュツリョク

1. シナイ
2. スル



7


① または ② を押して、マルチ通信レポートを出力するかどうかを選択します。

① : 出力しない
② : 出力する

例: ① を押した場合

マルチツウシン レポ ート シュツリョク

1. シナイ
2. スル




8

セット ボタンを押します。

チュウケイケツカレポ ート シュツリョク

1. シナイ
2. スル



次ページに続きます。

各種の通信結果を確認するには（レポート出力）

9

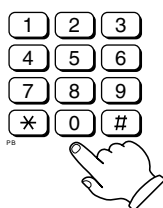
① または ② を押して、中継結果レポートを出力するかどうかを選択します。

① : 出力しない

② : 出力する

例: ② を押した場合

チュウケイケッカレポート シュツリョク
1. シナイ
2. スル



10

セット ボタンを押します。

レポート ガゾウ
1. ツケナイ
2. ツケル



11

① または ② を押して、レポートに画像を付けるかどうかを選択します。

① : 付けない

② : 付ける

例: ② を押した場合

レポート ガゾウ
1. ツケナイ
2. ツケル



12

セット ボタンを押します。

レポート セッテイ (1-3)
1: ツウシンケッカ レポート ?
2: ツウシンカンリ レポート ?
3: シンテンジ ユシン レポート ?



13

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



各種の通信結果を確認するには（レポート出力）

各種レポートの出力例

通信管理レポートの出力例

通信管理レポート							P.1	
							1997年 1月25日(土) 17時05分	
							NTTエィキョウ	
** 送信 **							発信元名称	
通番	通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果		
0 0 1	1月24日13時05分	2分12秒	0286323617	ECM S	10	FAX (正常)		
0 0 2	1月24日13時30分		NTTカイハツ	ECM	0	FAX (不達92)		
*0 0 3	1月24日13時32分	1分18秒	081-335095538=NTT	G4	15	FAX (正常)		
合計							36分08秒	127
** 受信 **								
通番	通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果		
0 0 1	1月24日13時12分	1分44秒	081-335095538=NTT	G4	8	FAX (正常)		
0 0 2	1月24日13時23分	3分06秒	0522641434	ECM S	17	FAX (正常)		
合計							21分47秒	78

通番

送信を行った順/受信を行った順の一連番号
再送信を行ったときは「*」マークが付きます。
受付No. (●P54、60、70)とは異なります。

通信開始日時

実際の通信動作が開始された日時

通信時間

通信に要した時間

相手先

相手先から受信した発信元番号 (G4モードの場合はG4発信元番号) または、ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに登録されている相手先名称。

モード

通信モードと使用した機能

ECM : ECMモード

G3 : G3モード

G4 : G4モード (G4通信ユニット増設時)

R : 中継同報/指示送信

P : ポーリング通信

C : 親展通信

S : サイファ通信

枚数


正常に通信された原稿枚数

通信結果

FAX (正常) : 正常に終了したとき

FAX (相手話中) : 相手先が話し中のとき

FAX (相手先無応答) : 相手先から応答がないとき

FAX (中断) :  ボタンを押したとき

FAX (メモリアーバー) : メモリがいっぱいになったとき

FAX (要求機能なし) : 指定した機能が相手機にないとき

FAX (パラメータエラー) : 機能の設定内容や指定内容が間違っているとき

FAX (NOT READY) : 相手先が送信/受信できない状態のとき

FAX (不達xx) : 通信がエラーで終了したとき

(xx : エラー番号、●P282)



お知らせ

ポーリング受信は「受信」欄に、ポーリング送信や掲示板送信は「送信」欄に記載されます。

1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PC
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

通信レポートの出力例

通信レポート

1997年 1月24日(金)13時33分
NTTエイキ'ョウ

予約開始日時	通信開始日時	通信時間	枚数	モード	通信結果
1月24日13時30分	1月24日13時32分	1分18秒	15枚	G3 S	正常

相手先	電話番号
NTTカイハツ	0335094202

レポート画像

発信元名称

予約開始日時

送信 / 受信の操作を開始した日時

通信開始日時

実際の通信動作が開始された日時

通信時間

通信に要した時間

枚数

正常に通信された原稿枚数

モード

通信モードと使用した機能

ECM : ECMモード

G3 : G3モード

G4 : G4モード (G4通信ユニット増設時)

R : 中継同報 / 指示送信

P : ポーリング通信

C : 親展通信

S : サイファ通信


T : 転送送信 (ルーティング通信)

通信結果

正常 : 正常に終了したとき

相手話中 : 相手先が話し中のとき

相手先無応答 : 相手先から応答がないとき

中断 :  ボタンを押したとき

メモリーオーバー : メモリがいっぱいになったとき

要求機能なし : 指定した機能が相手機にないとき

パラメータエラー : 機能の設定内容や指定内容が間違っているとき

NOT READY : 相手先が送信 / 受信できない状態のとき

不達 x x : 通信がエラーで終了したとき

(x x : エラー番号、●P282)

相手先

相手先から受信した発信元番号 (G4モードの場合はG4発信元番号)

または、ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルに登録されている相手先名称

電話番号

ダイヤルした電話番号、または指定したワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルに登録されている番号

レポート画像

送信原稿の初めの部分が付加されます。



お知らせ

メモリ使用量が100%近くになると、レポート画像を「ツケル」に設定していてもレポート画像がプリントされないことがあります。

ダイレクト送信や手動送信を行ったときは、レポート画像を「ツケル」に設定していてもレポート画像がプリントされません。

各種の通信結果を確認するには（レポート出力）

マルチ通信レポートの出力例

マルチ通信レポート					P. 1
1997年 1月24日(金) 14時15分					発信元名称
NTTエイギョウ					
予約開始日時	通信開始日時	通信時間	相手先数	通信種別	
1月24日14時06分	1月24日14時06分	4分42秒	5カ所	順次同報	
正常終了 3局					
NTTカイハツ		[01]	NTTウカイ		*01
0286323617					
未通信 2局					
NTTウキョウ		[02]	NTTサイタマ		[03]
レポート画像					

発信元名称

予約開始日時

送受信操作を開始した日時

通信開始日時

実際の通信動作が開始された日時

通信時間

通信に要した時間の合計

相手先数

送信宛先の総数

通信種別

順次同報：順次同報送信のとき

ポーリング受信：

マルチポーリング受信のとき

正常終了

通信が正常に終了した相手先の件数と、その相手先

ワンタッチダイヤル：

登録されている相手先名称と、ワンタッチダイヤル番号（[× ×]）

短縮ダイヤル：

登録されている相手先名称と、短縮番号（* × ×）

フルダイヤル：ダイヤルした番号

未通信

通信できなかった/まだ通信していない相手先の件数と、その相手先

ワンタッチダイヤル：

登録されている相手先名称と、ワンタッチダイヤル番号（[× ×]）

短縮ダイヤル：

登録されている相手先名称と、短縮番号（* × ×）

フルダイヤル：ダイヤルした番号

レポート画像

送信原稿の初めの部分が付加されます。

マルチ通信途中経過レポートの出力例

マルチ通信途中経過レポート					P. 1
1997年 1月24日(金) 14時06分					発信元名称
NTTエイギョウ					
予約開始日時	通信開始日時	通信時間	相手先数	通信種別	
1月24日14時06分	1月24日14時06分	1分15秒	5カ所	順次同報	
正常終了 1局					
NTTカイハツ		[01]			
未通信 4局					
NTTウキョウ		[02]	NTTサイタマ		[03]
NTTウカイ		*01	0286323617		

 お知らせ

メモリ使用量が100%近くになると、レポート画像を「ツケル」に設定していてもレポート画像がプリントされないことがあります。

ポーリング受信を行ったときは、レポート画像を「ツケル」に設定していてもレポート画像がプリントされません。

マルチ通信途中経過レポートには、レポート画像はプリントされません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

中継結果レポートの出力例

中継結果レポート P.1

1997年 1月24日(金) 14時30分
NTTエイキョウ

中継指示受付日時	通信開始日時	通信時間	相手先数	中継枚数	中継テーブルNo
1月24日14時22分	1月24日14時24分	3分17秒	4カ所	5枚	14

中継指示機 0899-33-4442
中継機 03-3509-5538

正常終了 3局
未通信 1局

NTTトウキョウ [02] 相手話中

レポート画像

発信元名称

中継指示受付日時

中継指示機から中継指示を受けた日時

通信開始日時

実際の通信動作が開始された日時

通信時間

中継機が通信に要した時間の合計

相手先数

中継同報宛先の総数

中継枚数

中継指示機から受信した原稿枚数

中継テーブルNo.

中継指示機から指示された中継テーブルNo.

中継指示機

中継指示機の発信元番号

中継機

中継機の発信元番号

正常終了

中継同報送信が正常に終了した相手先の件数

未通信

中継同報送信ができなかった相手先の件数と、その相手先、通信結果
ワンタッチダイヤル:

登録されている相手先名称と、ワンタッチダイヤル番号 ([x x])

短縮ダイヤル:

登録されている相手先名称と、短縮番号 (* x x)

レポート画像

送信原稿の初めの部分が付加されません。

中継結果通知の出力例

中継結果レポート P.1

1997年 1月24日(金) 14時46分
NTTカゴシマ

中継指示受付日時	通信開始日時	通信時間	相手先数	中継枚数	中継テーブルNo
1月24日14時34分	1月24日14時37分	5分57秒	3カ所	8枚	08

中継指示機 03-3509-5538
中継機 0992-57-7736

正常終了 2局
未通信 1局

NTTキョウシュウ [01] 相手話中

レポート画像

発信元名称

お知らせ

メモリ使用量が100%近くになると、レポート画像を「ツケル」に設定していてもレポート画像がプリントされないことがあります。

中継指示機から画質モードを「標準」に指定して送信すると、縮小されたレポート画像がプリントされます。(中継結果通知のとき)

サイファ通信を行ったときは、中継結果通知にはレポート画像はプリントされません。

各種の通信結果を確認するには (レポート出力)

親展受信レポートの出力例

親展受信レポート		1997年 1月24日(金) 14時24分 NTTエイキョウ
親展文書を受信しました。		
ボックスNo	02	
ボックス名称	NTTエイキョウ(シンテン)	
通信開始日時	1月24日14時22分	
相手先	0335094202	
枚数	6枚	
結果	正常	

発信元名称

ボックスNo.

親展ボックスNo.

ボックス名称

親展ボックスの名称

通信開始日時

実際の通信動作が開始された日時

相手先

相手先から受信した発信元番号または、ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに登録されている相手先名称

枚数

正常に受信した原稿枚数

結果

FAX (正常) : 正常に終了したとき

FAX (中断) :  ボタンを押したとき

FAX (メモリアオーバー) :

メモリがいっぱいになったとき

FAX (不達xx) :

通信がエラー終了したとき

(xx : エラー番号、●P282)



お知らせ

原稿を1枚も受信できなかったときは

「親展文書を受信しました。」の文字は表示されません。

停電レポートの出力例

停電レポート		P. 1			
		1997年 1月22日(水) 13時21分 NTTエイキョウ			
以下の文書または予約が停電のため消去されました。					
受付No/通番	モード	相手先	枚数	受付日時	ボックスNo
075	タイム指定送信	NTTホクリク	24	1月22日09時47分	
081	親展受信	0522641434	4	1月22日12時56分	02
083	送信	NTTサイタマ	12	1月22日13時08分	

発信元名称

受付No / 通番

受付No.または通番

モード

ポーリング送信 : ポーリング送信のとき

掲示板 : 掲示板送信のとき

親展送信 : 親展送信のとき

親展受信 : 親展受信のとき

転送送信 : ルーティング通信の転送送信のとき

中継 : 中継同報送信のとき

中継指示送信 : 中継指示送信のとき

タイム指定送信 : タイマ送信のとき

送信 : その他の送信のとき

受信 : その他の受信のとき

枚数

蓄積していた原稿枚数



お知らせ

順次同報送信中に停電になった場合には、マルチ通信レポートで確認してください。

中継同報送信中に停電になった場合には、中継結果レポートで確認してください。



登録 / 設定した内容を確認するには(リスト出力)

リストの種類

登録 / 設定した内容をリスト出力して確認することができます。

リストには以下の種類があります。各種リストの出力例はP215～218を参照してください。

ダイヤルリスト (●P210)

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、ワンタッチプログラムダイヤルの登録内容をリスト出力します。

サイファキーリスト (●P213)

登録してあるサイファキーをリスト出力します。

パラメータリスト (●P212)

本装置に登録 / 設定されている各種の設定内容をリスト出力します。

1
ファックスをより便利に
使う

2
各種レポート/リスト
を出力する

3
ビジネスホンに
通知する

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
いろいろな機能を
登録 / 設定する

6
こんなときには

7
ご参考に

登録 / 設定した内容を確認するには(リスト出力)

ダイヤルリストを出力する

ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / グループダイヤル / ワンタッチプログラムダイヤルのそれぞれについて、登録内容のリストを出力します。

1

〔ファンクション〕 ボタン、 **〔2〕**、 **〔セット〕** ボタン、 **〔2〕** を押します。

リスト プリント モード (1-3)
 1: ツウシン カンリ レポ ート ?
 2: ダ イヤル リスト ?
 3: パ ラメータ リスト ?

2

〔セット〕 ボタンを押します。

ダ イヤル リスト (1-4)
 1: ワンタッチ ダ イヤル リスト ?
 2: タンシュク ダ イヤル リスト ?
 3: グ ループ ダ イヤル リスト ?



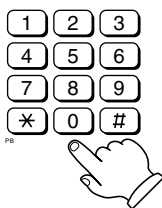
3

〔1〕 ~ **〔4〕** のいずれかを押して、出力するダイヤルリストを選択します。

- 〔1〕** : ワンタッチダイヤルリスト
- 〔2〕** : 短縮ダイヤルリスト
- 〔3〕** : グループダイヤルリスト
- 〔4〕** : ワンタッチプログラムダイヤルリスト

例: **〔4〕** を押した場合

ダ イヤル リスト (1-4)
 4: ワンタッチプ ログ ラム リスト ?



〔1〕 ~ **〔3〕** を押したときは手順6へ進みます。

4

〔セット〕 ボタンを押します。

プ ログ ラムダ イヤル キー シティ
 [プ ログ ラム_]



ワンポイント.....

操作を中止するには **〔ストップ〕** ボタンを押します。

ワンタッチダイヤルリストの出力例は (●P215)

短縮ダイヤルリストの出力例は (●P216)

グループダイヤルリストの出力例は (●P216)

ワンタッチプログラムダイヤルリストの出力例は (●P217)

中継指示ダイヤルの登録内容はワンタッチダイヤルリストで確認できます。

ダイヤルリストの他の出力方法は以下の操作を行っても、ダイヤルリストを出力することができます。

- 〔ファンクション〕** ボタンを押す
- 〔4〕** を押す
- 〔セット〕** ボタンを押す
- 〔6〕** を押す

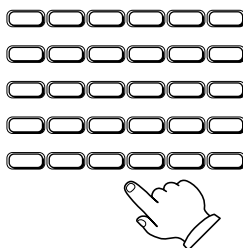
手順2 ~ 6の操作をする

5

リスト出力したいワンタッチプログラムダイヤルが登録されているワンタッチボタンを押します。

例：ワンタッチボタン08

プログラムダイヤルキーシテイ
[プログラム08]



6

「セット」ボタンを押します。

リスト出力が開始されます。

レポートシュツリョクカイシ
レポート



ワンタッチプログラムダイヤルが登録されていないワンタッチプログラムダイヤルを指定すると、「ピッピッ」という音が鳴ります。もう一度確認して押し直してください。

ワンポイント

各ダイヤルリストの出力枚数はセットされている記録紙のサイズにより、出力される枚数が異なります。

ワンタッチダイヤルリスト	1～3枚
短縮ダイヤルリスト	2～4枚
グループダイヤルリスト	1～6枚
ワンタッチプログラムダイヤルリスト	1枚

お知らせ |||

各ダイヤルリストは、記録紙サイズに関係なく、A4サイズの幅に左づめでプリントされます。

ワンタッチダイヤルリストおよび短縮ダイヤルリストは、登録の有無に関係なく、全ダイヤル分がリスト出力されます。

また、グループダイヤルリストは登録されているグループのみ、ワンタッチプログラムダイヤルリストは指定したダイヤルのみが、リスト出力されます。

登録 / 設定した内容を確認するには(リスト出力)

パラメータリストを出力する

各種の設定内容のリストを出力します。

1

ファンクション ボタン、 **2**、 **セット** ボタン、 **3** を押します。

リスト プリント モード (1-3)
1: ツウシン カンリ レポート ?
2: デイタル リスト ?
3: パラメータ リスト ?

2

セット ボタンを押します。

リスト出力が開始されます。

レポートシュツリョクカイシ

レポート



記録紙がセットされていないときなどは出力できません。



ワンポイント.....

操作を中止するには



ボタンを押します。

パラメータリストの出力例は (P218)



お知らせ

パラメータリストは、記録紙サイズに関係なく、A4サイズの幅に左づめでプリントされます。

サイファキーリストを出力する

登録されているサイファキーのリストを出力します。

1

ファンクション ボタン、 **7** を押します。

ファンクション (1-7)
7: サイファ トウロク モード ?

2

セット ボタンを押します。

サイファ トウロク
アンショウ パンゴウ = * * * *

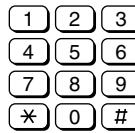


3

サイファキー登録用の暗証番号（4桁の数字）
を入力します。

入力した暗証番号は「*」で表示され
ます。

サイファ トウロク
アンショウ パンゴウ = * * * *



入力を間違えたときは、[クリア]
ボタンを押して入力し直します。

4

セット ボタンを押します。

サイファ トウロク
1: サイファ キー トウロク ?
2: アンショウ パンゴウ ヘンコウ?
3: サイファキー リスト ?



暗証番号が違うときは「ピッピッピ
ッ」と音が鳴ります。もう一度手順
3からの操作を行います。

次ページに続きます。



お知らせ

サイファキーリストは、記録紙サイズに関係なく、A4サイズの幅に左づめでプリントされます。

お願い

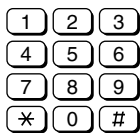
出力されたサイファキーリストは、他人に見られないよう取り扱いにご注意ください。

登録 / 設定した内容を確認するには(リスト出力)

5

3 を押します。

サイファ トウロク
 1:サイファ キー トウロク ?
 2:アンショウ バンゴ ウ ヘンコウ?
 3:サイファキー リスト ?



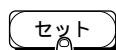
6


セット ボタンを押します。

リスト出力が開始されます。


レポ ートシュツリョクカイシ

レポ ート



 **ワンポイント**

操作を中止するには

 ボタンを押します。

サイファキーリストの出力例は(●P218)

各種リストの出力例

ワンタッチダイヤルリストの出力例

ワンタッチ	相手先名称	相手電話番号	キーNo	通知先	回線
01	NTTカイハツ	0335094202		1234	G4
02	NTTウキヨウ	0337407951	01	1234	G3
03	NTTサイタマ	0488826645	01		G3
G04	NTTグループ (カントウ)				
P05	NTTカイハツ (タイムソウシン)				
06	NTTカゴシマ	0992577736		5678	G4
R07	NTTカンサイ (チュウケイ)	[09] [テーブルNo. 16] [結果] [プリント]			
08					
59					
60					

発信元名称

ワンタッチ

ワンタッチボタンの番号と登録されている機能

××：ワンタッチダイヤル

R××：中継指示ダイヤル

G××：グループダイヤル

P××：ワンタッチプログラムダイヤル

(××はワンタッチボタンの番号)

相手先名称

登録されている相手先名称

相手電話番号

登録されている電話番号 (T：DP PB切替、P：ポーズ、
/：ISDNサブアドレス指定)

中継指示ダイヤルが登録されているときは、以下の内容を表示

[××]または*××：中継機として指定したワンタッチダイヤルの番号または短縮番号

[テーブルNo. ××]：中継テーブルNo.

[結果]：中継結果通知の返送を指定したときに表示

[プリント]：中継機プリントを指定したときに表示

キーNo

登録されているサイファキーNo.

通知先

登録されている結果通知先の内線番号

回線

通信モード (G3 / G4)

登録 / 設定した内容を確認するには(リスト出力)

短縮ダイヤルリストの出力例

短縮番号	相手先名称	相手電話番号	キーNo	通知先	回線
01	NTTトウカイ	0522641434		1234	G4
02	NTTホクリク	0762446785			G3
03	NTTシヨク	0899334442		5678	G3
04	NTTキュシュウ	0963523673		5678	G3
05					
06	NTTトチギ	0286323617	01	1234	G3
07					
08					
48					
49					

発信元名称

短縮番号

相手先名称

登録されている相手先名称

相手電話番号

登録されている電話番号

(T : DP PB切替、P : ポーズ、
/ : ISDNサブアドレス指定)

キーNo

登録されているサイファキーNo.

通知先

登録されている結果通知先の内線番号

回線

通信モード (G3 / G4)

グループダイヤルリストの出力例

グループ番号	相手先番号
04	*06 *10 [02][03][08][11]
09	*01 *02 *08 *09 [15][16]
12	*02 *04 [01][03]
18	*04 *11 *20 [06][22]

発信元名称

グループ番号

相手先番号

登録されている相手先

[x x] : ワンタッチダイヤルの番号

* x x : 短縮番号

ワンタッチプログラムダイヤルリストの出力例

ワンタッチプログラムダイヤルリスト

1997年 1月24日(金) 17時22分
NTTエイジーユ

ワンタッチプログラム番号 10

通信種別	画質	濃度	タイマ指定	親展	ページ合成読取	ダイレクト	リモートマルチコピー	サイファ	通知先	優先送信	済スタンプ
送信	スーパーファイン	ふつう	22時00分						1234		

相手先番号

[02]

発信元名称

ワンタッチプログラム番号

通信種別

送信：送信のとき

ポーリング受信：ポーリング受信のとき

画質

登録されている画質モード

濃度

登録されている読取濃度

タイマ指定

タイマ指定が登録されているときは、その時刻を表示

親展

親展送信指定の有()無()

指定有りのときは、指定された親展ボックスNo.

ページ合成読取

ページ合成読取送信指定の有()無()

ダイレクト

ダイレクト送信指定の有()無()

リモートマルチコピー

リモートマルチコピー送信指定の有()無()

指定有りのときは、指定されたコピー部数

サイファ

サイファ通信指定の有()無()

通知先

登録されている結果通知先の内線番号

優先送信

優先送信指定の有()無()

済スタンプ

済スタンプ指定の有()無()

相手先番号

登録されている相手先

[xx]：ワンタッチダイヤルの番号

*xx：短縮番号

登録 / 設定した内容を確認するには(リスト出力)

パラメータリストの出力例

パラメータリスト

1997年 1月24日(金) 17時25分
NTTエィキョウ

項目	設定内容	項目	設定内容
自動受信	FAX専用	受信モードタイム切替	しない
タイム切替時刻1		タイム切替時刻2	
ダイヤルイン	しない	内線番号(FAX/TEL)	
通信レポート出力	エラー	マルチ通信レポート出力	する
中継結果レポート出力	しない	レポート画像付加	つける
通信管理レポート出力	自動	親展受信レポート出力	する
リモート受信	しない	セレクト受信	しない
中継同報	する	ページ合成受信	する
リモートマルチコピー受信	する(20部)	送受信通知(送信)	する
送受信通知(受信)	する(1234)	転送エラー通知	しない
消耗品通知	する	管理者番号	1234
ルーティング	しない	PC接続	しない
発信元記録 / 発信元位置	つける / 原稿内	回線種別	DP20
送信画質	ファイブ	読取濃度	ふつう
サイファ送信	OFF	ダイレクト送信	OFF
コピー画質	スーパーファイブ	済スタンプ	OFF
通信モード	G4	留守番電話無音検出	する
相手発信元記録	しない	長尺記録	縮小
優先記録	記録紙優先	分割重書き	する
節電モード切替	する	回転記録	する
発信元番号	03-3509-5538	ボリングパスワード	1234
中継パスワード	4321	ベル回数	0回
自動再ダイヤル回数 / 間隔	2回 / 3分	G4発信元番号	
G4発信元略称		リモートメンテナンス	する

発信元名称

各種の登録 / 設定項目と設定内容

「送信画質」「読取濃度」「サイファ送信」「ダイレクト送信」「コピー画質」「済スタンプ」「通信モード」の各欄は、ホームポジションの設定内容を示します。「済スタンプ」の欄は、済スタンプ(オプション)を増設したときに使用される項目です。「G4発信元番号」と「G4発信元略称」の各欄は、G4通信ユニット(オプション)を増設したときに使用される項目です。

サイファキーリストの出力例

サイファキーリスト

1997年 1月24日(金) 17時28分
NTTエィキョウ

キーNo	サイファキー	キーNo	サイファキー
00	1111 2222 3333 4444	01	1234 5678 90AB CDEF
02	1234 1234 1234 1234	03	5678 5678 5678 5678
04	ABCD ABCD EF12 EF12	05	AB12 CD34 EF56 7890
06	1122 3344 5566 7788	07	0102 0304 0506 0708
08		09	
10	ABCD 1234 ABCD 5678	11	ABCD 1234 ABCD 5678
12		13	
14		15	
16		17	
18		19	
20		21	
22		23	
24		25	
26		27	
28		29	
30		31	
32		33	
34		35	
36		37	
38		39	

発信元名称

サイファキーNo.と登録されているサイファキー

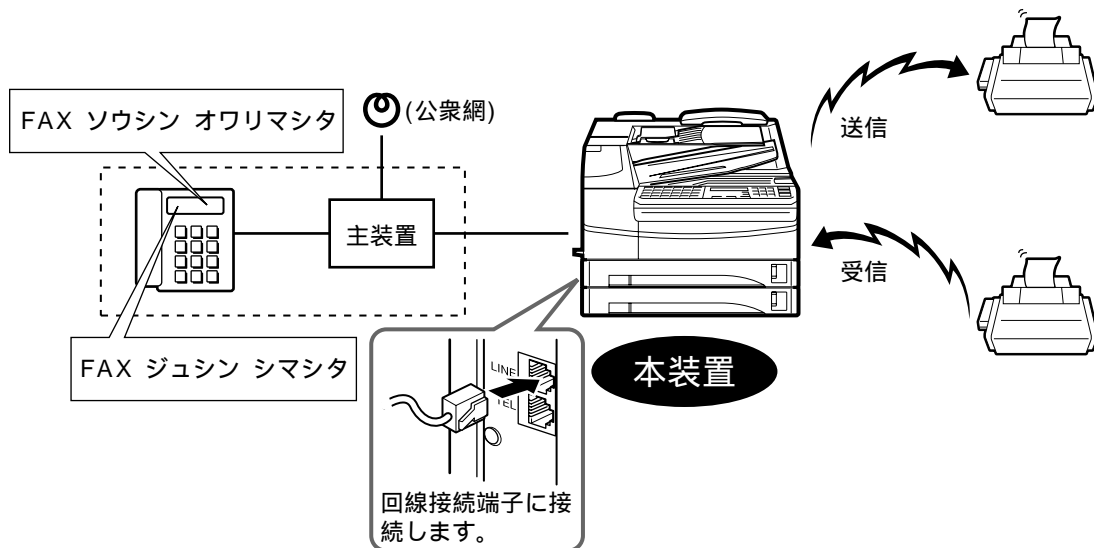
STOP お願い

出力されたサイファキーリストは、他人に見られないよう取り扱いにご注意ください。

通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

送受信通知とは

本装置をビジネスホンまたはPBX（構内電話交換システム）の内線に接続してお使いの場合には、ファクスの送受信結果を、指定した内線電話機のディスプレイにメッセージを表示して知らせることができます。通信結果をデスクに座ったままで知ることができるので、ファクスの所まで何度も足を運ぶ必要がなくなります。



送受信通知には、送信通知と受信通知とがあります。



お知らせ

G4通信ユニット（オプション）を増設してISDN回線のみでお使いの場合には、送受信通知は利用できません。送受信通知をご利用になるには、ビジネスホンまたはPBXの回線を本装置の回線接続端子（LINE端子）に接続してください。

送受信通知を利用できるビジネスホンまたはPBXは、機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

Fネットを利用した送信時には、通知されません。

STOP お願い

通信結果を確認したら、なるべく早くメッセージの表示を消してください。内線電話機にメッセージが表示されたままになっていると、次のメッセージが表示されません。表示されたメッセージの消し方については、内線電話機の取扱説明書をご覧ください。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に



通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

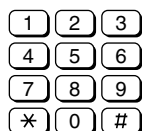
受信時の共通通知先の内線番号（最大4桁）を入力します。

例：「12」

5

キョウツウ ツウチサキ シテイ

ツウチサキ = 12 _



番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

セット ボタンを押します。

6

ソウジ ユシン ツウチ (1-2)

1: ソウシン ?

2: ジ ユシン ?

セット



ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

7

1997/01/24 13:30

0%

ストップ



通知先を指定して送信する

あらかじめ、送信通知の設定を「スル」にしておきます。
(●P222)

原稿をセットします。(●P51)

1

ゲ ンコウガ アリマス

0%

必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(●P52、53)

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

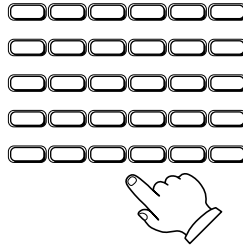
6 こんなときには

7 参考に

相手先を指定します。

例：ワンタッチダイヤル01

ソウシン 1 アテサキ
 アイテ= [ワンタッチ01]
 NTTエイキ` ヨウ



複数の相手先を指定することもできます。(☛P103)

2

〔セット〕ボタンを押します。

ソウシン ツウチサキ シテイ
 ツウチサキ= _



送信通知先を登録してあるワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル/ワンタッチプログラムダイヤルで相手先を指定したときは、登録されている通知先が表示されます。通知先を変更しないときは手順6へ進みます。

3

送信結果の通知先の内線番号(最大4桁)を入力します。

例：「12」

ソウシン ツウチサキ シテイ
 ツウチサキ= 12_



番号を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して入力し直します。

4

〔セット〕ボタンを押します。

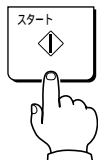
スタートボ` タン ヲ オシテクタ` サイ



〔スタート〕ボタンを押します。

原稿が読み込まれ、送信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
 1997/01/24 13:05
 アイテ=NTTエイキ` ヨウ



送信が終了すると、指定した内線電話機に通知されます。

6

ワンポイント.....

送信操作を中止するには



ボタンを押します。

送信を中断するには(☛P67)

複数の相手先を指定したときはすべての相手先に送信されたあと、送信結果が通知されます。

送信通知先をワンタッチダイヤルに登録するには(☛P104)

送信通知先を短縮ダイヤルに登録するには(☛P108)

送信通知先をワンタッチプログラムダイヤルに登録するには(☛P115)



お知らせ

手順2で相手先をダイヤル入力(フルダイヤル)した場合は、ダイヤル入力のあと〔セット〕ボタンを押します。

手順2で1件目の相手先をワンタッチダイヤルまたはワンタッチプログラムダイヤルで指定したあと約5秒間〔セット〕ボタンを押さないでいると、自動的に送信が始まり、送信通知は行われません。

手順2で、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルによって複数の相手先を指定した場合は、それぞれに登録されている送信結果の通知先は無効となります。

ルーティング通信を「スル」に設定しているときは、手順3でサブアドレスの指定画面が表示されます。このときは、サブアドレスを入力して〔セット〕ボタンを押すか、そのまま〔セット〕ボタンを押します。

通信結果を内線電話機に通知するには（送受信通知）

通知先を指定してポーリング送信 / 掲示板送信をする

送信をセットするとき、あわせて通知先を指定します。

1

「ポーリング送信をセットする」(P143)の手順1～5の操作、または「掲示板送信をセットする」(P145)の手順1～5の操作をします。

例：ポーリング送信

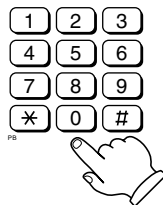
ソウシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ = _

2

送信結果の通知先の内線番号（最大4桁）を入力します。

例：「56」

ソウシン ツウチサキ シテイ
ツウチサキ = 56 _



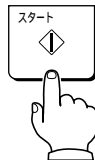
番号を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して入力し直します。

3

 **ボタンを押します。**

原稿が読み込まれ、ポーリング送信または掲示板送信がセットされます。

ウケツケNo. = <001>
1997/01/24 13:05
アイテ=ポ -リング- ソウシン



相手のポーリング受信操作で、送信が開始されます。

送信が終了すると、指定先に通知されます。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能に登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

通知先を指定してポーリング受信する

ポーリング受信をするとき、あわせて通知先を指定します。

1

「ポーリング受信をする」(P147)の手順1~2の操作をします。

ポ -リンク ジ ュシン 1アテサキ
 アイテ= [ワンタッチ01]
 NTTエイキ ヨウ

2

セット ボタンを押します。

ジ ュシン ツウチサキ シテイ
 ツウチサキ= _

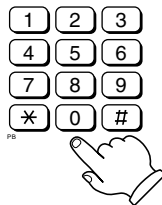


3

受信結果の通知先の内線番号(最大4桁)を入力します。

例: 「56」

ジ ュシン ツウチサキ シテイ
 ツウチサキ= 56 _



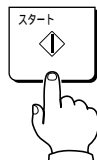
番号を間違えたときは、[クリア]ボタンを押して入力し直します。

4

スタート ボタンを押します。

相手先にダイヤルし、ポーリングパスワードが一致すると受信が開始されます。

ウケツケNo. =<001>
 1997/01/24 13:15
 アイテ=NTTエイキ ヨウ



受信が終了すると、指定先に通知されます。



ワンポイント.....

受信操作を中止するには



ボタンを押します。

受信を中断するには(P82)

複数の相手先を指定するには(P103)

相手先の指定(最大170件)には、ダイヤル入力(フルダイヤル)、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルが使えます。ワンタッチプログラムダイヤル、中継指示ダイヤルが登録されているワンタッチボタンは相手先の指定には使用できません。

受信できなかったときは

通信結果が通信レポート(P205)として出力されます。設定を変更して、出力されないようにすることもできます。

(P200)



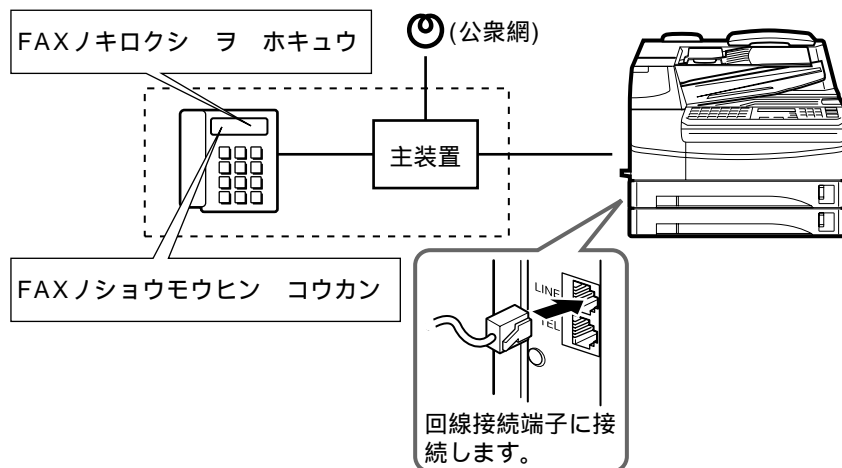
お知らせ

手順1で相手先をダイヤル入力(フルダイヤル)した場合は、ダイヤル入力のあと**セット**ボタンを押します。

ファクスの状態を内線電話機に通知するには（状態通知）

状態通知とは

本装置をビジネスホンまたはPBX（構内電話交換システム）の内線に接続してお使いの場合に、管理者用として指定した内線電話機のディスプレイにメッセージを表示してファクスの状態を知らせることを状態通知といいます。



状態通知のメッセージ例

メッセージ表示例	状態
FAXノテンソウ ニ シツパイ	ルーティング通信の転送送信中にエラーが発生したとき
FAXノキロクシ ヲ ホキユウ	いずれかの記録紙カセットが空になったとき
FAXノショウモウヒン コウカン	トナーがなくなったり、ドラム交換が必要になったとき

状態通知を表示させるには

準備

転送エラー通知 / 消耗品通知の設定を「スル」にする
(☛P229、230)

通知先として、管理者の内線番号を登録する
(☛P231)



お知らせ

G4通信ユニット（オプション）を増設してISDN回線のみで使いの場合には、状態通知は利用できません。状態通知をご利用になるには、ビジネスホンまたはPBXの回線を本装置の回線接続端子（LINE端子）に接続してください。

状態通知を利用できるビジネスホンまたはPBXは機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

お願い

メッセージを確認したら、なるべく早くメッセージの表示を消してください。内線電話機にメッセージが表示されたままになっていると、次のメッセージが表示されません。表示されたメッセージの消し方については、内線電話機の取扱説明書をご覧ください。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に


転送エラー通知を設定する

1 **ファンクション** ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **2**、 **セット** ボタン、 **6**、 **セット** ボタン、 **2**、 **セット** ボタン、 **1** を押します。

ジ ヨウタイ ツウチ (1-3)
 1: テンソウエラー ツウチ ?
 2: ショウモウヒン ツウチ ?
 3: カンリシャ バ ンゴ ウ ?

2 **セット** ボタンを押します。

テンソウエラー ツウチ
 1. シナイ
 2. スル




3 **1** または **2** を押して、転送エラー通知をするかどうかを選択します。

1 : 通知しない
2 : 通知する


例: **2** を押した場合

テンソウエラー ツウチ
 1. シナイ
 2. スル



4 **セット** ボタンを押します。

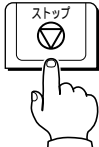
ジ ヨウタイ ツウチ (1-3)
 1: テンソウエラー ツウチ ?
 2: ショウモウヒン ツウチ ?
 3: カンリシャ バ ンゴ ウ ?

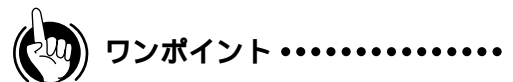


5 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%





設定操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。



転送エラー通知や消耗品通知を「スル」に設定していても、管理者用の内線番号を登録していないときは、通知はされません。転送エラー通知の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

ファクスの状態を内線電話機に通知するには（状態通知）

消耗品通知を設定する

1

ファンクション ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **6**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **2** を押します。

ジ ヨウタイ ツウチ (1-3)
 1: テンソウエラー ツウチ ?
 2: ショウモウヒン ツウチ ?
 3: カンリシャ バ ンゴ ウ ?

2

セット ボタンを押します。

ショウモウヒン ツウチ
 1. シナイ
 2. スル



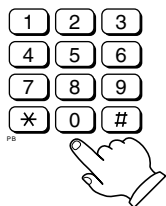
3

1 または **2** を押して、消耗品通知をするかどうかを選択します。

1 : 通知しない
2 : 通知する

例: **2** を押した場合

ショウモウヒン ツウチ
 1. シナイ
 2. スル



4

セット ボタンを押します。

ジ ヨウタイ ツウチ (1-3)
 1: テンソウエラー ツウチ ?
 2: ショウモウヒン ツウチ ?
 3: カンリシャ バ ンゴ ウ ?

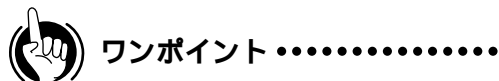
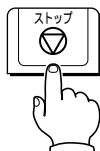


5

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



設定操作を中止するには
ストップ ボタンを押します。



消耗品通知の設定は、一度設定すると次に
 変更するまで変わりません。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

管理者用の内線番号を登録する


状態通知を行うには、あらかじめ通知先（管理者）の内線番号を登録しておきます。

1 **ファンクション** ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **6**、 **セット** ボタン、 **2**、
セット ボタン、 **3** を押します。

ジ ヨウタイ ツウチ (1-3)
 1: テンソウエラー ツウチ ?
 2: ショウモウヒン ツウチ ?
 3: カンリシャ バンゴウ ?

2 **セット** ボタンを押します。

カンリシャ バンゴウ
 ツウチサキ = _




3 通知先の内線番号（最大4桁）を入力します。

例：「78」

カンリシャ バンゴウ
 ツウチサキ = 78 _


1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#



番号を間違えたときは、[クリア] ボタンを押して入力し直します。

4 **セット** ボタンを押します。


ジ ヨウタイ ツウチ (1-3)
 1: テンソウエラー ツウチ ?
 2: ショウモウヒン ツウチ ?
 3: カンリシャ バンゴウ ?





5 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



 ワンポイント.....

登録操作を中止するには  ボタンを押します。

PCプリンタ / PCスキャナとして使うには

PCプリンタ / PCスキャナとは

本装置を、パソコンのプリンタまたはスキャナとして使うことができます。ファクスモデムを接続または搭載したパソコンなどと接続し、パソコンのファクス通信ソフトを使用して原稿を送受信します。

PCプリンタとして使う (P 235)

パソコンのファクス通信ソフトで、原稿を送信する。

本装置が受信し、プリントする。

PCスキャナとして使う (P 236)

原稿を本装置から送信する。

パソコンのファクス通信ソフトで受信する。

準備をする

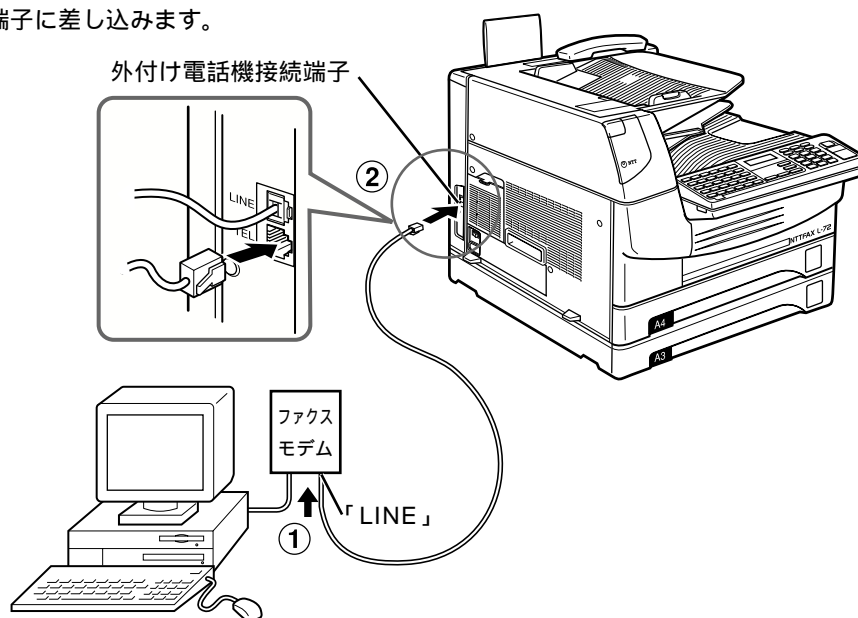
本装置をパソコンのプリンタ / スキャナとして使うには、以下の準備をします。

パソコンに接続する

次の手順で、本装置をパソコンに接続または搭載されたファクスモデムと接続します。あらかじめ、パソコンとファクスモデムとを接続し、ファクス通信ソフトをパソコンにインストールしておきます。

電話機コード()をファクスモデムの「LINE」端子に差し込みます。
電話機コードのもう一方の端を、本装置の外付け電話機接続端子に差し込みます。

パソコンと接続するための電話機コードは付属してありません。電話機コードが必要なときは、NTT窓口等でお買い求めください。



PC接続を設定する (P 234)

本装置とパソコンとで通信ができるように設定します。

この状態でも、ファクスモデムと外線の相手の方との間でファクスの送受信ができます。

1
使う
ファックスをより便利に2
を出力する
各種レポート/リスト3
通知する
ビジネスホンに4
PCスキャナとして使う
PCプリンタ / PCスキャナとして使う5
登録 / 設定する
いろいろな機能を6
こんなときには7
ご参考に

ワンポイント.....

外付けの電話機をお使いになるには
外付け電話機の電話機コードを、ファクスモデムの「TEL」端子に接続します。外付け電話機から電話をかけるときは、相手先の電話番号の前に「0」とポーズを付けてダイヤルします。
パソコンから外線の相手先にファクスを送るには相手先の電話番号の前に「0」とポーズを付けて、パソコン側からダイヤルします。
パソコン通信をするときは相手先の電話番号の前に「0」とポーズを付けて、パソコン側からダイヤルします。
外線の相手先からのファクスをパソコンで受けるにはパソコンで自動受信するときは、あらかじめ本装置を手動受信モードに設定し(●P74)、パソコンのファクス通信ソフトで自動受信するように設定しておきます。

お知らせ

接続するパソコンのファクスモデムは、G3規格のファクス通信に対応している必要があります。また、ファクスモデムの種類によっては、ご利用になれない場合があります。
接続するパソコンには、ファクス通信ソフトが正しくセットアップされている必要があります。ファクス通信ソフトは、ファクスモデムやオペレーティングシステムに付属している場合があります。
パソコンとファクスモデムとの接続に関するシステム条件や接続方法、ファクス通信ソフトの操作方法などについては、それぞれに付属の取扱説明書をご覧ください。
パソコン側の回線種別は、本装置に設定している回線種別と同じになるように設定してください。設定が違っているとパソコンからのダイヤル信号を検出できません。また、ファクスモデムの発信音の検出のしかたによっては、ファクスモデムからダイヤル信号が送出されない場合があります。ファクスモデムのダイヤルについての設定を確認してください。
PCプリンタまたはPCスキャナを使っているときは、ファクスの送受信や電話をかけたり受けたりすることはできません。
PCプリンタまたはPCスキャナを使っているときは、電話がかかってきても呼出音は鳴りません。相手の方は、呼び出し中のままになります。

お願い

パソコンとの通信中には、本装置の受話器を取りあげないでください。受話器を取りあげると、通信が正常に行われなことがあります。
本装置を自動受信モードにしたままで、外線の相手先からのファクスをパソコンで受信するときは、自動受信のベル回数がファクスモデムに設定したベル回数より大きくなるように設定してください。(●P247) ファクスモデムのベル回数より小さく設定すると、本装置が先に受信してしまいます。



プリントするには

パソコンから送信された原稿の画像データを本装置で受信し、プリントします。プリント中には、外からの電話やファクスを受けることはできません。

1 パソコンのファクス通信ソフトで、ファクス送信操作をします。

電話番号として、プッシュ回線のときは **7** *****、ダイヤル回線のときは **7** を指定します。

2 自動的にプリントを開始します。

1997/01/24 13:30 10%
PCプリント



ワンポイント

プリントを中断するには受信中断の操作をします。(▶P82)
途中で記録紙がなくなったときは受信した原稿はメモリに蓄積されます(メモリ代行受信)。パソコンからの送信終了後、記録紙をセットすると、メモリに受信した原稿がプリントされます。



お知らせ

PCプリンタとして使用しているとき(PCプリント中)には、外からの電話やファクスを受けることはできません。受信モードやベルの回数の設定にかかわらず、外線からの呼び出しを受けてもベルは鳴りませんのでご注意ください。

本装置は、送信中や受信時、電話中、レポート出力中にはPCプリンタとしては使用できません。

パソコン側の回線種別は、本装置に設定している回線種別と同じになるように設定されている必要があります。設定が違っているとパソコンからのダイヤル信号を検出できません。また、ファクスモデムの発信音の検出のしかたによっては、ファクスモデムからダイヤル信号が送出されない場合があります。ファクスモデムの、ダイヤルについての設定を確認してください。

パソコンなどの取り扱いについては、パソコンなどに添付された取扱説明書をご覧ください。パソコンから送信される画像にエラーが発生する場合などは、パソコンのファクスモデムの送出レベルを上げるなど、設定の変更が必要な場合があります。

セレクト受信を設定しているときは、パソコンからの発信元番号をワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルに設定するかセレクト受信を解除してお使いください。

STOP お願い

パソコンとの通信中には、本装置の受話器を取りあげないでください。受話器を取りあげると、通信が正常に行われなくなることがあります。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホーンに通知する

4 PCプリンタ / PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能に登録 / 設定する

6 こんなときには

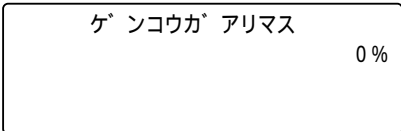
7 ご参考に

スキャニングするには

本装置で読み取った原稿の画像データを、パソコンに送信します。あらかじめパソコンのファクスモデムを自動受信に設定しておけば、パソコン側で操作しなくても受信できます。スキャニング中には、外からの電話やファクスを受けることはできません。

1 原稿をセットします。(☛P51)

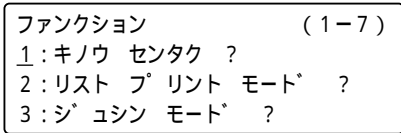
1



必要に応じて画質と読取濃度を設定します。(☛P52、53)

2 (ファンクション) ボタンを押します。

2

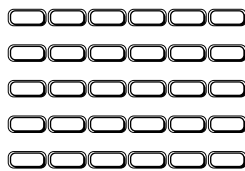
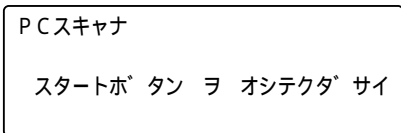


ワンポイント.....

スキャニングを中断するには送信中断の操作をします。(☛P67)

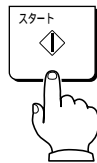
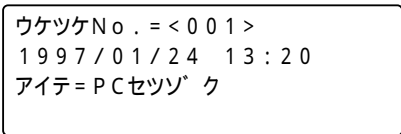
3 [PCスキャナ] ボタン (ワンタッチボタン 22) を押します。

3



4 (スタート) ボタンを押します。

4



お知らせ

パソコン側の操作ミスなどで通信エラーが発生した場合には、自動的に再度送信されます。送信を中断したいときは、送信の中断操作 (☛P67) を行ってください。
PCスキャナとして使用しているときには、外からの電話やファクスを受けることはできません。外線からの呼び出しを受けても、受信モードやベル回数の設定にかかわらず、ベルは鳴りませんのでご注意ください。
PCスキャナとして使用した場合、パソコンなどで受信した原稿には、発信元記録は付けられません。
パソコンなどの取り扱いについては、パソコンなどに添付された取扱説明書をご覧ください。

5

本装置のベルが鳴ったら、パソコン側でファクス受信の操作をします。

STOP お願い

パソコンへの送信を開始したとき、パソコンに自動受信させるためのベルが鳴ります。このとき、本装置の受話器を取りあげると、送信動作が中断されますので、ご注意ください。
パソコンとの通信中には、本装置の受話器を取りあげないでください。受話器を取りあげると、通信が正常に行われなことがありません。

記録紙選択の設定をするには

受信原稿を記録紙へプリントするときは、原稿に合わせて最適な記録紙サイズが自動的に選択されます。ご利用に合わせてプリンタ（記録）の設定を選択することができます。設定できる項目と、その内容については以下のとおりです。

長尺記録 (P239)

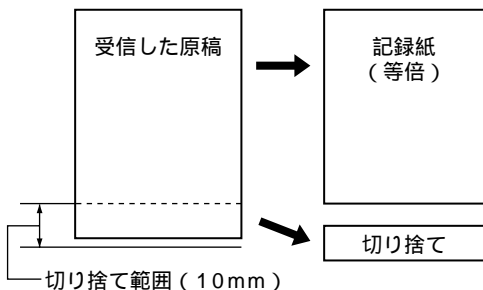
受信原稿が記録紙より長い場合の処理のしかたを選択します。お買い求めのときは「縮小」に設定されています。

縮小	自動的に縮小（70%～100%）してプリントする
切り捨て	はみだした部分を切り捨てる

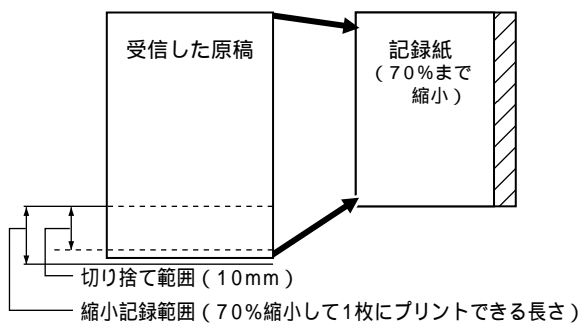
切り捨て範囲を変更したいときは、NTT窓口等へお問い合わせください。

「縮小」に設定しているとき

記録紙より長い部分が切り捨て範囲内のとき



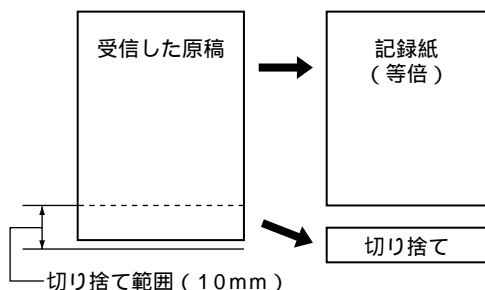
記録紙より長い部分が切り捨て範囲を超えると



- 70%まで縮小しても1枚の記録紙にプリントできない場合は、複数の記録紙に分割してプリントされます。(分割重ね書き、P238)

「切り捨て」に設定しているとき

記録紙より長い部分が切り捨て範囲内のとき



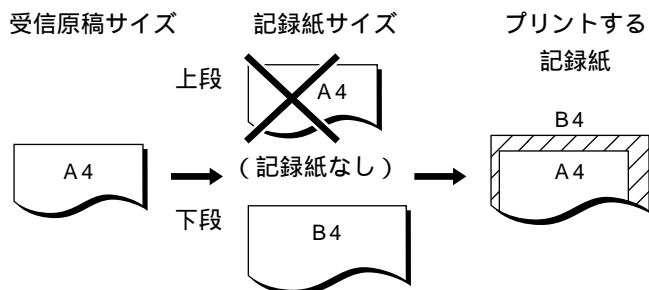
- 記録紙の記録範囲より長い部分が、10mmを超える場合は、切り捨ては行われず、複数の記録紙に分割してプリントされます。(分割重ね書き、P238)

優先記録 (P240)

受信原稿をプリント中に記録紙がなくなった場合の処理のしかたを選択します。お買い求めのときは「記録紙優先」に設定されています。

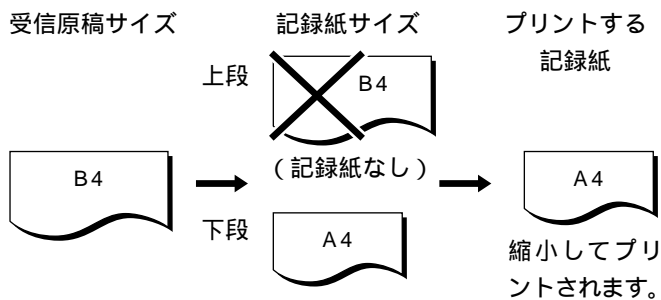
記録紙優先	カセットにセットされている記録紙に自動的に切り替えてプリントする
カセット優先	他のカセットに記録紙がセットされている場合でも、プリントを中止してメモリに蓄積する（メモリ代行受信）

「記録紙優先」に設定しているとき

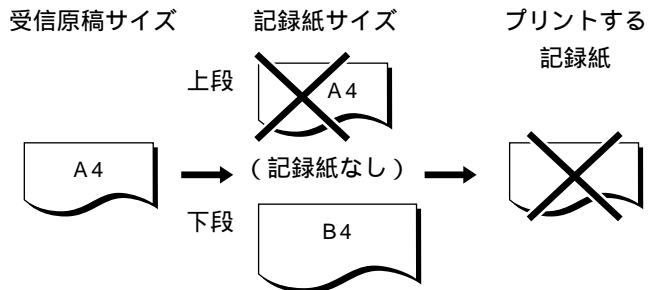


- 上図の例の場合、B4サイズの記録紙に左寄せでプリントされます。記録位置の変更はできません。

長尺記録を「縮小」に設定しているとき



「カセット優先」に設定しているとき



- プリントを中止してメモリに蓄積されます（メモリ代行受信）

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

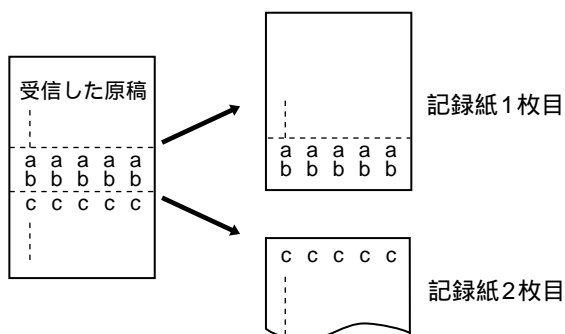
記録紙選択の設定をするには

分割重ね書き (P 241)

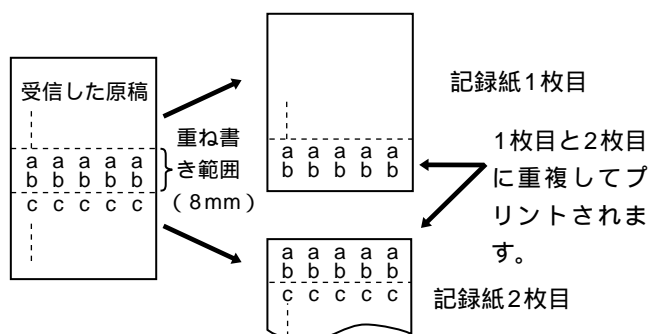
受信原稿が1枚の記録紙に収まらないときに複数の記録紙に分割する場合の処理のしかたを選択します。お買い求めのときは「スル」に設定されています。

シナイ	分割した部分を重複させずにプリントする
スル	分割した部分 (8mm) を重複させてプリントする

「シナイ」に設定しているとき



「スル」に設定しているとき

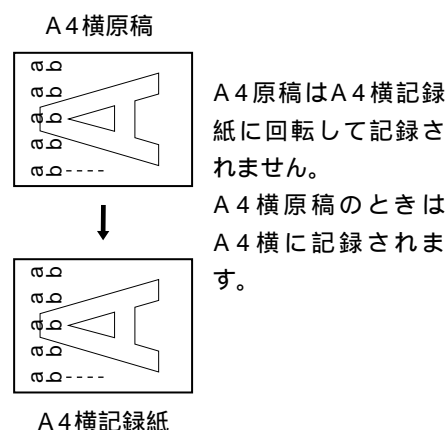


回転記録 (P 242)

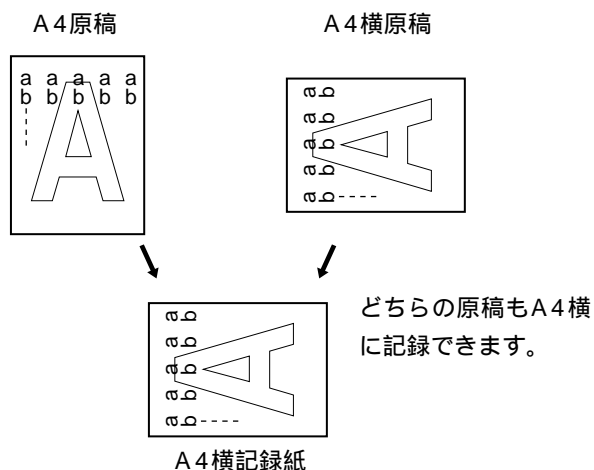
カセットにセットされている記録紙の向きにあわせて、受信データを回転してプリントするかどうかを選択します。お買い求めのときは「スル」に設定されています。

シナイ	回転してプリントしない
スル	A4原稿をA4横 (横向き) の記録紙に回転してプリントする

「シナイ」に設定しているとき



「スル」に設定しているとき



お知らせ

回転記録では、縦横方向で線密度の変換処理が行われるため、記録画質が多少劣化します。特に、画質モードをハーフトーンに設定したときには画質が劣化しますので、回転記録を「シナイ」に設定してご利用になるようおすすめします。

長尺記録（自動縮小/切り捨て）の設定をする

受信した原稿が、カセットにセットされている記録紙より長いときは、自動的に縮小したり（自動縮小）はみだした部分を切り捨てたり（切り捨て）することができます。お買い求めのときは「縮小」に設定されています。

1

ファンクション ボタン、**5**、**セット** ボタン、**4**、**セット** ボタン、**1** を押します。

プリンタ セッテイ (1-5)
1: チョウジ ャク キロク ?
2: ユウセン キロク ?
3: プ ンカツ カサネガ キ ?

2

セット ボタンを押します。

チョウジ ャク キロク
1. シュクショウ
2. キリステ



3

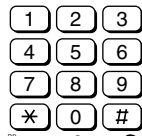
1 または **2** を押して、長尺記録の処理方法を選択します。

1 : 自動縮小

2 : 切り捨て

例: **2** を押した場合

チョウジ ャク キロク
1. シュクショウ
2. キリステ



4

セット ボタンを押します。

プリンタ セッテイ (1-5)
1: チョウジ ャク キロク ?
2: ユウセン キロク ?
3: プ ンカツ カサネガ キ ?



5

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ワンポイント

設定操作を中止するには ボタンを押します。

「縮小」に設定すると
受信した原稿に合わせて自動的に縮小（70%～100%）して記録紙にプリントされます。70%まで縮小しても1枚の記録紙に収まらないときは、複数の記録紙に分割してプリントされます。

「切り捨て」に設定すると
受信した原稿が記録紙より長いときは、はみだした部分は切り捨ててプリントされます。はみだした部分が10mmより長い場合は、複数の記録紙に分割してプリントされます。

お知らせ

長尺記録の設定は一度設定すると次に変更するまで変わりません。

記録紙選択の設定をするには

優先記録（記録紙優先 / カセット優先）の設定をする

受信原稿をプリント中に記録紙がなくなった場合の処理のしかたを選択します。お買い求めのときは「記録紙優先」に設定されています。

1

ファンクション ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **4**、
セット ボタン、 **2** を押します。

プ リンタ セッテイ (1-5)
1: チョウジ ャク キロク ?
2: ヨウセン キロク ?
3: プ ンカツ カサネガ キ ?

2

セット ボタンを押します。

ヨウセン キロク
1. キロクシ ヨウセン
2. カセット ヨウセン



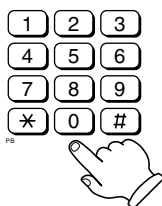
3

1 または **2** を押して、優先記録の処理方法を選択します。

- 1** : 記録紙優先
- 2** : カセット優先

例: **1** を押した場合

ヨウセン キロク
1. キロクシ ヨウセン
2. カセット ヨウセン



4

セット ボタンを押します。

プ リンタ セッテイ (1-5)
1: チョウジ ャク キロク ?
2: ヨウセン キロク ?
3: プ ンカツ カサネガ キ ?



5

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ワンポイント.....

設定操作を中止するには

ストップ ボタンを押します。

「記録紙優先」に設定すると
受信原稿のプリント中に記録紙がなくなると、他のカセットにセットされている記録紙に自動的に切り替えてプリントされます。

「カセット優先」に設定すると
受信原稿のプリント中に記録紙がなくなると、他のカセットに記録紙がセットされている場合でも、プリントを中止してメモリに蓄積します（メモリ代行受信）。記録紙をセットすると、受信原稿をプリントすることができます。

お知らせ

優先記録の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

節電モードの設定を変更するには

プリンタが待機状態のときに、ヒータをオフにして消費電力を節約することができます。また、時間帯を指定して自動的に節電モードを切り替えることもできます（節電モードタイマ切替）。

節電モードの設定を変更する

お買い求めのときは、節電モードは「スル」に設定されています。

節電モードの設定を「シナイ」にすると、標準モードと高速モード（標準モードよりプリンタの予熱時間は速いが、電力の消費量は多い）を選ぶことができます（ヒートモード）。

1

ファンクション ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **4**、
セット ボタン、 **4** を押します。

フ リンタ セッテイ (1-5)
4 : セツデ ン モード セッテイ ?
5 : カイテン キロク ?

2

セット ボタンを押します。

セツデ ン モード セッテイ
1 . シナイ
2 . スル
3 . タイマ



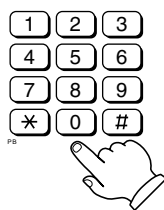
3

1 または **2** を押して、節電モードにするかどうかを選択します。

- 1** : 節電モードにしない
- 2** : 節電モードにする

例: **1** を押した場合

セツデ ン モード セッテイ
1 : シナイ
2 . スル
3 . タイマ



2 を押したときは手順6へ進みます。

4

セット ボタンを押します。

ヒート モード
1 . ヒョウシ ユン
2 . コウソク



次ページに続きます。



ワンポイント.....

設定操作を中止するには



ストップ ボタンを押します。

節電モードを「スル」に設定したときは受信時やコピー、レポート/リスト出力をするとき以外は、つねに節電モードになります。

時間帯を指定して節電モードを設定したいときは（P245）



お知らせ

節電モードを「スル」に設定しているときは、受信時にプリントを開始するまでにプリンタの予熱時間が必要となります。節電モードの設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホーンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

節電モードの設定を変更するには

5

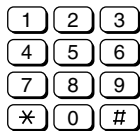
① または ② を押して、ヒートモードを選択します。

① : 標準モード

② : 高速モード

例: ② を押した場合

ヒート モード
 1. ヒョウジ ユン
 2. コウソク



6

セット ボタンを押します。

プ リンタ セッテイ (1-5)
 4: セツデン モード セッテイ ?
 5: カイテン キロク ?



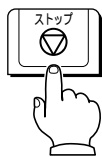
手順3で ② を押したときは、上記の画面が表示される前に約2秒間「ジョウジセツデン モード」と表示されます。

7

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホーンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

時間帯を指定して節電モードを設定する (節電モードタイマ切替)


指定した時刻になると、節電モードが自動的に切り替えられます。

1 **ファンクション** ボタン、 **5**、 **セット** ボタン、 **4**、 **セット** ボタン、 **4** を押します。

プリンタ セッテイ (1-5)
 4: セッデ ン モード セッテイ ?
 5: カイテン キロク ?


2 **セット** ボタンを押します。

セッデ ン モード セッテイ
 1. シナイ
 2. スル
 3. タイマ




3 **3** を押します。

セッデ ン モード セッテイ
 1. シナイ
 2. スル
 3. タイマ



4 **セット** ボタンを押します。

セッデ ン タイマ
 カイシ ジ コク = 21:00
 シュウリョウ ジ コク = 08:00



次ページに続きます。

ワンポイント.....

設定操作を中止するには

ストップ ボタンを押します。

節電モードにしないときは

P243の手順3で **1** を押します。

つねに節電モードにしておくには

P243の手順3で **2** を押します。

お知らせ

節電モードタイマ切替を設定して節電モードになっているときは、受信時にプリントを開始するまでにプリンタの予熱時間が必要となります。

節電モードの終了後から次の開始時刻までのヒートモードの設定は、節電モードを「シナイ」に設定して指定したヒートモードになります。(P243)

お買い求めのときの設定では「標準」が指定されます。

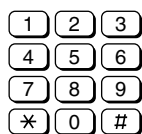
節電モードタイマ切替の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

節電モードの設定を変更するには

節電モードを開始する時刻（4桁）と終了する時刻（4桁）を入力します。

例：午後10時（開始時刻）から次の日の午前9時（終了時刻）まで節電モードを設定する場合
（「22000900」と入力）

セッテ`ン タイマ
カイシ`ジ`コク=22:00
シュウリョウ`ジ`コク=09:00



時刻は24時間制で入力します。

入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

お買い求めのときは「開始時刻 21:00 終了時刻 08:00」に設定されています。

セット ボタンを押します。

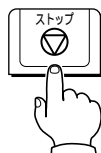
プ`リンタ`セッテイ (1-5)
4:セッテ`ン`モ`ド` セッテイ`?
5:カイト`ン`キロク`?



ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



5

6

7

ベル回数を設定するには

自動受信 (P74) を設定しているときに、ファクスや電話を着信してから受信するまでに鳴る呼出音の回数 (0 ~ 10回) を設定することができます。お買い求めのときは「0回」(鳴らない) に設定されています。

1 **ファンクション** ボタン、**6**、**セット** ボタン、**8** を押します。

トウロク モード (1-11)
7: ルーテイング シ ヨウホウ ?
8: ベル カイスウ ?
9: ジトウ サイダ イヤル ?

2 **セット** ボタンを押します。

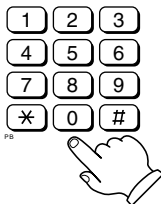
ベル カイスウ
カイスウ = 00



3 **ベル回数 (00 ~ 10) を入力します。**

例: 5回 (「05」と入力する)

ベル カイスウ
カイスウ = 05



入力を間違えたときは、[◀] または [▶] ボタンを押してカーソルを間違えた文字に移動し、入力し直します。[クリア] ボタンを押して最初から入力し直すこともできます。

4 **セット** ボタンを押します。

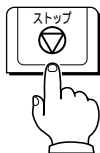
トウロク モード (1-11)
7: ルーテイング シ ヨウホウ ?
8: ベル カイスウ ?
9: ジトウ サイダ イヤル ?



5 **ストップ** ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24 13:30 0%



ワンポイント

設定操作を中止するには



ボタンを押します。

ベル回数が「0回」に設定されているときは呼出音を鳴らさずに受信することができます。ただし、回線の状況などによっては、呼出音が鳴ることがあります。

電話優先モードに設定しているときは (P76)

ベル回数を「0回」に設定しても、相手先が電話の場合には約30秒間ベルを鳴らして呼び出しを行います。



お知らせ

ベル回数の設定は、一度設定すると次に変更するまで変わりません。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホーンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

よく使うモードをホームポジションとして設定するには

ホームポジションとは

よく使う機能をあらかじめホームポジション（標準状態）として設定しておくことで、送信やコピーのたびに設定する手間が省けます。また、ホームポジションに設定した内容は、送信やコピーをするときに一時的に変更することもでき、送信やコピーの操作が終わると、自動的にホームポジションの設定に戻ります。

ホームポジションに設定できる機能

ホームポジションに設定できる機能は以下のとおりです。
太字の項目はお買い求めのときの設定状態です。

設定できる機能	設定の種類	各機能の参照先
画質（送信画質）	標準 / ファイン / スーパーファイン / ハーフトーン	☛P52
読取濃度	ふつう / こく / うすく	☛P53
サイファ送信	OFF / ON	☛P171
ダイレクト送信	OFF / ON	☛P60
コピー画質	ファイン / スーパーファイン / ハーフトーン	☛P52、87
済スタンプ（オプション）	シナイ / スル	☛P285
通信モード（オプション）	G4 / G3	☛P287

1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に



お知らせ

済スタンプ（オプション）を搭載している場合のみ、済スタンプの設定をすることができます。

G4通信ユニット（オプション）を増設している場合のみ、通信モードの設定をすることができます。



よく使うモードをホームポジションとして設定するには

ホームポジションを設定する

1

〔ファンクション〕 ボタン、 **5**、 **〔セット〕** ボタン、 **3**、
〔セット〕 ボタン、 **3** を押します。

ソウチ セツテイ (1-5)
1: ハッシンモト キロク ?
2: カイセン シュベツ ?
3: ホーム ポジション ?

2

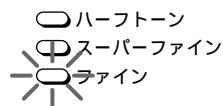
〔セット〕 ボタンを押します。

ホーム ポジション
ヨミトリノウド ガシツ
サイファ ダイレクト
ホ タンラ センタク シテクダ サイ



3

〔画質〕 ボタンを繰り返し押して、送信時の画質モードを選択します。



選択したモードの画質ランプが点灯します。「標準」を選択すると画質ランプは消えます。

4

〔読取濃度〕 ボタンを繰り返し押して、読取濃度を選択します。



選択した読取濃度ランプが点灯します。「ふつう」を選択すると読取濃度ランプは消えます。

1
ファックスをより便利に
使う2
各種レポート/リスト
を出力する3
ビジネスホンに
通知する4
PCプリンタ/
PCスキヤナとして使う5
いろいろな機能を
登録/設定する6
こんなときには7
ご参考に

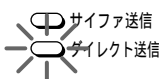
251

5 **[サイファ送信] ボタン (ワンタッチボタン 01) を押して、サイファ送信をするかしないかを選択します。**



[サイファ送信] ボタンを押すごとに、サイファ送信ランプの点灯 (サイファ送信をする) / 消灯 (サイファ送信をしない) が切り替わります。

6 **[ダイレクト送信] ボタン (ワンタッチボタン 02) を押して、ダイレクト送信をするかしないかを選択します。**



[ダイレクト送信] ボタンを押すごとに、ダイレクト送信ランプの点灯 (ダイレクト送信をする) / 消灯 (ダイレクト送信をしない) が切り替わります。

7 **[セット] ボタンを押します。**

ホーム ポジション
コピーガード

ボタンラ センタク シテクダ サイ



ワンポイント.....

設定操作を中止するには



ストップ ボタンを押します。

送信時の画質モードの設定は (●P52)

送信時の読取濃度の設定は (●P53)

コピーをするときの画質モードの設定は (●P52,86)

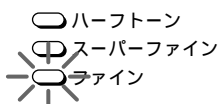
サイファ送信の設定は (●P171)

ダイレクト送信の設定は (●P60)

済スタンプ (オプション) の設定は (●P285)

G4通信モード (オプション) の設定は (●P287)

8 **[画質] ボタンを繰り返し押して、コピー時の画質モードを選択します。**



選択したモードの画質ランプが点灯します。「標準」を選択することはできません。

済スタンプやG4通信ユニット (オプション) を増設していないときは、手順12へ進みます。

次ページに続きます。



よく使うモードをホームポジションとして設定するには

9

セット ボタンを押します。

ホーム ポジション	
スミスタンプ	[シナイ]
ツウシンモード	[G4]
ボタン センタク シテクダサイ	

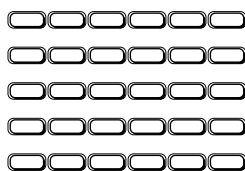


増設していない機能は表示されません。
 済スタンプを増設していないときは、手順11に進みます。

10

[済スタンプ] ボタン (ワンタッチボタン25) を押して、済スタンプを設定するかどうかを選択します。

ホーム ポジション	
スミスタンプ	[シナイ]
ツウシンモード	[G4]
ボタン センタク シテクダサイ	



[済スタンプ] ボタンを押すごとに、「スル」「シナイ」が切り替わります。



G4通信ユニットを増設していないときは、手順12に進みます。

11

[通信モード] ボタンを押して、通信モードを選択します。

ホーム ポジション	
スミスタンプ	[シナイ]
ツウシンモード	[G3]
ボタン センタク シテクダサイ	



[通信モード] ボタンを押すごとに、「G4」「G3」が切り替わります。

12

セット ボタンを押します。

ソウチ セッテイ	(1-5)
1: ハッシンモト キロク ?	
2: カイセン シュベツ ?	
3: ホーム ポジション ?	

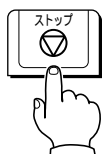


13

ストップ ボタンを押します。

待機画面に戻ります。

1997/01/24	13:30	0%
------------	-------	----



メニューの流れ (ファンクション構造)

各メニュー項目は、n で示した番号 (n) で選択します。お買い求めのときの設定は太字で示しています。



[]で囲まれた項目は、各機能を連続して設定します。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート / リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ / PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録 / 設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

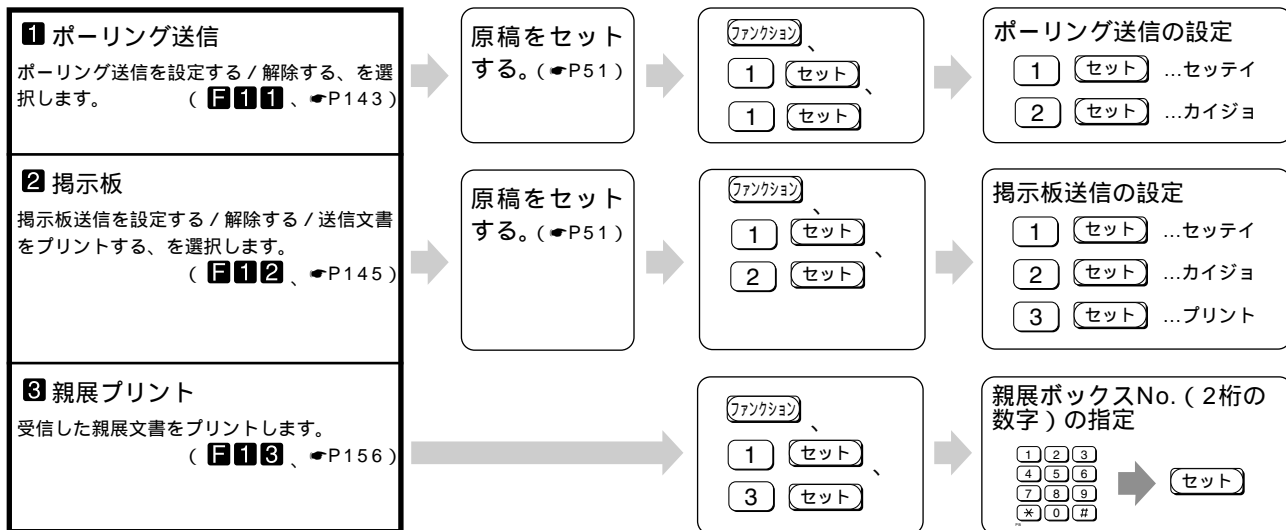
登録 / 設定操作一覧

お買い求めのときは、 に設定されています。

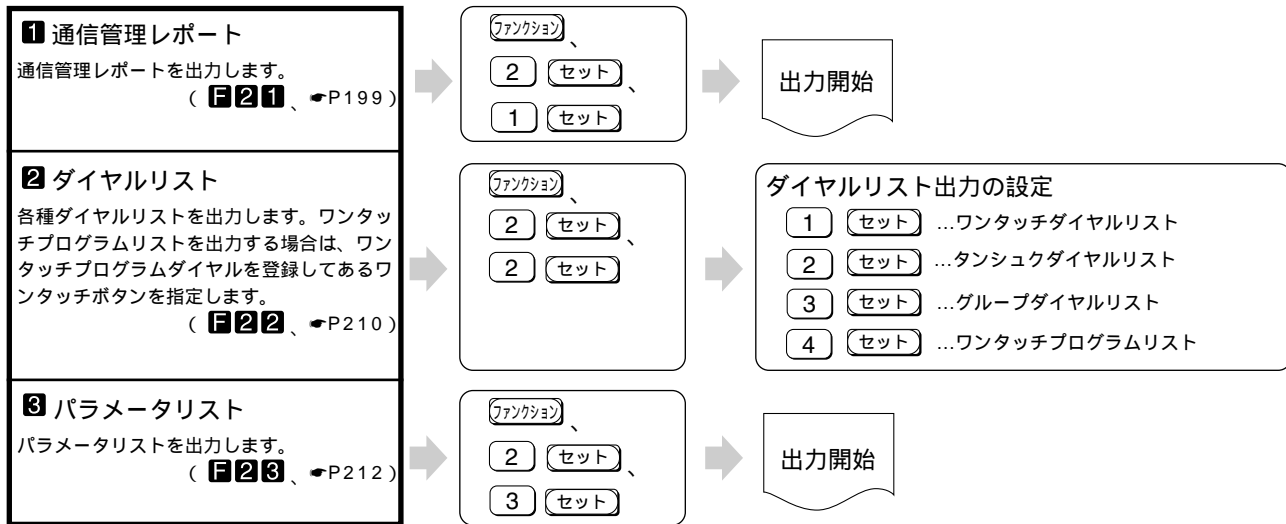
項目番号の見方

F001 : (ファンクション) ボタン、(1)、(セット) ボタン、(1)、(セット) ボタンを押して設定する。

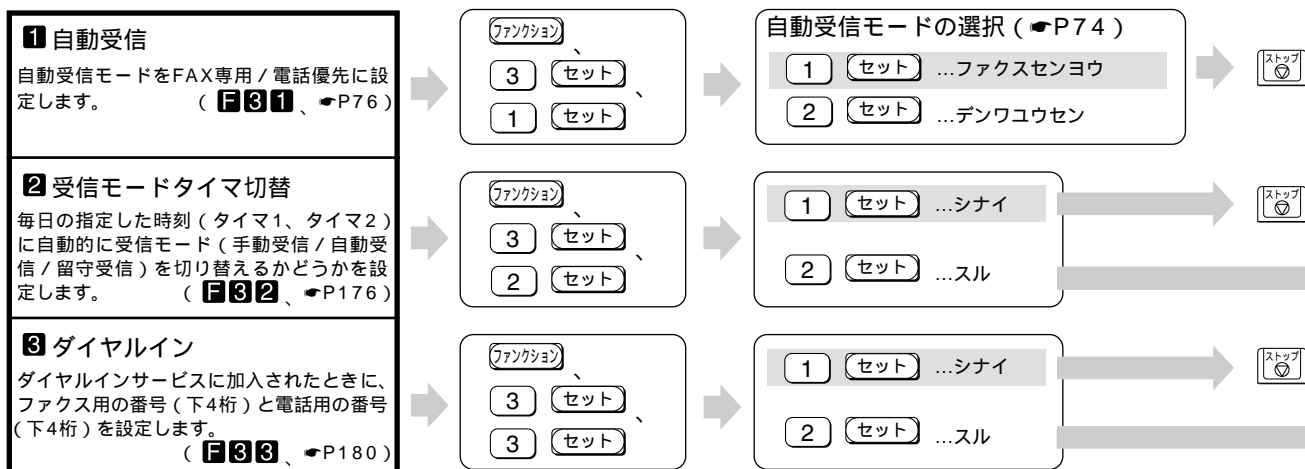
1 機能選択



2 リストプリントモード



3 受信モード



1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

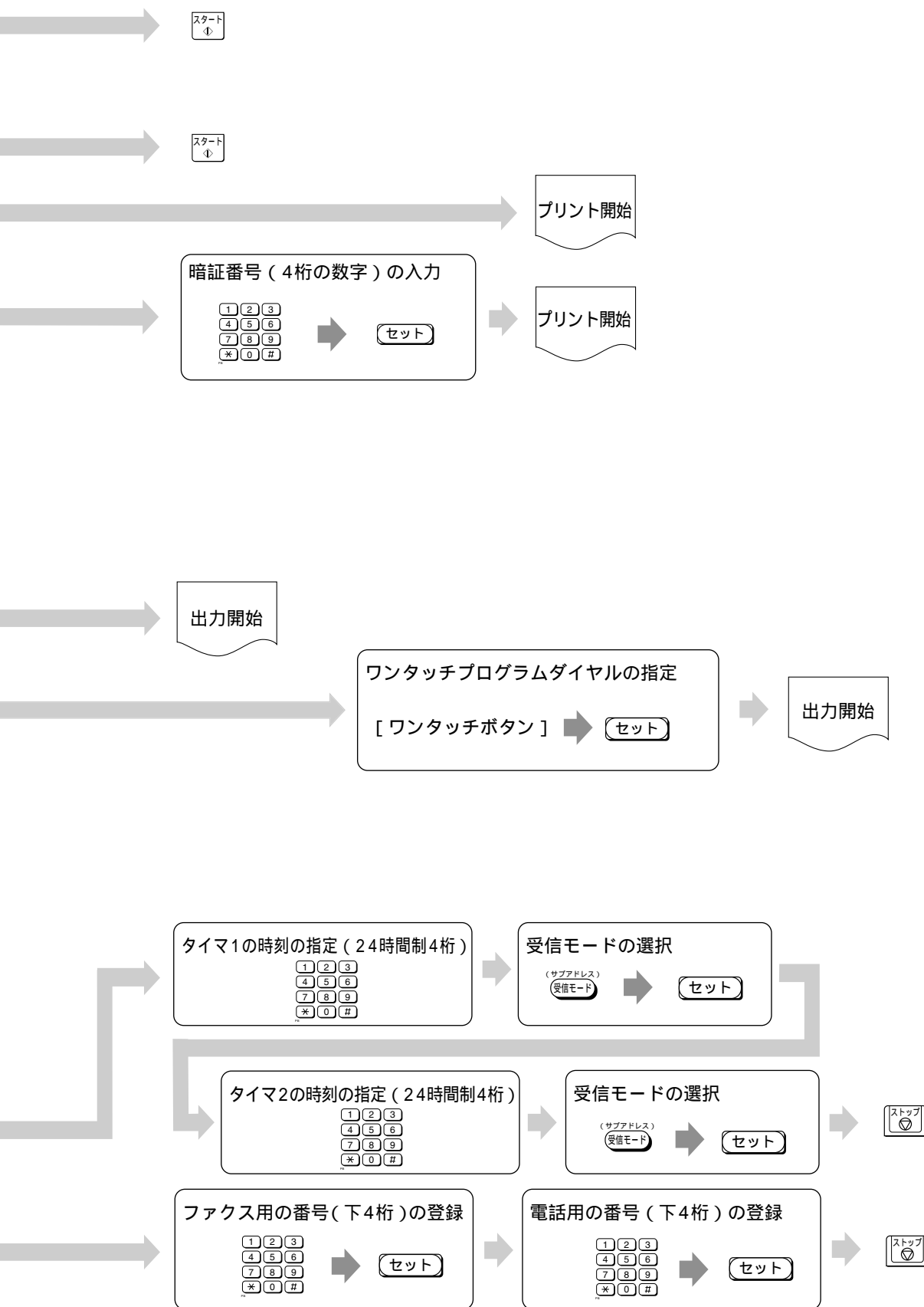
3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に



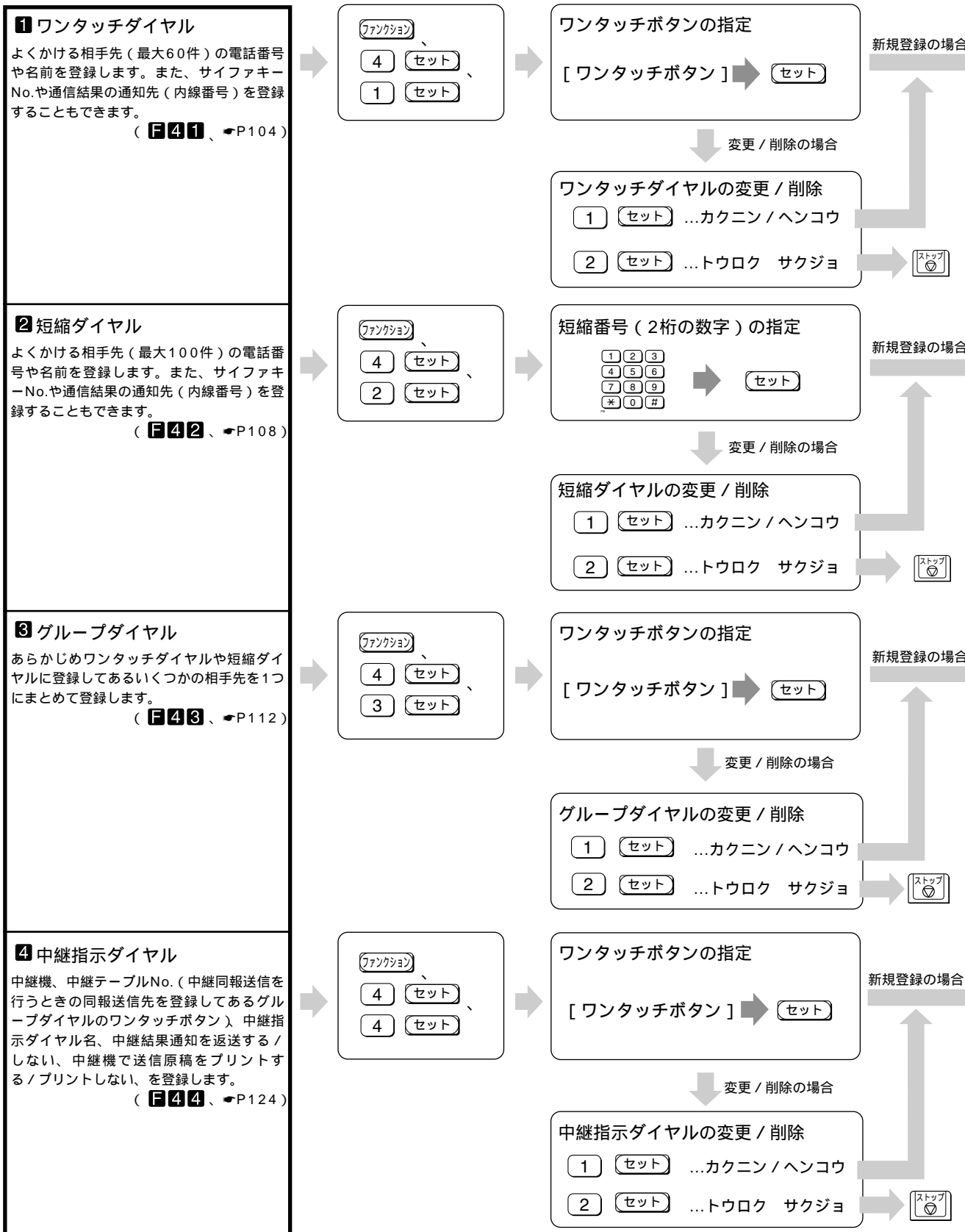
登録 / 設定操作一覧

お買い求めのときは、 に設定されています。

項目番号の見方

F11 : **フ** (ファンクション) ボタン、**1**、**セ** (セット) ボタン、**1**、**セ** (セット) ボタンを押して設定する。

4 ダイヤル登録モード



1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

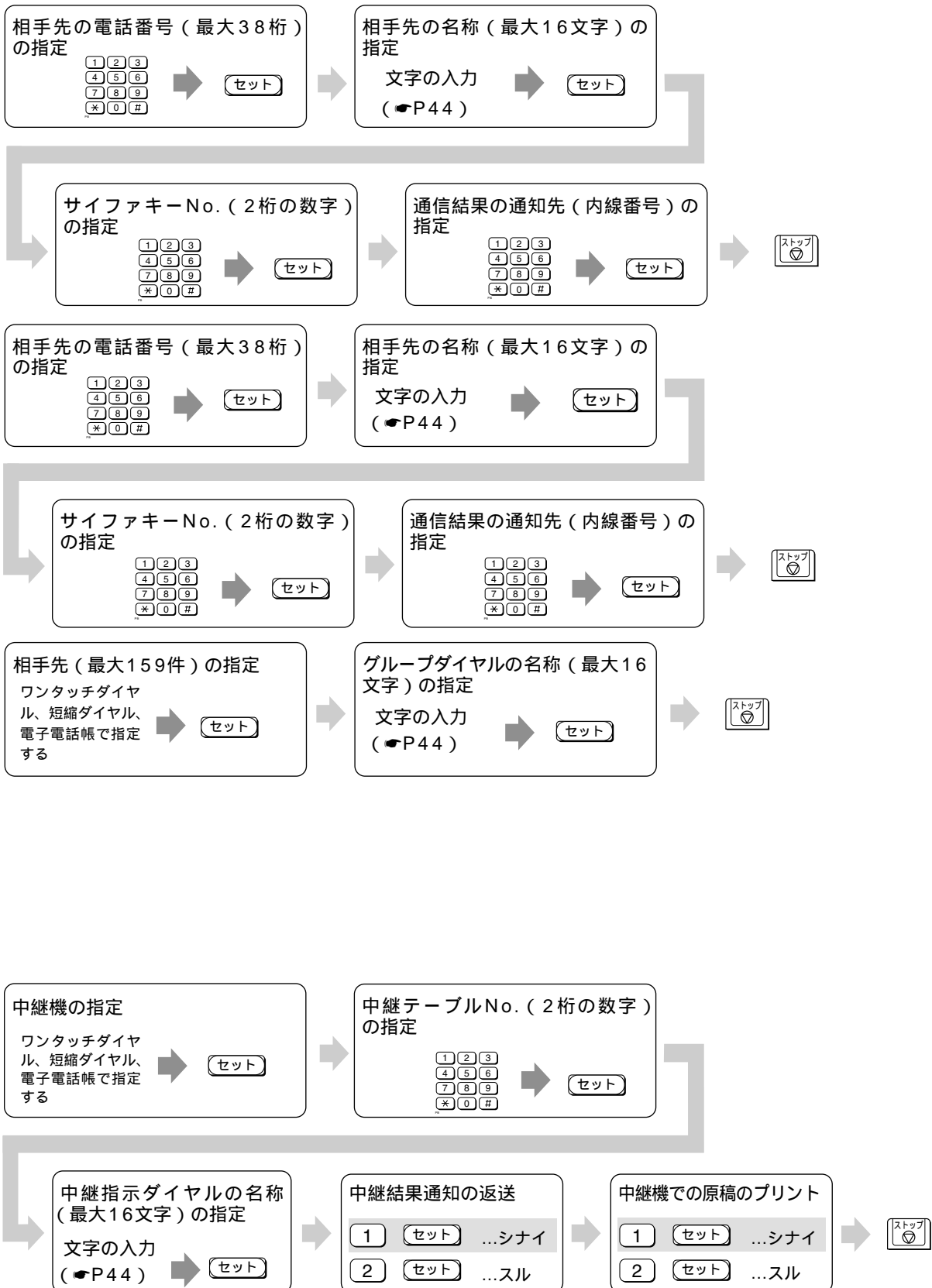
3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキヤナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に





登録 / 設定操作一覧

お買い求めのときは、 に設定されています。

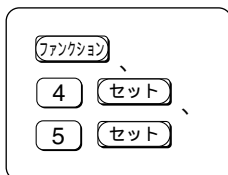
項目番号の見方

F11 : **フ** (ファンクション) ボタン、**1**、**セ** (セット) ボタン、**1**、**セ** (セット) ボタンを押して設定する。

4 ダイヤル登録モード

5 ワンタッチプログラムダイヤル

送信時に使用するさまざまな機能を登録します。また、送信結果の通知先（内線番号）を登録することもできます。
(**F45**、**☛P115**)



ワンタッチボタンの指定

[ワンタッチボタン] → [セッ]

新規登録の場合

変更 / 削除の場合

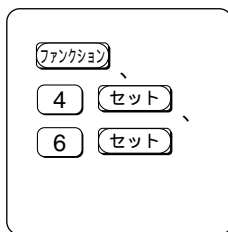
ワンタッチプログラムダイヤルの変更 / 削除

1 [セッ] ...カクニン / ヘンコウ
2 [セッ] ...トウロク サクジョ



6 ダイヤルリスト

各種ダイヤルリストを出力します。ワンタッチプログラムダイヤルリストを出力する場合は、ワンタッチプログラムダイヤルを登録してあるワンタッチボタンを指定します。
(**F46**、**☛P210**)



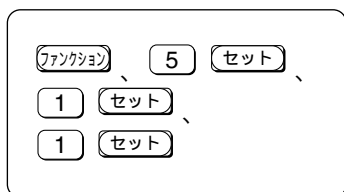
ダイヤルリスト出力の選択

1 [セッ] ...ワンタッチダイヤルリスト
2 [セッ] ...タンシュクダイヤルリスト
3 [セッ] ...グループダイヤルリスト
4 [セッ] ...ワンタッチプログラムリスト

5 設定モード / 1 レポート設定

1 通信結果レポート出力

各種の通信結果レポートを通信ごとに出力する / エラーがあったときだけ出力する / まったく出力しない、また、レポート画像（送信原稿の一部）をつける / つけない、を設定します。
(**F511**、**☛P200**)

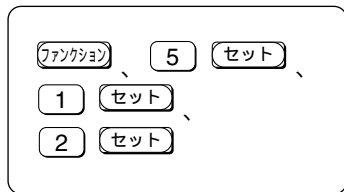


通信レポートの出力

1 [セッ] ...シナイ
2 [セッ] ...スル
3 [セッ] ...エラー

2 通信管理レポート出力

通信管理レポートを40通信ごとに自動で出力する / 必要なときだけ手動で出力する / 毎日の決まった時刻に出力する、を設定します。決まった時刻に出力する場合はその時刻を設定します。
(**F512**、**☛P197**)

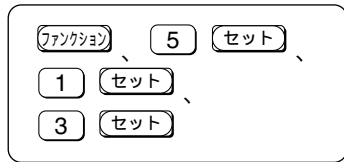


通信管理レポートの出力方法 (☛P197)

1 [セッ] ...ジドウ
2 [セッ] ...シュドウ
3 [セッ] ...タイマ

3 親展受信レポート出力

親展文書を受信したことを知らせるレポートを出力する / しないを設定します。
(**F513**、**☛P203**)



親展受信レポートの出力 (☛P203)

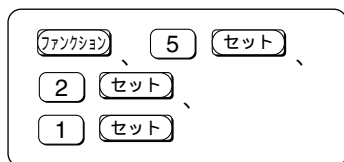
1 [セッ] ...シナイ
2 [セッ] ...スル



5 設定モード / 2 機能設定

1 リモート受信

外付け電話機からの操作で受信する / しないを設定します。リモート受信をする場合は回線種別（DP20 / DP10 / PB）を設定します。
(**F521**、**☛P80**)

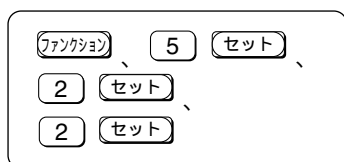


1 [セッ] ...シナイ
2 [セッ] ...スル



2 セレクト受信

受信する相手先を限定する / しないを設定します。
(**F522**、**☛P173**)



1 [セッ] ...シナイ
2 [セッ] ...スル



1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

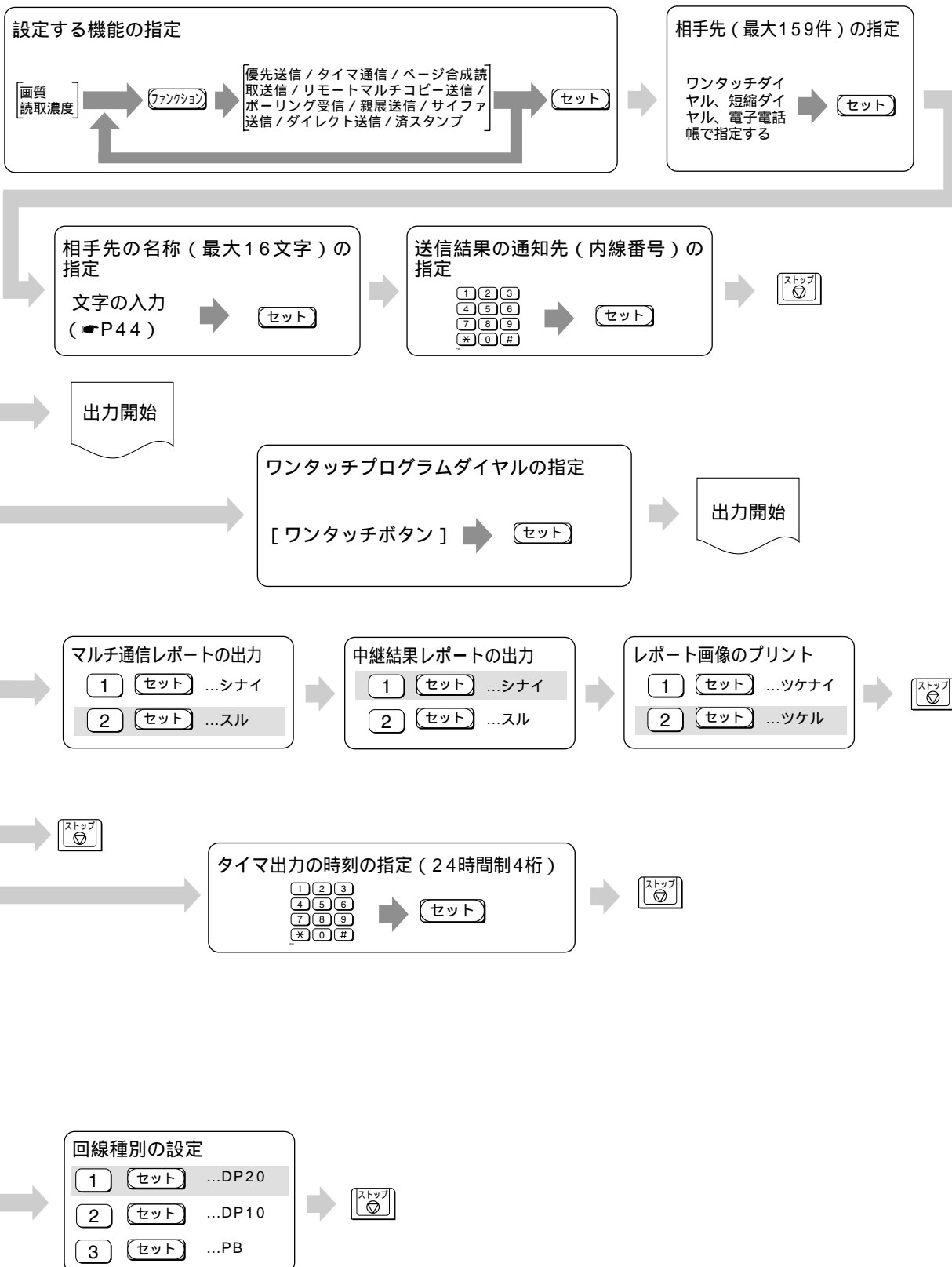
3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキヤナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に





登録 / 設定操作一覧

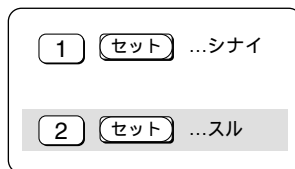
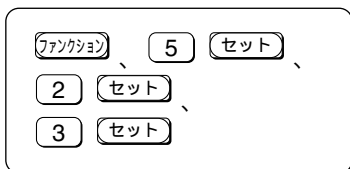
お買い求めのときは、 に設定されています。

項目番号の見方

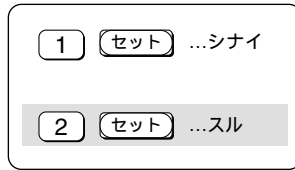
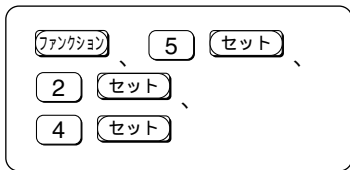
F11 : **ファンクション** ボタン、**1**、**セット** ボタン、**1**、**セット** ボタンを押して設定する。

5 設定モード / 2 機能設定

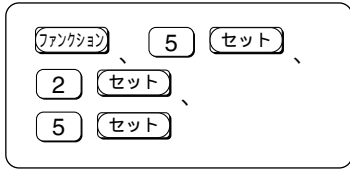
3 中継同報送信
本装置を、中継同報送信を行う中継機として使用する / しないを設定します。
(**F523**、☛P129)



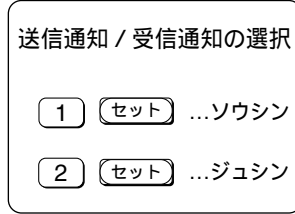
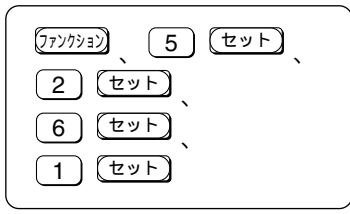
4 ページ合成受信
2枚の原稿を1枚の記録紙にプリントする / しないを設定します。
(**F524**、☛P175)



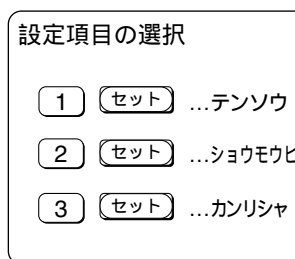
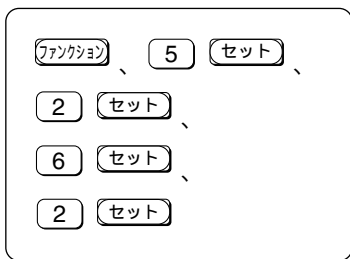
5 リモートマルチコピー受信
リモートマルチコピー受信をする / しないを設定します。する場合にはコピー部数を制限することができます。
(**F525**、☛P132)



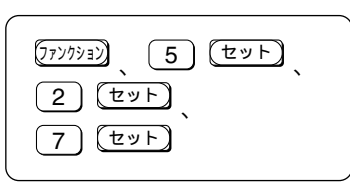
6 ビジネスホン通知 / 1 送受信通知
指定した内線電話機に送受信結果を通知する / しないを設定します。通知する場合は共通通知先の内線番号を登録します。
(**F5261**、☛P222、223)



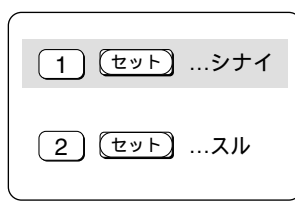
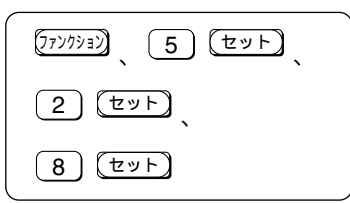
6 ビジネスホン通知 / 2 状態通知
指定した内線電話機に状態通知 (転送エラー通知 / 消耗品通知) をする / しないを設定します。通知する場合は通知先の内線番号 (管理者番号) を登録します。
(**F5262**、☛P229 ~ 231)



7 ルーティング通信
ルーティング通信をする / しないを設定します。
(**F527**、☛P160)

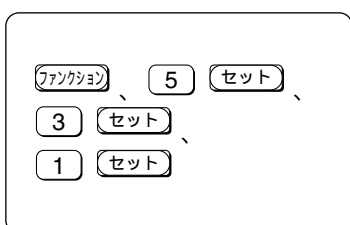


8 PC接続
本装置をパソコン用のプリンタまたはスキャナとして使用するときに、本装置とパソコンとで通信ができるようにする / しないを設定します。
(**F528**、☛P234)



5 設定モード / 3 装置設定

1 発信元記録
受信した記録紙に、こちらの名称や送信日時、ページ番号などの記録をつける / つけないを設定します。発信元記録をつける場合は、原稿の内側につける / 外側につける、を設定します。
(**F531**、☛P37)



1 ファックスをより便利に
使う

2 各種レポート/リスト
を出力する

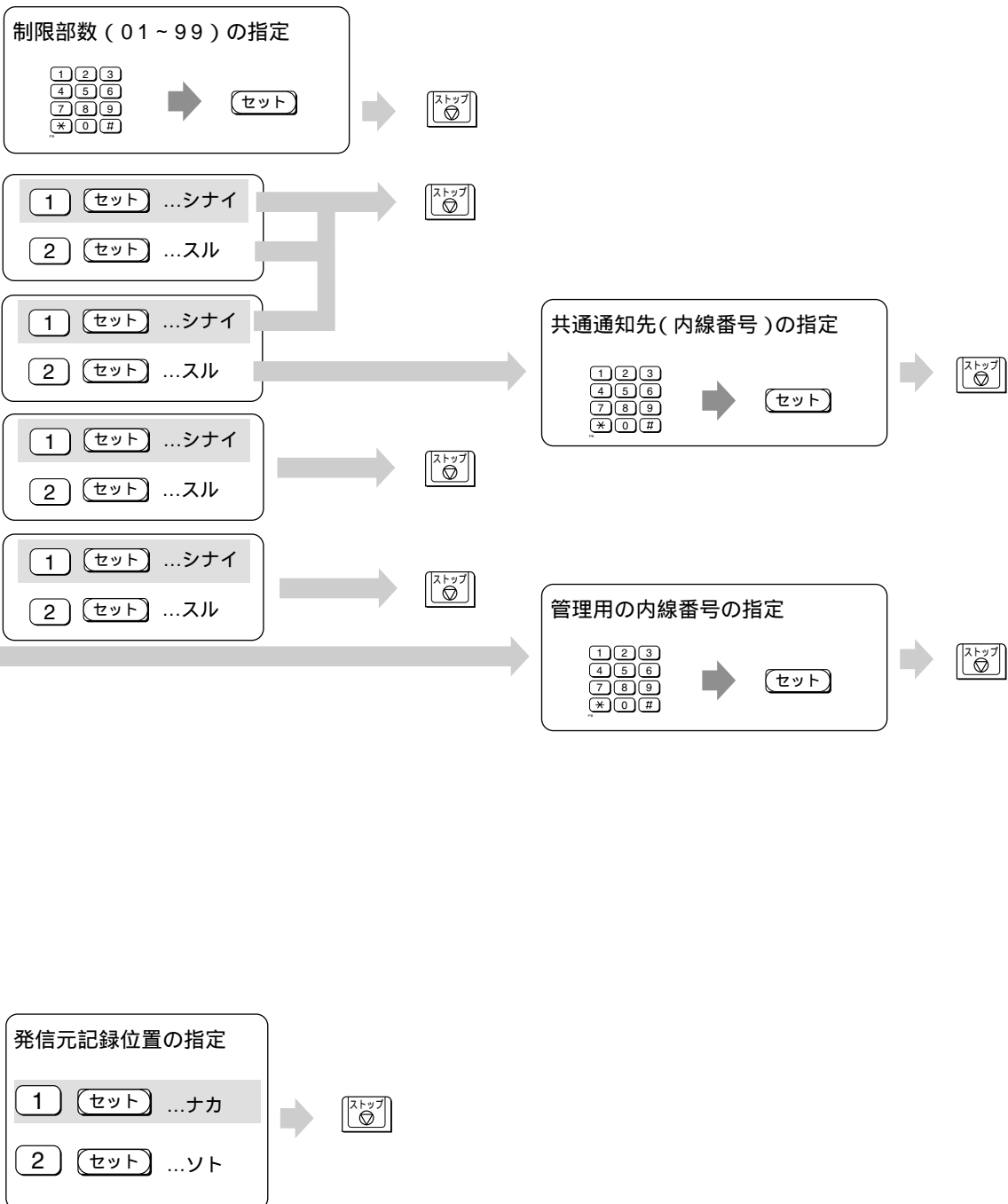
3 ビジネスホンに
通知する

4 PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を
登録 / 設定する

6 こんなときには

7 ご参考に







登録 / 設定操作一覧

お買い求めのときは、 に設定されています。




項目番号の見方

F11 : **フ** (ファンクション) ボタン、**1**、**セ** (セット) ボタン、**1**、**セ** (セット) ボタンを押して設定する。

5 設定モード / 3 装置設定

<p>2 回線種別 電話回線の種類に合わせて、本装置の回線種別を設定します。 (F532、☛P27)</p>	<p>フ (ファンクション)、5 セ (セット)、 3 セ (セット)、 2 セ (セット)</p>	<p>回線種別の設定</p> <p>1 セ (セット) ...DP20 2 セ (セット) ...DP10 3 セ (セット) ...PB</p>	
<p>3 ホームポジション 送信時の画質モードと読取濃度、サイファ送信する / しない、ダイレクト送信する / しない、コピー時の画質モード、の各項目について、基準として使うポジションとして設定しておきます。また、済スタンプ / G4通信ユニット (オプション) を増設している場合は、済スタンプをつける / つけない、G4モード / G3モード (通信モード) の設定ができます。 (F533、☛P250)</p>	<p>フ (ファンクション)、 5 セ (セット)、 3 セ (セット)、 3 セ (セット)</p>	<p>設定する機能の指定</p> <p>送信画質 [セ] (セット) → [コピー画質] [セ] (セット) 読取濃度 [セ] (セット) サイファ送信 [セ] (セット) ダイレクト送信 [セ] (セット)</p> <p>済スタンプ / G4通信ユニット (オプション) を増設している場合 済スタンプ [セ] (セット) 通信モード [セ] (セット)</p>	
<p>4 留守番電話無音検出 留守受信モードのとき、外付けの留守番電話機が用件の録音状態になってから7秒間無音が続いた場合に、自動的に録音を中止してファクスの受信に切り替えるようにする / しない、を設定します。 (F534、☛P79)</p>	<p>フ (ファンクション)、5 セ (セット)、 3 セ (セット)、 4 セ (セット)</p>	<p>1 セ (セット) ...シナイ 2 セ (セット) ...スル</p>	
<p>G4通信ユニット (オプション) を増設しているとき 5 相手発信元記録 (CIL記録) 受信した記録紙に、発信元端末IDなどをつける / つけない、を設定します。 (F535、☛P41)</p>	<p>フ (ファンクション)、5 セ (セット)、 3 セ (セット)、 5 セ (セット)</p>	<p>1 セ (セット) ...ツケル 2 セ (セット) ...ツケナイ</p>	

5 設定モード / 4 プリント設定

<p>1 長尺記録 受信原稿が記録紙よりも長い場合に、縮小してプリントする (自動縮小) / はみだした部分を切り捨てる (切り捨て) を設定します。 (F541、☛P239)</p>	<p>フ (ファンクション)、5 セ (セット)、 4 セ (セット)、 1 セ (セット)</p>	<p>長尺記録の選択</p> <p>1 セ (セット) ... シュクショウ 2 セ (セット) ... キリステ</p>	
<p>2 優先記録 受信原稿のプリント中に記録紙がなくなった場合に、他の記録紙カセットに自動的に切り替えてプリントする (記録紙優先) / プリントしないでメモリに蓄積する (カセット優先) を設定します。 (F542、☛P240)</p>	<p>フ (ファンクション)、5 セ (セット)、 4 セ (セット)、 2 セ (セット)</p>	<p>優先記録の選択</p> <p>1 セ (セット) ... キロクシユウセン 2 セ (セット) ... カセットユウセン</p>	
<p>3 分割重ね書き 分割してプリントした部分の後端8mmを、次の記録紙の先端に重複してプリントする / しないを設定します。 (F543、☛P241)</p>	<p>フ (ファンクション)、5 セ (セット)、 4 セ (セット)、 3 セ (セット)</p>	<p>分割重ね書きの指定</p> <p>1 セ (セット) ...シナイ 2 セ (セット) ...スル</p>	

1
ファクスをより便利に
使う

2
各種レポート/リスト
を出力する

3
ビジネスホーンに
通知する

4
PCプリンタ/
PCスキヤナとして使う

5
いろいろな機能を
登録/設定する

6
こんなときには

7
ご参考に

お買い求めのときは、 に設定されています。

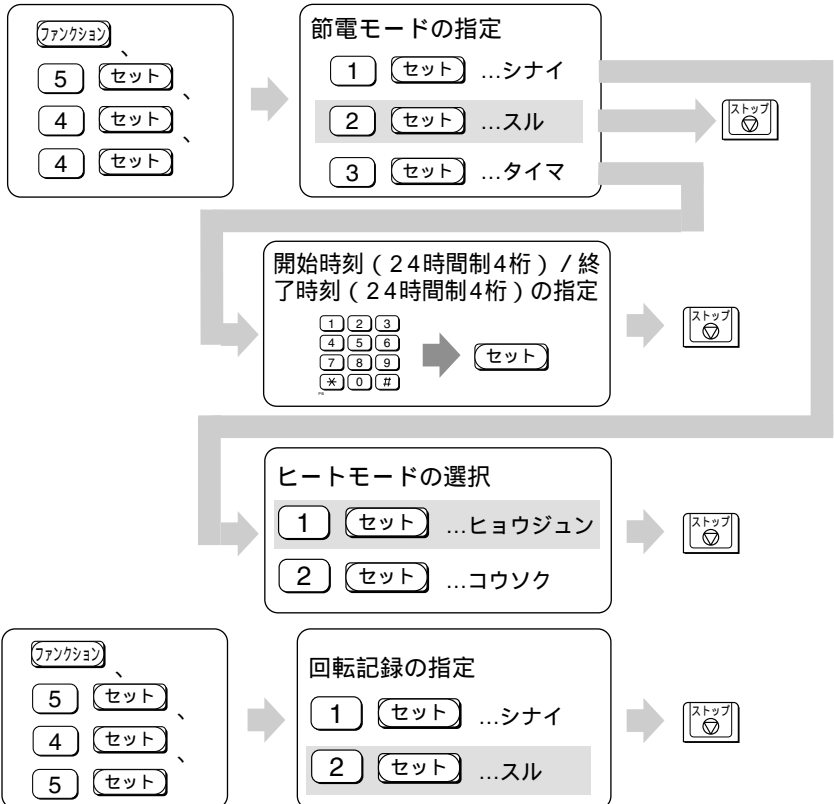
項目番号の見方

F11 : **ファンクション** ボタン、 **1**、 **セット** ボタン、 **1**、 **セット** ボタンを押して設定する。

5 設定モード / **4** プリンタ設定

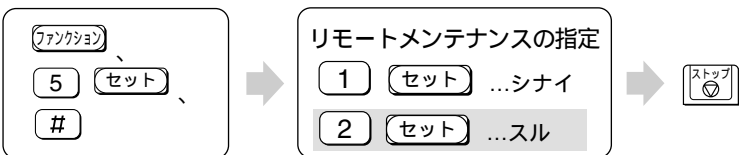
4 節電モード
プリンタが待機状態のときにヒータをオフにする / しない / 毎日の決まった時間帯にオフにする (タイマ) を設定します。ヒータをオフにしない場合は、標準モード / 高速モード (標準モードより予熱時間は速いが電力の消費量が多い) を設定します。また、タイマにする場合は、その開始時刻と終了時刻を設定します。(**F544**、☛P243、245)

5 回転記録
カセットにセットされているA4横の記録紙の向きにあわせて、受信データを回転してプリントする / しないを設定します。(**F545**、☛P242)



5 設定モード / リモートメンテナンス

リモートメンテナンス
当社のサービス取扱所からのリモートメンテナンスを受ける / 受けない、を設定します。(**F5#**、☛P291)

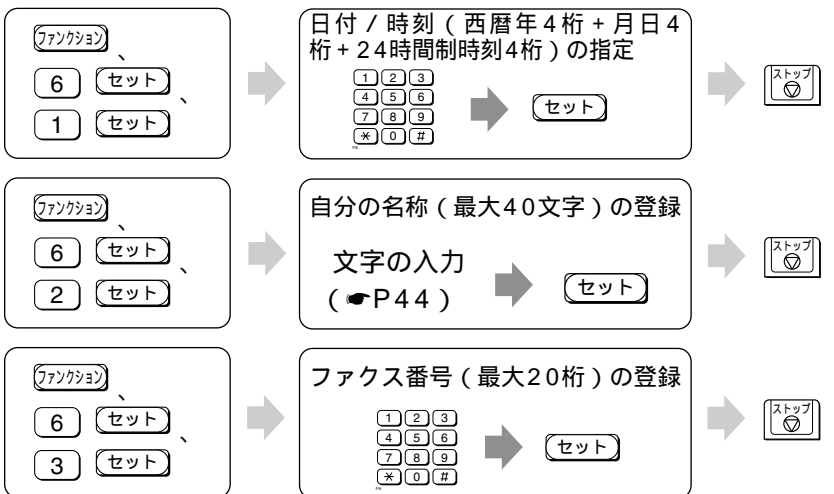


6 登録モード

1 時計セット
現在の日付と時刻を設定します。(**F61**、☛P34)

2 発信元名称 (発信元データ)
発信元名称 (会社名、個人名など) を登録します。(**F62**、☛P36)

3 発信元番号
本装置のファクス番号を登録します。(**F63**、☛P38)



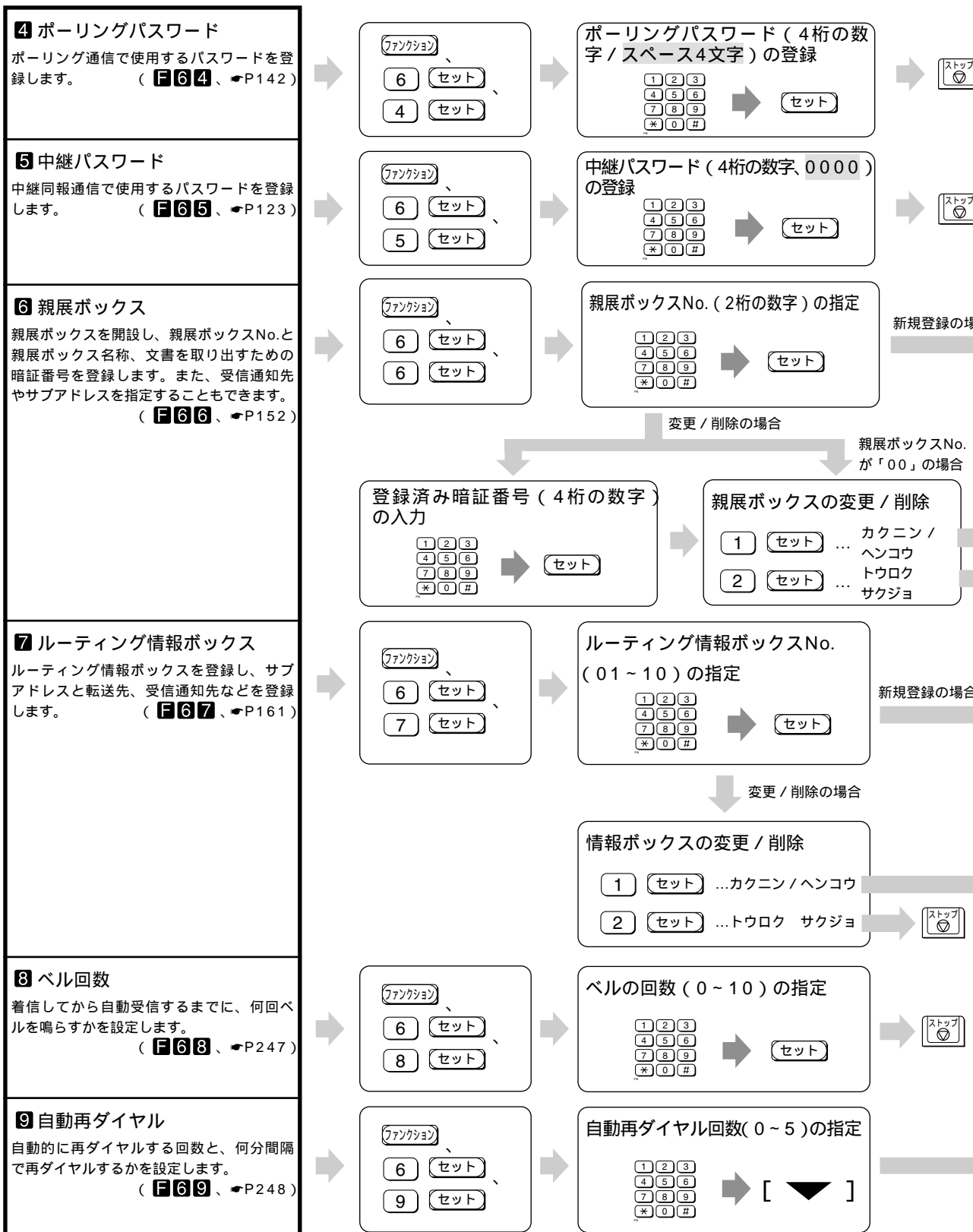
登録 / 設定操作一覧

お買い求めのときは、 に設定されています。

項目番号の見方

F11 : **ファンクション** ボタン、**1**、**セット** ボタン、**1**、**セット** ボタンを押して設定する。

6 登録モード



1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

親展ボックスNo.が「00」の場合

新しい暗証番号（4桁の数字）の入力



セット

親展ボックスの名称（最大20文字）の指定

文字の入力
(☛P44)

セット

受信結果の通知先（内線番号）の指定



セット

ルーティング通信のサブアドレス
（最大20桁）の指定



セット

ルーティング通信のサブアドレス
（最大20桁）の指定



セット

通信結果の通知先（内線番号）指定



セット

受信原稿の転送先の指定

ワンタッチダイヤル、
短縮ダイヤル、電子電
話帳で指定する

セット

本装置での転送原稿のプリント

1 セット ...シナイ
2 セット ...スル



自動再ダイヤル間隔（1～5分）の
指定



セット





登録 / 設定操作一覧

お買い求めのときは、 に設定されています。

項目番号の見方

- F11** : (ファンクション) ボタン、**1**、(セット) ボタン、**1**、(セット) ボタンを押して設定する。
- F610** : (ファンクション) ボタン、**6**、(セット) ボタン、**0**、(セット) ボタンを押して設定する。
- F611** : (ファンクション) ボタン、**6**、(セット) ボタン、**0**、[▼] ボタン、(セット) ボタンを押して設定する。

6 登録モード

G4通信ユニット(オプション)を増設しているとき

10 G4発信元番号
本装置のファクス番号を登録します。
(**F610**、☛P40)

G4通信ユニット(オプション)を増設しているとき

11 G4発信元略称
発信元名称(会社名、個人名など)の略称を登録します。
(**F611**、☛P42)

(ファンクション) ボタン、
6 (セット) ボタン、
0 (セット) ボタン

G4発信元番号 (最大20桁の登録)

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

→ (セット) ボタン



(ファンクション) ボタン、
6 (セット) ボタン、
0 [▼] (セット) ボタン

G4発信元略称 (最大22文字の登録)

文字の入力
(☛P44) → (セット) ボタン



7 サイファ登録モード

1 サイファキー登録
暗号化された原稿を解読するためのサイファキーを登録します。
(**F71**、☛P168、169)

2 暗証番号変更
サイファキーの登録や、サイファキーリスト出力に必要な暗証番号を変更します。
(**F72**、☛P168)

3 サイファキーリスト
登録したサイファキーのリストを出力します。
(**F73**、☛P213)

(ファンクション) ボタン、
7 (セット) ボタン

暗証番号 (4桁の数字) の入力

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

→ (セット) ボタン

1 (セット) ボタン
... サイファキー トウロク

(ファンクション) ボタン、
7 (セット) ボタン

暗証番号 (4桁の数字) の入力

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

→ (セット) ボタン

2 (セット) ボタン
... アンショウバ
ンゴウ
ヘンコウ

(ファンクション) ボタン、
7 (セット) ボタン

暗証番号 (4桁の数字) の入力

1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#

→ (セット) ボタン

3 (セット) ボタン
... サイファキー
リスト

1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

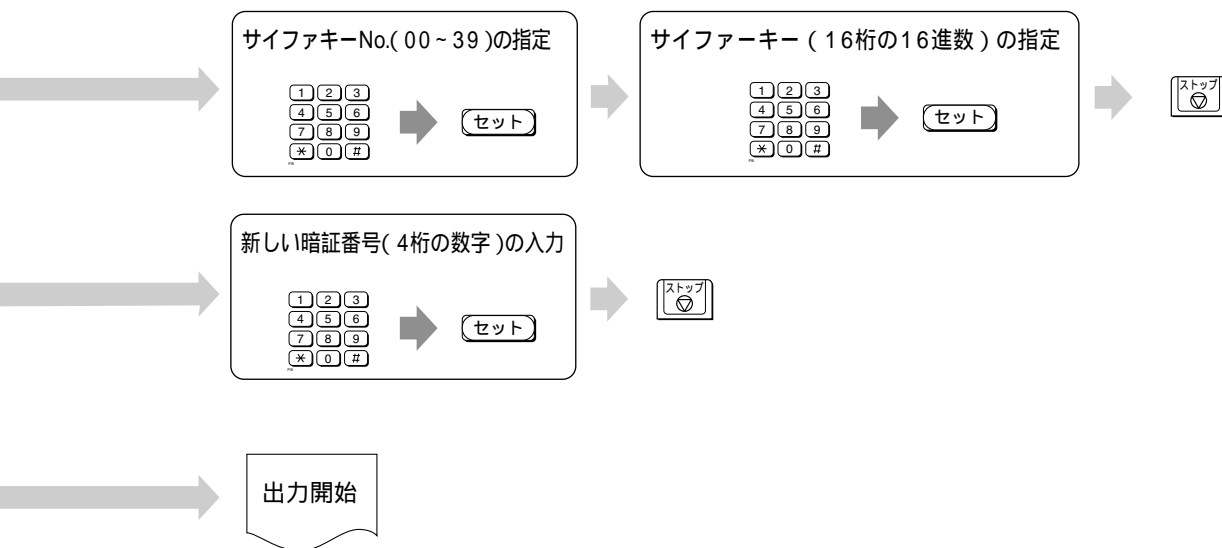
3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録 / 設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に



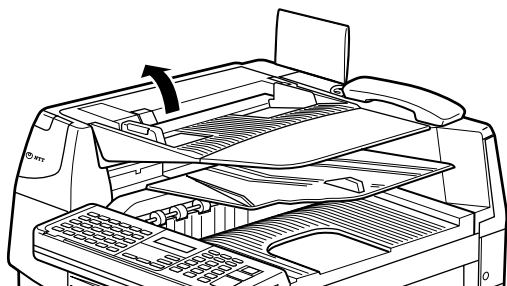
原稿がつまったら

原稿がつまると「ピー」という音が鳴り、ディスプレイに「ゲンコウガ ツマリマシタ」と表示されて、操作パネルのアラームランプ（赤）が点灯します。

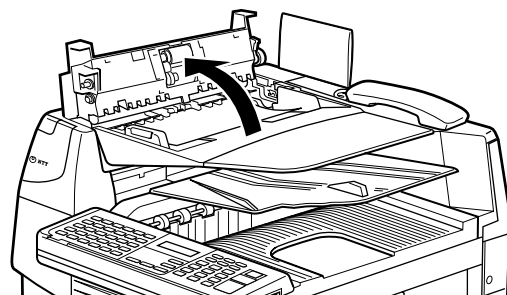
原稿のつまっている場所を確認し、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

送信カバーの部分に原稿があるとき

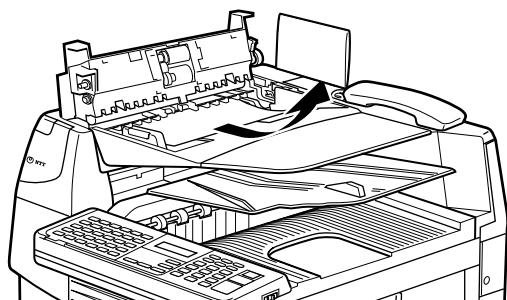
- ① 送信カバー開レバーを引きます。



- ② 送信カバーを開けます。

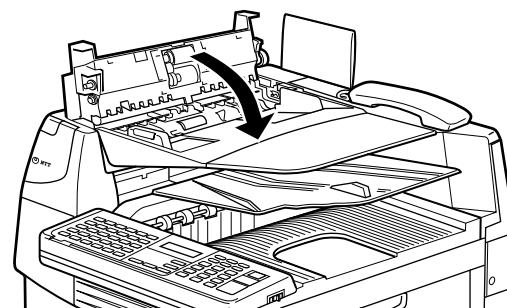


- ③ つまっている原稿をゆっくりと引き出します。



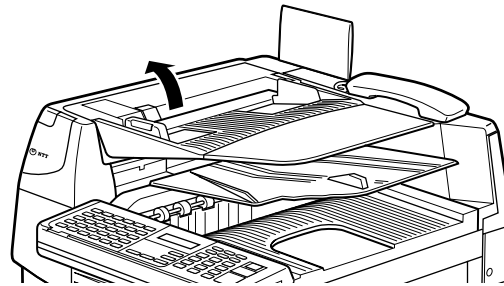
原稿がローラにはさまれているときは、無理に引っばらずに、原稿セット台を持ち上げて引き出します。

- ④ 送信カバーを閉めます。

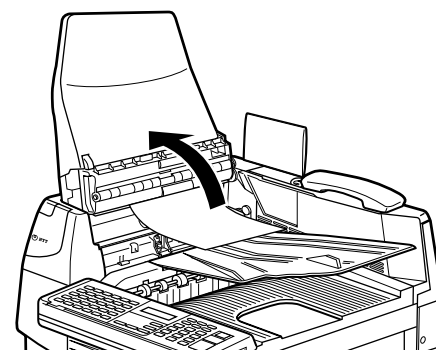


原稿セット台の部分に原稿が見えないとき

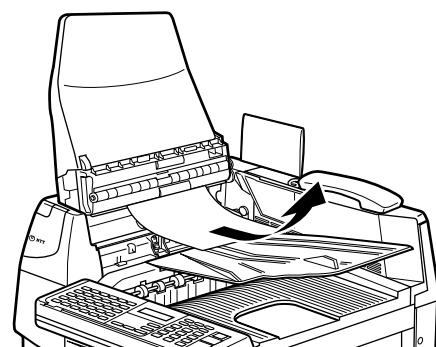
- ① 送信カバー開レバーを引きます。



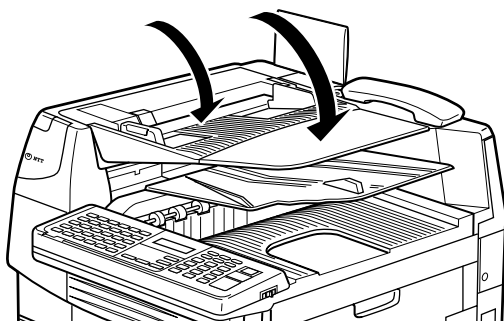
- ② 送信カバーと原稿セット台を持ち上げます。



- ③ 原稿セット台を手で支えながら、つまっている原稿をゆっくりと引き出します。



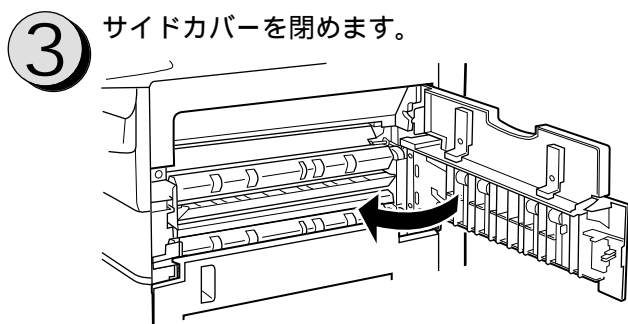
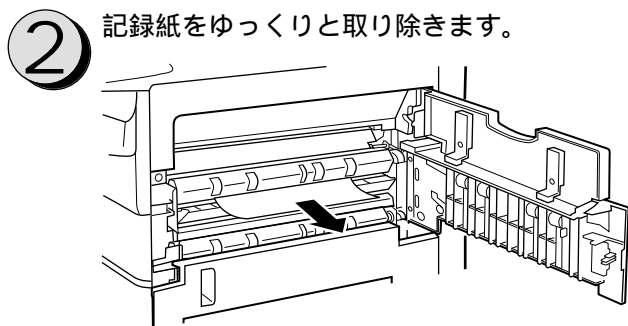
- ④ 原稿セット台を戻して、送信カバーを閉めます。



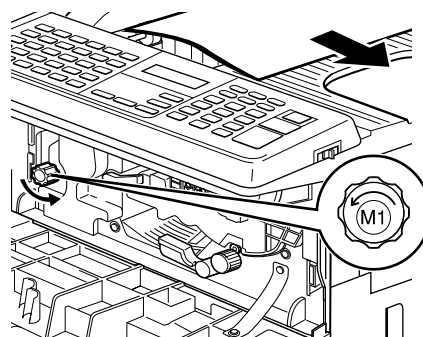
記録紙が詰まったら

記録紙が詰まると「ピー」という音が鳴り、ディスプレイに「キロクシガ ツマリマシタ>サイド」または「キロクシガ ツマリマシタ>キロクブ」と表示されて、プリントランプ（赤）と操作パネルのアラームランプ（赤）が点灯します。以下の手順にしたがって、詰まった記録紙を取り除いてください。

「キロクシガ ツマリマシタ>サイド」と表示されたとき



「キロクシガ ツマリマシタ>キロクブ」と表示されたとき



ノブ（M1）を回しても記録紙が取り除けないときは、「ノブ（M1）を回しても記録紙が取り除けないときは」（P270）の手順に進みます。

次ページに続きます。

STOP お願い

記録紙は、破れないように静かに取り除いてください。取り除くときに記録紙が破れた場合には、紙片を装置の中に残さないようにすべて取り除いてください。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

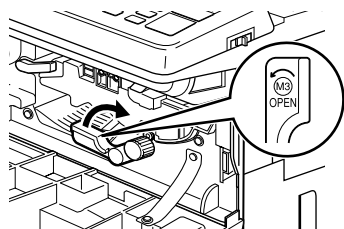
5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

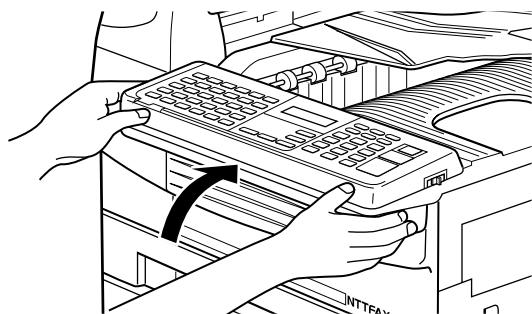
7 ご参考に

記録紙が詰まったら

- ④ レバー (M3) をもとの位置に戻します。



- ⑤ フロントカバーを閉めます。



ワンポイント.....

手順3で詰まっている記録紙に手が届かないときはレバー (M2、M3) のロックを解除してドラムカートリッジを引き出し、記録紙を取り除きます。記録紙を取り除いたら、ドラムカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込み、レバー (M2、M3) を戻します。

STOP お願い

感光体に手を触れないでください。感光体の表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。

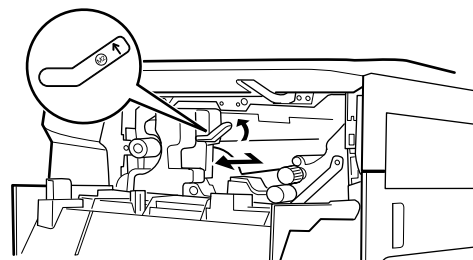
注意

熱定着器周辺は高温となっています。やけどの原因となりますので、記録紙以外には手を触れないでください。

ノブ (M1) を回しても記録紙が取り除けないときは

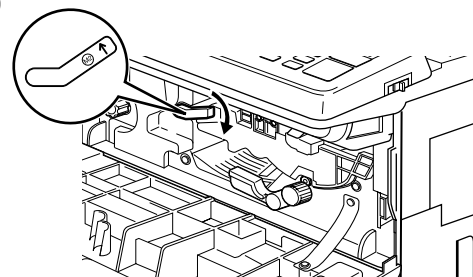
記録紙後端が定着器から出ている場合

- ① レバー (M2) を矢印の方向に回してロックを解除し、記録紙を取り除きます。

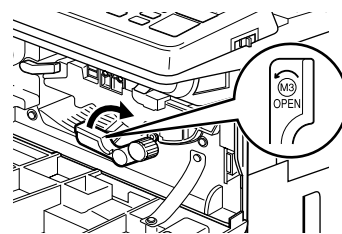


記録紙に手が届かないときは、ドラムカートリッジを引き出して記録紙を取り除きます。記録紙を取り除いたら、ドラムカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- ② レバー (M2) をもとの位置に戻します。



- ③ レバー (M3) をもとの位置に戻し、フロントカバーを閉めます。



1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

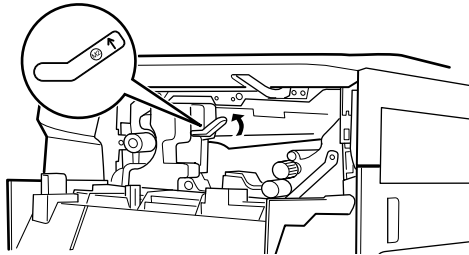
5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

記録紙後端が定着器内に入っている場合

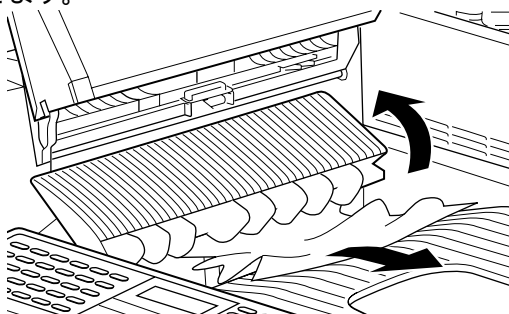
- 1 レバー（M2）を矢印の方向に回してロックを解除します。



- 2 原稿セット台を持ち上げて、原稿スタックを取り外します。

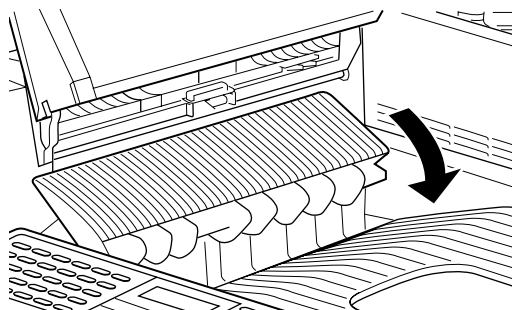


- 3 記録紙スタックを開けて、記録紙を取り除きます。

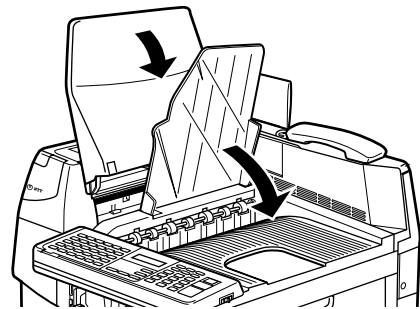


フロントカバーが開いている状態でないと、記録紙スタックは開きません。

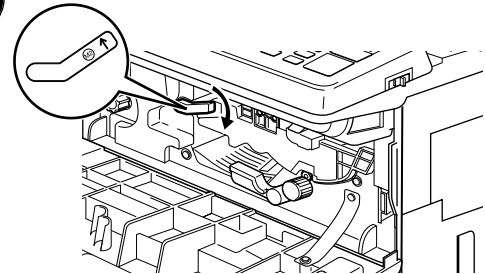
- 4 記録紙スタックを戻します。



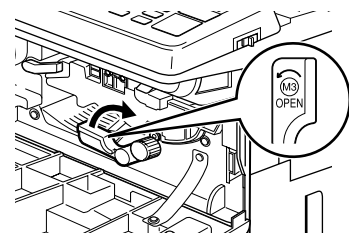
- 5 原稿スタックを取り付け、原稿セット台を戻します。



- 6 レバー（M2）をもとの位置に戻します。



- 7 レバー（M3）をもとの位置に戻し、フロントカバーを閉めます。



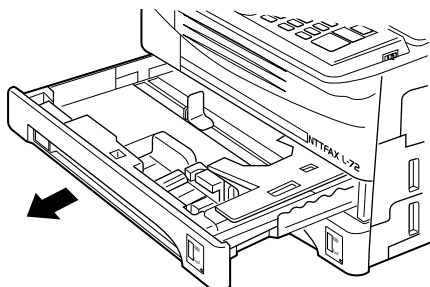
! 注意

排紙部周辺は高温となっています。やけどの原因となりますので、記録紙以外には手を触れないでください。

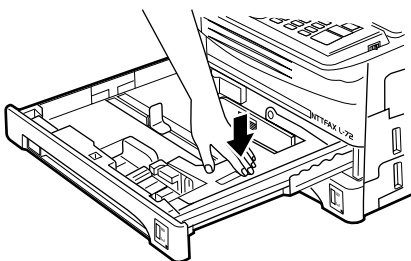
記録紙を補給するには

記録紙カセットの記録紙がなくなると、ディスプレイに「キロクシラ セット シテクダサイ」と表示され、操作パネルの記録紙ランプ（赤）と、該当する記録紙カセットの記録紙なしランプ（赤）が点灯します。以下の手順にしたがって、記録紙をセットしてください。

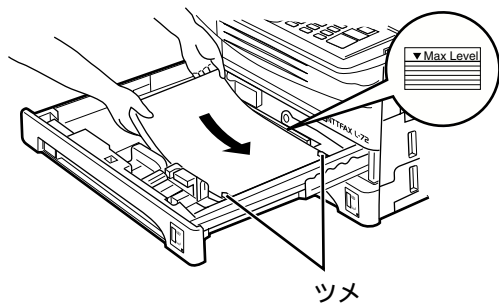
- ① 記録紙カセットを止まるまで引き出します。



- ② 記録紙底板を「カチッ」と音がするまで押し下げます。

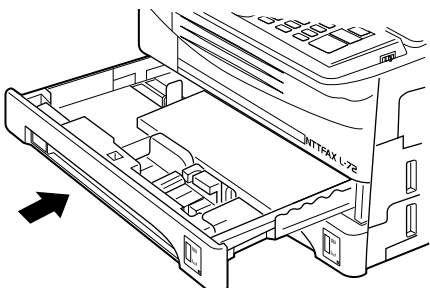


- ③ 記録紙の端をきちんとそろえてセットします。記録紙のかどが両側のツメからはずれないようにします。



記録紙は「Max. Level」の線を超えないようにセットしてください。

- ④ 記録紙カセットをゆっくりと最後まで、確実に押し込みます。



ワンポイント.....

異なるサイズの記録紙をセットするには、記録紙サイズを変更してから記録紙をセットします。（●P33）

記録紙の残量を確認するには、記録紙残量確認窓で確認できます。

上段、下段の両方の記録紙がなくなると「ピー」という音が鳴ります。

記録紙カセットを引き出すと、ディスプレイに「キロクシカセットヲ セットシテクダサイ」と表示され、操作パネルの記録紙ランプ（赤）とアラームランプ（赤）が点灯します。記録紙カセットを戻すとランプは消えます。

STOP お願い

セットする記録紙の量は、カセットに表示されている「Max. Level」の線より上にならないようにしてください。「Max. Level」の線を超える量をセットすると、紙づまりの原因となります。

新しい記録紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。記録紙カセットには、適応サイズ以外の記録紙はセットしないでください。

しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度使用した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

記録紙カセットを戻すときは、ゆっくりと確実に最後まで戻してください。記録紙カセットが正しくセットされていないと、紙づまりの原因となります。

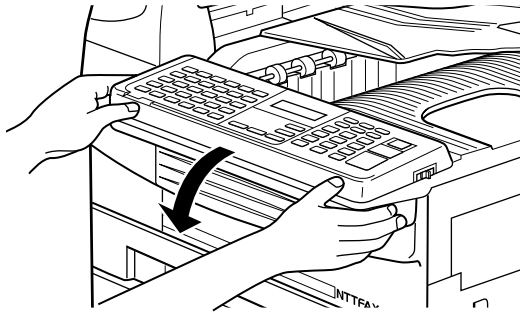
プリント中には、記録紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。

記録紙はNTT推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。記録紙カセットは、上段/下段とも必ず本体にセットしてください。

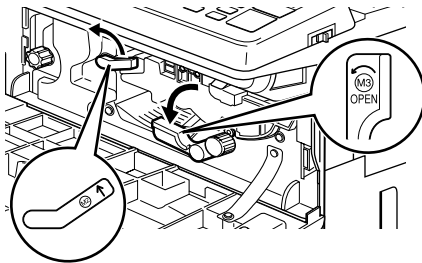
トナーカートリッジを交換するには

トナーが残り少なくなると、「ピー」という音が鳴り、ディスプレイに「トナー ガ ノコリワズカデス」と表示されて、トナー/ドラムランプ（赤）とプリントランプ（赤）が点灯します。この時点でトナーカートリッジを交換してください。そのままの状態にしておくと「トナー ガ アリマセン」という表示に変わり、受信文書はプリントされずにメモリに蓄積されます（メモリ代行受信）。そのまま受信を続けると、メモリフル（メモリ残量なし）の状態を受信できなくなります。以下の手順にしたがって、トナーカートリッジを交換してください。

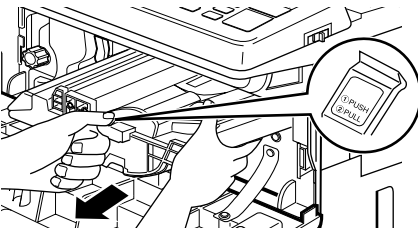
- ① フロントカバーを開けます。



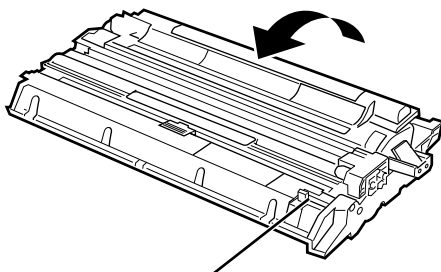
- ② レバー（M2）とレバー（M3）を矢印の方向に回して、ロックを解除します。



- ③ ラベルの部分を押しながら、ドラムカートリッジを引き出します。

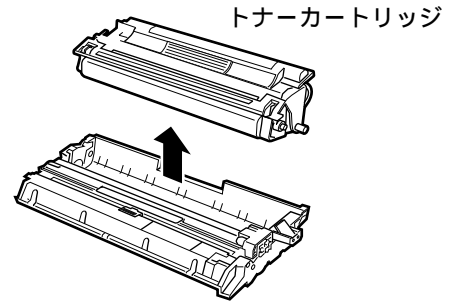


- ④ ドラムカートリッジを机などの平らな面に置き、トナーカートリッジを矢印の方向に起こします。

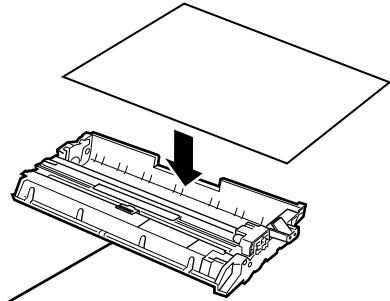


廃トナーフル検出レバーに触れないように注意してください。

- ⑤ 古いトナーカートリッジをドラムカートリッジから取り出します。

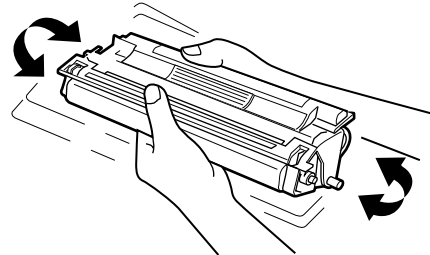


- ⑥ ドラムカートリッジに光が当たらないように、紙や布などでおおっておきます。

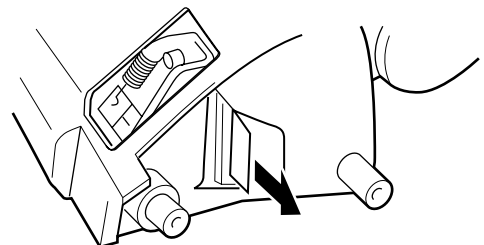


感光体に触れないように注意してください。

- ⑦ 新しいトナーカートリッジを矢印の方向に4～5回振ります。



- ⑧ 切れないように、フィルムをゆっくりと引き抜きます。



次ページに続きます。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

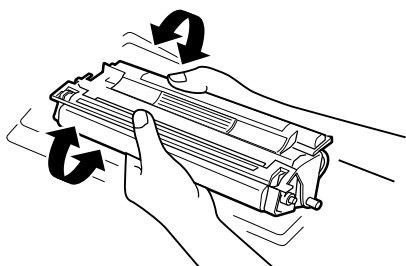
5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

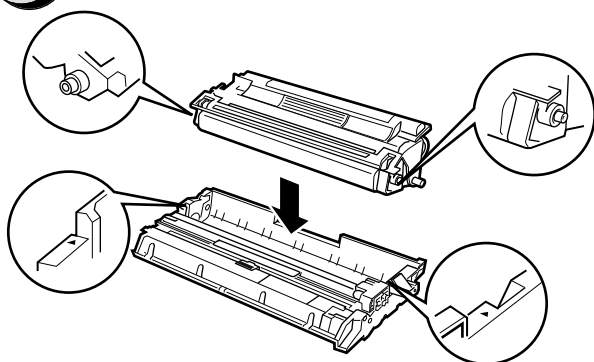
7 ご参考に

トナーカートリッジを交換するには

- 9 新しいトナーカートリッジを矢印の方向に4~5回振ります。

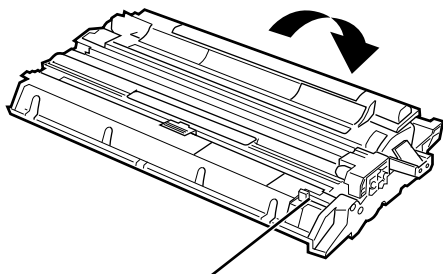


- 10 新しいトナーカートリッジをドラムカートリッジにセットします。



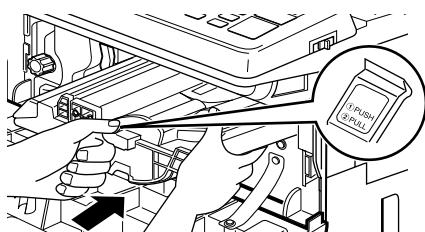
トナーカートリッジのピンとドラムカートリッジの溝を合わせてセットします。

- 11 トナーカートリッジを矢印の方向に倒してロックします。

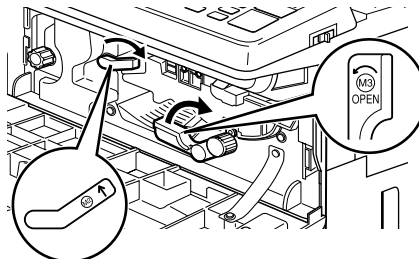


廃トナーフル検出レバーに触れないように注意してください。

- 12 ドラムカートリッジを、本体のレール（先端：緑色）に合わせ、「カチッ」と音がするまで静かにしっかりと差し込みます。



- 13 レバー（M2）とレバー（M3）をもとの位置に戻します。



- 14 フロントカバーを閉めます。



STOP お願い

本装置専用のトナーカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。

トナーカートリッジ/ドラムカートリッジは正しくセットしてください。正しくセットされていないと、ディスプレイに「トナーカートリッジヨ イレテクダサイ」と表示され、アラームランプ（赤）とトナー/ドラムランプ（赤）、プリントランプ（赤）が点灯します。ディスプレイに「トナー ガ ノコリワズカデス」と表示されたらトナーカートリッジを交換してください。表示が「トナー ガ アリマセン」に変わって、そのまま受信を続けると、メモリアル（メモリ残量なし）の状態が発生して受信できなくなります。

ドラムカートリッジを取り扱うときは、廃トナーフル検出レバー（手順11）に触れないように注意してください。

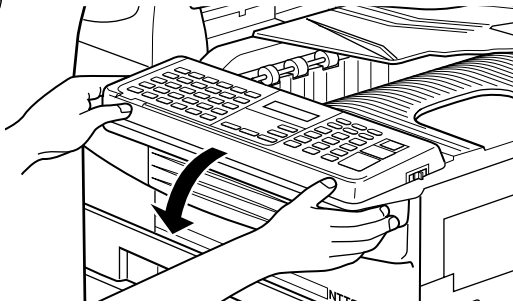
⚠ 注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジは絶対に火の中に投げ込まないでください。破裂してやけどや火災の原因となります。使用後のトナーカートリッジやドラムカートリッジはビニール袋などに入れて、燃えないゴミとして処理してください。

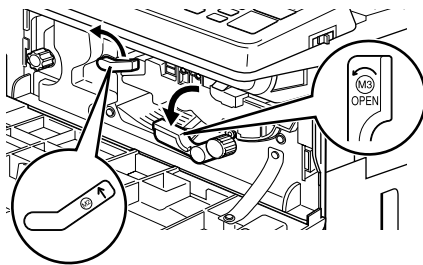
ドラムカートリッジを交換するには

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、ディスプレイに「ドラム コウカン ノ ジキデス」と表示され、トナー/ドラムランプ（赤）とプリントランプ（赤）が点灯します。この時点でドラムカートリッジを交換してください。そのままの状態で使用していると、「ピー」という音が鳴り、「ドラム ヲ コウカン シテクダサイ」という表示に変わります。この状態では受信を受け付けず、すでにメモリに蓄積されている文書もプリントされません。以下の手順にしたがって、ドラムカートリッジを交換してください。

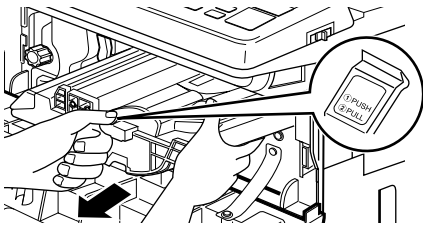
- ① フロントカバーを開けます。



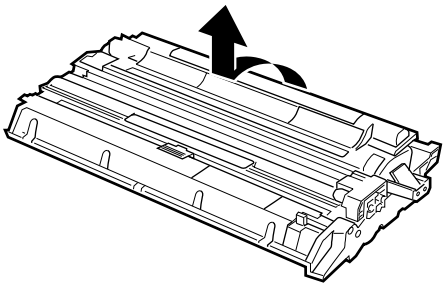
- ② レバー（M2）とレバー（M3）を矢印の方向に回して、ロックを解除します。



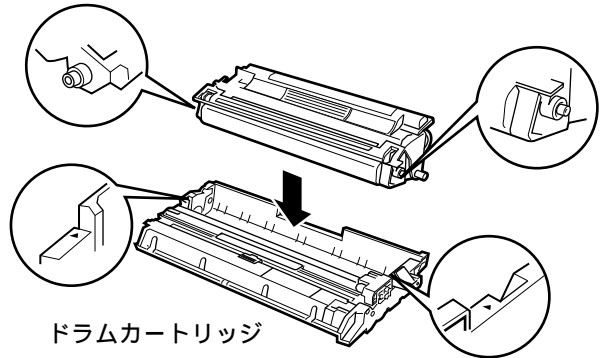
- ③ ラベルの部分を押しながら、ドラムカートリッジを引き出します。



- ④ トナーカートリッジをドラムカートリッジから取り出します。

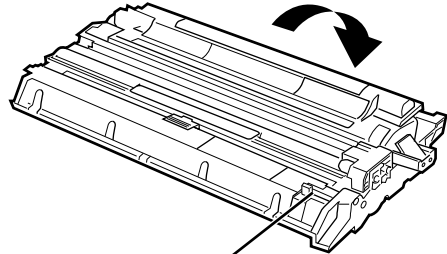


- ⑤ 新しいドラムカートリッジを机などの平らな面に置き、トナーカートリッジをセットします。



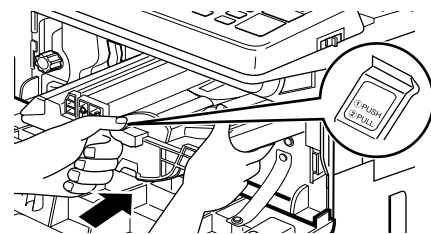
トナーカートリッジのピンとドラムカートリッジの溝を合わせてセットします。

- ⑥ トナーカートリッジを矢印の方向に倒してロックします。



廃トナーフル検出レバーに触れないように注意してください。

- ⑦ 新しいドラムカートリッジを、本体のレール（先端：緑色）に合わせて「カチッ」と音がするまでしっかりと静かに差し込みます。



次ページに続きます。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

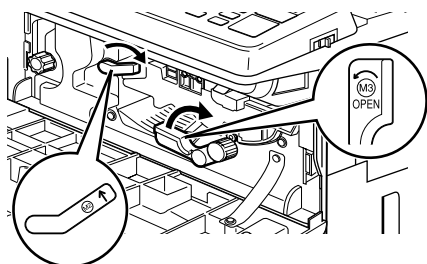
5 いろいろな機能を登録/設定する

6 こんなときには

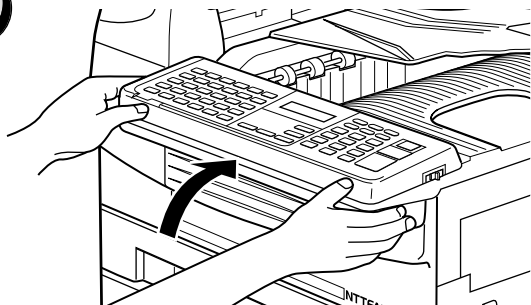
7 ご参考に

ドラムカートリッジを交換するには

- 8 レバー（M2）とレバー（M3）をもとの位置に戻します。



- 9 フロントカバーを閉めます。



STOP お願い

本装置専用のトナーカートリッジ/ドラムカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。

トナーカートリッジ/ドラムカートリッジは正しくセットしてください。正しくセットされていないと、ディスプレイに「トナーカートリッジヲ イレテクダサイ」と表示され、アラームランプ（赤）とトナー/ドラムランプ（赤）、プリントランプ（赤）が点灯します。

ディスプレイに「ドラム コウカン ノ ジキデス」と表示されたらドラムカートリッジを交換してください。表示が「ドラム ヲ コウカン シテクダサイ」に変わって、そのまま受信を続けると、メモリフル（メモリ残量なし）の状態が発生して受信できなくなります。

ドラムカートリッジを取り扱うときは、廃トナーフル検出レバー（●P275、手順6）に触れないように注意してください。

⚠ 注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジは絶対に火の中に投げ込まないでください。破裂してやけどや火災の原因となります。

使用後のトナーカートリッジやドラムカートリッジはビニール袋などに入れて、燃えないゴミとして処理してください。

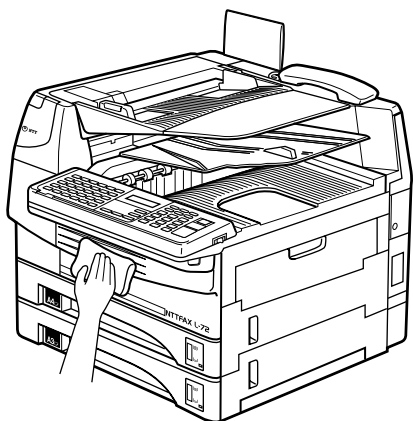
お手入れするには



やわらかい布に水を含ませて、かたく絞ってからふいてください。清掃時に電源を切る必要はありません。常に高品質を保つために、定期的に清掃を行ってください。

本体の清掃をする

- 1 本体の周囲をふきます。



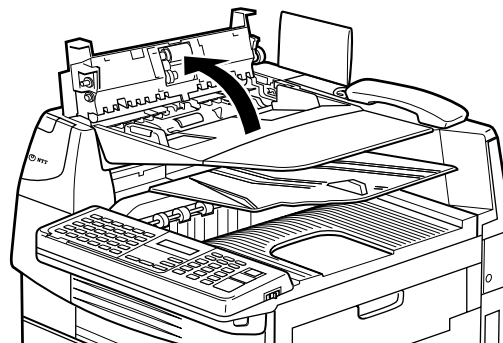
通風孔も忘れずにふいてください。

STOP お願い

ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、みがき粉、熱湯、アルコールなどは使わないでください。変形、変色の原因となります。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

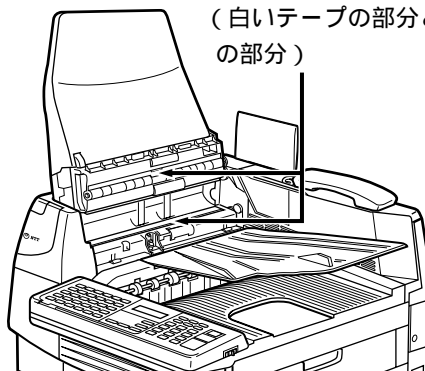
原稿読み取り部の清掃をする

- 1 送信カバー開レバーを引いて、送信カバーと原稿セット台を持ち上げます。

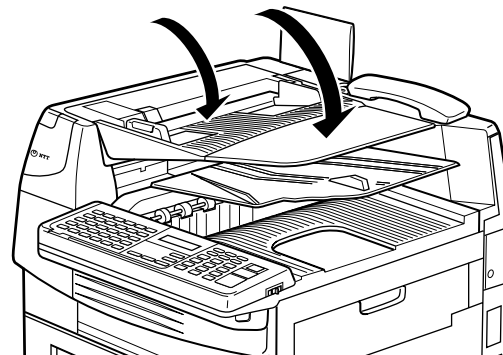


- 2 原稿セット台を手で支えながら、強く押さないようにして白いテープの部分とガラスの部分の2か所をふきます。

この2か所をふく
(白いテープの部分とガラスの部分)



- 3 原稿セット台と送信カバーを戻します。



STOP お願い

原稿読み取り部は強く押さないでください。

1 ファックスをより便利に使う

2 各種レポート/リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ/PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録/設定する

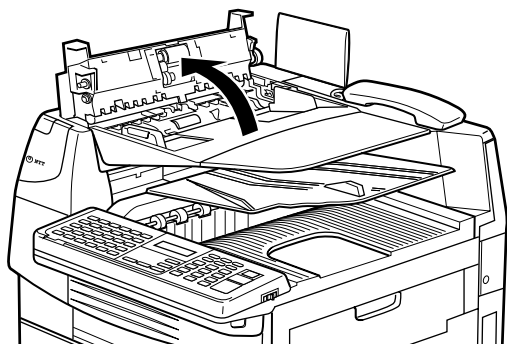
6 こんなときには

7 ご参考に

お手入れするには

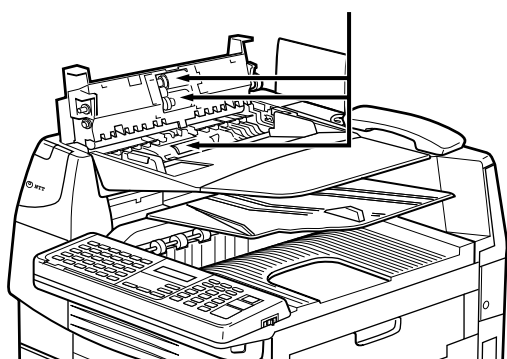
ローラの清掃をする

- ① 送信カバー開レバーを引いて、送信カバーを起こします。

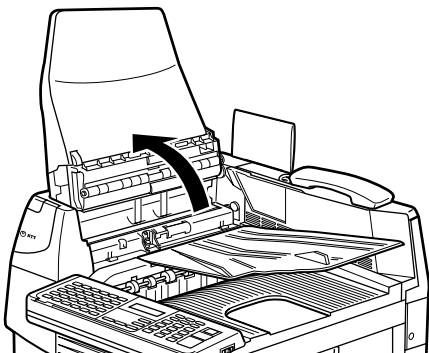


- ② 送信カバーを手で支えながら、3か所のローラをふきます。

この3か所のローラをふく

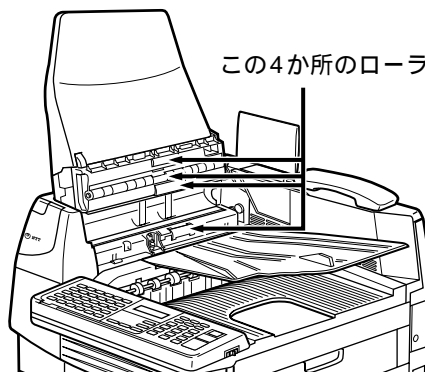


- ③ 送信カバーと原稿セット台を持ち上げます。

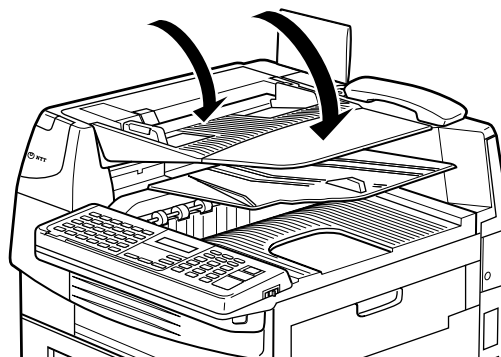


- ④ 原稿セット台を手で支えながら、強く押さえないようにして4か所のローラをふきます。

この4か所のローラをふく



- ⑤ 原稿セット台と送信カバーを戻します。



消耗品の購入について / 停電になったときは

消耗品の購入について

消耗品のご購入の際は、NTT窓口等へお問い合わせください。

記録紙

A3 (297mm×420mm)
 B4 (257mm×364mm)
 A4 (210mm×297mm)
 B5 (182mm×257mm)
 A5 (148mm×210mm)

キャリアシート

A3用
 B4用
 A4用

トナーカートリッジ

ドラムカートリッジ

済スタンプ用インク (済スタンプはオプション)

停電時の注意

停電になったときや電源を切ったときは、ファクスの機能 / 動作が停止すると同時に、メモリに蓄積されている原稿 (順次同報送信、メモリ送信、メモリ代行受信、掲示板送信、タイマ通信など) が消えてしまう場合があります (内蔵のバッテリーにより、約30分間はバックアップ機能が働きます)。消去された原稿の相手先や枚数などの情報は、停電レポート (●P208) で確認できます。停電レポートは、停電から復旧したときに、消去された原稿があると自動的に出力されます。

停電になったとき	相手の方と話し中	そのまま話しができます。
	ファクス送信中	送信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信してください。
	ファクス受信時	受信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信を依頼してください。
停電中	電話をかける	できません。停電対応のできる電話機を外付け電話機としてご使用の場合は、外付け電話機で電話をかけることができます。
	電話を受ける	受話器を取りあげると相手の方と話しができます。ダイヤルインサービスをご利用のときは、特別な操作が必要です。(●P179)
	ファクス送受信	できません。



ワンポイント

ファクスに登録 / 設定した内容は日付 / 時刻、発信元名称や発信元番号、ワンタッチダイヤルなどに登録した内容は消去されません。ただし、長期間お使いにならない場合には、確認が必要です。順次同報送信中に停電になったときはマルチ通信レポート (●P206) で確認できます。



お知らせ

停電中に電話で相手の方と話し中の場合、停電から復旧したときに電話が切れてしまいます。もう一度かけ直すか、停電中に電源スイッチをOFFにしてください。バックアップ機能はコピー時には働きません。

1 ファクスをより便利に使う

2 各種レポート / リストを出力する

3 ビジネスホンに通知する

4 PCプリンタ / PCスキャナとして使う

5 いろいろな機能を登録 / 設定する

6 こんなときには

7 ご参考に

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理をご依頼になる前に次の点をご確認ください。

	こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
送信のとき	原稿が読み込まれない	原稿が厚すぎる	複写機でコピーをとって原稿としてください	●P50
		原稿が薄すぎる / 小さすぎる	複写機でコピーをとるか、キャリアシートを使用してください	●P50
		ローラが汚れている	ローラを清掃してください	●P278
	原稿が斜めに読み込まれる	原稿ガイドが原稿の幅に合っていない	原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください	●P51
		ローラが汚れている	ローラを清掃してください	●P278
	相手先で受信した画像が鮮明でない	原稿読み取り部が汚れている 1	原稿読み取り部を清掃してください	●P277
—		もう一度送信し直してください	—	
相手先で受信した画像が白紙になる	送る面を下にして原稿をセットしている	送る面を上にして原稿をセットして、もう一度送信し直してください	●P51	
受信のとき	受信した画像が鮮明でない	トナーがない 2	トナーカートリッジを交換してください	●P273
		トナーカートリッジ / ドラムカートリッジが正しくセットされていない	トナーカートリッジ / ドラムカートリッジを正しくセットし直してください	●P30
		指定の記録紙を使用していない	指定の記録紙を使用してください	●P32
		—	相手先にもう一度送信し直してもらってください	—
	受信した記録紙に黒いすじが入る	—	相手先にもう一度送信し直してもらってください	—
	受信した記録紙が白紙になる	トナーがない 2	トナーカートリッジを交換してください	●P273
		相手先が原稿を裏表逆にセットしている	相手先に確認してください	—
	ベルが鳴り続けて自動受信されない	手動受信に設定されている	自動受信に設定してください	●P74
		メモリがいっぱいになっている	記録紙がなくなっているときは記録紙をセットして、メモリに蓄積されている原稿をプリントしてください	●P272
		レポートの出力中	レポート出力が終わるまでお待ちください	—
	リモート受信ができない	リモート受信に設定されていない	リモート受信を「スル」に設定してください	●P80
		留守受信モードになっている	留守受信モードを解除してください	●P74
セレクト受信ができない	相手先の電話番号がワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されていない	相手先の電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録してください	●P104 108	
	相手先で発信元番号が正しく登録されていない	相手先に発信元番号が正しく登録されていることを確認してもらってください	—	

1. コピーをとって、コピーが鮮明でないとき。
2. トナー / ドラムランプが点灯しているとき。

1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト





3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

	こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
コピーのとき	コピーが鮮明でない	原稿読み取り部が汚れている	原稿読み取り部を清掃してください	●P277
		トナーがない ¹	トナーカートリッジを交換してください	●P273
		トナーカートリッジ/ドラムカートリッジが正しくセットされていない ²	トナーカートリッジ/ドラムカートリッジを正しくセットし直してください	●P30
	コピーが白紙になる	コピーをとる面を下にして原稿をセットしている	コピーをとる面を上にして原稿をセットし、もう一度コピーをとり直してください	●P86
待機中のとき	ディスプレイに何も表示されない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください	●P25
		電源スイッチが「  」(切)になっている	電源スイッチを「  」(入)にしてください	●P25
		—	電源スイッチを「  」(切)にして、しばらくしてからもう一度「  」(入)にしてください	●P25
電話のとき	受話器から何も聞こえない	受話器のコードが本体に接続されていない	受話器のコードを本体に接続してください	●P25
	ダイヤルしても呼出音が聞こえない	回線種別が正しく設定されていない	回線種別を正しく設定し直してください	●P27
	オンフックダイヤルのとき相手の声が聞き取りにくい	スピーカ音量スイッチが正しく設定されていない	スピーカ音量スイッチを調節してください	●P20
	電話の呼出音が小さい/大きい	呼出音量スイッチが正しく設定されていない	呼出音量スイッチを調節してください	●P20
	受話器からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量スイッチが正しく設定されていない	受話音量スイッチを調節してください	●P20

1. トナー/ドラムランプが点灯しているとき。
2. トナー/ドラムランプとアラームランプが点灯しているとき。

主なエラー番号 / エラーメッセージ

本装置をご使用中に、ディスプレイや通信管理レポートなどにエラー番号 / エラーメッセージが表示されたときは、次のように対処してください。

下記以外のエラー番号 / エラーメッセージが表示またはプリントされたときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
02	ダイヤル ヲ カクニン シテクダサイ (発呼不備)	番号違いまたは回線種別違いで 発信できない	相手先の電話番号および回線種 別の設定を確認して、もう一度 送信し直してください	●P27
05	—	ポーリングパスワードの不一致 でポーリング送信できない	ポーリングパスワードを確認し てください	●P142 212
09	ツウシンエラー 09	相手先に原稿がセットされてい ないため、ポーリング受信でき ない	相手先に確認してください	-
46	アラーム ヲ カイジョ シテクダサイ ゲンコウ ガ ツマリマ シタ	原稿がつまっている	つまった原稿を取り除いてく ださい	●P268
47	アラーム ヲ カイジョ シテクダサイ ソウシン カバーヲ シ メテクダサイ	送信カバーまたは原稿セット 台が開いている	送信カバーまたは原稿セット 台を閉めてください	●P19
74、76、 77、7A、 7B、7C	ツウシン エラー XX	電話回線に雑音が多くて送信で きない	もう一度送り直してください (XXはエラー番号です)	-
79	ツウシン エラー 79	相手先から呼び出しがあった	相手先に確認してください	-
92	ツウシン エラー 92	原稿が正しくセットされていな いため、受信モードになってしま う	原稿をセットし直してください	●P51
		ポーリングパスワードの不一致 でポーリング受信できない	ポーリングパスワードを確認し てください	●P142 212
96、97、 9A、9B、 9C、9F	ツウシン エラー XX	正常に受信できない	相手先に確認してください (XXはエラー番号です)	-
C9	ツウシン エラー C9	相手機からファクスの応答がな いため送信できない	相手先に確認してください	-
D5	—	発信元番号が一致していないた め、セレクト受信できない	ワンタッチダイヤルまたは短縮 ダイヤルに登録した相手先の電 話番号を確認してください 登録内容が間違っていないとき は相手先に確認してください	●P104 108
F0	ツウシン エラー F0	指定した機能では通信できない相 手先がダイヤル登録されている	ダイヤル登録を確認してくださ い	-

ワンポイント

エラーメッセージを解除するには

- エラーメッセージの原因を取り除けば、エラーメッ
セージは消えます。
- 通信エラー、相手無応答、相手使用中、発呼不備のと
きは、約3秒経過するとエラーメッセージは消えます。



お知らせ

上記の対処をしてもエラーが解除されないときは、当
社のサービス取扱所へお問い合わせください。

1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
—	アイテサキガ ジュシンデキマセン	相手先の都合（メモリオーパー、記録紙切れなど）により送信できない	相手先に確認して、もう一度送信し直してください	—
—	アイテキ キノウ ナシ	指定した機能が相手機にないため送信できない	設定を解除して、もう一度送信し直してください	—
—	アイテ シンテンボックス アリマセン	相手先に指定した親展ボックスが見つからない	相手先に確認して、もう一度送信し直してください	—
—	チュウケイ シジ エラー	中継パスワードの不一致、または中継機に指定したグループが登録されていない	相手先に確認して、もう一度送信し直してください	—
—	コピー シテイ プスウ エラー	リモートマルチコピー送信で指定したコピー部数が、相手先で設定された部数の制限を超えている	相手先に確認して、もう一度送信し直してください	—
—	サイファキー ガ イッチ シマセン	サイファキーが相手先と一致しない	相手先に確認して、もう一度送信し直してください	●P166
—	メモリフル	メモリ代行受信中またはメモリ蓄積中にメモリがいっぱいになった	記録紙を補給してください 原稿を送信したいときは、メモリが空くのを待つか、ダイレクト送信を指定してください	●P272
—	アイテサキガ ショウチュウデス（相手使用中）	相手先が話し中	しばらくしてから、もう一度送信し直してください	—
—	アイテサキカラ オウトウガ アリマセン（相手無応答）	相手先から応答がない	相手先の電話番号を確認のうえ、もう一度送信し直してください	—
—	キロクシ ガ ツマリマシタ>キロクブ	記録紙がつまっている	フロントカバーを開けて、つまった記録紙を取り除いてください	●P269
—	キロクシ ガ ツマリマシタ>サイド	記録紙がつまっている	サイドカバーを開けて、つまった記録紙を取り除いてください	●P269
—	キロクブ カバーヲ シメテクダサイ	フロントカバーが開いている	フロントカバーを閉めてください	●P19
—	サイド カバーヲ シメテクダサイ	サイドカバーが開いている	サイドカバーを閉めてください	●P19
—	プリンタガ コショウシマシタXX	プリンタに異常が発生した	局番なしの113番（故障受付）に連絡してください （xxはエラー番号です）	—
—	ヨヤク ガ イッパイデス	通信予約が登録限度数を超えた	通信予約を解除するか、予約された通信が終了するのを待って、もう一度通信予約をしてください	●P54 72
—	トナー ガ ノコリワズカデス	トナーの残量が少なくなった	トナーカートリッジを交換してください	●P273
—	トナー ガ アリマセン	トナーがなくなった	トナーカートリッジを交換してください	●P273

次ページに続きます。

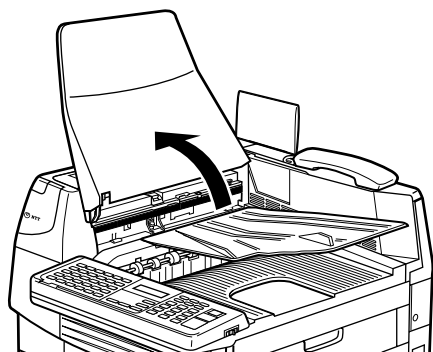
主なエラー番号 / エラーメッセージ

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処方法	参照ページ
—	トナーカートリッジ イレテクダサイ	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しくセットされていない	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを正しくセットし直してください	●P30
—	ドラム コウカン ノ ジキデス	廃トナーボックスが満杯に近い	ドラムカートリッジを交換してください	●P275
—	ドラム ヲ コウカン シテクダサイ	廃トナーボックスが満杯になった	ドラムカートリッジを交換してください	●P275
—	キロクシヲ セット シ テクダサイ	記録紙がなくなった	新しい記録紙をセットしてください	●P272
—	XXキロクシヲ セット シテクダサイ	表示されているサイズの記録紙がなくなった またはセットされていない	表示されているサイズの記録紙をセットしてください (××は記録紙サイズです)	●P272
—	キロクシカセットヲ セ ットシテクダサイ	記録紙カセットが正しくセットされていない	記録紙カセットを正しくセットし直してください	●P32
—	ヨウキュウ キノウガ アリマセン	指定した機能が相手機にない、または使用禁止に設定されている	相手先に確認して、もう一度送信し直してください	—
—	ケッカツウチ タイキチ ユウ	回線が使用中のため、通信結果を通知できない	回線が空きしだい自動的に通知されます	—

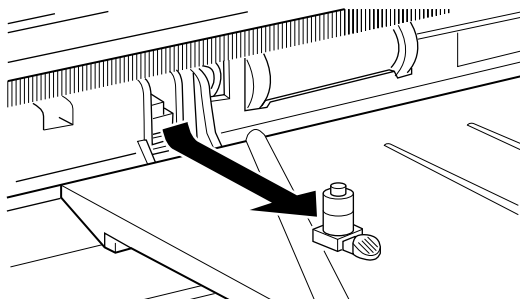
各種オプション機能について

済スタンプ用インクを交換する

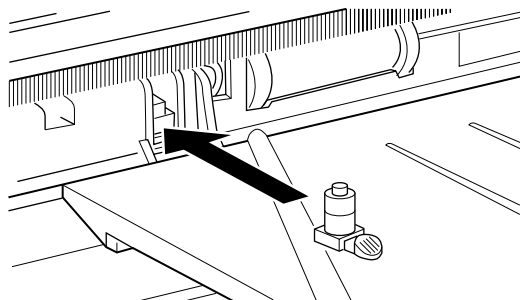
- ① 原稿セット台を持ち上げます。



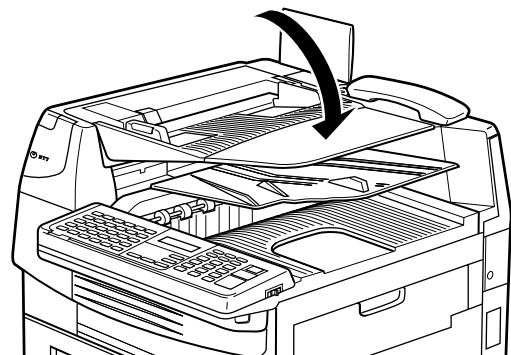
- ② 済スタンプ用インクを、下方向へ押しながら取り出します。



- ③ 新しい済スタンプ用インクをセットします。



- ④ 原稿セット台を戻します。



 **お知らせ** 

済スタンプ用インクは、送信原稿5 000枚が交換の目安です。

主な仕様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

原稿サイズ	最大：297 mm (幅) × 1 000 mm (長さ) 最小：128 mm (幅) × 100 mm (長さ)
記録紙サイズ	A3 (297 mm × 420 mm) B4 (257 mm × 364 mm) A4 (210 mm × 297 mm) B5 (182 mm × 257 mm) A5 (148 mm × 210 mm)
有効読取幅	294 mm (A3) 254 mm (B4) 208 mm (A4)
有効記録幅	289 mm (A3) 249 mm (B4) 202 mm (A4)
走査方法	CCDイメージセンサによる平面走査
走査線密度	主走査：8画素/mm、16画素/mm 副走査：15.4本/mm (スーパーファイン) 7.7本/mm (ファイン) 3.85本/mm (標準)
通信モード	G3、G3-ECM G4通信ユニット (オプション) 増設時：G4
通信速度	33 600 ~ 2 400 bit/s ポーリング受信、タイムポーリング受信時：14 400 ~ 2 400 bit/s G4通信ユニット (オプション) 増設時：64 000, 56 000 bit/s
記録方式	電子写真記録方式
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網 (利用者) G4通信ユニット (オプション) 増設時： INSネット64、国際ISDN (回線交換、P-MP接続 常時起動またはP-MP接続 呼毎起動)
自動受信	有
電源	AC100 ± 10 V 50 / 60 Hz
消費電力	待機時：(節電モード時)：約19 W 送信時：約55 W、受信時：約290 W コピー時：約410 W、最大消費電力：約800 W
直流抵抗	264.5
バッテリーバックアップ用ニカド電池	電圧：7.2 V、容量：500 mAh
外形寸法	510 mm (横幅) × 575 mm (奥行き) × 471 mm (高さ) (突起部を除く) G4通信ユニット (オプション) 増設時：510 mm (横幅) × 605 mm (奥行き) × 471 mm (高さ) (突起部を除く) PCプリンタユニット (オプション) と増設記録紙ユニット (オプション) を2段増設時 ：510 mm (横幅) × 685 mm (奥行き) × 697 mm (高さ) (突起部を除く)
重量	約39 kg (記録紙を除く) G4通信ユニット (オプション) 増設時：約40 kg (記録紙を除く) PCプリンタユニット (オプション) と増設記録紙ユニット (オプション) を2段増設時 ：約53 kg (記録紙を除く)
使用環境	温度：10 ~ 31 、湿度：35 ~ 80 %RH

(注) NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。



バッテリーバックアップ用ニカド電池はお客様が交換する必要はありません。
故障時の交換は当社のサービス取扱所へご相談ください。

Ni-Cd

保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

NTTでは、安心してご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	<p>毎月決められた料金をお支払いいただくことで、定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換 など、性能維持に必要な保守サービスを行いますので、本機を安心してご利用いただけます。</p> <p>定額保守サービスには、サービス内容により以下のような種別があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Aサービス：毎月の定額料金で、定期点検を含む保守サービスを提供いたします。 ● Cサービス：定期点検を除く、保守サービスを提供いたします。
実費保守サービス	<p>定期交換部品の交換、故障時の修理等に要した費用をその都度いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 ● 故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 <p>当社のサービス取扱所まで本装置をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。</p>

本装置には、定着器等の定期的な交換を必要とする部品（定期交換部品）があります。定額保守Aサービスをご契約いただければ、当社が責任をもって定められた交換時期に必要な部品の交換を行います。本装置を安心してお使いいただくために、是非とも定額保守Aサービスのご契約を結ばれるようお願いいたします。

故障した場合のお問い合わせは


局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べ

局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター：  トークニーナ
0120-109217

補修用部品の保有期間について

本装置の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。

1
使う
ファクスをより便利に

2
各種レポート/リスト
を出力する

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
いろいろ
な機能を
登録/
設定する

6
こんな
ときには

7
ご参考に

1
使う
ファックスをより便利に

2
を出力する
各種レポート/リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ/
PCスキャナとして使う

5
登録/設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
ご参考に

3

① または ② を押して、リモートメンテナンスを受けるかどうかを選択します。

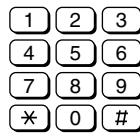
① : リモートメンテナンスを受けない

② : リモートメンテナンスを受ける

例: ① を押した場合

リモート メンテナンス

1: シナイ
2: スル



4

④ セット ボタンを押します。

セッテイ モード* (1-4)

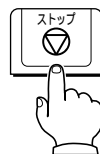
1: レポ ート セッテイ ?
2: キノウ セッテイ ?
3: ソウチ セッテイ ?



5

⑤ ストップ ボタンを押します。

1997/01/24 13:30 0%



索引

アルファベット

DP PB切替	94
Fネットアクセス	182
Fネット一般送信	184
Fネットサービスの主な内容	182
Fネット親展受信	194
暗証番号を登録する	194
Fネット親展送信	192
Fネット短縮ダイヤル	184,186,189,192
Fネット同報送信	
Fネット同報送信をする	186
個別指定をする	187
10宛先グループを指定する	187
100宛先グループを指定する	187
1000宛先グループを指定する	187
Fネットボタン	21
Fネット夜間配送	
Fネット夜間配送をする	189
Fネット夜間配送を取り消す	191
個別指定をする	190
10宛先グループを指定する	190
100宛先グループを指定する	190
1000宛先グループを指定する	190
複数のグループを指定する	190
G4発信元番号	40
G4発信元略称	42
G4モード	
G4モードでファクスを送信する	287
G4通信ユニット	285,287
LAN接続ユニット	285
PBボタン	21
PCスキャナ	
準備をする	232
スキャンする	236
スキャンを中断する	236
PCスキャナボタン	22
PC接続	234,260
PCプリンタ	
準備をする	232
プリントする	235
プリントを中断する	235
PCプリンタ/PCスキャナ	232
PCプリンタユニット	285

五十音

【ア行】

相手発信元記録	41,262
アース端子	20
アラームランプ	23

受付No.	54
エラー番号	282
エラーメッセージ	282
お手入れするには	277
オプション	285
済スタンプを利用する	285
G4通信ユニットを利用する	287
主な仕様	288
オンフックダイヤル	91
オンフックボタン	21

【カ行】

海外送信	136
海外送信(G4モード)	138
海外通信ボタン	22
解除	
送信予約を解除する	72
ポーリング送信を解除する	143
掲示板送信を解除する	145
ポーリング受信を解除する	149
回線種別	26,81
回線接続端子	20
回転記録	88,238,242,263
各部の名称とはたらき	19
画質ボタン	21
画質モード	52
画質ランプ	23
画面切替ボタン	22
感光体	273
管理者の内線番号	228,231
記号ボタン	22
キャリアシート	50
共通通知先	221,223
記録紙	
記録紙の残量を確認する	32
記録紙をセットする	32
サイズを変更する	33
記録紙選択の設定をする	237
記録紙が詰まったら	269
記録紙を補給する	272
記録紙カセット	19,33
記録紙サイズ	
サイズを変更する	33
記録紙選択の設定をする	237
記録紙サイズ表示板	19
記録紙残量確認窓	19
記録紙なしランプ	19
記録紙ランプ	23
クリアボタン	21
グループダイヤル	
登録する	112,256
登録内容を確認/変更する	112,256

- 登録内容を削除する 112,256
 ファクスを送る 114
 グループダイヤルリスト 216
 リストを出力する 210,254,258
 掲示板 140,145
 掲示板送信をセットする 145,254
 掲示板送信を解除する 145,254
 掲示板送信の内容をプリントする 145,254
 原稿
 大きな原稿を送信するとき 49
 原稿について 49
 原稿の読取範囲 49
 セットできる原稿のサイズ 49
 セットする 51
 原稿に合わせて画質を選ぶ 52
 原稿に合わせて読取濃度を選ぶ 53
 原稿がつまったら 268
 原稿ガイド 19
 原稿スタッカ 19
 原稿スタッカを取り付ける 24
 原稿セット台 19
 原稿セット台を取り付ける 24
 故障かな?と思ったら 280
 コピー画質 87,249
 コピーする 86
 コピーが禁止されているもの 86
 記録紙がなくなったとき 87
 コピーできる原稿の範囲 87
 回転記録をする 88
 倍率や記録紙サイズを指定して
 コピーする 88
 ページ合成読取コピーをする 89
 コピーボタン 21
- 【サ行】**
 再ダイヤル
 ファクスを送る 66
 電話をかける 92
 再ダイヤル送信 66
 再ダイヤルボタン 21
 サイドカバー 19
 サイファキー
 登録する 169,266
 削除する 169
 リストをプリント出力する 169,266
 ワンタッチダイヤルに登録する 105
 短縮ダイヤルに登録する 109
 サイファキーNo.
 サイファキーNo.を指定して送信する 171
 ワンタッチダイヤルに登録する 105
 短縮ダイヤルに登録する 109
 サイファキーリスト 218
 リストを出力する 213,266
 サイファ送信ランプ 23
 サイファ送信ボタン 22
 サイファ通信 166
 削除ボタン 22
 サブアドレス
 ISDNサブアドレスを指定する 41,55
 ルーティング通信のサブアドレス 158,164
 サブアドレスボタン 21
 自動再ダイヤル 55,61,66
 自動再ダイヤルの回数と間隔を
 設定する 248,264
 自動受信 76,254
 受信通知 219,223
 受信モード
 受信モードの種類 74
 受信モードの選び方 74
 自動受信 74,76,254
 手動受信 74,78
 留守受信 74,79
 受信モードタイマ切替
 受信モードタイマ切替を設定する 176,254
 受信モードボタン 21
 受信を中断する
 動作中に中断する 82
 内容を確認して中断する 83
 手動受信 78
 手動送信 64
 受話音量スイッチ 20
 受話器 19
 順次同報送信
 順次同報送信をする 102
 複数の相手先を指定する 103
 仕様 288
 状態通知 228
 転送エラー通知を設定する 229,260
 消耗品通知を設定する 230,260
 管理者用の内線番号を登録する 231,260
 商品の構成 18
 消耗品通知
 消耗品通知を設定する 230,260
 消耗品の購入について 279
 親展受信レポート 208
 レポート出力を設定する 203,258
 親展送信ボタン 22
 親展通信 151
 準備をする 151
 親展ボックスを開設する 152,264
 親展で送信する 155
 親展受信文書をプリントする 156,254
 親展ボックス 152,158
 スタートボタン 21
 ストップボタン 21
 スピーカ音量スイッチ 20
 スペースボタン 21

1
ファクスをより便利に
使う2
各種レポート/リスト
を出力する3
ビジネスホンに
通知する4
PCプリンタ/
PCスキヤナとして使う5
いろいろな機能を
登録/設定する6
こんなときには7
「参考」

- ダイレクト送信ボタン 22
 ダイレクト送信ランプ 23
 短縮ダイヤル
 ファクスを送る 57,111
 短縮番号の入力のしかた 57,111
 登録する 108,256
 登録内容を確認 / 変更する 108,256
 登録内容を削除する 108,256
 KDDを利用するとき 110
 NCC回線を利用するとき 110
 構内回線を利用しているとき 110
 短縮ダイヤルリスト 216
 リストを出力する 210,254,258
 短縮ボタン 21
 注意ラベル 29
 着信 93
 中継結果レポート 207
 レポート出力を設定する 200
 中継指示ダイヤル
 登録する 124,256
 登録を確認 / 変更する 124,256
 登録を削除する 124,256
 中継同報送信 121
 準備をする 122
 中継パスワードを登録する 123
 中継指示ダイヤルを登録する 124
 中継指示送信をする 128
 本装置を中継機として使用する 129
 中継パスワード
 登録する 123,264
 中断
 送信を中断する 67
 受信を中断する 82
 コピーを中断する 88
 PCプリントを中断する 235
 PCスキャナを中断する 236
 長尺記録 237,239,262
 通信管理レポート
 レポート出力を設定する 197,258
 レポートを手動で出力する 199,254
 通信結果表示
 送信文書の通信結果を表示させる 70
 受信文書の通信結果を表示させる 84
 ポーリング受信の通信結果を表示させる 149
 通信結果ボタン 22
 通信結果レポート 205 ~ 207
 レポート出力を設定する 200,258
 通信速度 138
 通信手順 (プロトコル) 138
 通信モード 287
 通信モードボタン 21
 通信ランプ 23
 通信レポート 205,206
 レポート出力を設定する 200,258
 通知先 219,228
 ディスプレイ 21
 停電時の注意 279
 停電レポート 208
 デュアルアクセス 48
 電源コード 20,25
 電源スイッチ 20
 電源接続端子 20
 電子電話帳
 ファクスを送る 58
 電子電話帳ボタン 21
 転送エラー通知
 転送エラー通知を設定する 229,260
 管理者用の内線番号を登録する 231,260
 電話回線の種別 26,27,262
 電話がかかってきたとき
 電話を受ける 93
 呼出音が聞こえにくいとき 93
 電話機コード 20,25
 電話をかける
 受話器を取りあげてかける 90
 相手の声が聞こえにくいとき 90
 受話器を置いたままかける
 (オンフックダイヤル) 91
 モニタ音が聞こえにくいとき 91
 同じ相手にかけ直す (再ダイヤル) 92
 登録 254 ~ 267
 日付 / 時刻を合わせる 34,263
 発信元名称を登録する 36,263
 発信元番号を登録する 38,263
 G4発信元番号を登録する 40,266
 G4発信元略称を登録する 42,266
 ワンタッチダイヤルを登録する 104,256
 サイファキーNo.をワンタッチ
 ダイヤルに登録する 105
 海外の相手先をワンタッチダイヤルに
 登録する 106
 送信結果の通知先をワンタッチ
 ダイヤルに登録する 106
 短縮ダイヤルを登録する 108,256
 サイファキーNo.を短縮ダイヤルに
 登録する 109
 海外の相手先を短縮ダイヤルに登録する 110
 送信結果の通知先を短縮ダイヤルに
 登録する 110
 グループダイヤルを登録する 112,256
 ワンタッチプログラムダイヤルを
 登録する 115,258
 送信結果の通知先をワンタッチ
 プログラムダイヤルに登録する 116
 中継パスワードを登録する 123,264
 中継指示ダイヤルを登録する 124,256
 ポーリングパスワードを登録する 142
 親展ボックスを開設する 152,264

1
使う
ファクスをより便利に

2
を出力する
各種レポート / リスト

3
通知する
ビジネスホンに

4
PCプリンタ /
PCスキャナとして使う

5
登録 / 設定する
いろいろな機能を

6
こんなときには

7
「参考」

索引

管理者用の内線番号を登録する (状態通知).....	231,260
時計セット	34
トナーカートリッジ	
セットする	30
正しくセットされていないとき	31
交換する	273
トナー/ドラムランプ	23
ドラムカートリッジ	
セットする	30
正しくセットされていないとき	31
交換する	275
【八行】	
ハイフンボタン	21
発信	90
発信元データ(発信元名称)	36
倍率	88,89
発信元番号	
登録する	38,263
プリントされる位置	37
発信元記録	37,260
発信元名称	
登録する	36,263
プリントされる位置	37
パラメータリスト	218
リストを出力する	212,254
ビジネスホン通知	219,228
日付/時刻を合わせる	34,263
ヒートモード	243
ファクシミリ通信網	182
ファンクション構造	253
ファンクションボタン	21
複数の相手先を指定する	103
フックスイッチ	20
プッシュホンサービス	
プッシュホンサービスを利用する	94
利用できるプッシュホンサービスの種類	94
プリントランプ	19
フルダイヤル	54
プロトコル	138
フロントカバー	19
分割重ね書き	238,241,262
並行して行える機能	48
ページ合成読取コピー	89
ページ合成受信	174
ページ合成受信を設定する	175
ページ合成読取送信	134,260
ページ合成読取ボタン	22
ベル回数(呼出音)	
ベル回数を設定する	247,264
保守サービス	289
ポーズボタン	21

ホームポジション	
ホームポジションを設定する	250,262
ポーリング受信ボタン	22
ポーリング通信	140
準備をする	141
ポーリングパスワードを登録する	142,264
ポーリングパスワードを変更する	142,264
ポーリング送信をセットする	143,254
ポーリング送信を解除する	143,254
掲示板送信をセットする	145,254
掲示板送信を解除する	145,254
掲示板送信の内容をプリントする	145,254
ポーリング受信をする	147
タイマポーリング受信をセットする	148
ポーリング受信を解除する	149

【マ行】

マルチ通信途中経過レポート	206
マルチ通信レポート	206
レポート出力を設定する	200,258
メモリ送信	
ダイヤル入力(フルダイヤル)で送る	54
ワンタッチダイヤルで送る	56
短縮ダイヤルで送る	57
電子電話帳で送る	58
メモリ代行受信	77
メモリプリント	48
メモリランプ	23
文字を訂正する	
1文字訂正する	46
1文字削除する	47
1文字挿入する	47
文字を入力する	44

【ヤ行】

優先記録	237,240,262
優先送信	118
優先送信ボタン	22
呼出音(ベル回数)	74
呼出音量スイッチ	20
読取濃度ボタン	21
読取濃度	53
読取濃度ランプ	23
予約を解除する	
送信文書の予約を解除する	72
ポーリング受信の予約を解除する	149

【ラ行】

リストの出力例	
ワンタッチダイヤルリスト	215
短縮ダイヤルリスト	216
グループダイヤルリスト	216
ワンタッチプログラムダイヤルリスト	217
パラメータリスト	218
サイファキーリスト	218
リモート受信	
リモート受信をする	81
リモート受信を設定する	80,258
リモートマルチコピー通信	130
リモートマルチコピー受信を 設定する	132,260
リモートマルチコピー送信をする	131
リモートマルチコピーボタン	22
リモートメンテナンス	290
リモートメンテナンスを設定する	290
留守受信	79
留守番電話機	
留守番電話機を接続してファクスを受ける	79
留守番電話無音検出	79,262
ルーティング情報ボックス	
登録する	161,264
登録内容を確認 / 変更する	161,264
登録内容を削除する	161,264
ルーティング通信	158
準備をする	159
ルーティング通信を設定する	160,260
ルーティング情報ボックスを 登録する	161,264
サブアドレスを指定して送信する	164
レポートの出力例	
通信管理レポート	204
通信レポート	205
マルチ通信レポート	206
マルチ通信途中経過レポート	206
中継結果レポート	207
親展受信レポート	208
停電レポート	208
レポート画像	200,205

【ワ行】

ワンタッチ宛先記入シート	29
ワンタッチ宛先記入ラベル	29
ワンタッチダイヤル	
ファクスを送る	56,107
登録する	104,256
登録内容を確認 / 変更する	104,256
登録内容を削除する	104,256
KDDを利用するとき	106
NCC回線を利用するとき	106
構内回線を利用しているとき	106
リストを出力する	210,254,258
ワンタッチダイヤルリスト	215
ワンタッチパネル	21
ワンタッチプログラムダイヤル	
登録する	115,258
登録内容を確認 / 変更する	115,258
登録内容を削除する	115,258
ワンタッチプログラムダイヤルに 設定できる機能	115,258
ファクスを送る	117
リストを出力する	210,254,258
ワンタッチプログラムダイヤルリスト	217
ワンタッチボタン	21
ワンタッチボタンと入力文字の対応表	44,46

1
使う
ファクスをより便利に2
を出力する
各種レポート / リスト3
通知する
ビジネスホンに4
PCプリンタ /
PCスキャナとして使う5
登録 / 設定する
いろいろな機能を6
こんなときには7
「参考」

MEMO

注 意

本製品は、外国為替および外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎ 0120 - 109217

トークニーナ

©1997 NTT